

平成30年度

事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)

安曇野市

目 次

安曇野市の重点項目	……	1 頁		
事業別予算概要説明	……	2		
一般会計				
議会事務局	……	5	商工観光部	
総務部			商 工 勞 政 課	…… 194
総 務 課	……	8	観 光 交 流 促 進 課	…… 203
契 約 検 査 課	……	15	都市建設部	
職 員 課	……	17	監 理 課	…… 214
危 機 管 理 課	……	18	建 設 課	…… 223
人 権 男 女 共 同 参 画 課	……	23	都 市 計 画 課	…… 232
政策部			建 築 住 宅 課	…… 238
政 策 経 営 課	……	27	上下水道部	
秘 書 広 報 課	……	32	経 営 管 理 課	…… 244
情 報 統 計 課	……	34	会 計 課	…… 247
財政部			教育部（教育委員会）	
財 政 課	……	43	学 校 教 育 課	…… 249
税 務 課	……	48	生 涯 学 習 課	…… 271
収 納 課	……	50	文 化 課	…… 287
財 産 管 理 課	……	51	図 書 館 交 流 課	…… 295
市民生活部			監 査 委 員 事 務 局	…… 299
地 域 づ く り 課	……	57	選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局	…… 301
市 民 課	……	64	農 業 委 員 会 事 務 局	…… 309
環 境 課	……	65	公 平 委 員 会 事 務 局	…… 312
廃 棄 物 対 策 課	……	71	特別会計	
穂 高 地 域 課	……	76	国民健康保険特別会計	…… 316
三 郷 地 域 課	……	79	後期高齢者医療特別会計	…… 356
堀 金 地 域 課	……	82	介護保険特別会計	…… 363
明 科 地 域 課	……	85	上川手山林財産区特別会計	…… 390
福祉部			北の沢山林財産区特別会計	…… 394
長 寿 社 会 課	……	90	有明山林財産区特別会計	…… 397
福 祉 課	……	97	富士尾沢山林財産区特別会計	…… 400
子 ど も 支 援 課	……	106	穂高山林財産区特別会計	…… 403
保健医療部			産業団地造成事業特別会計	…… 406
健 康 推 進 課	……	134	観光宿泊施設特別会計	…… 408
介 護 保 険 課	……	150		
国 保 年 金 課	……	152		
農林部				
農 政 課	……	156		
耕 地 林 務 課	……	177		

【重点的に推進する取組み】

(1) 活力あるまちづくり

「新たな雇用を生み出す」取組み（総合戦略）/地域おこし協力隊員による移住・定住の促進に向けた取組み
/農業の担い手や後継者の確保・育成に向けた取組み/インバウンド受入体制の整備や、自転車等を活用した滞在・体験型観光の推進に向けた取組み/商店街の活性化や企業の本社機能誘致、「地域未来投資促進法」等に基づく産業基盤整備の検討など、活力ある商工業の振興を図る取組み/ものづくりの技術と技能を継承・高度化できる人材の確保・育成を目指す取組み/国内外に効果的な情報発信を行い、交流人口の拡大を図る取組み

(2) 健康長寿のまちづくり

「健康寿命日本一」を目指し、高齢者や障がい者にやさしいまちをつくる取組み/「いきいきと暮らせるまちをつくる」取組み（総合戦略）/健康ポイント事業の導入による健康診査の受診率向上など、医療費や介護給付費の抑制に向けた取組み/市歌健康体操の普及事業など健康づくりの推進や、生活習慣病予防活動の充実に向けた取組み/老若男女が個々の特性を生かした「生きがい」を創出する取組み/食育や歯科口腔保健を推進し、生涯にわたって健康で豊かな生活が送れる取組み

(3) 豊かな人を育むまちづくり

「安心して出産し子育てできるまちをつくる」「若者や女性が活躍できるまちをつくる」取組み（総合戦略）
/小規模保育事業や産後ケア事業の実施など、出産・子育ての総合的な支援体制の充実などにより「日本一！子どもが元気に育つまち」を目指す取組み/休日・夜間及び二次救急医療などの地域医療体制の充実や、周産期医療体制などの充実を図る取組み/平和行政や人権教育の推進による、争いのない明るい地域社会づくりを発信する取組み
/生涯スポーツの活動拠点や、災害時の避難所など多目的に活用できる体育施設の整備に向けた取組み/国際感覚豊かな人づくりや特色ある学校教育等により次代の安曇野を担う「人財」の育成を推進する取組み/郷土の伝統・文化などを継承し芸術文化活動の振興を図る取組み

(4) 安全・安心なまちづくり

地下水の保全・涵養、また、森林環境を守り、豊かな里山再生を目指す取組み/自然エネルギーの活用など省資源化・省エネルギー化の取組み/自主防災組織などのすべての人が助け合える仕組みづくりに向けた取組み
誰もが安全で安心して暮らせる災害に強い地域づくりに向けた取組み/総合的な交通安全対策に取組む活動の充実を図り、地域住民と協働する防犯活動に関する取組み/明科駅前歩道整備事業等の推進や、拠点地域への住宅誘導、地域産業の集約など「コンパクトシティ」を推進する取組み

(5) 協働によるまちづくりと行財政基盤の強化

地域コミュニティ（区）への加入促進に向けた取組み/男性も女性もいきいきと活動できる男女共同参画社会の実現に向けた取組み/施設の長寿命化と適正な維持管理に向けた取組み/市民の視点に立った行政運営を図り「地域と行政の連携を強化」する取組み/健全財政の堅持と行政サービスの向上を目指し、経費削減と事務事業の効率化に向けた取組み

事業別予算概要説明

一般会計

議会議務局

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	011401100
課・係等	議会事務局 庶務係

予算書ページ	53
--------	----

予算	款	01	議会費	総合計画	基本目標	
	項	01	議会費		基本方針	
	目	01	議会費		基本施策	
	事業	0101010	議会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	249,348	0	0	0	0	249,348
前年度	266,376	0	0	0	0	266,376
増減額	△ 17,028	0	0	0	0	△ 17,028

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市議会(本会議、常任委員会、特別委員会)の運営、議会改革の取組み、政務活動費の交付ほか

【効果】

・議会報告会を実施することにより、直接市民と対話ができ、市民の思いや考えを伺えるとともに議会活動への理解を得る場ともなる。
 ・議会改革の取組みとして、研修会等を通じ政策提言への取組みを一層推進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・議会改革推進委員会を中心に、平成26・27・28・29年度と開催した議会報告会の反省等を踏まえ、30年度の開催に向けてどのような論点で議会報告会を運営するか、また、そのための資料作成を行う。
 ・独自の議員研修会を開催し、議会としての政策提言の実現に向けて、積極的に取り組む。
 ・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・議会改革推進委員会のそれぞれの観点における視察研修を行い、先進地での取組みなどを参考に政策提言などの議会活動の充実を図っていく。

【詳細事業内訳】

議会費 249,348千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	96,504	議員報酬 96,504千円	11	需用費	4,456	議会だより印刷費 2,904千円
02	給料	25,722	職員給料 25,722千円	12	役務費	101	インターネット回線使用料 81千円
03	職員手当等	51,186	議員期末手当 37,155千円	13	委託料	12,497	会議録調製業務 9,820千円 会議録配信業務 1,654千円
04	共済費	44,869	議員共済組合給付金 36,592千円	14	使用料及び賃借料	2,736	議場映像配信システム使用料 1,361千円
08	報償費	458	議員研修会講師謝礼 150千円 議会傍聴者託児謝礼 44千円	18	備品購入費	44	議会図書室用図書 44千円
09	旅費	6,973	議員出張・委員会視察研修外の費用弁償 5,177千円	19	負担金補助及び交付金	3,622	全国市議会議長会等負担金 982千円 政務活動費 2,640千円
10	交際費	180	議長交際費 180千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	議会費	議会の審議概要などについて年4回広報紙を発行する。本会議や委員会の会議録を作成するとともに、会議録や本会議のライブ中継及び録画映像をインターネットを通じて配信し、市民に開かれた議会運営に努める。	11	需用費	2,904
				13	委託料	9,820
				13	委託料	1,654
				14	使用料及び賃借料	1,361
					計	15,739
2						
					計	0

総務部

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010101100
		課・係等	総務課 行政管理係

予算書ページ	57
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	911,448	23	1,157	0	61,001	849,267
前年度	897,572	19	1,060	0	52,001	844,492
増減額	13,876	4	97	0	9,000	4,775

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	自衛官募集事務委託金	23	20	派遣職員給与費負担金	61,000				
15	特例処理事務交付金	1,147								
15	住宅新築資金県補助金	10								
17	指定寄附金	1								

【目的・効果】
【目的】
 市の総務部門である総務部、政策部、財政部に従事する職員の人件費、行政運営経費及び平和推進事業に係る経費を計上する。
【効果】
 ・議案の印刷製本、会議賄等、行政運営上必要な経費の計上による円滑な行政運営
 ・平和行政を推進するため、広島平和記念式典へ市内中学生への派遣するほか、安曇野市平和のつどいを開催し、市民の平和意識の高揚を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・固定資産評価審査委員会委員報酬
 ・特別職、一般職の人件費
 ・議案書作成に関する経費
 ・平和推進事業の実施経費(広島平和記念式典への中学生派遣、平和つどい開催)
 ・食糧費(会議賄)の適正な執行

【詳細事業内訳】
 一般管理費 909,077千円 平和都市宣言事業 2,285千円 固定資産評価審査委員会事務 86千円

【一般財源増加理由】		職員手当等及び共済費の増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	86	固定資産評価審査委員報酬3人×3回			11	需用費	1,265	消耗品263千円、食糧費49千円、議案書等印刷製本855千円、広島体験文集印刷98千円		
02	給料	499,902				12	役務費	105	広告料98千円、広島平和記念式典参加生徒旅行保険7千円		
03	職員手当等	250,311				14	使用料及び賃借料	192	広島平和記念式典バス162千円、広島市内駐車場10千円、平和のつどいパネル展20千円		
04	共済費	157,357				19	負担金補助及び交付金	153	羅道センター賛助会費50千円、職員研修負担金101千円、平和首長会議メンバーシップ納付金2千円		
07	賃金	25	広島平和記念式典及び平和のつどい看護師賃金								
08	報償費	225	行政視察土産等27千円、平和のつどい発表生徒等へ記念品198千円								
09	旅費	1,827	広島平和記念式典参加中学生及び随行職員(32人分)1,733千円、職員研修旅費94千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	平和都市宣言事業	広島平和記念式典へ市内中学校7校から代表生徒28人を派遣し、戦争の悲惨さを学び、平和に対する意識の高揚を図る。また、安曇野市平和都市宣言の精神に基づき、安曇野市平和のつどいを開催し市民の平和に対する意識の醸成を図る。	09	旅費	1,733
				08	報償費	198
				14	使用料及び賃借料	192
				11	需用費	128
					計	2,251
2					計	0

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010101100			
		課・係等	総務課 行政管理係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102015	寄附採納事務			

予算書ページ	57
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	228,711	国支出金	県支出金	市債	その他	125,852
前年度	337,778	0	0	0	101,598	236,180
増減額	△ 109,067	0	0	0	1,261	△ 110,328

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	ふるさと寄附基金利子	2,859							
	17	ふるさと寄附金	100,000							
									102,859	

【目的・効果】
【目的】
 ・平成30年度においても引き続き「メイドイン安曇野」にこだわった安曇野市の特産品をお礼の品とするが、お礼の品の返礼割合を全て3割以下とする。
 ・安曇野市の魅力的な特産品をお礼の品に取り揃え、また、寄附募集の賛同を得られる政策テーマを設け、全国からふるさと寄附を募集する。
 ・前年度の寄附者に対する繋がりを大切に、市内の施設で利用できるクーポン券を送付し、地域振興を図る。

【効果】
 ・自主財源を確保
 ・寄附者が指定する事業への活用
 ・地域産業の振興及び雇用促進
 ・安曇野を全国にPR

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・お礼の品(特産品)の購入
 ・前年度寄附者との縁を大切に地域振興を図る。
 ・ふるさと寄附の事務委託(礼状発送、返礼品送付手配、コールセンター等)
 ・寄附受入クレジット決済に係る経費
 ・ふるさと寄附募集受付サイト利用料
 ・ふるさと寄附基金への積立

【詳細事業内訳】
 寄附採納事務 228,711千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	100,720	ふるさと寄附お礼品(特産品96,720千円、クーポン4,000千円)				
11	需用費	1,350	ふるさと寄附募集チラシ5,000部印刷、ふるさとクーポン券4,000セット印刷				
12	役務費	4,036	広告料500千円、クレジット決済手数料3,536千円				
13	委託料	4,576	ふるさと寄附事務委託(寄附証明書発送、返礼品送付手配、コールセンター等)				
14	使用料及び賃借料	15,169	ふるさと寄附募集サイト使用料(ふるさとチョイス49千円、ふるなび15,120千円)				
25	積立金	102,860	ふるさと寄附基金積立100,000千円、基金積立金利子2,860千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	寄附採納事務	・安曇野産にこだわった魅力的な特産品をお礼の品に取り揃え、また、寄附募集の賛同を得られる政策テーマを設け、全国からふるさと寄附を募集する。 ・前年度の寄附者に対する繋がりを大切に、市内の施設で利用できるクーポン券を送付し、地域振興を図る。	25	積立金	102,860	
				08	報償費	100,720	
				14	使用料及び賃借料	15,169	
				13	委託料	4,576	
					計	223,325	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010101100	
		課・係等	総務課 行政管理係	

予算書ページ	71
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	02	文書広報費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102190	文書管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	83,127	0	166	0	400	82,561
前年度	78,287	0	104	0	400	77,783
増減額	4,840	0	62	0	0	4,778

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	特別児童扶養手当事務委託金	166							
20	コピー等サービス料	400								

【目的・効果】
【目的】
 ・ファイリングシステムを活用した文書の適正管理に努め、業務の効率化を図る。
 ・例規の適正な制定改廃の整備を行う。
【効果】
 ・ファイリングシステムの活用により、機能的で効率的な文書管理を行う。
 ・適正な事務処理を行うことで、文書の郵送、收受、作成、起案、決裁、施行、保存、廃棄までの一連の事務の徹底を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 総務課 行政管理係
 ・郵便、支所間メール便、文書仕分業務等に係る非常勤職員、臨時賃金8人(うち支所6人)
 ・外部書庫(旧豊科法務局、旧上川手分場、旧明科法務局)の維持管理
 ・公文書の管理(郵送、收受、作成、起案、決裁、施行、保存、廃棄等)
 ・文書事務システムの機能追加(保存期間延長情報を管理する機能)
 ・ファイリングシステム維持管理

 総務課 法務コンプライアンス係
 ・例規審査
 ・例規システム、行政手続システム等の管理

【詳細事業内訳】
 文書管理事務 75,001千円 書庫管理 2,159千円 ファイリングシステム事務 2,578千円 例規システム等維持管理 3,389千円

【一般財源増加理由】		個人番号制度導入による簡易書留郵便の増、文書事務システム機能追加による増、書架移設委託による増							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	4,185	郵便業務、庁舎間メール便業務等賃金(2人分)3,666千円、2地域文書仕分配達(三郷、明科(6人分))519千円						
11	需用費	841	事務用品100千円、法規追録158千円、ファイリング消耗品355千円、外書庫修繕及び電気料228千円						
12	役務費	68,148	郵便料66,972千円、宅配料1,150千円、官報閲覧26千円						
13	委託料	9,629	3地域文書仕分1,032千円、行服審理員研修216千円、文書廃棄162千円、文書システム機能追加(保存期間延長登録)1,000千円、ファイリングシステム管理2,223千円、外書庫管理959千円、外書庫書架移設972千円、例規システム維持3,065千円						
14	使用料及び賃借料	324	判例体系利用						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ファイリングシステム事務	・全庁に導入したファイリングシステムを維持していくための管理業務を委託し、機能的で効率性の高い文書管理の定着と維持を図る。 ・文書事務システムに新たに文書の保存期間延長機能を追加させることにより、起案から文書廃棄に至るまでの文書管理を適切に行うことができる。	13	委託料	2,223
				11	需用費	355
					計	2,578
2					計	0

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010101100
課・係等	総務課 行政管理係

予算書ページ	79
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102310	行政改革			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	338	0	0	0	0	338
前年度	338	0	0	0	0	338
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・第3次安曇野市行財政改革大綱に掲げた実施計画の進捗管理。
 ・平成30年度に指定期間が終了する公の施設及び新規施設等の指定管理者の選定。
【効果】
 ・第3次大綱に掲げた実施計画の確実かつ着実な推進を図る。
 ・指定管理者の応募団体等の審査にあたり公正・公平な選定を行う事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・第3次行財政改革大綱の実施計画について、「行政改革推進委員会」へ進捗状況等の報告を行い意見を求める。
 ・「公の施設指定管理者審査委員会」に、募集要項及び応募団体等審査を依頼する。

【詳細事業内訳】
 行財政改革大綱・実施計画進行管理事業 84千円 公共施設管理方針調整事業 254千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	338	行政改革推進委員報酬84千円、指定管理審査委員報酬254千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	行財政改革大綱・実施計画進行管理事業	大綱の基本理念である「発展・持続可能なまちづくりに向けて」の実現を目指す。	01	報酬	84	
					計	84	
2	ソフト	公共施設管理方針調整事業	公の施設を適切に管理できる指定管理者の選定を行う。	01	報酬	254	
					計	254	

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010101200
		課・係等	総務課 法務コンプライアンス係

予算書ページ	91
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	11	諸費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102420	諸費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,321	0	0	0	0	2,321
前年度	2,621	0	0	0	0	2,621
増減額	△ 300	0	0	0	0	△ 300

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市の行政運営における法的問題に適正かつ迅速に対応するため、専門的見地から助言と指導を受ける。
 ・市が被告とされる係争事件の口頭弁論対応及び課題の早期解決を図るため訴訟代理人弁護士委託を行う。
【効果】
 ・法的な問題の早期解決を目指し、市民理解が得られる行政運営の実現が図れる。
 ・専門的見地から指導、助言を受けることで職員負担の軽減と的確な裁判対応が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・行政運営上の法的問題等を早期解決するため、顧問弁護士を選任し委託する。(3人)
 ・係争案件に係る訴訟代理人弁護士の、口頭弁論出廷に要する諸経費(日当・旅費等)
 ・弁護士の助言、相談を求めらる中で、書類の作成を委託した場合の費用

【詳細事業内訳】
 顧問弁護士及び訴訟等委託事務 2,321千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	1	弁護士成功報酬						
13	委託料	2,320	顧問弁護士委託及び書類作成2,160千円、係争案件に係る弁護士委託諸経費160千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010101200	
		課・係等	総務課 法務コンプライアンス係	

予算書ページ	93
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	12	情報公開費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102450	情報公開管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	222	0	0	0	100	122
前年度	222	0	0	0	100	122
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	コピー等サービス料	100							

【目的・効果】
【目的】
 ・市が保有している公文書を市民と共有し、情報公開制度の総合的な推進を図り、市民参加を促進する。
 ・市の実施機関が保有する個人情報の適正な取扱いを確保し、個人の権利利益の保護を図る。
【効果】
 ・公正で開かれた市政を確立する
 ・市政に対する市民の理解と信頼を深めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・情報公開事務の適切な運用を推進する。
 ・個人情報の適切な取扱いと保護を図る。
 ・情報公開請求及び個人情報開示請求に係る決定等に対する審査請求があった場合は「情報公開・個人情報保護審査会」へ諮問及び答申事務を行う。

【詳細事業内訳】
 情報公開・個人情報開示請求事務 222千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	101	委員報酬	6,700円×5人×3回					
08	報償費	45	答申書作成謝礼						
09	旅費	46	費用弁償(会議出席のため)						
11	需用費	30	目隠しテープ						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010101200
課・係等	総務課 法務コンプライアンス係

予算書ページ	95
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	13	行政不服審査費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102451	行政不服審査会管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	192	0	0	0	0	192
前年度	192	0	0	0	0	192
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

- ・行政による処分等に対し、市民がその処分等の見直しを求めて不服申立てした際の簡易迅速・公平な審査手続きを定める。
- ・市民の権利利益の救済を図り、市政の適正な運営を確保する。

【効果】

- ・公正で開かれた市政を確立する。
- ・市政に対する市民の理解と信頼を深めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・行政不服審査事務の適切な運用を推進する。
- ・行政による処分等に係る審査請求が生じた場合は、審理員の審理を経たうえで、行政不服審査会へ諮問及び答申事務を行う。

【詳細事業内訳】

行政不服審査事務 192千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	101	委員報酬6,700円×5人×3回				
08	報償費	45	答申書作成謝礼				
09	旅費	46	費用弁償(会議出席のため)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010107100
課・係等	契約検査課 検査係

予算書ページ	61
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102180	検査管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	183	0	0	0	0	183
前年度	179	0	0	0	0	179
増減額	4	0	0	0	0	4

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

・地方自治法に定める契約の履行の確保を図るため、請負金額130万円以上の建設工事、100万円以上の業務委託及び購入金額50万円以上の物品について、履行確認の検査を行う。
 ・より質の高い工事の施工を求めると共に、請負業者の育成を図るために、請負金額300万円以上の建設工事を対象に、工事成績評価を実施し優秀な案件については優良建設工事として表彰を行う。

【効果】

・契約の適正な履行確認を行うことで、健全な自治体経営の推進に寄与する。
 ・工事成績の評価を行うことにより、より質の高い施工を確保すると共に、請負業者の技術力向上に資する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・規定額以上の工事、業務委託及び物品購入について、契約書、仕様書その他関係書類に基づき、契約の履行確認の検査を行う。

【詳細事業内訳】

検査管理費 183千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	8	優良建設工事表彰記念品(賞状額、手提げ袋)				
09	旅費	54	出張実務研修会交通費				
11	需用費	40	優良建設工事表彰式用生花、参考図書代、事務用品費				
12	役務費	18	優良建設工事表彰用表彰状筆耕料				
19	負担金補助及び交付金	63	出張実務研修会参加費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	コード	010107200
	課・係等	契約検査課 契約係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	05	財産管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102260	契約管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,122	0	0	0	0	2,122
前年度	2,399	0	0	0	0	2,399
増減額	△ 277	0	0	0	0	△ 277

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・競争性、透明性、公平性が確保された契約事務を執行する。
【効果】
 ・予算の効率的執行を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・一般競争入札を基本とした入札契約の執行
 ・物品購入、業務委託等における一般競争入札の試行実施
 ・電子入札の対象業種拡大による積極的な活用

【詳細事業内訳】
 契約管理費 2,122千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	767	入札参加資格申請受付業務						
09	旅費	56	契約の実務研修						
11	需用費	38	事務用品ほか						
14	使用料及び賃借料	848	電子入札連携サーバ、電子入札システム						
19	負担金補助及び交付金	413	電子入札システム負担金、契約研修負担金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

予算書ページ	59
--------	----

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010102100
		課・係等	職員課 職員担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102030	職員管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	870,676	0	0	0	5,544	865,132
前年度	859,445	0	0	0	5,912	853,533
増減額	11,231	0	0	0	△ 368	11,599

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	職員健康診断共済組合補助	49	20	共済組合研修会助成	100				
20	市職員互助会非常勤職員社会保険等事業主負担金	260	20	職員駐車場利用料	5,040					
20	団体定期保険事務費外	95								
20	派遣職員給与費負担金	0								

【目的・効果】

【目的】

・市民と協働し市民に信頼される市政、市民志向の質の高いサービスを提供する市政の実現のため、スリムで柔軟な組織・人事制度の構築と職員管理を行う。

【効果】

・効率的かつ弾力的な人員配置を行うとともに、適正な定員管理を行う。
 ・人材育成システムの中心となる人事評価制度及び職員研修の実施により、職員の意識改革及び職務遂行能力の向上を図り、組織力の強化と拡充を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・人事評価制度に対する職員の意識の醸成、管理監督職の評価スキルの向上を図るために、職員研修を実施する。また、人事評価を人材育成、人事配置等人事管理の基礎として活用する。
- ・人事評価制度を根幹とした職員が自らキャリアを選択する複線型昇任制度の構築を行う。
- ・職場内研修(OJT)の充実と職務階層別の計画的な実施により、職員の意識開発・組織的人材育成の風土づくりなどを行う。
- ・再任用職員数と将来見込まれる定年延長を見据え、職員採用計画を策定する。
- ・職員が心身ともに健康で、安心して働ける職場にするため、健康診断・カウンセリング事業等を実施する。
- ・本庁舎の職員駐車場の管理(借地料、除雪等)
- ・若手職員部長表彰制度を創設し、主査以下職員の資質向上を図る。
- ・職員の労働時間の適正管理を行うため、入退庁記録参照システムの導入を図る。

【詳細事業内訳】

職員採用事業 1,884千円 人事評価による人事管理事業 3,213千円 職員勤務管理事業 3,262千円 職員駐車場管理運営事業 10,319千円 職員管理総務費851,998千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,080	産業医報酬(2人分)	12	役務費	367	職員採用広報活動(学生向け就職サイト利用料)安全運転管理者運転記録証明料、手話通訳等
03	職員手当等	132,420		13	委託料	21,661	入退庁記録システム構築、採用試験(1・2次試験、作文)職員研修、人事制度構築支援、職員駐車場管理等
04	共済費	239,014		14	使用料及び賃借料	9,841	職員駐車場借地料
07	賃金	10,296	正規職員不在時対応分(一般事務6人分)、職員課配置分(1人分)	18	備品購入費	130	タイムレコーダー購入
08	報償費	696	採用試験面接官謝礼、退職者記念品	19	負担金補助及び交付金	451,186	職員研修負担金、安全運転管理者協会負担金、退職手当負担金、職員互助会負担金、職員自主研修助成金
09	旅費	2,811	職員研修旅費、派遣職員日額旅費				
11	需用費	1,174	事務用品、職員作業服外(ヘルメット・作業服)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	職員管理総務費	人材育成基本方針に基づき、職員研修実施計画の策定し、職員のやる気と意欲の向上を目指し、職員研修を実施する。	19	負担金補助及び交付金	451,186
				04	共済費	239,014
				03	職員手当等	132,420
				13	委託料	13,161
					計	835,781
2	ソフト	○ 職員勤務管理事業	入退庁記録データを参照できるシステムを構築し、職員ごとの勤務実態を把握することにより適正な勤務管理に勤める。	13	委託料	3,132
				18	備品購入費	130
					計	3,262

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010103200
課・係等	危機管理課 消防防災係

予算書ページ	269
--------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	常備消防費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0109010	常備消防負担金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,008,302	0	0	0	6,345	1,001,957
前年度	1,007,632	0	0	0	4,265	1,003,367
増減額	670	0	0	0	2,080	△ 1,410

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	高速自動車道救急支弁金	6,345							

【目的・効果】
【目的】
 ・常備消防の松本広域消防局が行う消防・救急業務が、効率的かつ効果的に行われるよう必要経費(人件費・消防設備費・消防業務費・救急業務費)について、構成団体として応分の負担をする。
【効果】
 ・松本広域消防局が行う消防・救急業務が的確に実施されることで、市民の生命・財産を災害から守り、安全と安心が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・常備消防分負担金999,205千円を支出する(前年度より1,689千円の減)。
 ・県消防防災航空隊へ負担金として2,751千円を支出する(前年度より279千円の増)。
 ・『高速自動車国道における救急業務に関する覚書』に基づき、東日本高速道路株式会社及び中日本高速道路株式会社から安曇野市へ支払われた支弁金を、高速道路における救急業務を実施している松本広域連合へ負担金として6,345千円を支出する。

【詳細事業内訳】
 常備消防負担金事業 1,008,302千円

【一般財源増加理由】 県消防防災航空隊負担金、高速自動車道救急支弁金の増額による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	1,008,302	県消防防災航空隊負担金、松本広域連合消防費負担金、高速自動車道救急事業支弁金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み (4)

コード 010103200
課・係等 危機管理課 消防防災係

予算書ページ 269

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	02	非常備消防費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0109020	非常備消防費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	175,950	0	0	22,700	24,436	128,814
前年度	230,111	0	0	0	24,507	205,604
増減額	△ 54,161	0	0	22,700	△ 71	△ 76,790

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	消防団員退職報償金	18,987							
20	消防団員等公務災害補償給付金	5,220								
20	消防団員福祉共済	229								
21	防災基盤整備事業	22,700								

【目的・効果】

【目的】

- ・火災時における初期消火活動の充実、強化
- ・多数の人数を必要とする大火、林野火災、地震、風水害等の大規模災害時における消防対応力の強化

【効果】

- ・火災予防や防火意識の高揚や消防施設等の整備・充実など消防対応力の強化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・消防組織法第9条に定める消防団の運営
- ・消防団の任務を遂行する為の人員費、物件費等
- ・地域密着性、要員動員力及び即時対応力の面で優れた組織である消防団が、大規模災害時の対応や身近な災害への取り組み等、地域の安全と安心を確保するための活動を行う。
- ・消防団装備を充実強化するため、デジタル簡易携帯無線機50式を追加配備する。
- ・消防車両(ポンプ車1台、可搬ポンプ車1台)の更新

【詳細事業内訳】

非常備消防運営事業 131,674千円 分団等運営補助金交付事業 13,700千円 消防団車両更新事業 30,576千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	26,385	消防団員報酬、消防委員報酬	13	委託料	516	消防団幹部研修外運転代行委託、出初式分列行進警備委託
05	災害補償費	5,221	消防団員公務災害補償	14	使用料及び賃借料	938	ポンプ操法大会会場テント外借上料、デジタル簡易無線機電波利用料
07	賃金	1,755	臨時職員賃金	18	備品購入費	33,582	デジタル簡易無線機50式、ポンプ車1台、可搬ポンプ車1台
08	報償費	46,723	災害・訓練出勤出席謝礼、退団者退職報償金外	19	負担金補助及び交付金	42,787	消防団退職報償金掛金、防火用水通水負担金、消防団運営費補助金外
09	旅費	399	消防団幹部視察研修	27	公課費	1,187	車検時重量税
11	需用費	13,767	ポンプ用ホース、法被、活動服、車両、可搬ポンプ燃料、ポンプ等修繕外				
12	役務費	2,690	車検時検査費用外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	消防団車両更新事業	安曇野市消防団車両配備計画報告書(平成23年3月)に基づき、ポンプ車1台(第14分団第1部)、可搬ポンプ積載車1台(第12分団第1部)を更新することで消防団活動の向上が図られる。	18	備品購入費	30,315
				12	役務費	165
				27	公課費	52
				11	需用費	44
					計	30,576
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010103200
課・係等	危機管理課 消防防災係

予算書ページ	271
--------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	03	消防施設費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0109030	消防施設維持整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	62,932	0	0	0	0	62,932
前年度	83,172	2,693	0	0	0	80,479
増減額	△ 20,240	△ 2,693	0	0	0	△ 17,547

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・地域防災の中心的な役割を果たす消防団活動に対し、初動活動体制の拡充のため、施設等の環境整備を行う。
- ・火災発生時の水利確保のため、防火水槽・消火栓の整備を計画的に行う。

【効果】

- ・火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・消防用水利(防火水槽・消火栓)を整備し、消防団員による円滑な消火活動ができる環境を整えることにより、災害発生時に市民が被る被害の減少を図る。
- ・災害時に防災拠点となる消防団詰所を、消防団員の活動拠点として十分な機能を果たせるように整備する。
- ・第12分団第2部詰所の耐震化工事及び第6分団第1部詰所の耐震化に向けた実施設計を行う。

【詳細事業内訳】

消防施設維持整備事業 44,107千円 消防団詰所更新・統廃合事業 18,825千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	10,350	消火栓用ホース外購入、消防団詰所修繕・光熱水費				
12	役務費	50	消防団詰所浄化槽検査手数料、建築確認申請手数料				
13	委託料	4,275	消防団詰所浄化槽管理委託、消防資機材廃棄処分、耐震化工事実施設計委託				
14	使用料及び賃借料	386	消防施設用地(詰所・警鐘楼敷地外)借地料				
15	工事請負費	25,397	消防団詰所耐震改修1棟、無蓋防火水槽外撤去、火の見櫓撤去外				
18	備品購入費	794	消火栓用ホース格納箱				
19	負担金補助及び交付金	21,680	消火栓維持管理負担金、消火栓修繕・更新・移設10基、消火栓新設10基				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	消防施設維持整備事業	市の消防力維持には必要不可欠であり、地域の防災拠点となる消防団詰所の耐震化工事(第12分団第2部)を実施する。地域防災力の向上とともに消防団員の士気高揚につながる。	15	工事請負費	17,907
				13	委託料	918
					計	18,825
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010103200
課・係等	危機管理課 消防防災係

予算書ページ	271
--------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	03	消防施設費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0109040	防災無線維持管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	37,583	0	0	2,600	0	34,983
前年度	34,994	0	0	8,800	0	26,194
増減額	2,589	0	0	△ 6,200	0	8,789

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・防災行政無線を適切に管理し、災害時における県と市町村、防災関係機関との円滑な情報連絡を確保する。
【効果】
 ・防災行政無線により市民への注意喚起や避難行動を促すための情報をいち早く伝達し、災害による被害の軽減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・デジタル移動系(統制台、中継2局、移動352局)及びデジタル同報系(親局、遠隔制御装置、中継1局、子局236局、Jアラート受信装置)防災行政無線の適正な維持管理を行う。
 ・緊急割込み放送システムの適正な維持管理を行う。

【詳細事業内訳】
 防災行政無線維持整備事業 33,671千円 緊急割込み放送システム維持整備事業 3,912千円

【一般財源増加倍理由】 Jアラート新型受信機導入による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	11,510	防災行政無線施設電気料・設備修繕、移動系無線機バッテリー交換外				
12	役務費	5	防災行政無線資格取得手数料				
13	委託料	24,422	防災行政無線設備保守、緊急割込み放送システム保守、Jアラート新型受信機導入				
14	使用料及び賃借料	1,533	電波利用料、NTT回線使用料外				
19	負担金補助及び交付金	113	県防災行政無線設備保守管理経費外負担金、無線技士養成講習会負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	防災行政無線維持整備事業	国が推進するJアラートの新型受信機を導入することで、情報伝達手段の自動起動に要する時間の短縮や、特別警報等の伝達情報の充実が可能となる。	13	委託料	2,618
					計	2,618
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010103100
課・係等	危機管理課 危機管理担当

予算書ページ	273
--------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	04	災害対策費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0109050	災害対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	146,359	0	0	0	21,000	125,359
前年度	61,403	0	0	0	25,000	36,403
増減額	84,956	0	0	0	△ 4,000	88,956

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18	ふるさと寄附基金繰入金	11,000								

【目的・効果】
【目的】
 ○市民の生命、身体及び財産を侵害する事態に迅速かつ的確に対処するため、危機管理体制の充実・強化、防災意識の高揚、自主防災組織の充実・強化、備蓄体制の充実を図り、防災・減災に取り組むことを目的とする。
【効果】
 ○市民の生命、身体及び財産を災害などから守る災害に強いまちづくりの体制を確立することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○防災会議を開催し、地域防災計画の見直しと実施を推進する。
 ○市民への啓発の機会として市総合防災訓練及び防災講演会を開催し、災害に強い体制を確立するとともに、地盤と地震動に関する調査及び防災用品購入補助等を行い、防災意識の高揚を図る。
 ○自主防災組織の充実・強化を図るため、活性化事業の実施及び防災活動支援として資機材整備と防災訓練に補助金を交付する。
 ○事前登録制メール配信システムを運用し、災害情報等の伝達を迅速に行う。
 ○防災拠点施設であり、市民の憩いの場でもある防災広場の維持管理を行う。
 ○第3次長野県地震被害想定調査報告書を参考に定めた備蓄計画に基づき、食料、飲料水、日用品、資機材を計画的に備蓄する。
 ○大規模災害発生時に指定避難所を迅速に開設するため、指定避難所の開設に資する資機材を備蓄する防災倉庫を整備する。
 ○災害対策に資する設備等を整備する。
 ○地域防災マネージャーを雇用し、災害対応を強化する。

【詳細事業内訳】
 防災啓発事業 19,611千円 防災情報共有化事業 4,253千円 防災計画策定事業 105千円 防災広場管理事業 3,325千円 災害対策総務費 87,300千円
 防災倉庫設置事業 2,657千円 防災組織支援事業 6,384千円 災害対策事業 22,724千円

【一般財源増加理由】		節 節名称		金額		主な内容	
01	報酬	105	防災会議委員報酬	11	需用費	21,006	災害対策用備蓄品、防災倉庫改装、防災訓練特殊消耗品・食糧費、防災広場管理清掃用品・光熱水費、防災マップ増刷外
02	給料	43,506		12	役務費	58	防災訓練簡易水洗トイレ汲み取り料、自主防災アドバイザー保険料
03	職員手当等	23,171		13	委託料	10,411	地盤と地震動に関する調査委託、メール配信システム管理委託、防災広場清掃業務・芝生広場維持管理業務委託外
04	共済費	13,833		14	使用料及び賃借料	5,063	メール配信システム借上、防災訓練用機械等借上、防災・管理情報ネットワーク使用料、衛星電話回線使用料外
07	賃金	5,425	地域防災マネージャー賃金	15	工事請負費	411	防災訓練会場整備工事
08	報償費	30	防災講演会講師謝礼	18	備品購入費	6,680	災害救助用品、防災倉庫保管棚外
09	旅費	70	職員研修・担当者会議旅費、防災講演会講師旅費	19	負担金補助及び交付金	16,590	防災用品購入補助金、自主防災組織防災活動支援補助金、防災訓練等災害補償加入負担金外

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	防災組織支援事業	自主防災組織の活性化のため、地域自主防災会議を開催し、市及び組織同士の連携を強化するとともに、資機材整備と防災訓練に補助金を交付し、自主防災組織の充実・強化を図る。	19	負担金補助及び交付金	6,239
				18	備品購入費	143
				12	役務費	2
					計	6,384
2	ソフト	災害対策総務費	地域防災マネージャーとして、自衛隊において普通科連隊等の運用訓練幹部及び中隊長の勤務経験と災害派遣の実績のある退職自衛官を雇用し、災害対応を強化する。	07	賃金	5,425
					計	5,425

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010104100
		課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当

予算書ページ	89
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	10	人権啓発費		基本施策	人権の尊重
	事業	0102410	人権啓発費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,930	0	129	0	133	1,668
前年度	2,502	0	25	0	133	2,344
増減額	△ 572	0	104	0	0	△ 676

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	厚生住宅使用料	132							
13	厚生住宅使用料滞納繰越分	1								
15	地域人権啓発活性化事業委託金	129								

【目的・効果】
【目的】
 ・人権意識の高揚のため、学校・地域・職場などのあらゆる場や機会を通じて周知・啓発活動を推進し、いかなる差別も許さない社会の実現を目指す。
 ・性別や年齢、国籍に関わらず、誰もが地域の一員としてその役割を果たしていくことができる多文化共生の地域づくりを進める。
【効果】
 ・人権に対する啓発・広報活動を進めることで人権に対する市民の意識の高揚を図り、正しい理解を促進することができる。
 ・性別や年齢、国籍に関わらず、互いを良き隣人として認め合い、共に助け合う意識の醸成を進めることができる。
 ・人権擁護団体の育成を図ることにより、支援・連携しながら啓発や相談活動を促進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地域イベント等、市民が多く参加する場において、関連団体と協働して人権啓発活動を行う。
 ・成人式において新成人に対し啓発を行い、人権意識の高揚を図る。
 ・法務局、人権擁護委員による「人権特設相談所」の開設を支援し、人権に関する市民相談の機会を設ける。
 ・国籍等による文化や習慣の違いに対する理解を深めるため、多文化共生を推進する講座等を開催する。
 ・法務局、保護司会と共に「社会を明るくする運動」に参加・支援する。
 ・社会教育担当と連携し「企業人権啓発事業」を推進する。
 ・警察や支援団体が実施する「犯罪被害者支援事業」に参加・協力する。
 ・小学校において「人権の花運動」を実施し、思いやりの心と人権への理解を深める活動を進める。

【詳細事業内訳】
 人権啓発費 1,930千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	53	人権擁護審議会委員報酬				
08	報償費	10	中学生人権作文コンテスト受賞者記念品				
09	旅費	29	人権施策関連集会参加職員旅費				
11	需用費	424	人権啓発用品、人権の花運動用品、人権特設相談所 賄い				
14	使用料及び賃借料	2	駐車場使用料				
16	原材料費	13	人権の花運動花苗				
19	負担金補助及び交付金	1,399	人権擁護委員・犯罪被害者支援負担金、同和対策推進団体・保護司会補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	人権啓発事業	地域イベント等における関連団体との啓発や、新成人への啓発、また、小学校を対象とした「人権の花運動」等、様々な機会を通じて人権意識の高揚を図り、一人ひとりが平等な立場で個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を図る。	11	需用費	342	
				16	原材料費	13	
					計	355	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010104100
課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当

予算書ページ	135
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	04	男女共同施策費		基本施策	人権の尊重
	事業	0103220	男女共同推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	989	0	0	0	0	989
前年度	2,555	0	0	0	0	2,555
増減額	△ 1,566	0	0	0	0	△ 1,566

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・男女が互いにその人権を尊重し責任を分かち合い、性別によって制約されることがなく、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指す。
【効果】
 ・国・県・市の施策を事業者や推進関係団体と連携・協働することで、市民の男女共同参画の意識を高めることができる。
 ・女性の社会活動を推進するため、自らの意識改革に向けた啓発を行うとともに、学習機会を提供する。
 ・第3次男女共同参画計画に沿い、重点的に取り組む課題を明確にして男女共同参画社会の実現を図っていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・第3次男女共同参画計画の実施状況審議のため、男女共同参画推進審議会を開催する。
 ・男女共同参画推進関係者による「男女共同参画フォーラム」を開催する。
 ・男女共同参画推進団体・男女共同参画コミュニケーターと連携して「男女共同参画講座」を開催し、推進団体会員や市民に学習の機会を提供する。
 ・男女共同参画広報紙「湧愛」の発行により、地域や事業者への啓発を進めていく。
 ・企業人権啓発事業とタイアップし、事業者に男女共同参画の推進を啓発する。
 ・各種研修会や国・県主催の事業に参加し、男女共同参画推進のリーダー的人材の育成を図る。

【詳細事業内訳】
 男女共同推進費 989千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	200	男女共同参画推進審議会委員報酬			19	負担金補助及び交付金	557	研修会負担金、男女共同参画推進団体補助金		
08	報償費	25	フォーラム・講座託児サービス								
09	旅費	40	男女共同参画推進団体視察研修、大会参加職員旅費								
11	需用費	35	事務用品、講演会用品								
12	役務費	12	託児サービス、コミュニケーター保険料								
13	委託料	111	バス運転委託料								
14	使用料及び賃借料	9	駐車場使用料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	男女共同推進費	男女が共にそれぞれの役割を担いながら、自らの意志で決定し、生涯に亘って参画していける社会を目指し、男女共同参画推進会議、コミュニケーターと共催により、フォーラム、講座を開催する。	8	報償費	25
				11	需用費	11
				12	役務費	9
					計	45
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010104100
課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当

予算書ページ	135
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	社会福祉費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	05	人権同和推進費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0103225	住宅新築資金貸付事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	54	0	0	0	0	54
前年度	44	0	0	0	0	44
増減額	10	0	0	0	0	10

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・住宅新築資金等貸付事業の債権管理を適正に行う。
【効果】
 ・債権回収を進めていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入通知書、催告書等を発送する。
 ・個別ファイルにより、返済経過、折衝記録の管理を行う。

【詳細事業内訳】
 住宅新築資金貸付事業 54千円

【一般財源増加理由】 債務者相続人との折衝に係る職員旅費の増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	37	研修会等職員旅費				
11	需用費	3	参考図書				
12	役務費	1	登記手数料				
19	負担金補助及び交付金	13	研修会参加負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

政策部

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010201100
		課・係等	政策経営課 企画担当

予算書ページ	79
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102320	企画総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,712	150	16	0	200	21,346
前年度	30,137	0	16	0	0	30,121
増減額	△ 8,425	150	0	0	200	△ 8,775

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	新型交付金	150							
15	土地利用規制対策交付金	16								
16	おためし住宅貸付料	200								

【目的・効果】
【目的】
 1 移住定住⇒移住・定住促進施策の充実を図る。
 2 地方創生⇒安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた事業の確実な実施により、総合戦略の基本目標を達成することで人口ビジョンに掲げた人口減少の抑制を図る。
【効果】
 1 移住定住⇒移住・定住促進施策の充実を図ることで人口増加が見込まれる。
 2 地方創生⇒本市の人口減少を抑制し、地域の活力を維持するとともに持続可能な安曇野市を実現する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【移住定住】
 ① 首都圏等におけるセミナーの開催(市主催2回・県開催2回・松本、塩尻、安曇野三市合同1回)、現地ツアーの開催、おためし住宅の貸付、空き家バンクによる物件情報の提供等について、安曇野暮らし支援協議会が主体となって行う。なお、地域おこし協力隊員が主な事務を担う。
【地方創生】
 ① まち・ひと・しごと創生総合戦略事業の進捗状況を把握し、最終目標(平成31年度末)達成に向けて取組みの改善を図る。
 ② 国の地方創生推進交付金事業等の構築を目指す。
 ③ 地方創生推進交付金事業「松本広域圏しごと創生事業」では連携する3市(松本・塩尻・安曇野)が合同で「移住定住セミナー」や「大学生を対象としたJターンセミナー」等を実施し、都市部からの移住者や大卒就職時の定住確保を目指す。(政策部・商工観光部連携)
 ④ 地方創生推進交付金事業「安曇野地域(安曇野市・池田町・松川村)農産物/特産品輸出と外国人旅行者誘致事業」では、安曇野共通ラベルデザインを活用した日本酒のアジア諸国への輸出による酒米生産振興やインバウンド確保を目指す。(政策部・商工観光部・農林部連携)

【詳細事業内訳】
 広域行政推進事業 16,374千円 松本山雅ホームタウン事業 187千円 地方創生事業 368千円 移住定住促進事業 4,593千円
 企画総務費 190千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,964	地域おこし協力隊員			19	負担金補助及び交付金	16,619	・移住セミナー等負担金・松本、塩尻、安曇野三市合同新卒Jターン定住化促進事業負担金・松本広域圏連合
08	報償費	673	・安曇野暮らし支援協議会委員・移住セミナー協力員等・松本山雅ホームタウン関係・総合戦略有識者会議						
09	旅費	559	・移住セミナー関係・地域おこし協力隊交流会外						
11	需用費	465	・移住セミナー関係・おためし住宅関係・事務用品外						
12	役務費	20	・移住体験ツアー保険料						
13	委託料	195	・移住セミナーバス運行・現地体験ツアーバス運行・市勢要覧修正						
14	使用料及び賃借料	217	・移住セミナー駐車場・安曇野暮らし支援協議会ホームページサーバー等使用料						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	移住定住促進事業	首都圏等における移住セミナーや現地体験ツアーの開催、おためし住宅の貸付、空き家バンクによる物件情報等を提供することにより移住定住促進を図る。事務等は地域おこし協力隊員が行う。	07	賃金	2,964
				09	旅費	405
				11	需用費	297
					負担金補助及び交付金 外	927
					計	4,593
2	ソフト	地方創生事業	総合戦略事業の進捗管理を行うことで総合戦略事業の確実な実施を図る。	08	報償費	216
				09	旅費	139
				11	需用費	13
					計	368

予算書ページ	81
--------	----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010201100
		課・係等	政策経営課 企画担当 (政策経営課 交通政策係)

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	06	企画費		基本施策	公共交通の充実
	事業	0102330	公共交通事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	82,612	0	167	0	65,000	17,445
前年度	93,450	0	1,809	0	20,000	71,641
増減額	△ 10,838	0	△ 1,642	0	45,000	△ 54,196

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域交通ベストミックス構築事業	167							
17	ふるさと寄附金	30,000								
18	ふるさと寄附基金繰入金	35,000								

【目的・効果】
【目的】
 1 市民の移動手段の確保・維持
【効果】
 1 市民生活の利便性や質的向上が図れる。
 2 地域間交流の活性化を促し、市域全体の活性化につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 1 地域公共交通網形成計画(H30年5月策定)の方針に沿った事業を展開する。
 2 「あづみん」の運行見直しを進め、平成30年10月より新たな運行を開始する。
 3 JR篠ノ井線・大系線等の利用促進に取り組むと共に、篠ノ井線協議会においてパークアンドライド駐車場の設置の研究を行う。

【詳細事業内訳】
 公共交通連携事業 332千円 公共交通事業 82,280千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
14	使用料及び賃借料	2,856	・田沢駅構内使用料・デマンド交通運行管理システム賃借料				
18	備品購入費	335	デマンド車両搭載用ドライブレコーダー				
19	負担金補助及び交付金	79,421	・安曇野市地域公共交通協議会・運行車両購入費補助・中央東線高速化促進期成同盟会外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公共交通事業	地域公共交通網形成計画の方針に沿った事業を展開する。また、「あづみん」の運行見直しを進め、H30年10月より新たな運行を開始することで利用者の増加を目指す。	14	使用料及び賃借料	2,856
				18	備品購入費	335
				19	負担金補助及び交付金	79,089
					計	82,280
2	ソフト	公共交通連携事業	JR篠ノ井線・大系線の利用促進に取り組むと共に、篠ノ井線松本地域活性化協議会においてパークアンドライド駐車場の設置の研究を行う。	19	負担金補助及び交付金	332
					計	332

予算書ページ	91
--------	----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010201200
		課・係等	政策経営課 都市交流係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	総務管理費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102430	国内友好交流事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	8,815	国支出金	県支出金	市債	その他	7,243
前年度	6,935	0	0	0	415	6,520
増減額	1,880	0	0	0	1,157	723

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	交流事業参加負担金	1,572							

【目的・効果】

【目的】

1 友好都市との連携・交流を深め、互いの特性を生かし、市民や企業、地域などの主体による多様な交流を展開を図り、文化交流と人材育成を推進する。

【効果】

友好都市との交流事業をととして、

- 安曇野市の特産品ならびに安曇野市を発信することにより、各都市住民への周知を図り、市内観光事業へつなげることができる。
- 青少年同士の交流をととして、息の長い人的交流が期待できるとともに、様々な経験をとおしての人材育成に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

友好提携を結んでいる各都市へのイベントへ29年度同様参加する。さらに、

- 武蔵野市…隔年で実施している「武蔵野市への芸術文化の旅」の開催年度に当たるため、武蔵野市との連絡調整の上、訪問を実施する。
- 江戸川区…江戸川区花火大会観覧事業参加者を募集の上実施する。また、江戸川区穂高荘の担当者調整の上、同施設利用者と安曇野市民の交流事業を企画・実施する。
- 福岡市東区…例年実施している青少年交流事業で東区が来訪する年度となるため、参加者を募集の上実施する。また、博多どんたく港まつりへの市民参加を募り市民の交流事業として実施する。
- 三郷市・三郷町…三郷町で開催される、三郷・安曇野(みさと・さんごう・あづみの)友好都市交流推進協議会に参加する。また、同協議会の「住民ふれあい事業」について、実施方法を検討のうえ実施する。
- 真鶴町…例年実施している青少年交流事業で真鶴町が来訪する年度となるため、参加者を募集の上実施する。
- 東金市…東金市の「あづみの探検隊」の受け入れと、東金市への青少年交流事業を実施する。

【詳細事業内訳】

国内友好交流事業 8,815千円

【一般財源増加理由】 青少年交流事業の福岡市東区と真鶴町については、受け入れ年度となり、青少年交流時施設使用料等が増加したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	69	青少年交流事業における看護師賃金	19	負担金補助及び交付金	1,090	友好都市協議会負担金350千円、江戸川区民まつり負担金70千円、民間交流補助金670千円
08	報償費	830	交流事業レクリエーション指導員謝等42千円、友好都市への記念品・土産代488千円、江戸川区民まつりステージ参加者謝礼300千円				
09	旅費	1,148	イベント参加普通旅費841千円、費用弁償307千円				
11	需用費	894	交流事業に係る消耗品費114千円、青少年交流事業食糧費780千円				
12	役務費	160	イベント出展時使用法被クリーニング代20千円、イベント出展時参加者傷害保険140千円				
13	委託料	2,428	友好都市交流時バス運転委託料502千円、東区交流事業業務委託1,836千円、記念植樹式業務委託料90千円				
14	使用料及び賃借料	2,196	友好都市イベント参加時の駐車料金90千円、青少年交流時施設使用料2,096千円、江戸川区民まつりテント使用料10千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	福岡市東区への住民交流事業	福岡市の博多どんたく港まつりに合わせて、住民交流事業を実施し、東区演舞台などに参加する中で、友好交流推進協定締結都市である福岡市東区との交流と市のピーアールを図る。	13	委託料	1,836
					計	1,836
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	010201200
課・係等	政策経営課 都市交流係

予算書ページ	93
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	総務管理費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102440	国際友好交流事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,039	0	0	0	1,039	0
前年度	2,971	0	0	0	948	2,023
増減額	△ 1,932	0	0	0	91	△ 2,023

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16	国際交流基金利子	45								
18	国際交流基金繰入金	979								

【目的・効果】
【目的】
 1 広い視野と国際感覚を身に付けた人材を育成する。
【効果】
 国際姉妹都市であるオーストリア共和国クラムザツハとの交流事業をととして
 1 安曇野市及び日本文化を広く発信できる。
 2 海外の文化と交流した市民の活動により、広く市民に姉妹都市の文化を伝えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市内で活動している国際交流団体の上部団体への負担金補助や交流団体の事業に対する補助金交付をととして、民間の国際交流事業の促進を図り、もって国際化を担う市民の育成に努める。

【詳細事業内訳】
 国際友好交流事業 1,039千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	11	クラムザツハ首長外 クリスマスカード11千円				
19	負担金補助及び交付金	1,012	県日中賛助金10千円、クラムザツハ友好会200千円、日中友好協会310千円、安曇野市国際交流協会492千円				
25	積立金	16	青少年交流事業支援金利子16千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	国際友好交流事業	市内で活動している国際交流団体への支援として、実施事業に対して補助金を交付することにより、各団体の主体的な活動を促し、国際交流の推進を図ることができる。	11	需用費	11	
				19	負担金補助及び交付金	1,012	
				25	積立金	16	
					計	1,039	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010201200
		課・係等	政策経営課 都市交流係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	総務管理費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102442	ホストタウン推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
3,966	0	3,966	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
3,966	0	3,966	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- 2020年東京オリンピック・パラリンピックオーストリアカヌーチームのホストタウンとして、オーストリア並びに海外姉妹都市のクラムザッハとの人的・経済的・文化的な相互交流を通じて、青少年教育のグローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等を図る。
- オーストリアカヌー連盟からオリンピック等^{*1}を招聘し、オリンピック等との交流を通じて、カヌー競技やスポーツの素晴らしさを市民等へ伝える。

【効果】

- オーストリアの選手や同行スタッフ等関係者との交流を通じ、双方の歴史や文化を知るとともに、本市の魅力を肌で体験してもらうことで本市の情報を世界に向け拡散することで、訪日外国人の誘客や農産物の海外輸出等の事業の推進に資する。

注釈 *1 ここで言う「オリンピック等」とは、オリンピック選手又は同等の技術を有する者とする。(以下同じ)

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 安曇野リバープレーヤーズクラブ、クラムザッハ友好会をはじめとする各種団体や市民等の参加によるホストタウン支援組織を構築し、全市を挙げて2020年東京オリンピック・パラリンピックを応援する機運の醸成を図る。
- ホストタウン支援組織や市民参加によるワークショップを通じて、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた事業計画を練り上げ、全市を挙げてホストタウン事業の推進を図ることで、市民の一体感の醸成を図る。
- 海外姉妹都市のクラムザッハを含むオーストリアの歴史・文化等を紹介するコーナーを各支所等に設置するとともに、学校給食等にオーストリア料理を提供することで、市民にオーストリアをより一層身近に感じていただく。

【詳細事業内訳】

ホストタウン推進事業 3,966千円

【一般財源増加理由】ホストタウン事業の推進を図る目的として、安曇野リバープレーヤーズクラブによる各種大会イベントを実施するため補助金等が増加した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	444	オーストリアカヌーオリンピック等受け入れ土産代76千円、ホストタウン推進啓発用品210千円、ホストタウン推進事業検討会議出席謝礼158千円				
09	旅費	368	オーストリアカヌーオリンピック等送迎及び随行時旅費368千円				
11	需用費	216	オーストリアカヌーオリンピック等受け入れ時消耗品216千円				
12	役務費	60	オーストリアカヌーオリンピック等受け入れ時保険料60千円				
13	委託料	2,208	オーストリアカヌーオリンピック等受け入れ時送迎車両運転委託料208千円、招聘業務包括契約2,000千円				
14	使用料及び賃借料	70	オーストリアカヌーオリンピック等受け入れ時駐車場代70千円				
19	負担金補助及び交付金	600	安曇野リバープレーヤーズクラブ補助金600千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	ホストタウン推進事業	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、オーストリアカヌー連盟からオリンピック等の受け入れを行う。この受け入れ事業をとおり、オリンピックへの市民意識を高め、国際交流へ多くの市民が係わることができる。	08	報償費	444
					09	旅費	368
					11	需用費	216
						その他	2,938
						計	3,966
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010202100
		課・係等	秘書広報課 秘書広報担当

予算書ページ	61
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102060	秘書・渉外事務			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,953	0	0	0	300	5,653
前年度	6,219	0	0	0	300	5,919
増減額	△ 266	0	0	0	0	△ 266

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	新年祝賀会会費	300							

【目的・効果】
【目的】
 ○市長及び副市長の交際、並びに渉外に関する事務事業を適正に執行し、開かれた市政を進める。
【効果】
 ○交際費を中心に、透明性ある行政の推進が図れる。
 ○市功労表彰式及び新年祝賀会の開催により、市政の進展とともに一体感の熟成が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○市長日程、交際費を市ホームページで公開し、開かれた市政を進める。
 ○市功労表彰式を開催し、地方自治の振興に多大な功績を残された功労者に対して感謝と敬意を表する。
 ○新年祝賀会を開催し、年頭のあいさつを交わすとともに、新年の抱負を語り合い、市のより一層の発展を目指す。
 ○県内19市他との連携により、県・北信越市長会を通じて県・国等に対して政策要望を行う。

【詳細事業内訳】
 秘書・渉外事務5,953千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	318	市功労表彰記念品代他						
09	旅費	1,044	市長・副市長・職員旅費						
10	交際費	1,016	市長・副市長交際費、電報料						
11	需用費	841	事務消耗品費、新年祝賀会会食費、名刺印刷代他						
12	役務費	238	表彰状等筆耕料他						
14	使用料及び賃借料	709	新年祝賀会等会場使用料、市長・副市長タクシー料金						
19	負担金補助及び交付金	1,787	全国市長会他負担金、市長会議出席負担金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
					計	0
					計	0

予算書ページ	73
--------	----

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010202100
		課・係等	秘書広報課 秘書広報担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	経営的視点にたった行財政運営の推進
	項	01	総務管理費		基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
	目	02	文書広報費		基本施策	開かれた市政の推進
	事業	0102210	広報費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	54,098	0	0	0	3,130	50,968
前年度	55,003	0	0	0	3,130	51,873
増減額	△ 905	0	0	0	0	△ 905

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	広告料収入	3,130							

【目的・効果】
【目的】
 ○ 広報紙やホームページ、コミュニティFMなどの広報媒体を活用し、市民に迅速かつ分かりやすい市政情報を提供する。
【効果】
 ○ 市の施策、事業等に関わる各種情報を市民に知ってもらうことができる。
 ○ 市政への関心、参加意識が高まる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【広報制度の充実】
 ○ 「広報あづみの」を発行し、全世帯を対象に配布する。
 ・ 発行部数 37,300部 ・ 発行日(原則)「お知らせ版」…毎月第1水曜日、「通常版」…毎月第3水曜日 ・ 総発行数:年21回
 ・ 各世帯への配布は市内新聞販売店を通じて、新聞折り込みとポストイングにより、発行日を含めて5日間で配布する。
 ○ 市ホームページを運営し、市政情報を広く発信する。
 ・ お問い合わせフォーム等から市民の意見を集め、広聴の充実にも努める。
【情報提供の充実】
 ○ コミュニティFMを活用し、広く市政情報を発信する。(音声による情報提供の充実)
【自主財源の確保】
 ○ 広報紙とホームページに有料広告を掲載し、自主財源の確保に努める。

【詳細事業内訳】
 広報広聴総務費 730千円 広報ラジオ番組放送事業 9,024千円 広報発行事業 37,573千円 インターネット広報事業 6,771千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	87			日本広報協会主催の各種研修会参加旅費				
11	需用費	16,844			広報あづみの印刷費ほか				
12	役務費	90			市政懇談会手話通訳料				
13	委託料	32,820			広報紙配布、ホームページシステム保守、FM放送ほか				
14	使用料及び賃借料	3,909			ホームページシステムリース料				
18	備品購入費	242			ホームページ編集ソフト、写真保存用ハードディスクほか				
19	負担金補助及び交付金	106			日本広報協会会費、研修会参加負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	広報あづみの発行・配布	市民ニーズを反映した広報紙の編集に努め、市政情報発信ツールとしての精度を高める。また、各課広報委員の積極的な活用により、情報収集・発信力の向上に繋げる。	11	需用費	16,745
				13	委託料	20,828
					計	37,573
2	ソフト	インターネットやコミュニティFMによる市政情報の発信	ホームページやツイッターによる情報発信と共に、音声による広報媒体として、コミュニティFMの積極的な活用を図る。	13	委託料	11,886
				14	使用料及び賃借料	3,909
					計	15,795

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010203100
課・係等	情報統計課 情報政策係

予算書ページ	85
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	07	情報施策費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102370	電算管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	272,568	0	0	0	858	271,710
前年度	294,702	1,313	0	0	858	292,531
増減額	△ 22,134	△ 1,313	0	0	0	△ 20,821

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	財務会計処理実費徴収	858							

【目的・効果】
【事業内容】
 行政情報システムの適正な管理・運用を行い、市民に対する行政サービスの継続性を確保する。
【効果】
 情報システムのセキュリティを確保することにより、市民から預かっている個人情報データを不正漏えいから守る。
 行政情報システムを適正に管理・運用することにより各種証明書発行、窓口相談支援等市民サービスを向上させ、継続性を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 情報システムや庁内パソコン・プリンタの保守及びトナーの在庫を一括管理し、老朽化した機器の入れ替えを行う。
 情報システムの動作状況の監視、職員のシステム操作支援を行う。
 情報システムの障害発生時、障害現象・範囲等の切り分け、保守委託会社との連絡・調整、庁内への周知等を行う。
 情報システムのライセンス、バージョン、システム更新情報を適切に管理しセキュリティ対策を行う。
 マイナンバー運用開始に伴うマイナンバー取扱業務に関する研修の強化を行う。

【詳細事業内訳】
 電算システム管理運営事業 272,568千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
09	旅費	149	研修等出張旅費		19	負担金補助及び交付金	5,158	番号制度中間サーバ及び情報セキュリティクラウドの利用負担金		
11	需用費	10,685	プリンタトナー等購入費							
12	役務費	19,128	出先ネットワーク等通信料							
13	委託料	47,170	電算システム保守委託料							
14	使用料及び賃借料	190,078	電算システム機器リース料及びシステム使用料							
15	工事請負費	100	サーバールーム等の電源工事費							
18	備品購入費	100	リース物件一部買取による備品購入							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010203100
課・係等	情報統計課 情報政策係

予算書ページ	87
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	07	情報施策費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102380	地域・行政情報化推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,615	0	0	0	0	5,615
前年度	4,192	0	0	0	0	4,192
増減額	1,423	0	0	0	0	1,423

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【事業内容】
 情報通信技術を活用し、市民生活の利便性向上および行政事務の効率化を図る。
【効果】
 電子申請システム、公衆無線LANの整備などにより、市民の利便性向上、安心・安全な暮らしに寄与する。
 LGWAN(総合行政ネットワーク)安定稼働のため維持管理を行うことで、各省庁のほか他の行政機関等との安全な通信を確保し、迅速・正確な行政事務を行う事ができる。
 情報化計画の進捗を管理しつつ、社会情勢の変化に対応した見直し等を行いながら、行政事務の効率化を推進することで、安曇野市民がより便利に、より充実した生活ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市民サービスとして、博物館施設3施設、体育施設2施設に公衆無線LANの新規設置を行うとともに、既存11施設の維持管理を行う。
 LGWAN(総合行政ネットワーク)機器の管理・運用を行う。
 ながの電子申請の利用促進、庁内各部署からの手続き追加要望に伴う設定情報の追加・修正を行う。
 行政事務の効率化及のため、道路・公園の通報アプリ(FixMyStreet Japan)及び議事録作成・障がい者支援システム(UDトーク)の運用管理を継続して行う。

【詳細事業内訳】
 ながの電子申請・届出システム有効利用推進事業 688千円 地域・行政情報化推進事業 4,927千円

【一般財源増加理由】 公衆無線LANを5カ所増設するための経費及び、LGWAN機器の更新に合わせて耐障害性を高めるため接続回線及びネットワーク機器の冗長化を行うことから、機器賃貸借料が増加したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	役務費	925	ライブカメラ及び公衆無線LAN通信費				
13	委託料	1,041	LGWAN機器保守料及び公衆無線LAN設置委託料				
14	使用料及び賃借料	1,826	LGWAN機器リース料及び道路・公園通報アプリ等使用料				
19	負担金補助及び交付金	1,823	県WAN(IBN)負担金及び県電子申請システム負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ハード	地域・行政情報化推進事業	【事業内容】 情報通信技術を活用し、市民生活の利便性向上および行政事務の効率化を図る。 【効果】 公衆無線LANの整備箇所を博物館施設3施設及び指定避難所となっている体育施設2施設増加させ、平常時のほか災害発生時などにおける市民や観光客の情報収集・発信を可能とする事で安心して暮らせるまちづくりに寄与する。	12	役務費	158		
				13	委託料	491		
					計	649		
2					計	0		

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010203200
課・係等	情報統計課 統計係

予算書ページ	109
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	統計調査総務費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102570	統計調査総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	62	0	36	0	0	26
前年度	65	0	21	0	0	44
増減額	△ 3	0	15	0	0	△ 18

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・各種施策に役立てることを目的として、安曇野市の統計データの作成及びホームページへの掲載等を行います。
 ・国が行う統計調査の実施にあたり県からの委託により、労働力調査、毎月勤労統計調査等の調査員の推薦を行い、調査を円滑に実施するために登録調査員の確保を行います。
【効果】
 ・市の人口・経済など市勢の現況やその推移を明らかにした統計資料を公表し、これらの調査結果は、行政等の各種計画策定に活用されています。
 また、調査員の確保対策事業を行うことにより、円滑・正確な統計調査を推進します。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ・安曇野市の統計データの作成及びホームページへの掲載を行います。
 ・統計登録調査員の確保、調査員・指導員台帳の作成整備を行います。

【詳細事業内訳】
 統計調査総務費 62千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	36	統計調査関係資料の作成等事務用品				
12	役務費	24	統計調査諸連絡郵便料				
14	使用料及び賃借料	2	コピー使用料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102580	学校基本調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20	0	18	0	0	2
前年度	20	0	18	0	0	2
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	学校基本調査委託金	18							

【目的・効果】
【目的】
 学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に行われます。
【効果】
 学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料として活用されます。また、地方交付税の算定の基礎としても利用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 本調査の実施にあたって、調査関係資料の配布、調査票内容の点検等を行います。
【調査の概要】
 ・所管省庁 文部科学省
 ・調査周期 毎年
 ・調査対象 市内の小学校(10校)、中学校(7校)、幼稚園(1園)、認定こども園(1園)と安曇野市教育委員会
 ・調査方法 教育委員会を通じて協力依頼及び調査票配布(調査はすべてインターネット調査による。)
 ・調査基準日 平成30年5月1日現在

【詳細事業内訳】
 学校基本調査費 20千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	20	統計調査関係の事務用品				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010203200
課・係等	情報統計課 統計係

予算書ページ	109
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102590	工業統計調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	631	0	621	0	0	10
前年度	614	0	604	0	0	10
増減額	17	0	17	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	工業統計調査委託金	621							

【目的・効果】
【目的】
 製造業を営む経営の態様、製品出荷額等について調査を実施し、工業の実態を明らかにすることを目的に行われます。
【効果】
 調査結果は、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となります。また、国の経済統計体系の根幹を成し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータが提供され活用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 本調査の実施にあたって調査員・指導員の推薦、用品購入、事務打合せ会の開催、調査票等の審査を行い県へ提出します。
【調査の概要】 指導員1人 調査員21人予定
 ・所管省庁:経済産業省 ・調査周期:毎年 ・調査対象:製造業の経営を行う全ての個人、組織、法人
 ・調査方法
 ①調査員調査方式 調査員による調査客体への調査票の配布、回収 経済産業省→都道府県→市町村→調査員→調査客体
 ②本社等一括調査方式 経済産業省→調査客体
 ③国直送調査方式 経済産業省→調査客体
 ・配布方法 調査員、郵送、オンライン
 ・収集方法 調査員、郵送、オンライン
 ・調査基準日 平成30年6月1日現在

【詳細事業内訳】
 工業統計調査費 631千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	550	統計調査 指導員1人、調査員21人 報酬								
07	賃金	16	調査票等整理								
09	旅費	26	統計調査 指導員1人、調査員21人 交通費								
11	需用費	17	調査事務用品								
12	役務費	20	統計調査 指導員、調査員 通信費								
14	使用料及び賃借料	2	コピー使用料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010203200
課・係等	情報統計課 統計係

予算書ページ	111
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102600	農林業センサス			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	41	0	40	0	0	1
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	41	0	40	0	0	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	農林業センサス委託金	40							

【目的・効果】
農林業センサス実施にあたっての円滑な調査実施を図るための事前事務費

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
我が国の農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、農林行政の企画・立案等のための基礎資料を作成、提供することを目的に実施されます。
・所管省庁:農林水産省
・調査周期:5年周期
・調査対象:農林業経営を行う個人、組織、法人
・調査方法:統計調査員が調査客体への調査票配布、回収を実施
・主な調査事項:経営状態、経営面積、規模や経営の特徴等
・調査期日:平成32年2月1日(2020年2月1日)
指導員18人、調査員347人 予定

【詳細事業内訳】
農林業センサス 41千円

【一般財源増加理由】 5年毎の周期調査のため当該年度の一般財源が前年度を上回っています。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	20	調査用品、事務用品				
12	役務費	21	指導員・調査員諸連絡郵便料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010203200
課・係等	情報統計課 統計係

予算書ページ	111
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102720	経済センサス			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	41	0	40	0	0	1
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	41	0	40	0	0	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	経済センサス委託金	40							

【目的・効果】
平成31年経済センサス—基礎調査実施にあたっての円滑な調査実施を図るための事前事務費

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
我が国全ての事業所及び企業を対象として行われる国の最も基本的な統計調査の一つです。この調査は、事業所及び企業の活動の状況を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにすることを目的としています。
・所管省庁:総務省・経済産業省
・調査周期:5年周期
・調査方法:統計調査員の調査客体への調査票配布、回収を実施
・調査期日:国において、現行の方式(全国の一律の期日調査)を見直して地域毎に期日を設け、一年をかけて調査する方法(ローリング方式)の新たな整備を進めている。

【詳細事業内訳】
経済センサス 41千円

【一般財源増加理由】 5年ごとの周期調査のため当該年度の一般財源が前年度を上回っています。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	20	調査用品、事務用品				
12	役務費	21	指導員・調査員諸連絡郵便料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010203200
課・係等	情報統計課 統計係

予算書ページ	111
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102750	住宅・土地統計調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,686	0	6,676	0	0	10
前年度	682	0	671	0	0	11
増減額	6,004	0	6,005	0	0	△1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 我が国における住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びにこれらに居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることにより、住生活関連諸施策の資料を得ることを目的としています。
【効果】
 国や地方公共団体における行政施策では、住生活基本法に基づく「住生活基本計画」の策定を始めとする住宅政策、住宅金融政策などの住生活関係諸施策の策定やその達成度の把握などのための情報として活用されます。
 また、住宅・土地に関する分析、学術研究などの分野においても、各府省が作成する白書や都市・住宅・防災問題等の研究などにも活用されます。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 平成30年10月1日を調査期日とする、総務省所管の5年周期調査「住宅・土地統計調査」を実施します。本調査の実施にあたって調査員・指導員の推薦、用品購入、事務打合せ会の開催、調査票等の審査を行い県に提出します。
【調査の概要】
 ・指導員・調査員数:指導員15人、調査員90人予定 ・所管省庁:総務省 ・調査周期:5年周期 ・調査対象:総務大臣の定める方法により市が選定した抽出単位調査区世帯
 ・調査の流れ:国(総務省統計局)→都道府県→市区町村→住宅・土地統計調査調査員→世帯
 ・調査方法:調査員が世帯を訪問し、調査票を配布・収集する方法。インターネットによる回答も可能。
 ・調査基準日:平成30年10月1日現在

【詳細事業内訳】
 住宅・土地統計調査費 6,686千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	5,526	統計調査 指導員15人、調査員90人 報酬			14	使用料及び賃借料	20	コピー使用料		
03	職員手当等	94	時間外勤務手当								
07	賃金	161	調査票等点検								
08	報償費	30	調査協力謝礼								
09	旅費	586	統計調査指導員・調査員交通費								
11	需用費	156	調査用品消耗品								
12	役務費	113	統計調査指導員、調査員、調査世帯諸連絡郵便料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

財政部

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010301100
課・係等	財政課 財政担当

予算書ページ	75
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	03	財政管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102230	財政管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,602	0	0	0	0	2,602
前年度	2,734	0	0	0	0	2,734
増減額	△ 132	0	0	0	0	△ 132

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

- 普通交付税の算定における基礎数値を把握・報告し、算出を行う。
- 特殊財政事情の内容、予算額を報告し、特別交付税の交付を受ける。
- 前年度決算に基づき、地方財政状況調査表を作成する。
- 地方財政状況調査結果により、財政健全化比率を算出する。
- 財政事務に必要な実務能力の向上と、地方公会計(財務書類)の取り組みによる財政分析及び活用を行う。

【効果】適正で健全な計画性のある財政運営につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
財政計画に基づく健全財政の堅持。

【詳細事業内訳】

財政管理費 2,602千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	35	財政業務一般研修等				
11	需用費	195	地方財務実務提要、参考図書資料他				
13	委託料	2,372	公会計システム保守、財務諸表作成支援				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	03	財政管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102250	基金積立金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	423,236	0	0	374,000	29,532	19,704
前年度	133,803	0	0	95,000	33,799	5,004
増減額	289,433	0	0	279,000	△ 4,267	14,700

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	財政調整基金利子	12,212	21	地域振興基金積立金	374,000				
16	減債基金利子	4,245								
16	公共施設整備基金利子	6,773								
16	地域振興基金利子	6,302								

【目的・効果】
【目的】
 条例の定めにより、特定の目的のために財産を維持するとともに、資金を積み立てる。
【効果】
 市の健全な財政運営に資する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・財政調整基金条例の定めにより、29年度決算剰余金からH30年度に繰り越す歳出予算の財源に充てるべき金額(継続費の支出財源として逐次繰り越した金額を含む。)を控除した額の2分の1を下らない額を財政調整基金に積み立てる。
 ・地域振興基金への積立を行うと共に、財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金の3基金の運用で生じた利子を、当該基金へ積立てる。
【参考:基金残高(H29年度末見込額)】
 財政調整基金4,827,761,000円/減債基金 1,508,855,000円/公共施設整備基金 2,089,040,000円

【詳細事業内訳】
 財政4基金積立金 423,236千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
25	積立金	423,236	地域振興基金積立金、財政調整基金利子、減債基金利子、公共施設整備基金利子他							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	12	公債費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	公債費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	元金		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0112010	長期借入金償還元金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,119,778	0	0	973,700	203,125	3,942,953
前年度	5,102,937	0	0	975,600	223,019	3,904,318
増減額	16,841	0	0	△ 1,900	△ 19,894	38,635

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	減債基金繰入金	200,000	21	借換債(衛生債・旧合併特例事業債)	229,700				
20	地域総合整備資金貸付金元金収入	3,125	21	借換債(教育債・旧合併特例事業債)	174,100					
21	借換債(民生債・旧合併特例事業債)	439,000								
21	借換債(民生債・施設整備事業債)	130,900								

【目的・効果】
【目的】
 地方債元金を償還する。
【効果】
 将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 H29年度までの借入に対し元金を償還する。
 (地方債現在高のH29年度末見込額 42,579,509千円)
 (内、H28借入までの分37,931,760千円、H29借入見込額4,647,749千円)
 ※上記のうち、H20地方債借換分 973,700,000円
 内訳 [合併特例] 堀金・有明保育園 155,900,000円
 [施設整備] 堀金・有明保育園 64,300,000円
 [合併特例] 有明の森・あおぞら 283,100,000円
 [施設整備] 有明の森・あおぞら 66,600,000円
 [合併特例] 日赤・みらい 403,800,000円

【詳細事業内訳】
 長期借入金償還元金 5,119,778千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利子及び割引料	5,119,778	地方債の償還元金分				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	12	公債費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	公債費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	02	利子		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0112020	長期借入金償還利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	215,836	0	0	0	0	215,836
前年度	261,554	0	0	0	0	261,554
増減額	△ 45,718	0	0	0	0	△ 45,718

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
【目的】
 ・地方債利子を償還する。
 ・一時借入のための利子を確保する。
【効果】
 将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 H29年度までの借入に対し利子を償還。

【詳細事業内訳】
 長期借入金償還利子 214,336千円 一時借入金利子 1,500千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	215,836	地方債の償還利子、一時借入金利子							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	13	予備費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	予備費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	予備費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0114010	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50,000	0	0	0	0	50,000
前年度	50,000	0	0	0	0	50,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

地方自治法217条により予備費を設ける。

【効果】

当初予期しなかった予算外の支出が生じた場合及び歳出予算計上額に不足が生じた場合、これに充てることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
予備費として50,000千円を計上

【詳細事業内訳】

予備費 50,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
29	予備費	50,000	予期しない歳出予算計上額の不足財源に充てる				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010302100
		課・係等	税務課 諸税係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	税務総務費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102460	税務総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	406,103	0	112,000	0	1	294,102
前年度	403,028	0	109,000	0	1	294,027
増減額	3,075	0	3,000	0	0	75

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	県民税徴収事務委託金	112,000							
20	その他税務関係雑入	1								

【目的・効果】
【目的】
 税の公平・公正・的確な賦課に努める。
 広報活動の充実等により納税意識の向上を図り、安定した財政基盤を確保する。
【効果】
 安定した財政基盤の確保。
 適正な課税客体の捕捉による不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 公平・公正・的確な賦課と捕捉率の向上に向け
 ①未申告者の解消。
 ②庁内各種内部資料、国、県資料による課税の是認、否認。
 ③訪問指導等を行う。
 納税意識の高揚(関心の増加)を図るため
 ①租税教育の実施。
 ②広報紙・ホームページ・新聞等を活用した税務広報。
 ③口座振替の推進。
 ④特別徴収事業所の推進を図る。

【詳細事業内訳】
 市民税賦課等総務費 406,103千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
02	給料	171,120			12	役務費	343	税のPR用広告料・申告会場用電話機種変更		
03	職員手当等	80,960			13	委託料	21,483	基幹系システム代行プリント、課税原票管理システム保守、税制改正に伴うシステム改修		
04	共済費	52,571			14	使用料及び賃借料	10,113	課税原票管理システム及びeL-TAX使用料		
07	賃金	12,434	通年雇用非常勤職員、申告相談対応臨時職員賃金		19	負担金補助及び交付金	1,958	地方税電子化協議会負担金		
08	報償費	716	租税教育推進協議会で実施する税に関する作文等募集に係る記念品		23	償還金、利子及び割引料	51,300	市税の還付金及び還付加算金		
09	旅費	106	地方税電子化協議会全国説明会等旅費(東京)							
11	需用費	2,999	事務用品、図書、印刷製本							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地方税電子申告支援サービス事業	エルタックスを使用した給報等支払報告書、法人の電子申告及び国税連携による確定申告書のデータ取り込みの推進を図り、納税者の利便性の向上と課税事務の効率化、コスト削減に努める。	14	使用料	3,901
				19	負担金	1,762
					計	5,663
2	ソフト	租税教育の実施	将来を担う中高生が税に関する作文・ポスターを作成すること等を通し、税に対する関心と正しい知識を持てるようにする。	8	報償費	716
				11	需用費	20
					計	736

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010302300
課・係等	税務課 家屋担当

予算書ページ	97
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	02	賦課徴収費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102470	資産税費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	49,479	0	0	0	1	49,478
前年度	77,255	0	0	0	1	77,254
増減額	△ 27,776	0	0	0	0	△ 27,776

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	固定資産土地精通者謝金	1							

【目的・効果】

【目的】

市町村税体系における基幹的な税であり、納税者にとって身近な税である固定資産税の公平・公正、適正な課税。

【効果】

- ・財政基盤の安定。
- ・市民への「受益と負担」の関係における、負担についての不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

税務課 家屋担当

- ・H33基準年度評価替えに向け、市内評価の均衡を目的とした調査による基礎資料づくりを始める。
- ・地方税法343条第2項に基づき、相続人等の調査を実施し納税義務者を死亡者から相続人等に賦課替えを行うため、改めて課税に係る手続きを行い適正な賦課に努める。

税務課 土地担当

平成33基準年度評価替えに向け、特に宅地評価の均衡を目的とした調査による基礎資料づくりを始める。

【詳細事業内訳】

家屋経年異動判読調査 12,852千円、 土地の鑑定評価及び評価体系集約化事業 7,750千円、 課税客体調査事業 7,138千円、 基幹系システムセンター代行業務 10,609千円、 資産税総務費 11,130千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	29	固定資産評価委員による固定資産の価格決定ほか(課税誤り時の書類調査)	18	備品購入費	56	災害時住宅調査機材(デジタルカメラ)
07	賃金	7,915	非常勤4名(家屋調査、窓口、相続人調査、一般事務)職員賃金、臨時賃金(償却資産申告書発送、整理)	19	負担金補助及び交付金	222	研修負担金
09	旅費	350	土地・木造・非木造評価研修、償却資産課税調査研修	27	公課費	7	自動車重量税(公用車)
11	需用費	1,447	課税台帳ファイルなど事務用品、参考図書、封筒印刷、公用車修理ほか				
12	役務費	110	電子システム保守・車検など手数料、公用車自賠責保険料				
13	委託料	38,686	家屋経年異動調査、基幹系システムセンター代行、電子化システム・サーバー保守など委託料/時点修正に係る鑑定評価、土地評価システム化業務、GIS更新、建物未建築宅地調査				
14	使用料及び賃借料	657	帳票電子化機器借り上げ、地図情報システム(スマートアシスト)使用料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	土地の鑑定評価及び評価体系集約化事業	【土地評価システム化業務】 固定資産評価基準その他法令等への遵法性を確保しつつ土地評価の精度向上を図るため、計画的に3年間継続し専門機関の支援を仰ぐ。(総事業費:18,360,000円)	13	委託料	4,644
					計	4,644
2	ソフト	家屋経年異動判読調査	前回撮影と最新撮影の航空写真の照合により、経年による家屋の新增築・滅失の異動を把握する。	13	委託料	12,852
					計	12,852

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010304100		予算書ページ	99
		課・係等	収納課 管理係・整理担当			

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	02	徴税费		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	02	賦課徴収費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102480	収納費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	56,219	0	40,000	0	2,400	13,819
前年度	58,057	0	40,000	0	2,500	15,557
増減額	△ 1,838	0	0	0	△ 100	△ 1,738

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	督促手数料	2,400							
15	県民税徴収事務委託金	40,000								

【目的・効果】
 収納課 管理係・整理担当
【目的】
 ・市税納期内納付の勧奨及び滞納整理を実施することにより未納額の縮減、財政基盤の安定化を図る。
 ・新規滞納者の抑制
 ・口座振替の推進、コンビニ収納の実施等により納税者が市税を納めやすい環境を整備する。
【効果】
 ・滞納整理業務を執行し、納税義務の公平性の確保と貴重な自主財源としての市税を確保することができる。
 ・納税義務者が市税を納めやすい環境を整備し、納期限内納付の推進及び収納率の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 収納課 管理係・整理担当
【事業概要】
 ・財産調査予告書・差押予告書による催告の実施。
 ・催告に応じない滞納者に対して実態調査や財産調査を行い、差押処分を執行する。
 ・大口案件や困難案件を長野県地方税滞納整理機構に移管する。
 ・新規滞納者を増やさないため、納税コールセンターによる自主納付の勧奨を行う。
 ・市税の当初納付書の発送時にハガキ型の口座振替依頼書、口振勧奨チラシを同封し、口座振替登録を推進する。

【詳細事業内訳】
 収納総務費 50,853千円 納税コールセンター業務委託事業 5,366千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,060	滞納整理顧問報酬	14	使用料及び賃借料	826	コンビニ収納システム使用料、官報閲覧システム、駐車料金等
07	賃金	14,807	収納嘱託員3人、非常勤職員(日給者3人)	18	備品購入費	124	自転車
08	報償費	540	収納嘱託員自動車借上げ謝礼	19	負担金補助及び交付金	7,533	日本経営協会研修負担金等、長野県地方税滞納整理機構負担金、松本地区納税貯蓄組合負担金
09	旅費	378	日本経営協会、東京税務協会等研修参加旅費、県外臨戸旅費	27	公課費	16	自動車重量税
11	需用費	3,066	事務用品、督促状・催告書・口座振替依頼書・手書き納付書等印刷、封筒作成、公用車修繕等、公用車ガソリン代、				
12	役務費	18,008	携帯電話料、窓口収納他金融機関手数料、コンビニ収納取扱手数料、車検、滞納処分預貯金調査手数料、相続財産管理人手納金、不動産鑑定手数料、自賠責保険				
13	委託料	9,861	督促状センター代行業務、県外滞納者居住実態調査業務、滞納管理システム保守/納税コールセンター業務委託				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	納税コールセンター業務委託事業	新規滞納者を増やさないため、納税コールセンターから初期未納者に対して架電を行い自主納付を促す。	13	委託料	5,366		
					計	5,366		
2								
					計	0		

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010305300
課・係等	財産管理課 庁舎管理係

予算書ページ	63
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102020	本庁舎管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	176,430	0	0	0	2,042	174,388
前年度	172,629	0	0	0	1,922	170,707
増減額	3,801	0	0	0	120	3,681

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	電報電話料(本庁舎)	1	20	その他雑入(庁舎管理係)	1,716				
20	資源ごみ売却代(本庁舎)	120								
20	自動販売機設置電気料(本庁舎)	204								
20	公衆電話料(本庁舎)	1								

【目的・効果】
【目的】
 ・本庁舎の維持管理を行う。総合管理によりきめ細やかな運用で、住民サービスと施設長寿命を図る。
【効果】
 ・総合管理により専門的な施設管理ができることから、施設の長寿命化や維持管理コストの低減が図れる。これにより、庁舎利用者の利便性と安全が確保でき、住民サービスの向上に繋げられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・総合管理の委託内容は、施設常駐管理、設備管理、宿日直警備業務、清掃業務、総合受付案内業務、電話交換業務、植栽管理業務、除雪業務を行う。
 ・本庁舎で使用する複合機、印刷機、コピー用紙等の必要経費の維持管理と光熱水費、通信費の支出事務
 ・市有施設のNHKテレビ受信料、危険物取扱者、防火管理者、危険物安全協会に係わる事務

【詳細事業内訳】
 本庁舎管理費 176,430千円

【一般財源増加理由】 庁舎維持管理工事实施のため(街路灯、看板、市民課窓口パネル設置、エネルギーシステム最適化工事等)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,776		19	負担金補助及び交付金	155	危険物取扱者受講負担金
11	需用費	44,842	コピー用紙・インク等消耗品、冷暖房用灯油、庁舎光熱水費、庁舎施設・物品修繕				
12	役務費	9,507	電話料、危険物取扱受験料				
13	委託料	84,959	庁舎総合管理委託、印刷機保守、庁舎設備機器点検				
14	使用料及び賃借料	27,710	コピー機・印刷機借上料、テレビ受信料、借地料				
15	工事請負費	7,362	庁舎維持管理工事				
18	備品購入費	119	公衆電話				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	本庁舎管理費	庁舎の管理を総合管理で一元的に業務委託する事により、管理業務間の調整の手間が省け、きめ細やかな運用が図れ、住民サービスの向上と庁舎の長寿命化に繋げることができる。	13	委託料	84,959
				11	需用費	44,842
				14	使用料及び賃借料	27,710
				12	役務費	9,507
					計	167,018
2					計	0

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010305300
課・係等	財産管理課 庁舎管理係

予算書ページ	63
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102080	公用車管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	43,688	0	0	0	1,500	42,188
前年度	43,881	0	0	0	1,500	42,381
増減額	△ 193	0	0	0	0	△ 193

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	公有自動車損害共済金	1,500							

【目的・効果】
【目的】
 ・共有車両の維持管理を行う。実施計画に基づき20年経過の車両は修繕費等の費用が嵩むことから順次更新等を行う。
 ・共有車両を一元管理することにより、効率的な利用と運用を図る。
【効果】
 ・共有車両の一元化により効率的な利用と配車により維持管理経費の節減ができる。
 ・老朽車両の維持管理経費の節減。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・共有車両(39台及びバス6台)の一元管理及び総務部(危機管理課を除く)、政策部、財政部(収納課、税務課を除く)、議会事務局車両の52台の維持管理費、燃料、車検、法定点検等を一元管理する。
 ・市の所有する全ての公用車(企業会計及び貸出車両は除く)の任意保険の加入を行う。但し、事務手続き、事故処理については一元管理により行う。
 ・有料道路使用料(ETC)の一元管理を行う。但し、企業会計、国保・介護保険特別会計及び貸出車両の経費は除く。

【詳細事業内訳】
 公用車更新事業 12,380千円 公用車管理費 31,308千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	16	職員旅費			27	公課費	783	自動車重量税
11	需用費	13,292	公用車タイヤ代、燃料費、車両修繕費						
12	役務費	10,937	車検・点検手数料、保険料						
14	使用料及び賃借料	8,749	ETC利用料						
18	備品購入費	8,973	軽貨物車、ハイブリッド車、ドライブレコーダー						
19	負担金補助及び交付金	38	研修参加負担金						
22	補償補填及び賠償金	900	公用車事故賠償金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公用車管理費	公用車適正管理により安全運行と環境負荷の軽減と延命を図る。	11	需用費	13,292
				12	役務費	10,770
				14	使用料及び賃借料	5,420
				22	補償補填及び賠償金	900
					計	30,382
2	ハード	公用車更新事業	老朽化車両は、安全が確保できないほか、維持管理経費が嵩むことから計画的に更新を行う必要がある。また、環境に配慮したハイブリッドカー等のエコカーを導入する。	18	備品購入費	8,865
				14	使用料及び賃借料	3,329
				12	役務費	167
				27	公課費	19
					計	12,380

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010305100
課・係等	財産管理課 管財担当

予算書ページ	65
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102083	AED維持管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,683	0	0	0	0	3,683
前年度	2,660	0	0	0	0	2,660
増減額	1,023	0	0	0	0	1,023

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市有施設に配置されたAED(自動体外式除細動器)の管理を行う。
 ・耐用年数を迎えた機器、バッテリーの更新。
 ・使用したパッドの補充。
【効果】
 ・公共施設へのAED配備により、緊急時の救命措置が行え多くの人の救護ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・AED本体の新規購入 5台、更新 2台
 ・収納ボックス移設 2ヶ所
 ・バッテリー更新 6台
 ・パッドの更新(予備品含む)183個

【詳細事業内訳】
 AED維持管理費 3,683千円

【一般財源増加理由】 AEDの本体及び消耗品の購入数の増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,671	パッド及び交換用パッド(186台)、交換バッテリー(6台)				
13	委託料	18	AED収納移設2ヶ所				
18	備品購入費	1,994	AED新規購入(5台)、更新(2台)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	AED維持管理費	公共施設にAEDを配備し、緊急時に使用できるように消耗品等の交換を行い、適切な維持管理をする。	18	備品購入費	1,994
				11	需用費	1,671
				13	委託料	18
					計	3,683
2					計	0

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010305100
課・係等	財産管理課 管財担当

予算書ページ	77
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	05	財産管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102270	財産管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	47,215	0	0	0	1	47,214
前年度	53,167	0	0	0	1	53,166
増減額	△ 5,952	0	0	0	0	△ 5,952

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 財産管理課 管財担当
【目的】
 ・低未利用地及び低未利用施設を処分して維持管理費の低減を図るとともに、自主財源を確保する。
【効果】
 ・遊休資産の処分により、自主財源の確保と維持管理費の低減ができ、新たな宅地供給の促進と税の増収が見込める。

財産管理課 施設経営担当
【目的】市有施設の新築・改修・修繕等を発注するため、各種基準に適合させながら、適正な設計積算および監督管理を行う。
【効果】一定以上の品質を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 財産管理課 管財担当
 ・市有財産の管理と地方公会計移行による固定資産税台帳の整備を継続して行っていく。
 ・未利用となった教員住宅ほかの市有財産の不動産鑑定等を行い、一般競争入札により処分する。
 ・建物災害共済及び総合賠償保険の事務を行う。

財産管理課 施設経営担当
 建築コストの透明性・客観性を確保し、予算の効率的な運用を図る。

【詳細事業内訳】
 市有財産管理費 41,541千円 公共建築物のコスト・品質・施工管理 5,674千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	600	設計士等謝礼			19	負担金補助及び交付金	250	行政管理講座「不動産登記事務」負担金／建築構造設計研修会負担金		
09	旅費	235	行政管理講座「不動産登記事務」／技術セミナー「基礎から学べる構造設計シリーズ/S造編」								
11	需用費	1,040	事務用品及び財産管理費(除草剤・草刈り他)、施設修繕費／設計積算書籍及びテキスト代・事務用品								
12	役務費	16,463	未利用地不動産鑑定、水質検査、市有物件災害共済、総合賠償補償保険								
13	委託料	27,848	市有地維持管理業務、固定資産台帳等データ異動更新業務、測量業務、エネルギーサービスプロバイダー業務(新電力)他／設計監理委託、アスベスト調査等								
14	使用料及び賃借料	141	刊行物掲載情報利用料								
15	工事請負費	638	三郷南部保育園跡地整備付帯工事								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	市有財産管理費	低未利用地及び低未利用施設を処分することにより、維持管理費の低減と自主財源の確保が図れ、新たな宅地供給の促進と税の増収が見込まれる。	13	委託料	23,568	
				12	役務費	16,463	
				11	需用費	782	
				15	工事請負費	638	
					計	41,451	
2	ソフト	公共建築物のコスト・品質・施工管理	市発注の建築関係工事を適正に設計積算、施工管理することで、良好な品質を確保する。	13	委託料	4,280	
				08	報償費	600	
				11	需用費	258	
				19	負担金補助及び交付金	201	
					計	5,339	

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010305100
		課・係等	財産管理課 管財担当

予算書ページ	81
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102340	土地開発基金費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	532	0	0	0	487	45
前年度	550	0	0	0	505	45
増減額	△ 18	0	0	0	△ 18	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	土地開発基金利子	487							

【目的・効果】
【目的】
 ・土地開発基金の財産の管理、運営を行い、最終的に土地開発基金の整理を行う。
【効果】
 ・土地開発基金運営により、市事業の円滑な展開が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・土地開発基金で先行取得した土地の整理を行う。

【詳細事業内訳】
 土地開発基金費 532千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	44			中信平左岸土地改良区賦課金				
28	繰出金	488			基金運用益				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	土地開発基金費	土地開発基金で先行取得した土地を市による買い戻し手続きを行い、資産の健全運用を図る。	28	繰出金	488
				19	負担金補助及び交付金	44
					計	532
2					計	0

市民生活部

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010401100
課・係等	地域づくり課 豊科地域係

予算書ページ	65
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102095	豊科地域事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,569	0	0	0	0	4,569
前年度	6,666	0	0	0	1,515	5,151
増減額	△ 2,097	0	0	0	△ 1,515	△ 582

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・豊科地域の自治会及び団体等の活動を支援し、地域の活性化と、地域課題を地域自らが解決できる仕組みの構築を図る。

【効果】

・市民一人ひとりが、いきいきと心豊かに暮らすことができる地域社会の実現が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・豊科地域区長会等を通じて、地域課題を共有し、解決に向けた取り組みを支援する。
- ・あづみ野祭り実行委員会に補助金を交付するとともに実行委員として運営を支援する。

【詳細事業内訳】

豊科地域管理事業 95千円 豊科地域づくり事業 4,474千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	322	豊科地域区長会出席謝礼				
09	旅費	6	豊科地域区長会視察研修随員職員旅費				
11	需用費	310	事務用品、施設(消防コミュニティ)光熱水費、施設修繕費 ほか				
13	委託料	31	豊科地域区長会視察研修バス運転業務委託				
19	負担金補助及び交付金	3,900	あづみ野祭り補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010401400
		課・係等	地域づくり課 市民相談室

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	02	文書広報費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0102220	市民相談事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	888	0	0	0	0	888
前年度	891	0	0	0	0	891
増減額	△ 3	0	0	0	0	△ 3

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・多様化、複雑化する相談に対し、専門的な相談の機会を設け、提供する。
 ・総務大臣から委嘱された行政相談委員の活動へ協力する。
【効果】
 ・専門的な相談の機会を設けることにより、問題の解決や悩みの解消へつなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・長野県弁護士会松本在住会と弁護士の派遣委託契約を結び、相談の機会を設ける。
 ・長野県司法書士会松本支部安曇野区会、長野県行政書士会松本支部との調整により、相談の機会を設ける。
 ・心配ごと相談と連携しながら、行政相談委員との相談の機会を設ける。

【詳細事業内訳】
 市民相談事業 888千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
13	委託料	856	法律相談担当弁護士派遣業務委託								
14	使用料及び賃借料	2	会議会場 駐車場料金								
19	負担金補助及び交付金	30	長野行政相談委員協議会負担金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010401100
課・係等	地域づくり課 まちづくり推進係

予算書ページ	81
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102350	協働のまちづくり推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,001	0	0	0	4,120	7,881
前年度	10,523	0	0	0	3,000	7,523
増減額	1,478	0	0	0	1,120	358

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	ふるさとづくり基金利子	10							
18	ふるさとづくり基金繰入金	1,400								
18	地域振興基金繰入金	2,700								
20	市民活動サポートセンターコピー等サービス料	10								

【目的・効果】

【目的】

市民、市民団体をはじめとするあらゆる主体が、目的や課題を共有し、それぞれの特性を活かし、主体的・自発的に役割を担い合い、対等な立場で連携することにより、みんなが主役のまちづくりを推進する。

【効果】

「協働」を通して、全市の一体感が醸成できる。
一人ひとりが行動することで、いきいきと心豊かに暮らすことができる地域社会の実現が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき、協働によるみんなが主役のまちづくりを推進する。

- ・ 市民活動サポートセンターの機能の充実と事業の充実
- ・ 協働のまちづくりフォーラム、地域リーダー育成講座の開設
- ・ 光城山1000人SAKURAプロジェクトの実施
- ・ つながりひろがる地域づくり事業補助金の交付
- ・ 第2次「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針・安曇野市協働のまちづくり推進行動計画」の策定及び計画書の印刷

【詳細事業内訳】

協働のまちづくり推進事業 12,001千円

【一般財源増加理由】 第2次「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針・安曇野市協働のまちづくり推進行動計画」の印刷費を計上したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,445	市民活動サポートセンターコーディネーター賃金	15	工事請負費	249	SAKURAプロジェクト土工事
08	報償費	1,242	研修会・講座等講師謝礼、委員会委員出席謝礼 ほか	16	原材料費	114	SAKURAプロジェクト桜苗木
09	旅費	7	職員旅費	19	負担金補助及び交付金	2,700	つながりひろがる地域づくり事業補助金
11	需用費	1,345	SAKURAプロジェクト消耗品、市民活動サポートセンター消耗品、「協働」計画書印刷費 ほか	25	積立金	11	ふるさとづくり事業基金利子
12	役務費	266	市民活動サポートセンター電話料、傷害保険料、講演会手話通訳				
13	委託料	3,276	SAKURAプロジェクト伐採等業務委託料、アルプス花街道事業委託料				
14	使用料及び賃借料	346	市民活動サポートセンターコピー機等借上料、使用料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	協働のまちづくり推進事業	「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき、諸事業を実施する。 豊かな地域と幸せな市民生活の実現が図れる。	13	委託料	3,276
				19	負担金補助及び交付金	2,700
				07	賃金	2,445
				11	報償費・需用費ほか	3,580
					計	12,001
2					計	0

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010401100
課・係等	地域づくり課 まちづくり推進係

予算書ページ	83
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102355	区等地域力向上事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	122,128	0	0	0	113,189	8,939
前年度	93,995	0	0	0	90,000	3,995
増減額	28,133	0	0	0	23,189	4,944

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	その他証明手数料	1							
16	西穂高会館維持運営基金利子	6								
18	地域振興基金繰入金	79,682								
20	コミュニティ助成事業助成金(一般・地域防災)	33,500								

【目的・効果】
【目的】
 各区等の地域力向上の支援をし、地域課題を自ら解決できる仕組みを構築する。
【効果】
 豊かな地域と幸せな市民生活の実現が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・区等交付金、地域力向上事業交付金、コミュニティ助成事業補助金などの交付
 ・区における部制度構築支援
 ・「区マニュアル」「コミュニティ・マニュアル」の普及啓発
 ・地域課題の共有と解決に向けた取り組み(まちづくり推進会議等)
 ・西穂高会館、有明会館、離山会館の管理運営(指定管理)

【詳細事業内訳】
 区等地域力向上事業 121,227千円 会館管理運営事業 901千円

【一般財源増加理由】 地域おこし協力隊員に係る経費を計上したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	6,004	地域おこし協力隊員賃金				
08	報償費	970	まちづくり推進会議出席謝礼、市区長会理事会出席謝礼				
09	旅費	82	市区長会視察研修随員職員旅費、地域おこし協力隊員旅費				
11	需用費	367	事務消耗品、区活動啓発リーフレット印刷費				
13	委託料	961	市区長会視察研修バス運転業務委託、施設(有明会館、西穂高会館、離山会館)指定管理委託料 ほか				
19	負担金補助及び交付金	113,737	コミュニティ助成事業補助金、区等交付金、地域力向上事業交付金 ほか				
25	積立金	7	西穂高会館維持運営基金利子				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	まちづくり推進会議の運営	地域課題の解決に向けて検討を行う「まちづくり推進会議(推進会議・ワーキンググループ)」を運営する。地域課題の解決並びに協働の推進が図れる。	08	報償費	445
					計	445
2	ソフト	区等交付金の交付	地域力の向上並びに主体的な区民で構成される支え合い助け合う区の仕組みが構築できる。	19	負担金補助及び交付金	72,282
					計	72,282

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010401200
課・係等	地域づくり課 生活安全係

予算書ページ	87
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	08	交通安全対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102390	交通安全対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,873	0	0	0	0	14,873
前年度	15,265	0	0	0	0	15,265
増減額	△ 392	0	0	0	0	△ 392

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・交通安全の推進、交通安全体制の強化を図るとともに、地域ぐるみの活動を推進し、交通事故のない安全な地域社会の実現を目指す。
 ・総合的な交通安全対策に取り組む組織の充実を図り、子どもから高齢者まで各年代に応じた参加・体験・実践型の交通安全教育を推進するとともに、交通事故防止を図るため、交通安全思想の普及促進に努める。
【効果】 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・高齢者と子どもの交通安全対策を重点事項として設定し、家庭や地域に浸透するきめ細かな交通安全対策を推進するとともに、地域の安全は地域で守る区マニュアルに基づく区及び部制度の考え方を取り込み、地域における交通安全の実現に向けて、家庭、職場、地域から、市民総ぐるみの交通安全対策を展開する。
 ・市民に最も身近な公民館等で開催する「地域(区)訪問型高齢者交通安全教室」では、交通安全ミュージカルや反射神経テストを通してわかりやすく実践、体験する交通安全教室の開催とともに、高齢者宅を戸別訪問して交通事故防止を呼び掛ける高齢者宅家庭訪問の取り組みにより、高齢者の交通安全教育の充実と交通安全思想の普及・浸透を図る。
 ・保育園、幼稚園では理解力に応じた段階的な交通安全教室を開催。小中学校では、通学路に潜在する危険をスクエアード・ストレイト方式(恐怖を実感することにより危険行為を未然に防ぐ教育手法)を用いて再現する実践的な交通安全教室を展開し、心身の発達に即した体系的な交通安全教育に取り組む。

【詳細事業内訳】
 交通安全対策推進事業 14,873千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	686	交通指導員報酬			14	使用料及び賃借料	2,490	高齢者交通安全教室会場使用料、デマンド交通割引回数券の購入		
07	賃金	1,748	交通安全協会育成事業関連事務補助員			18	備品購入費	137	交通安全教室の指導用DVDソフトの購入		
08	報償費	382	交通安全推進協議会委員、高齢者交通安全教室関係役員出席謝礼			19	負担金補助及び交付金	3,424	安曇野交通安全協会負担金、交通安全普及協会研修負担金		
09	旅費	78	交通安全教育指導者研修会旅費			27	公課費	8	公用車自動車重量税		
11	需用費	2,374	交通安全用品外								
12	役務費	94	公用車車検点検外								
13	委託料	3,452	スクエアード・ストレイト方式による交通安全教室、地域(区)訪問型高齢者交通安全教室等の委託								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	地域(区)訪問型高齢者交通安全教室	多発する高齢者の交通事故防止策を交通安全ミュージカルや反射神経テストを通してわかりやすく実践、体験する地域(区)訪問型の高齢者交通安全教室を開催し、交通安全教育を受ける機会の少ない高齢者が参加し易い交通安全教室の充実を図る。	13	委託料	500	10回	
					計	500		
2	ソフト	総合的な安全・安心対策のための啓発	高齢者宅家庭訪問では、加齢に伴う交通事故への備えと複雑化する犯罪被害から身を守る総合的な安全・安心対策を紹介した啓発冊子を配布し、高齢者の生活安全教育の充実と交通安全思想の普及・浸透を図る。	11	需要費	500	啓発冊子	
					計	500		

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010401200
課・係等	地域づくり課 生活安全係

予算書ページ	89
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	09	防犯対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102400	防犯対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	30,316	0	0	0	200	30,116
前年度	93,219	0	0	0	40,200	53,019
増減額	△ 62,903	0	0	0	△ 40,000	△ 22,903

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・犯罪や夜間の交通事故を未然に防ぐ防犯灯を計画的に整備することで、地域の安全活動を推進し、犯罪のない安全な地域社会の実現を目指す。
 ・市民が安心して暮らすことができる安全な地域社会を実現するため、関係機関との連携のもと、市民参加による防犯運動や広報、啓発活動を通じて、防犯意識の高揚を図る。
 ・地域ぐるみの防犯活動を展開するため、関係機関との連携を強化し、地域防犯活動を支援する。
【効果】 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・防犯灯のLED化更新事業については、市内約7,000基のLED化更新工事の完了により環境負荷の低減と経費削減が図られ、全市的な防犯効果が高められている。また、防犯灯管理運営費として取り組む防犯灯設置工事では、通学路への計画的な設置や安全対策が必要な未整備路線等への新設を進めるとともに、鋼管柱等の老朽化により順次更新時期を迎える独立柱防犯灯についても、安全かつ効果的な照明配置となるよう移設可能な電力柱等への共架移転を検討したうえで、計画的に照明柱の更新(建替)工事を進める。
 ・地域の安全を守る為、関係機関、団体と連携し、啓発活動、防犯運動を展開するとともに、市民協働によるまちづくり施策を推進し、現在、市としても取り組んでいる区及び部制度の考え方を取り込み、地域の安全は地域で守る防犯思想の浸透と総合的な安全・安心対策を担う効果的かつ効率的な組織体制の拡充を図る。

【詳細事業内訳】
 防犯対策推進事業 3,236千円 防犯灯管理運営費 27,080千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	24	地域安全活動外謝礼								
11	需用費	19,984	防犯灯施設修繕費、防犯灯電気料								
12	役務費	976	防犯灯移設								
15	工事請負費	6,500	防犯灯新設、防犯灯移設及び照明柱等共架更新工事								
19	負担金補助及び交付金	2,832	安曇野防犯協会連合会負担金、地域防犯協会支部補助金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	照明柱等共架更新工事	鋼管柱等の老朽化により順次更新時期を迎える独立柱防犯灯についても、安全かつ効果的な照明配置となるよう移設可能な電力柱等への共架移転を検討したうえで、計画的に照明柱の更新(建替)工事を進める。	15	工事請負費	750	
					計	750	

予算書ページ	243
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010401400
		課・係等	地域づくり課 市民相談室

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	商工費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	04	消費者行政対策費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0107180	消費者行政対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,836	0	0	0	0	4,836
前年度	3,740	0	841	0	0	2,899
増減額	1,096	0	△ 841	0	0	1,937

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・消費者問題に対する相談体制の充実に努める。
 ・特殊詐欺等被害防止のための啓発活動を実施。
 ・知識向上のための研修へ参加。
【効果】
 ・消費者被害の防止、減少のための啓発活動や相談に対応できる体制づくり。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・消費生活センターの設置。
 ・多様化、複雑化する消費者問題等に対する知識向上や情報交換のための研修へ参加。
 ・区や団体への出前講座の対応。
 ・高齢者宅を中心とした家庭訪問による啓発活動。
 ・中学生や新成人への消費者トラブル防止のための啓発活動。

【詳細事業内訳】
 消費者行政対策事業 4,836千円

【一般財源増加理由】 県補助金対象事業の終了

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	3,696	消費生活相談員 賃金				
09	旅費	100	旅費				
11	需用費	935	消費生活啓発物品、参考図書等				
14	使用料及び賃借料	5	会議会場 駐車場料金				
19	負担金補助及び交付金	100	研修参加負担金、安曇野市消費者の会補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010402100
課・係等	市民課 市民担当

予算書ページ	101
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	03	戸籍住民基本台帳費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	戸籍住民基本台帳費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	194,534	19,940	94	0	44,000	130,500
前年度	204,222	13,601	87	0	44,000	146,534
増減額	△ 9,688	6,339	7	0	0	△ 16,034

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	戸籍住民基本台帳手数料	44,000	14	社会保障・税番号制度システム整備費補助金(個人番号カード分)	6,118				
14	中長期在留者住居地届出等事務委託金	300	15	人口動態調査委託金	94					
14	個人番号カード交付事業費補助金	11,000								
14	個人番号カード交付事務費補助金	2,522								

【目的・効果】

◎目的:行政事務の基礎となる戸籍、住民基本台帳の整備・管理を行う。

◎効果:住民に関する基礎資料を正確かつ統一的に整備することにより、住民の利便性の増進、行政事務の合理化を図り、窓口での待ち時間を減らす等、住民の負担を軽減する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

平成29年9月末で自動交付機が稼働終了、証明書を全国のコンビニエンスストア等で交付が受けられるよう、個人番号カードの普及促進活動を積極的に行い、住民の利便性を図る。

戸籍総合システム、証明書コンビニ交付システム等のシステム保守を行うことで、恒常的に正常な状態で稼働させ、住民へのサービスの向上を図る。婚姻届、出生届をされた方に対して、記念写真を貼れる「お祝い証」のプレゼント及び市オリジナルの婚姻届用紙を作成し、窓口業務のサービス向上を図る。

【詳細事業内訳】

市民総務費 173,697千円 戸籍総合システム管理業務 10,433千円 証明書コンビニ交付事業 10,404千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	85,562		13	委託料	14,322	戸籍総合システム・ブックレス・証明書コンビニ交付システム等保守業務、旧姓併記対応に関わるシステム改修業務委託料
03	職員手当等	38,331		14	使用料及び賃借料	8,633	戸籍総合システム・ブックレス機器等借上料、戸籍総合システム・ブックレスソフトウェア使用料
04	共済費	25,577		19	負担金補助及び交付金	13,737	個人番号カード等関連委任事務交付金
07	賃金	3,545	戸籍住民基本台帳事務、個人番号カード交付事務				
09	旅費	86	住基法外改正に係る研修会参加旅費				
11	需用費	3,288	戸籍関係図書費、本人確認書類裏面印字機消耗品費、結婚・出産お祝い事業消耗品・印刷製本費、個人番号カード交付事務消耗品費				
12	役務費	1,453	個人番号カード交付通知書類郵送料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	証明書コンビニ交付事業	全国のコンビニエンスストア等で、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本、戸籍の附票が、12月29日から1月3日を除き、6時30分から23時まで、利用することができるため、住民の利便性の向上が図れる。	13	委託料	7,697
				19	負担金補助及び交付金	2,700
				09	旅費	7
					計	10,404
2					計	0

予算書ページ	85
--------	----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にするまち
	項	01	総務管理費		基本方針	環境を守るまち
	目	06	企画費		基本施策	水環境の保全・強化・活用
	事業	0102360	水資源対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,095	0	0	0	0	7,095
前年度	17,701	0	0	0	0	17,701
増減額	△ 10,606	0	0	0	0	△ 10,606

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・地下水の保全、涵養及び適正利用を図る。

【効果】

・地下水収支のバランスを改善し、健全な水循環(水量・水質)を創出し、地下水資源の活用により豊かな安曇野を創成する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地下水水位観測調査、地下水水質検査を実施する。(地下水水位観測調査12箇所、湧水量調査2箇所、水質検査6箇所)
- ・平成28年度に策定された「水環境基本計画(マスタープラン)」「水環境行動計画(アクションプラン)」に従い計画的に進める。
- ・実効性のある有効な地下水涵養施策や涵養経費の負担方法などについて検討する。

【詳細事業内訳】

水資源対策費 7,095千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	264	地下水採取審査委員会	19	負担金補助及び交付金	805	安曇野市水資源対策協議会負担金
07	賃金	1,329	地下水保全条例に伴う届出事務及び水環境基本計画事務の臨時職員賃金				
08	報償費	102	地下水講座講師外				
09	旅費	200	関係省庁事務打ち合わせ、地下水講座講師外、全国名水サミット(富山県黒部市)、先進地視察				
13	委託料	4,304	地下水水位等観測、水質調査業務委託				
14	使用料及び賃借料	10	掘金地下水水位観測井借地料				
18	備品購入費	81	地下水水位観測機器				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	水資源対策協議会	「水環境基本計画・行動計画」の施策評価を行うとともに、新たな涵養方策の検討や費用負担ルールを設定する。 費用負担ルールについて協議会内に専門部会を設けて調査研究を行う。	19	負担金補助及び交付金	800
					計	800
2					計	0

予算書ページ	177
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	霊園管理費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104140	霊園管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	36,484	0	0	0	36,482	2
前年度	48,377	0	0	0	48,375	2
増減額	△ 11,893	0	0	0	△ 11,893	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	霊園管理料	9,836	16	霊園基金利子	330				
12	霊園管理料滞納繰越分	6	18	霊園基金繰入金	1,819					
13	霊園使用料	24,485								
13	霊園事務手数料	6								

【目的・効果】

【目的】

・市内10ヶ所の市営霊園及び合葬式墳墓の定期的な管理と必要な整備を行う。

【効果】

・霊園施設及び合葬式墳墓の適切な維持管理が図られることで、利用者の利便性が向上するとともに周辺環境の保全に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市営霊園(市内10ヶ所、3,786区画)及び合葬式墳墓の維持管理を実施する。
- ・市営霊園敷地内に合葬式墳墓「合葬墓」を整備したことに伴い、申し込みの受付と埋蔵等の管理を行う。

【詳細事業内訳】

霊園管理費 36,484千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,708	清掃用具、松枯れ防止剤、除草剤、小破修理、光熱水費外	23	償還金、利子及び割引料	1,100	返還聖地の使用料還付金
12	役務費	178	市営霊園のし尿汲み取り料、浄化槽法定点検手数料外	25	積立金	21,124	霊園基金積立金
13	委託料	9,954	市営10霊園・合葬式墳墓の清掃管理業務委託、合葬式墳墓埋蔵業務委託外				
14	使用料及び賃借料	303	墓地管理システム使用料				
15	工事請負費	929	市営霊園補修工事等				
16	原材料費	87	市営10霊園の植木、肥料代				
18	備品購入費	101	自走式芝刈機				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	合葬式墳墓維持管理	穂高墓地公園内に建設した合葬式墳墓施設内への納骨業務と施設の維持管理を行うことで、利用者の利便性が図られる。	13	委託料	2,592
					計	2,592
2					計	0

重点的に推進する取組み (4)

コード 010403100
課・係等 環境課 環境政策係

予算書ページ 179

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	自然環境の保全
	事業	0104150	環境基本計画推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	32,439	0	0	0	426	32,013
前年度	39,122	0	0	0	5	39,117
増減額	△ 6,683	0	0	0	421	△ 7,104

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	ちくりに生きものみらい基金繰入金	421							
20	その他刊行物頒布代	5								

【目的・効果】
【目的】
 ・第2次環境基本計画の施策の展開により、豊かで美しい自然環境を守り、快適な生活環境を次代につなぐ。
【効果】
 ・市民一人ひとりが、安曇野に住むことに誇りを持ち、安曇野らしい景観や環境を守ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・環境審議会の運営
 ・環境基本計画の施策の推進
 ・環境フェアの開催
 ・5年に1度の「生きもの調査」の実施
 ・省エネのための緑のカーテンの普及等
 ・エコアクション21の運営
 ・住宅用太陽光発電システム設置補助、住宅用太陽熱高度利用システム設置補助による新エネルギー活用の推進

【詳細事業内訳】
 環境基本計画推進事業 9,159千円 住宅用太陽光発電システム設置補助事業 23,280千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	490	環境審議会委員報酬			19	負担金補助及び交付金	23,503	住宅用太陽光発電システム設置補助金、住宅用太陽熱高度利用システム設置補助金		
08	報償費	1,976	環境フェア謝礼、環境行動プログラム他講師謝礼、環境家計簿記念品、自然保護アドバイザー謝礼								
09	旅費	120	自然保護アドバイザー費用弁償、エネルギー管理講習旅費								
11	需用費	1,382	環境フェア、緑のカーテン、特定外来生物駆除啓発チラシ他								
12	役務費	1,147	エコアクション21審査手数料、環境フェア傷害保険他								
13	委託料	3,810	生きもの調査業務、環境フェア運営他、エコアクション21支援業務								
14	使用料及び賃借料	11	環境行動プログラム実施時施設使用料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	生きもの調査	身近な生きものの生育・生息状況を確認することを目的とした調査を行い、その結果をとりまとめ、現在の状況について平成19年度、平成24年度に実施した調査結果と比較し、傾向、要因を考察する。	08	報償費	56
				11	需用費	346
				13	委託料	1,264
					計	1,666
2	ソフト	環境フェア	環境基本計画に定められた取り組みを広く紹介し、環境に関する課題を市民が共有できる場を提供するとともに、出展者と来場の者の交流を深め、これまで環境に関する活動に参加していなかった人も巻き込みつながりの環を広げる。	08	報償費	360
				11	需用費	266
				12	役務費	115
				13	委託料	1,902
					計	2,643

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010403200
課・係等	環境課 環境保全担当

予算書ページ	181
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104160	環境衛生総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	205,148	0	0	0	4,710	200,438
前年度	214,113	0	0	0	4,216	209,897
増減額	△ 8,965	0	0	0	494	△ 9,459

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	狂犬病予防注射済票交付手数料	3,030								
13	犬の登録手数料	1,041								

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野の自然環境、田園環境を生かした快適な生活環境を維持するため、市民の生活に身近な施策を実施する。
【効果】
 ・身近な生活環境の整備や保全により、安曇野らしい、快適な田園産業都市生活を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・雨水貯留施設設置補助金を交付する。
 ・公衆浴場精鋭安定化事業の補助金を交付する。
 ・空家対策協議会を開催し、特定空家の認定等の協議を行う。
 ・定期的に空家相談会を開催する。
 ・市内の空家に対して、適切な対応と対策を図るため、実態把握を目的とした空家実態調査及び空家管理台帳データベース化を行う。
 ・広域豊科葬祭センターを利用した市民の火葬料無料化と、市街施設を利用した市民への扶助を行う。
 ・公共施設への雨水貯留槽の設置を行う。
 ・安曇野松筑広域環境施設組合豊科葬祭センター施設運営の負担をする。
 ・犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、犬鑑札及び注射済票を交付する。
 ・地域猫の不妊・去勢手術費用に対して補助金を交付する。
 ・豊科駅前・新田公衆便所の管理を行う。

【詳細事業内訳】
 空家対策費 3,311千円 環境衛生総務費 188,374千円 雨水貯留槽施設設置事業 300千円 公衆便所管理事業 1,094千円 公衆浴場経営安定化助成事業 2,200千円 狂犬病予防・動物愛護事業 1,654千円 火葬料負担事業 8,215千円

【一般財源増加理由】 ※H30年度に行う空家実態調査の調査員賃金及び、調査結果をデータベース化する委託料。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	79,005		12	役務費	111	保護犬等の治療代、公用車車検代外
03	職員手当等	40,845		13	委託料	4,329	犬の登録管理狂犬病予防委託、休日等保護犬搬送業務委託、公衆便所清掃委託、空家データベース化業務委託
04	共済費	25,058		15	工事請負費	260	公共施設への雨水貯留槽設置工事
07	賃金	528	空家現地調査及びデータベース化事務	18	備品購入費	11	ICレコーダ購入費
08	報償費	238	空家対策協議会委員謝礼、空家相談会謝礼、動物慰霊祭供物	19	負担金補助及び交付金	52,998	雨水貯留施設設置補助金、公衆浴場経営安定化助成金、火葬料負担金、安曇野松筑広域環境施設組合負担金、猫不妊・去勢手術費用補助
09	旅費	48	犬管理対策協議会研修会、空家等対策研修会外	20	扶助費	350	火葬料
11	需用費	1,358	アメリシロ防除薬剤等、狂犬病予防注射済票、犬鑑札、公衆便所の光熱水費外	27	公課費	9	公用車自動車重量税

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	空家対策費	管理不全の空家に対し、空家対策協議会において、立ち入り調査の結果に基づき特定空家認定について協議をする。また、空家の実態調査を実施し、データベース化をすることで、空家の適正管理を推進し、そして、所有者に対し意向調査を行い、空家の利活用の活性化を図る。	07	賃金	528
				08	報償費	235
				09	旅費	48
				13	委託料	2,500
					計	3,311
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にするまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	環境を守るまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	水環境の保全・強化・活用
	事業	0104170	合併浄化槽補助事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,016	4,050	3,746	0	0	10,220
前年度	18,016	4,050	3,625	0	0	10,341
増減額	0	0	121	0	0	△ 121

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	浄化槽設置整備補助金	4,050							
15	浄化槽設置整備補助金	3,746								

【目的・効果】
【目的】
 ・下水道整備区域外の水洗化を図るため、合併処理浄化槽の設置を推進し、生活環境の向上を目指す。
【効果】
 ・生活環境の向上及び公共用水域の水質改善につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・下水道整備区域外で専用住宅に合併浄化槽を設置する者に対して補助金を交付する。

【詳細事業内訳】
 合併浄化槽補助事業 18,016千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	18,016	合併浄化槽設置補助金 30基分				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	合併浄化槽補助事業	下水道事業計画区域外での合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付することで、生活環境の向上と公共用水域の水質改善を図る。	19	負担金補助及び交付金	18,016	
					計	18,016	
2							
					計	0	

予算書ページ	183
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	06	公害対策費		基本施策	快適な生活環境の創造
	事業	0104180	公害対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
11,779	14,347	△ 2,568	0	0	0	0
			0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・水質、大気、騒音等に係る環境調査により、人の健康を保護するうえで維持されることが望ましい環境基準を達成する。

【効果】

・各種検査、測定を実施することで公害監視体制の強化を図り、公害のない健康で快適な市民生活の保持を目指すことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・自動車騒音等の各種環境調査定期測定を実施する。
ダイオキシン類大気検査5箇所、大気中窒素酸化物12回/3箇所、道路騒音調査8箇所、河川水質検査2回/50箇所、地下水水質検査2回/28箇所、ゴルフ場農業検査1回/2箇所、硝酸態窒素水質調査2回/3箇所、トリクロロエチレン水質検査6箇所、自動車騒音常時監視及び面的評価3路線
- ・公害発生の早期発見と発生状況を監視するため、公害監視員による市内の巡回を行う。
- ・悪臭防止法に基づく臭気指数規制に係る臭気指数調査を行う。
三郷地域畜産臭気測定3回/8箇所、苦情に係る臭気指数調査の実施。

【詳細事業内訳】

公害対策費 8,148千円 臭気対策費 3,631千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	365	三郷畜産臭気モニター、公害監視員謝礼				
09	旅費	14	公害対策研修会旅費				
11	需用費	209	水質汚濁事故防止用吸着マット外				
12	役務費	346	公害苦情処理調査、公害測定機器校正点検、公害監視員傷害保険料				
13	委託料	10,845	環境調査定期測定、畜産臭気測定、臭気指数調査				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	環境調査測定事業	騒音、ダイオキシンなどの公害測定を行い、環境基準の達成状況を常に監視することで、生活環境の向上を図る。	13	委託料	7,723
					計	7,723
2	ソフト	臭気対策事業	基準を超える臭気により苦情が頻発する事業所に対して指導等を行い、臭気低減を図る。また、公害監視員が市内を巡回し、臭気をはじめとした公害の発生を監視することで、公害の早期発見につながり、快適な生活空間の維持改善を図ることができる。	08	報償費	365
				11	需用費	101
				12	役務費	43
				13	委託料	3,122
					計	3,631

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010404100		予算書ページ	187
		課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	環境に優しいまちの形成
	項	02	清掃費		基本方針	環境への責任を果たすまち
	目	01	清掃総務費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104210	清掃費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	925,906	0	0	7,300	108,534	810,072
前年度	943,996	0	0	0	108,497	835,499
増減額	△ 18,090	0	0	7,300	37	△ 25,427

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	一般廃棄物許可申請等手数料	350	21	新ごみ処理施設建設事業	7,300				
13	可燃ごみ処理手数料	90,075								
13	動物死骸処理手数料	7,776								
20	資源売却代	10,333								

【目的・効果】
【目的】
 ・市民から排出されるごみ・資源物の適正な収集及び処理を行う。また、不法に投棄される廃棄物の早期回収・処理を行い、市民の清潔で快適な生活環境を確保する。
【効果】
 ・ごみ・資源物、不法投棄ごみなど、適正な処理を行うことにより清潔で快適な生活環境を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・不法投棄防止及び早期撤去を行う。
 ・可燃ごみ証紙の管理事務を行う。
 ・可燃ごみ、不燃ごみ、資源物の収集運搬業務を委託する。
 ・粗大ごみ等の収集・運搬・処理業務を委託する。
 ・市内一斉清掃を実施する。
 ・穂高広域施設組合の運営費並びに 新ごみ処理施設の整備費用について応分の負担をする。(平成33年3月共用開始予定)

【詳細事業内訳】
 穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業 7,716千円 廃棄物収集運搬事業 336,500千円 穂高広域施設組合事業 560,506千円 乳幼児の紙おむつ処理手数料減免事業 1,053千円 廃棄物対策総務費 5,178千円 不法投棄対策事業 7,253千円 可燃ごみ有料化事業 7,700千円

【一般財源増加理由】 新規に動物死骸及び汚物、床敷、残餌の運搬・処理を委託することによるもの。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,764	臨時職員賃金	19	負担金補助及び交付金	568,341	穂高広域施設組合負担金、新ごみ処理施設整備費負担金、廃棄物処理施設技術管理者講習受講料
08	報償費	2,873	環境部長会議、不法投棄監視連絡員出席謝礼	27	公課費	51	公用車重量税
09	旅費	313	廃棄物処理施設技術管理者講習受講、資源物処理状況現地検査				
11	需用費	2,593	不法投棄防止看板、出荷管理票印刷、管理集積所修繕、公用車燃料費・修繕、減免用交付袋				
12	役務費	8,076	公用車車検手数料、不法投棄監視連絡員保険料、可燃ごみ証紙売り捌き手数料、騒音調査料				
13	委託料	340,753	収集運搬・中間処理、直営集積所管理、犬猫回収処理、動物死骸等処理、不法投棄・一斉清掃粗大ごみ収集運搬・処理				
16	原材料費	142	旧穂高処分地整備用敷砂利、柵設置資材				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ 乳幼児の紙おむつ処理手数料減免事業	ごみ減量の努力が難しい、紙おむつを使用している2歳未満の乳幼児を養育している保護者を対象に燃えるごみの指定袋を交付(現物支給)し、可燃ごみ処理手数料を減免することで子育てを支援する。	11	需用費	1,053
					計	1,053
2	ソフト	○ 廃棄物収集運搬事業	①市民が指定集積所に排出する可燃ごみ・不燃ごみを収集し、穂高クリーンセンター等への搬入を業者委託する。②市民が分別排出した資源物の収集運搬・保管・中間処理を業者委託し、資源物のリサイクルをする。なお、資源物の売却収入の一部を財源として充当する。	13	委託料	336,500
					計	336,500

重点的に推進する取組み (4)

コード 010404100
課・係等 廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算書ページ 189

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	環境に優しいまちの形成
	項	02	清掃費		基本方針	環境への責任を果たすまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104220	ごみ減量化再利用対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	33,355	0	0	0	26,650	6,705
前年度	34,424	0	0	0	27,819	6,605
増減額	△ 1,069	0	0	0	△ 1,169	100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	7,000	20	再商品化合理化拠出金配分金	2,680				
20	ふるさと寄附基金繰入金	7,000								
20	資源売却代	9,800								
20	手作り石けん販売代	170								

【目的・効果】
【目的】
 ・市民から排出されるごみの分別・資源化を進め、ごみの減量化と市民の住環境の向上を図る。
 ・市内各自治会が組織する環境部の活動を支援し、住民協働により生活環境の保全を図る。
【効果】
 ・ごみの減量化による行政経費の軽減と資源化再利用により環境負荷が軽減される。
 ・環境部を中心とした市民活動を支援することにより、住民協働の進展とごみの減量化や生活環境の保全が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・ごみ減量化・資源化を図るため、適正な分別の啓発・指導の推進を行う。
 ・「ごみ・資源物収集カレンダー」及び「家庭用資源物・ごみ出し方の手引き(改訂版)」を全戸に配布する。
 ・スマートフォン、タブレット向け「ごみ分別アプリケーション」の安曇野市版を配信することにより、更なるごみの分別・啓発を行う。
 ・市民から排出されるせん定枝をチップ化し市民に無償で提供する「緑のリサイクル事業」を委託する。
 ・市民から排出される廃食用油の回収と石けん等への加工業務を委託する。
 ・ごみ減量のため、市民が購入する生ごみ処理機器等の購入補助を行う。
 ・地域ごとに環境部長会議を開催し、必要な研修機会を設けることで地域活動を支援する。
 ・各自治会環境部に交付金を交付し、指定集積所の管理やごみ分別の適正化推進、地域一斉清掃などの地域活動を支援する。

【詳細事業内訳】
 ごみ減量化推進事業 9,525千円 環境活動支援事業 23,830千円

【一般財源増加理由】 ふるさと寄附金の減額による増。「家庭用資源物・ごみ出し方の手引き」に係る印刷製本費の増(ページ数の増)。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	619	環境部長会議出席謝礼、講習会講師謝礼	27	公課費	40	特殊車両(タウンビバー)重量税
09	旅費	14	職員旅費				
11	需用費	4,614	ごみ・資源物収集カレンダー印刷、家庭用資源物・ごみ出し方の手引き改訂版印刷、一斉清掃用ごみ袋				
12	役務費	479	特殊車両(タウンビバー)車検・保険・破砕機歯研磨手数料、ごみ専用フリーダイヤル電話料、翻訳				
13	委託料	2,989	剪定枝破砕業務、廃食用油回収・石鹸加工業務、運転代行				
14	使用料及び賃借料	237	ごみ分別アプリケーションサービスサーバー使用料、不用食器リサイクル運搬車両借上料				
19	負担金補助及び交付金	24,363	環境活動交付金、生ごみ処理機器等購入補助金、指定集積所施設整備補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ごみ減量化推進事業	廃棄物の発生を抑制し、そのうえで再使用、再生利用を推進するため、分別排出・資源化を進める。家庭用資源物・ごみ出し方の手引き(改訂版)等を配布することで適切な分別方法の周知と資源化率の向上が期待される。	11	需用費	4,129
				13	委託料	2,922
				19	負担金補助及び交付金	1,700
				12	役務費	479
					計	9,230
2	ソフト	環境活動支援事業	各自治会環境部に交付金を交付し、指定集積所の管理やごみ分別の適正化推進、地域一斉清掃などの地域活動を支援し、住民協働により生活環境の保全を図る。	19	負担金補助及び交付金	22,663
				08	報償費	601
				11	需用費	485
				13	委託料	67
					計	23,816

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010404100
課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算書ページ	189
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	環境に優しいまちの形成
	項	02	清掃費		基本方針	環境への責任を果たすまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104230	最終処分場施設管理事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,091	0	0	0	0	15,091
前年度	20,007	0	0	0	0	20,007
増減額	△ 4,916	0	0	0	0	△ 4,916

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

目的:一般廃棄物の自区内処理の原則により、三郷一般廃棄物最終処分場では市内から排出されるガラス・陶器・家庭焼却灰を、小岩岳不燃物処理場では市内から排出されるブロック・コンクリート・瓦・タイル・壁土等を埋立て処分する。これら2つの処分場の適切な維持管理及び埋立てが終了している旧豊科最終処分場の監視を行う。
 効果:廃棄物処理施設は、周辺環境の保全を目的に施設を適正に維持管理する義務が課せられている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・三郷一般廃棄物最終処分場は埋立て開始から20年が経過し、故障の可能性が高い設備(混和槽攪拌機、調整池内の返送ポンプ等)の交換・補修を行う。
- ・三郷最終処分場の放流水等検査、小岩岳不燃物処理場等の地下水検査を行う。

【詳細事業内訳】

最終処分場施設管理事業 15,091千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,531	施設機械の老朽化による施設修繕、水処理薬剤等消耗品				
12	役務費	48	電話料				
13	委託料	10,461	埋立業務、周辺環境整備、水質検査、受入業務				
14	使用料及び賃借料	96	重機借上料、監視井戸借地料				
16	原材料費	1,458	覆土用土砂				
18	備品購入費	497	複合機				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	最終処分場施設管理事業	三郷一般廃棄物最終処分場に搬入されたガラス・陶器・家庭焼却灰の埋立て処分業務を委託する。	13	委託料	10,461
				11	需用費	2,531
				16	原材料費	1,458
				18	備品購入費	497
					計	14,947
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010404100
課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算書ページ	191
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	環境に優しいまちの形成
	項	02	清掃費		基本方針	環境への責任を果たすまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,900	0	0	0	6,501	3,399
前年度	19,907	0	0	0	5,215	14,692
増減額	△ 10,007	0	0	0	1,286	△ 11,293

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	木くず受入処理手数料	1,296							
20	資源売却代	5,000								
20	リサイクルセンター再生品販売代	205								

【目的・効果】
【目的】
 市内3箇所(豊科・穂高・明科)のリサイクルセンターの管理・運営を行い、資源物回収の拠点として廃棄物の資源化の促進を図る。
【効果】
 多様化する市民のライフスタイルに対応するため、指定集積所での収集に加え、休日等に拠点施設での資源物の受け入れを行い、市民が分別排出する機会を増やし、リサイクル事業の進展を図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 3施設のリサイクルセンターに受入指導員を配置し、適正な分別方法の周知と管理運営を行う。
 事業系一般廃棄物の焼却量の減量を目的に3カ所のリサイクルセンターにおいて事業所からの資源物の直接搬入を受け入れる。
 豊科リサイクルセンターにおいて、太さ8cmを超える枝木、木くずを有料で受け入れ、業者に運搬処理を委託する。

【詳細事業内訳】
 リサイクルセンター施設管理事業 9,900千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	1,155	受入指導員・リサイクル工房指導員謝礼						
11	需用費	1,184	光熱水費、自転車修理消耗品、施設修繕費、灯油代						
12	役務費	112	電話料、指導員傷害保険料						
13	委託料	7,390	受け入れ指導・清掃業務、豊科RC 消防施設点検、豊科RC木くず受入委託						
14	使用料及び賃借料	59	フォークリフト借り上げ料						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	リサイクルセンター施設管理事業	ごみ減量化・資源化推進のため、利用者への適正な分別指導を行う。また、開場日の混雑時に整理等をし、円滑な施設運営を行う。	13	委託料	7,390	
				11	需用費	1,184	
				08	報償費	1,155	
				12	役務費	112	
					計	9,841	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010404100		予算書ページ	191
		課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	環境に優しいまちの形成
	項	02	清掃費		基本方針	環境への責任を果たすまち
	目	03	雑排水処理費		基本施策	循環型社会の構築
	事業	0104260	雑排水処理事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,409	0	0	0	73	23,336
前年度	76,384	0	0	0	73	76,311
増減額	△ 52,975	0	0	0	0	△ 52,975

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	雑排水配管敷設借地料	3								

【目的・効果】
【目的】
 ・家庭雑排水沈殿槽の清掃を奨励し、適正に処分することで生活排水による河川等の汚濁を防止する。市内全域から収集された生活雑排水を受け入れ、処理を行う。(汚水・汚泥は地下水で希釈後に下水道に放流)
 ・柏原団地の生活雑排水浄化施設の維持管理を行い、排水水質の浄化安定を図る。
【効果】
 ・定期的な清掃を実施し、汚水汚泥の適正な処理を行う。また、市内全域から収集された生活雑排水の適正な処理を行うことができる。
 ・柏原団地浄化施設の適正な管理を行うことで、放流先の農業用灌漑水に影響のない安定した水質の排水が確保できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・家庭雑排水沈殿槽の清掃と汚泥収集運搬業務を委託する。
 ・処理施設の管理運営を行う。
 ・定期的に浄化槽の清掃を行う。
 ・施設の計画的な修繕を行う。
 ・柏原浄化施設の槽・設備機器の維持管理を行う。

【詳細事業内訳】
 生活雑排水処理施設管理事業 23,409千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	6,867	光熱水費、管理用消耗品、灯油代、施設修繕費								
12	役務費	55	電話料								
13	委託料	16,355	貯留槽・沈殿槽清掃業務、施設管理作業、生活雑排水・汚泥保管・運搬、生活雑排水汚泥汲取(助成)								
14	使用料及び賃借料	39	除雪機械借上げ、雑排水管借地料								
19	負担金補助及び交付金	93	放流水水質検査負担金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	生活雑排水処理施設管理事業	経年劣化により循環ポンプと回転円盤のタイロッド交換を行う。また、臭気状況を把握するため、臭気指数検査を2カ所にて年4回実施する。	13	委託料	16,355	
				11	需用費	6,867	
				19	負担金	93	
					計	23,315	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010406100
		課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)

予算書ページ	65
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102110	穂高支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,552	0	0	0	108	21,444
前年度	22,083	0	0	0	86	21,997
増減額	△ 531	0	0	0	22	△ 553

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	穂高支所雑入	108							

【目的・効果】
【目的】
 ・穂高地域の自治活動等を支援し、自治会等自らが地域課題の解決が図れるよう努める。
 ・市民と行政の協働のまちづくりを推進する。
 ・穂高支所等の経費削減と事務事業の効率化を図り、健全財政に努める。
【効果】
 ・市民と行政が支えあい、安全安心な地域社会の構築が図られる。
 ・穂高支所等の適切な維持管理が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 *平成30年度、穂高支所は開所から2年目を迎えます。
 穂高支所、市民活動サポートセンター利用者の安全と利便性の向上を図ります。また、市民との協働を推進します。
 ・穂高地域区長会活動を支援します。
 ・行政財産を適正に維持管理し、光熱水費・委託料等の適正執行を行います。
 ・借地の維持管理:①庁舎敷地935.39㎡(地権者1名) ②公用車駐車場2,231㎡(地権者1名)
 ・公用車の維持管理を行います。
 ・寄贈財産(福武書庫)の管理を行います。

【詳細事業内訳】
 穂高支所等施設管理運営事業 20,985千円 穂高地域づくり事業 567千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	5,293	臨時職員				
08	報償費	322	区長会出席謝礼				
09	旅費	31	普通旅費(区長会研修同行)				
11	需用費	7,879	事務消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費他				
12	役務費	1,370	電話料、法定点検手数料、管理手数料他				
13	委託料	3,287	管理委託(庁舎清掃、保守点検業務他)、警備業務				
14	使用料及び賃借料	3,370	コピー機外借上げ、各種使用料、駐車場外借地等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	010406100
課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)

予算書ページ	331
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110395	穂高公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,619	0	0	0	936	21,683
前年度	21,224	0	0	0	936	20,288
増減額	1,395	0	0	0	0	1,395

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	穂高公民館使用料	600							
20	穂高公民館雑入	336								

【目的・効果】
【目的】
 ・多くの市民が利用する生涯学習の場として利用者にとって使いやすく安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。
 ・穂高会館耐震補強工事が終了し、市民が安心して利用できる施設整備が図られ、更なる利用の促進を図る。
【効果】
 ・穂高会館の一層の利活用を図り、教育・文化の振興に資することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設・備品等の点検を行い、市民が安心して利用できる環境整備を図る。
 ・施設予約システムにより適正な受付・管理業務を行う。
 ・利用者の意向・要望に沿えるように及び情報提供を行う。
 ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
 ・貸館事務等の業務委託

【詳細事業内訳】
 穂高公民館施設管理運営事業 22,619千円

【一般財源増加理由】		施設修繕費(消防設備)及び施設管理費の増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	1,782	非常勤職員			27	公課費	9	公用車重量税		
11	需用費	8,475	管理用消耗品、光熱水費、施設修繕費、物品修繕費								
12	役務費	1,161	電話料、レンタルマット代、手数料他								
13	委託料	10,150	会館管理、受付、日常業務、保守点検他								
14	使用料及び賃借料	1,033	コピー機リース料及び使用料、借地料(駐車場)								
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会								
23	償還金、利子及び割引料	5	施設使用料還付金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	010406100
課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)

予算書ページ	333
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110400	穂高公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,114	0	0	0	30	4,084
前年度	4,200	0	0	0	30	4,170
増減額	△ 86	0	0	0	0	△ 86

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	穂高公民館雑入	30							

【目的・効果】
【目的】
 ・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に公民館事業の活性化を図る。
【効果】
 ・多くの市民が、公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲がうまれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・各種公民館講座、球技大会等の開催により子供から高齢者まで生涯を通じて学びあえる機会を提供する。
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民交流の場として文化祭、芸能祭及びスポーツ大会を開催する。
 ・公民館サポート委員及びスポーツ推進委員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 地区公民館役員会議を定期的で開催し、情報提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【詳細事業内訳】
 穂高公民館事業 4,114千円

【一般財源増加理由】文化祭出品作品の増による設営費用の増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,478	公民館長報酬				
08	報償費	550	球技大会運営協力者謝礼、文化祭、球技大会参加賞他				
11	需用費	424	球技大会消耗品、文化祭パンフレット他				
12	役務費	194	公民館総合補償掛金				
13	委託料	449	文化祭設営・撤去業務、マイクロバス運転業務				
14	使用料及び賃借料	19	公民館講座用				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	010407100
課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)

予算書ページ	67
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102130	三郷支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,074	0	0	0	132	24,942
前年度	26,690	0	0	0	132	26,558
増減額	△ 1,616	0	0	0	0	△ 1,616

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	三郷支所雑入		132						

【目的・効果】
【目的】
 ○三郷支所・公民館の利用者である市民の視点に立ち、施設を一体的に維持管理・運営し、利便性の向上を図る。
【効果】
 ○継続的かつ適切な維持管理により、利用者の安全・安心・快適性が確保できる。
 ○三郷地域の行政の拠点としての機能を維持することができる。
 ○地域の活性化につながると共に、市民のふれあいの場を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・三郷支所・公民館が一体となった複合施設の利点を生かし、市民サービス提供の場にふさわしい環境を整える。
 ・三郷地域区長会において、地域の課題を共有し、対策について検討を行う。
 ・地域住民のふれあいとふるさと意識の高揚を図るため開催する「ふるさと夏祭り」への補助を行う。

【詳細事業内訳】
 三郷支所等施設管理運営事業 23,214千円 三郷地域づくり事業 1,860千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	3,561	窓口業務臨時職員賃金		19	負担金補助及び交付金	1,500	ふるさと夏祭り補助金		
08	報償費	220	区長会出席謝礼、地区行事報償物品							
09	旅費	31	区長会視察研修同行職員旅費							
11	需用費	7,307	庁舎管理消耗品、施設物品修繕費、光熱水費、燃料費等							
12	役務費	640	電話料外							
13	委託料	6,431	庁舎設備等保守点検、ごみ処理、除雪作業外							
14	使用料及び賃借料	5,384	印刷機・コピー機借上料、庁舎敷地借地料							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ふるさと夏祭り	地域住民のふれあいとふるさと意識の高揚を図り、地域の活性化と発展につなげることができる。	19	負担金補助及び交付金	1,500
					計	1,500
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	010407100
課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)

予算書ページ	333
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110405	三郷公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,446	0	0	0	834	7,612
前年度	8,207	0	0	0	792	7,415
増減額	239	0	0	0	42	197

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	三郷公民館使用料	600							
20	三郷公民館雑入	234								

【目的・効果】

【目的】

○多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。

【効果】

○生涯学習を支える環境が整備されることにより、市民の学習行動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・周辺に多くの公共施設が位置していることから、大人から子供まで多くの市民が利用する生涯学習施設の拠点として、安全かつ使いやすい施設となるよう維持管理を行う。
- ・施設・備品等の点検修理を行い、利用環境の整備を図る。
- ・貸館等事務(夜間・休日)を業務委託し、市民が利用しやすい環境を整える。
- ・新公共施設予約システムを活用し、窓口業務の迅速化を図る。
- ・館内清掃を業務委託し、常に清潔で衛生的な環境を提供する。
- ・支所と公民館が一体となった複合施設として、利用者の意向・要望に沿えるよう、より一層のサービス向上に努める。

【詳細事業内訳】

三郷公民館施設管理運営事業 8,446千円

【一般財源増加理由】 公民館のトイレ修繕が必要であるため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,092	消耗品費、施設修繕費、光熱費、燃料費外				
12	役務費	159	電話料外				
13	委託料	4,271	公民館管理・清掃業務委託外				
14	使用料及び賃借料	2,924	コピー機使用料、公民館敷地借地料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010407100		予算書ページ	333
		課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110410	三郷公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,498	0	0	0	64	5,434
前年度	5,707	0	0	0	66	5,641
増減額	△ 209	0	0	0	△ 2	△ 207

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	三郷公民館雑入		64						

【目的・効果】
【目的】
 ○地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。
【効果】
 ○多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地区間の交流も活発化する。
 ○文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで、生活の励みや生きがいの創出及び健康増進、さらなる学習意欲の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・「三郷祭」を冠する文化産業展・運動会等の行事開催や講座・教室を開講し、地域文化の振興や地域住民の交流を図る。
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化産業展、芸能発表会、運動会及びスポーツ大会を開催する。
 ・公民館サポート会議委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。
 ・地区公民館役員会議を定期的開催し、情報の提供及び共有を図る。
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

【詳細事業内訳】
 三郷公民館事業 5,498千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,478	公民館長報酬				
08	報償費	1,503	地区公民館対抗球技大会協力者謝礼、三郷祭協力員謝礼、球技大会・運動会景品、三郷祭記念品外				
11	需用費	424	事務用品、三郷祭プログラム印刷外				
12	役務費	194	公民館総合補償制度掛金				
13	委託料	478	文化産業展・芸能発表会会場パネル運搬設置委託、ふるさと講座バス運転業務委託外				
14	使用料及び賃借料	421	文化産業展机等、芸能発表会照明借上料外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	三郷祭運営事業	伝統ある(昭和33年～)三郷祭を継続的に開催することで、生涯学習成果発表並びに世代を越えた交流と地域の活性化を図ることができる。	08	報償費	1,097	
				14	使用料及び賃借料	405	
				13	委託料	367	
				11	需用費	140	
					計	2,009	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010408100		予算書ページ	69
		課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)			

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1協働によるまちづくりの推進
	事業	0102150	堀金支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	42,993	0	0	0	94	42,899
前年度	29,994	0	0	0	190	29,804
増減額	12,999	0	0	0	△ 96	13,095

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	庁舎等自動販売機設置(支所過年度分)	46							
20	堀金支所雑入	48								

【目的・効果】
【目的・効果】
【目的】
 ・堀金複合施設庁舎(支所・図書館・公民館・上下水道料金センターを備えた施設)の維持管理業務を行う。世代を超えた市民の交流並びに学習の拠点となる施設運営の充実のため、総合管理による設備管理、警備、清掃、敷地管理等の管理を行う。
 ・公用車の適切な管理を行う。
 ・快適なまちづくりと地域社会の構築を図る。
 ・市並びに堀金地域の活性化を図る。
【効果】
 ・総合管理により、施設の安全化と長寿命化を高め、また維持管理コストの低減を図ることができる。これにより庁舎利用者の安全性並びに施設利用料の軽減を確保でき、住民サービスの向上に繋がる。
 ・公用車の塗装面等傷みの防止を図ることで、車両の耐用年数の延長に繋がる。
 ・効率の良い施設整備が図られる。
 ・安全、安心で快適なまちづくりと、皆で支え合い助け合う地域社会の構築が図られる。
 ・地域交流や観光振興イベントの開催を通し、安曇野市並びに堀金地域の魅力をピーアールすることで、地域活性化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【当該年度の事業概要(手法)】
 ・支所地域課と、地域公民館、図書館並びに上下水道料金センターとが所管を超え連携しているが、30年度は新たに文書館も稼働するため、今まで以上に連携を強化する。節電、節水において省エネ対策に取り組み、維持管理経費の縮減に努めている。
 ・支所地域課と地域公民館とが一体となり、地域固有の行事などを育み、併せて、地域の問題解決に向け、市民と行政が協働して地域づくりを進める。
 ・重要かつ対等なパートナーとしての区の代表組織である区長会と協働し、区が抱える諸課題解決に向けて会議並びに研修会等の開催や助言を行う。
 ・「ほりがね秋の振興祭り」は、地域農産物や特産品のピーアール催事事業である。農業者、商工業者代表の実行委員会に補助金を交付する。
 ・支所の空調機が故障しているため、その改修工事費用と、電気室天井部の漏水に対する修繕費用が必要なため、前年度よりも一般財源の支出が増加している。

【詳細事業内訳】
 堀金支所等施設管理運営事業 24,710千円 堀金地域づくり事業 1,121千円 堀金支所空調機改修事業 17,162千円

【一般財源増加理由】 支所空調機ならびに電気室天井部の老朽化による工事費、修繕費を予算に計上したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,578	窓口業務臨時職員賃金	15	工事請負費	15,768	空調機改修工事費
08	報償費	133	各種行事式典等報償用物品、区長会出席謝礼	19	負担金補助及び交付金	900	堀金地域振興事業(ほりがね秋の振興祭り事業補助金)
09	旅費	6	区長会視察研修随員職員旅費	27	公課費	9	公用車重量税
11	需用費	10,805	事務用品費、公用車燃料費外、来客用茶葉代、庁舎修繕費、電気室天井部修繕費、電気料、上下水道料、物品修繕費(車検に伴う公用車修繕費外)、区長会贈い				
12	役務費	1,016	庁舎電話料、公用車車検手数料外、公用車法定点検手数料、マット・モップレンタル料、公用車自賠責保険料				
13	委託料	8,794	空調機工事管理委託料、庁舎管理業務委託料(電気設備、清掃業務、電話設備、空調設備、エレベーター保守、自動ドア保守、夜間警備)、庭木剪定作業外、区長研修バス運航業務、借地測量・鑑定委託料				
14	使用料及び賃借料	1,984	便器洗浄等、印刷機、コピー機、給茶機レンタル料、コピー機、あづみ野テレビ使用料、庁舎用地借地料外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○	堀金支所空調機改修事業	故障のため現在稼働していない支所空調機ACI-3系統(市民ホール、エレベーターホール、風除室)の改修工事を行うことにより、来庁者に快適な空間を提供することができる。	13	委託料	1,394
					15	工事請負費	15,768
					計	17,162	
2	ソフト		ほりがね秋の振興祭り	堀金地域振興事業の開催を通し、地域の魅力をピーアールすることで、地域活性化が図られる。	19	負担金補助及び交付金	900
					計	900	

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	010408100
課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)

予算書ページ	335
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110415	堀金公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,758	0	0	0	1,140	3,618
前年度	4,779	0	0	0	1,080	3,699
増減額	△ 21	0	0	0	60	△ 81

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	堀金公民館使用料	1,020							
20	堀金公民館雑入	120								

【目的・効果】
【目的】
 生涯学習の場として公民館施設を維持管理し、運用・活用を推進する。
【効果】
 生涯学習環境の整備により、市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○公民館施設・備品の維持及び貸出の管理。
 ○堀金公民館講堂施設の改修にあわせて、新たな活用を図る。

【詳細事業内訳】
 堀金公民館施設管理運営事業 4,758千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,163	管理消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費						
12	役務費	366	電話料、ピアノ調律、ピアノ移動、雑排水処理、マット・モップ交換						
13	委託料	2,894	施設受付管理・清掃業務、印刷機保守、粗大ごみ処理						
14	使用料及び賃借料	331	複合機・印刷機借上料、複合機使用料						
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会会費						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	堀金公民館施設管理事業	夜間及び休祝日における公民館施設の貸出管理や日常清掃をシルバー人材センターに委託することにより、利用者の便宜と円滑な運営を図り、清潔な環境を保つことができる。	13	委託料	2,854
					計	2,854
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	010408100
課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)

予算書ページ	337
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110420	堀金公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,717	0	0	0	15	4,702
前年度	4,868	0	0	0	12	4,856
増減額	△ 151	0	0	0	3	△ 154

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	堀金公民館雑入	15							

【目的・効果】
【目的】
 ○地域づくりの拠点としての地区公民館の支援
 ○地域の文化・芸術の振興、生涯学習の推進
 ○スポーツを通じた健康長寿
【効果】
 多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。
 生涯学習・生涯スポーツの推進により、生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○地区公民館関係者研修会や役員会開催し、地区公民館の支援、地域づくりの意識向上、連携活動を行う。
 ○文化祭・芸能祭などの発表の場、学びのつどいなどの芸術鑑賞の場を設ける。
 ○地区公民館と連携し、運動会・みんなでスポーツin常念、堀金一周駅伝大会・冬期スポーツ大会を開催する。

【詳細事業内訳】
 堀金公民館事業 4,717千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	2,478	堀金公民館長報酬							
08	報償費	1,570	講演会・研修会講師謝礼、文化祭・スポーツ大会協力者謝礼、文化祭・スポーツ大会記念品及び景品							
11	需用費	371	公民館事業消耗品、スポーツ大会用品、スポーツ大会協力者贈い							
12	役務費	216	公民館総合補償制度掛け金、クリーニング代							
13	委託料	82	バス運転、花火打ち上げ、駅伝大会交通誘導							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	堀金文化祭・一周駅伝大会事業	堀金文化祭を継続的に開催することで、生涯学習の成果発表ならびに世代を超えた交流を図る。 また、伝統ある堀金一周駅伝大会を開催し、スポーツを通じて地域の繋がりを図る。	08	報償費	555	謝礼・記念品
				11	需用費	179	消耗品
				13	委託料	64	バス運転・交通誘導
					計	798	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)	コード	010409100	
		課・係等	明科地域課 地域担当(明科)	

予算書ページ	71
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102170	明科支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,690	0	0	0	90	14,600
前年度	15,604	0	0	0	90	15,514
増減額	△ 914	0	0	0	0	△ 914

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	明科支所雑入		90						

【目的・効果】
【目的】
 ・経費削減と事務事業の効率化を図り、健全財政に努める。
 ・市民と行政の協働のまちづくりを推進する。
【効果】
 ・明科庁舎等の適切な維持管理が図られる。
 ・市民と行政の協働のまちづくり体制が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 * 明科庁舎は、支所と公民館の複合施設として5年目を迎えます。
 支所及び公民館利用者の利用しやすい環境整備を行うと共に、地域の活性化を図るための事業を重点的に進めます。
 ・明科庁舎等の行政財産を適正に維持管理し、市民が安全で安心して利用できる親しみやすい環境を整える。
 ・お客様(市民の皆さん)をお待たせしない市民サービスを提供する。
 ・明科支所配置の公用車(2台)の維持管理を行う。
 ・明科地域区長会活動の支援を行う。(明科地域区長会の開催、区長の相談受付及び助言ほか)
 ・地域の市民団体の育成、支援を進める。

【詳細事業内訳】
 明科地域づくり事業 366千円 明科支所等施設管理運営事業 14,324千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	1,749	窓口業務臨時職員賃金ほか		27	公課費	18	自動車重量税(2台分)	
08	報償費	198	地域区長会出席謝礼(14名分)						
09	旅費	31	区長会県外視察研修同行職員旅費(2名分)						
11	需用費	5,767	事務消耗品ほか、公用車燃料代、区長会・来客用賄費、施設修繕費、光熱水費、公用車等物品修繕費						
12	役務費	745	電話料、公用車車検等手数料、庁舎管理用品交換手数料、自賠責保険料						
13	委託料	5,954	庁舎等管理(電気保安・消防設備・清掃・警備・空調ほか)点検委託料、ごみ処理・除雪・大型バス委託料						
14	使用料及び賃借料	228	コピー機使用料、テレビ受信料、庁舎案内看板借地料						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010409100		予算書ページ	183
		課・係等	明科地域課 地域担当(明科)			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	07	飲料水供給費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0104190	飲料水供給費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,497	0	0	0	154	2,343
前年度	1,810	0	0	0	154	1,656
増減額	687	0	0	0	0	687

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	飲料水供給施設使用料	154							

【目的・効果】
【目的】
 明科南陸郷区内の山間集落(金井沢地区)において、市民の健康と生活環境を確保するため、安曇野市明科飲料水供給施設(以下「飲料水供給施設」という)により、生活のための飲料水を安定供給する。
【効果】
 安全で安心な飲料水を供給できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・飲料水供給施設として整備されている配水施設の維持管理を、安曇野市水道事業の管理を行う者(安曇野市長:上水道課)に委託する。
 ・浄水ろ過膜設備の洗浄及び保守点検業務を専門業者に委託し、安定した水質を確保し、安心安全な飲料水を供給する。
 ・各受益世帯(7世帯)の水道使用量を検針(偶数月)し、使用料を徴収する。

【詳細事業内訳】
 飲料水供給施設管理運営事業 2,497千円

【一般財源増加理由】 施設維持管理及びろ過膜洗浄点検業務が増額:404千円、基礎ブロック修繕工事費:249千円、水道メーター器交換(8年毎):34千円

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	352	設備用消耗品(部品+交換用メーター器)代、施設小破修繕費、施設電気料金				
12	役務費	61	テレメーター電話料、メーター器交換手数料				
13	委託料	1,835	上水道課飲料水供給施設維持管理委託料、ろ過膜洗浄及び施設保守点検委託料				
15	工事請負費	249	飲料水施設基礎ブロック亀裂修復工事費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	飲料水供給施設管理運営事業	・金井沢地区市民の飲料水を安心且つ安全に供給するため、8年に1度のメーター器交換を行う。 ・基礎ブロックに亀裂が入っているため、施設維持管理のためブロック補修工事を行う。	11	需用費	12	
				13	役務費	22	
				15	工事請負費	249	
					計	283	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010409100
		課・係等	明科地域課 地域担当(明科)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110425	明科公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,341	0	0	0	1,041	3,300
前年度	4,212	0	0	0	1,041	3,171
増減額	129	0	0	0	0	129

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	明科公民館使用料	800							
20	明科公民館雑入	241								

【目的・効果】
【目的】
 ・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。
 ・市民に最も身近な地域の拠りどころとして、様々なサービスを提供し、情報発信の拠点となるよう心掛ける。
【効果】
 ・情報発信の拠点となることにより、市内外各地からの多くの利用者・参加者が見込まれる。
 ・地域、世代間の交流を進め、山積する地域課題に目を向ける機会を提供し、地域づくりの機運を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設利用方法等の周知を徹底し、不慮の事故等が発生しないよう管理する。
 ・施設、備品等の点検修理を行い、環境整備を図る。
 ・施設利用システムの導入により、窓口事務の迅速化を図る。
 ・利用者の意向、要望に添えるよう、案内及び情報提供を行う。
 ・利用者の使用日誌への記帳を徹底させ、光熱水費の削減に努める。

【詳細事業内訳】
 明科公民館施設管理運営事業 4,341千円

【一般財源増加理由】 コピー機、印刷機の経年劣化が著しく新たな機種を借上げるため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	867	・管理用消耗品費 ・公民館施設修繕				
12	役務費	503	・通信運搬費 ・調理実習室内清掃手数料				
13	委託料	2,506	・公民館管理シルバー委託料 ・印刷機等保守点検業務委託料				
14	使用料及び賃借料	456	・コピー機ほか借上料(再リース6か月分) ・コピー機ほか借上料(新規リース6か月分)				
27	公課費	9	・公用車重量税				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	010409100
課・係等	明科地域課 地域担当(明科)

予算書ページ	339
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110430	明科公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,943	0	0	0	40	3,903
前年度	4,075	0	0	0	40	4,035
増減額	△ 132	0	0	0	0	△ 132

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	明科公民館雑入	40							

【目的・効果】
【目的】
 ・市民の交流と学習の場として、地域の課題に目を向け、時代に即した学習と交流の機会を創出し、地域の活性化を図る。
 ・地域の伝統を活かした事業を中心に継続し、開催方法や事業内容など市民の意向を取り入れ、より時代に即した事業を展開する。
【効果】
 ・より多くの市民が興味を持って積極的に公民館事業に参加することにより、地域のつながり(絆)や市民同士の交流の活性化が一層図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地区公民館役員を対象に、定期会議のほか「協働のまちづくり」に向けた研修会を区役員と合同で開催し、更なる地域づくりの向上を図っていく。
 ・市民が主体となった団体などとの協働により、地域に目を向けた内容の講座や学習会の企画、運営を展開する。
 ・スポーツ大会等の企画、立案、運営など、旧体育協会を中心とした組織から市民主体の実行委員会組織へ再構築し、長期的視点に立った運営を目指す。

【詳細事業内訳】
 明科公民館事業 3,943千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	2,478	・公民館長報酬								
08	報償費	959	・文化祭、スポーツ大会運営協力謝礼 ・文化祭、スポーツ大会、運動会記念品等								
11	需用費	232	・事業用及び大会用消耗品費								
12	役務費	194	・公民館総合補償制度加入掛金								
13	委託料	80	・公民館講座等車両運行業務委託料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

福祉部

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010501100
課・係等	長寿社会課 福祉政策担当

予算書ページ	115
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103010	社会福祉総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
432,610	468,718	△ 36,108	0	14,010	0	788
			0	14,010	0	995
			0	0	0	△ 207
						△ 35,901

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	民生委員活動委託金	12,803							
15	民生委員協議会委託金	1,207								
16	福祉基金利子	728								
20	社会福祉雑入	60								

【目的・効果】

【目的】

- ・民生委員活動、災害時避難行動要支援者名簿の作成と提供といった法令の定めに従い、市民生活を守るための事業を実施する。
- ・地域福祉の推進、心配ごと相談等、市民の日常的な問題や課題を解決する事業を実施する。
- ・戦没者追悼式を行い、戦争で尊い命を失った先人のことを後世に伝えていく事業を実施する。

【効果】

このような事業を実施することで、市民の安全や安心を確保し、生活しやすい安曇野市を形成する効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市と社協が一体となった「第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画」(平成30年度～平成34年度)の周知を進め、地域福祉の推進を図る。
- ・民生児童委員、行政相談委員、保護司、人権擁護委員を相談員とした心配ごと相談を社協へ委託して開催。
- ・戦没者追悼式を毎年開催することにより、平和への希求を高める。
- ・ボランティア団体の活動の場である「豊かささえあいセンター」の指定管理者を社協とし、ボランティア活動の促進を図る(5年目・最終年度)
- ・災害時避難行動要支援者に対し、関係機関への名簿提供同意を進め、システム登録及び関係機関への名簿提供を行う。
- ・結婚相談、婚活イベントを市商工会へ委託し実施する。
- ・市社会福祉協議会、民生児童委員協議会への運営補助金等の交付を行う。
- ・民間福祉施設へ防災ラジオ購入補助を行う。(2年目/3年間)

【詳細事業内訳】

社会福祉総務費 286,659千円 心配ごと相談事業 3,862千円 戦没者追悼式 451千円 ささえあいセンター指定管理業務 5,032千円 災害時避難行動要支援者名簿作成事業 1,634千円 民生児童委員協議会運営 35,499千円 社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会補助事業 96,834千円 婚活事業 1,940千円 地域福祉計画推進策定事業 699千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	42	民生委員推薦会委員報酬	11	需用費	1,247	事務用品、民生委員手帳、封筒印刷代
02	給料	156,321	一般職43人	12	役務費	10	白布等クリーニング代
03	職員手当等	69,151	職員諸手当	13	委託料	12,416	心配ごと相談、婚活事業、戦没者追悼式祭壇設置、バス運行、災害時要援護者台帳保守
04	共済費	47,272	職員共済組合納付金	14	使用料及び賃借料	945	避難行動要支援者台帳システム使用料
07	賃金	1,781	臨時職員賃金	19	負担金補助及び交付金	123,504	全国、県民事協負担金、社会福祉協議会地域福祉事業補助金、地区民児協補助金・交付金、市遺族会補助、民間福祉施設防災ラジオ購入補助
08	報償費	18,948	福祉委員報償、地域福祉計画推進・策定委員報償	25	積立金	729	福祉基金積立金利子
09	旅費	244	社会福祉主事資格認定講座、民生児童委員協議会視察研修同行				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地域福祉計画推進策定事業	・第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画(平成30年度～平成34年度)の市民への周知を行う。 ・計画の推進策定委員会を開催し、進捗状況を検証することで地域課題を洗い出すことができる。	11	需用費	594
				08	報償費	105
					計	699
2	ソフト	災害時避難行動要支援者名簿作成事業	災害時避難行動要支援者の名簿提供同意率を向上させることにより、支え合いの取り組みを強化する。	14	使用料及び賃借料	921
				13	委託料	713
				11	需用費	0
					計	1,634

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010501100
課・係等	長寿社会課 福祉政策担当

予算書ページ	117
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103020	福祉医療費給付事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	588,671	0	213,237	0	6,732	368,702
前年度	592,990	0	214,912	0	6,732	371,346
増減額	△ 4,319	0	△ 1,675	0	0	△ 2,644

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	福祉医療給付事業補助金	213,237							
20	福祉医療費貸付金元金収入	6,732								
								(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	(98,000)	

【目的・効果】

【目的】

- ・乳幼児等、障がい者、母子・父子家庭に医療費を給付する。
- ・低所得者で医療費の支払いが困難な方には、貸付制度の利用を勧める。

【効果】

子育て世帯、障がい児・者、ひとり親世帯の経済的負担を軽減することにより、福祉の増進を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・受給資格者に対し、保険診療(調剤を含む)に係る自己負担額について助成する。
- ・受給資格者が支払った自己負担額から、1レセプトごと、500円の負担金を控除した額を受給資格者に給付金として支給する。(自動給付:継続)
- ・受給資格者(出生から中学卒業まで)が窓口で負担した500円を超える保険診療分を、市から医療機関へ支払う。(現物給付:H30.8新規導入)
- ・福祉医療受給資格者で医療機関等での一時的な支払いが困難な受給資格者に対し、医療費を貸し付ける。

【詳細事業内訳】

福祉医療費貸付事業 6,732千円 福祉医療費給付事業 581,939千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	43	事務用消耗品				
12	役務費	44,389	医療機関事務手数料				
13	委託料	1,269	国保連合会審査集計事務委託料				
20	扶助費	535,157	受給者に対する給付金				
21	貸付金	6,732	貸付制度利用者貸付金				
28	繰出金	1,081					

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	福祉医療費給付事業	乳幼児(出生～中学卒業まで)、障がい者、母子、父子家庭へ子育て支援として、医療費の自己負担分を給付することで、安心した生活が営める。H30.8月に導入される現物給付へのスムーズな移行を行う。	20	扶助費	535,157
				12	役務費	44,389
				13	委託料	1,269
				28	繰出金	1,081
					計	581,896
2	ソフト	福祉医療費貸付事業	医療費の支払いが困難な受給資格者に、無利息で貸し付け福祉医療費支給時に相殺する。このことにより受診控えを解消し早期受診が躊躇なくでき、重症化を防ぐことができる。	21	貸付金	6,732
					計	6,732

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010501200			
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103130	老人福祉総務費			

予算書ページ	127
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	280,319	0	1,806	0	30,250	248,263
前年度	270,017	0	1,882	0	33,974	234,161
増減額	10,302	0	△76	0	△3,724	14,102

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	老人クラブ活動助成事業補助金	1,806							
17	ふるさと寄附金	15,000								
18	地域振興基金繰入金	250								
18	ふるさと寄附基金繰入金	15,000								

【目的・効果】

【目的】

高齢者福祉充実のために連携が必要な各団体等への支援を行うことにより、元気な高齢者をつくる。
また高齢者の社会参加の促進を図り在宅で介護する家族の慰労を労をねぎらうことで在宅福祉を促進する。

【効果】

各団体の運営が安定化することにより、高齢者に提供されるサービスの向上が見込まれ、生きがいづくり・健康づくりを推進することで高齢者福祉の増進につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・シルバー人材センター、老人クラブ連合会への運営補助金交付
- ・市社会福祉協議会が運営する老人福祉センターへの運営補助金交付
- ・養護老人ホームを運営する一部事務組合への負担金支出
- ・老人大学の委託方式による開催
- ・70歳以上の高齢者に対し、割引入浴券24枚を交付
- ・一定の要件を満たす在宅で介護を行う家族に対し、年額50,000円の介護慰労金を支給
- ・安曇野しゃくなげの湯有明の間利用の助成
- ・その他特定財源の減額(市町村特別対策等事業補助金△3,974千円)

【詳細事業内訳】

福祉バス事業2,986千円 老人大学委託事業 3,214千円 福祉有償運送運営協議会事務 28千円 老人クラブ連合会育成事業 7,146千円 老人福祉センター運営補助事業 16,757千円 介護慰労金支給事業 31,000千円 老人福祉総務費 153,247千円 高齢者祝賀事業 3,789千円 シルバー人材センター運営助成事業 11,236千円 地域グループ支援事業 620千円 入浴料金割引券交付事業 30,415千円

【一般財源増加理由】・給料、職員手当等が増額になったため。							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	90,825		13	委託料	6,200	老人大学開催委託料
03	職員手当等	43,450		19	負担金補助及び交付金	46,167	シルバー人材センター、老人クラブ連合会、老人福祉センター運営補助、松塩安筑一部事務組合負担金
04	共済費	27,378		20	扶助費	65,521	入浴料金割引交付事業、介護慰労金、高齢者敬老祝品、有明の間利用促進事業
08	報償費	129	各地区敬老会御祝、福祉有償運送協議会出席者謝礼				
09	旅費	13	研修会旅費				
11	需用費	620	事務用品、参考図書、封筒印刷				
12	役務費	16	賞状筆耕料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	シルバー人材センター運営助成事業	高齢者の生きがいづくり活動、高齢者福祉の推進に寄与する団体への補助金交付。	19	負担金補助及び交付金	15,236
					計	15,236
2	ソフト	入浴料金割引券交付事業	高齢者の外出を促して社会参加の促進を図り、健康増進と福祉向上を目的とする。 ・1枚あたり300円の割引券を年間24枚交付。 ・対象者:【高齢者】70歳以上の住民。 ・対象者のうち市に申請した方に交付。	20	扶助費	30,024
				11	需用費	391
					計	30,415

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010501200			
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103140	在宅福祉事業			

予算書ページ	129
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	46,112	0	955	0	18,647	26,510
前年度	49,468	0	1,585	0	15,054	32,829
増減額	△ 3,356	0	△ 630	0	3,593	△ 6,319

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金	945	20	緊急通報システム利用料滞納繰越分	1	20	生活管理短期宿泊利用料滞納繰越分	1	
15	緊急宿泊支援事業補助金	10	20	配食サービス利用料	10,264	20	軽度生活援助利用料	248		
17	ふるさと寄附金	3,000	20	配食サービス利用料滞納繰越分	1	20	軽度生活援助利用料滞納繰越分	1		
18	ふるさと寄附基金繰入金	3,000	20	生活管理指導利用料	19					
20	緊急通報システム利用料	1,728	20	生活管理短期宿泊利用料	384					

【目的・効果】

【目的】

各種サービスを活用して高齢者の在宅生活を安心して生活できるように支援する。

【効果】

在宅高齢者の健康増進につながることで、施設に頼らない在宅生活での継続を期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活支援サービス等、高齢者の在宅生活を支援する各種サービスを業者に委託し実施。
- ・アクティブシニアがらぼう事業を実施し、高齢者の生きがいづくり、健康づくりに寄与する事業として地域の活動サークルに補助金交付。
- ・所得、介護認定等の一定の要件を満たした人が、段差解消等の住宅改良工事を実施した場合に費用の一部を補助。
- ・要介護3以上の認定を受けている高齢者のうち申請者に、500円分のタクシー券を年間最大30枚交付。

【詳細事業内訳】

配食サービス事業 20,791千円 緊急通報サービス事業 9,192千円 軽度生活援助サービス事業 982千円 緊急宿泊支援事業 20千円 アクティブシニアがらぼう事業 7,782千円 訪問理美容サービス事業 352千円 生活管理短期宿泊事業 1,200千円 高齢者外出支援事業 3,713千円 生活管理指導員派遣事業 190千円 高齢者にやさしい住宅改良促進事業 1,890千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	600	健康体操指導員派遣事業の講師謝礼						
11	需用費	118	返信用封筒印刷						
13	委託料	31,155	配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活支援サービス事業他						
19	負担金補助及び交付金	9,072	アクティブシニアがらぼう事業補助金、高齢者にやさしい住宅改良事業補助金						
20	扶助費	5,167	緊急宿泊支援、高齢者外出支援、訪問理美容、生活管理短期宿泊事業						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	配食サービス事業	栄養バランスに配慮したお弁当をお届けするとともに安否確認を行うことにより安心して在宅生活ができる。 ・食事の用意が困難で見守りが必要な概ね65歳以上の一人暮らしの人や障がい者、高齢者のみの世帯。 ・1週間あたり5食までの食事の配達(安否確認を含む)お弁当1食400円、おかずのみ1食350円	13	委託料	20,791	
					計	20,791	
2	ソフト	○ アクティブシニアがらぼう事業	健康増進や介護予防のために健康づくりの活動を定期的に行う団体に支援をすることにより、高齢者の運動機能の向上を図り健康長寿の増進に役立つ。 ・補助金は①講師謝礼②会場使用料に係る経費の半額を補助し年間上限60,000円または120,000円	19	負担金補助及び交付金	7,182	
				08	報償費	600	
					計	7,782	

予算書ページ	129
--------	-----

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010501200
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103150	老人福祉施設入所措置事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	95,341	0	0	0	12,041	83,300
前年度	92,568	0	0	0	12,041	80,527
増減額	2,773	0	0	0	0	2,773

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	老人入所措置費個人負担金	12,040							
12	老人入所措置費個人負担金滞納繰越分	1								

【目的・効果】

【目的】

心身及び経済的な理由から在宅生活が困難な高齢者を施設に入所措置し、養護をするとともに、自立した日常生活が営めるよう援助する。

【効果】

施設入所により施設内での自立した生活や社会活動に参加するための支援が受けられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・入所に際しての判定会議を開催する。
- ・養護が必要な高齢者を市が措置費を支払い、養護老人ホームに入所措置を行う。また利用者及び扶養義務者から所得に応じて負担金を徴収する。
- ・施設入所者が1人増加し現在42人(平成30年1月1日現在)になったことによる増額

【詳細事業内訳】

老人福祉施設入所措置事業 95,341千円

【一般財源増加理由】・施設入所者が1人増加し現在42人(平成30年1月1日現在)になったことによる増額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	17	養護老人ホーム入所判定委員会出席謝礼				
20	扶助費	95,324	養護老人ホーム措置費用				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	老人福祉施設入所措置事業	環境的・経済的な理由によって在宅において生活することが困難な場合に、福祉事務所長が養護老人ホームに措置入所することにより生活支援や社会参加をするために必要な支援が受けられる。	20	扶助費	95,324
				08	報償費	17
					計	95,341
2						
					計	0

予算書ページ	129
--------	-----

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010501200
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
事業	0103160	老人福祉施設管理事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
126,072	124,236	1,836	0	0	0	22,704
			0	0	0	28,405
			0	0	0	△ 5,701
						7,537

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	豊科ふれあいホール使用料	265	20	総合福祉センター管理費等徴収金	14,765				
13	総合福祉センター使用料	1								
20	高齢者福祉施設自販機電気料	123								
20	デイサービスセンター指定管理者納付金	7,550								

【目的・効果】

【目的】

高齢者の健康、福祉増進や要介護者の在宅生活を支援するため、市の各種施設を管理運営する。

【効果】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活でき、健康、福祉増進が図られることにより、健康長寿が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・穂高地域福祉センター、三郷福祉センター(三郷屋内ゲートボール場を含む)は、指定管理者制度により管理運営。
- ・介護保険施設であるデイサービスセンター5施設(豊科、穂高、三郷、堀金、明科)は、指定管理者制度
- ・三郷福祉センターエアコン更新工事(新規:48,895千円)

【詳細事業内訳】

老人福祉施設等管理事業 74,714千円 三郷福祉センターエアコン更新事業 48,895千円 穂高地域福祉センターエアコン更新事業(設計業務) 2,463千円

【一般財源増加理由】 ・三郷福祉センターエアコン更新工事(新規:48,895千円)

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	1,368	土地境界画定業務、不動産鑑定業務	19	負担金補助及び交付金	4	防火管理協会負担金
11	需用費	22,316	各施設光熱費、小破修繕、施設管理消耗品				
12	役務費	136	ふれあいホールピアノ調律、各施設マット交換、明科福祉センター汚泥汲み取り手数料				
13	委託料	47,049	各施設設備等管理、指定管理、三郷福祉センターエアコン更新工事監理委託、穂高地域福祉センターエアコン更新工事設計委託他				
14	使用料及び賃借料	4,992	三郷福祉センター借地料、レンタルエアコン賃借料				
15	工事請負費	49,210	三郷福祉センターエアコン更新工事、レンタルエアコン仮設電気設備工事、穂高デイサービスセンター食堂改修他				
18	備品購入費	997	堀金デイサービスセンター冷凍冷蔵庫購入、ふれあいホールマイク備品				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	老人福祉施設等管理事業	大規模な修繕等は市が受け持ち、民間業者等が有するノウハウを運営に活用することにより、住民サービスの質の向上が図られる。 ・豊科、穂高、三郷、堀金、明科デイサービスセンター及び穂高、三郷福祉センターの指定管理委託	13	委託料	42,574
				11	需用費	22,316
				14	使用料及び賃借料	4,992
				15	工事請負費	2,327
					計	72,209
2	ハード	○ 三郷福祉センターエアコン更新事業	エアコン10系統(室外機と室内機)の更新	15	工事請負費	46,883
				13	委託料	2,012
					計	48,895

予算書ページ	163
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010501100
		課・係等	長寿社会課 福祉政策担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	災害救助費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	災害救助費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103570	災害救助費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500	0	0	0	0	500
前年度	500	0	0	0	0	500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
											0

【目的・効果】

【目的】

自己の居住の用に供する家屋における火災の罹災者に対し、見舞金及び弔慰金を支給する。

【効果】

罹災者の福祉の向上に寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・火災により死亡した者に対する弔慰金 100千円
- ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね70パーセント以上に達したとき 50千円の見舞金
- ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね20パーセント以上に達したとき 30千円の見舞金

【詳細事業内訳】

災害弔慰金等支給事業 500千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
20	扶助費	500	火災の罹災者に対する見舞金及び弔慰金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	災害弔慰金等支給事業	見舞金を速やかに支給することにより、福祉及び生活への不安が緩和され、罹災者の生活再建への意欲向上が期待できる。	20	扶助費	500
					計	500
2					計	0

予算書ページ	117
--------	-----

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010502100
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103040	障がい者支援センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	69,665	3,500	3,337	0	1,500	61,328
前年度	67,453	4,502	3,838	0	1,500	57,613
増減額	2,212	△ 1,002	△ 501	0	0	3,715

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	3,500	20	障害者就労支援センター指定管理者納付金	900				
15	地域福祉総合助成金	1,587								
15	地域生活支援事業補助金	1,750								
20	障害者活動支援センター指定管理者納付金	600								

【目的・効果】

【目的】

- 障害者活動支援センター:食事や入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援、生産活動等の機会を提供する。
- 就労継続支援B型事業所:就労や生産活動の機会を提供すると共に、一般就労への移行に向けた必要な支援・指導等を行う。
- 地域活動支援センター:社会交流の促進や創作活動の場を提供することで、障がい者等の地域生活支援の促進を図る。

【効果】

- 障がい児者のニーズに即した適切なサービスが提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 障害者活動支援センター、豊科たんぼぼ、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、堀金かえでの家、明科ふきぼこの家、ひめこぶしの家の7施設について指定管理の委託を行う。地域活動支援センターである、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家については指定管理料を支払う。
- かえでの家の作業室エアコン設備改修工事を行う。

【詳細事業内訳】

障がい者支援センター運営事業 69,665千円

【一般財源増加理由】 施設修繕費、指定管理委託料、工事請負費の増加による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,100	指定管理施設修繕費、穂高わたぼうし自動ドア部品交換				
13	委託料	67,311	指定管理委託料				
15	工事請負費	1,254	かえでの家作業室エアコン設備改修工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	かえでの家作業室エアコン設備改修工事	15	工事請負費	1,254
			修理不能となった作業室エアコン設備の改修工事を行うことにより、施設利用者の適正な体調、健康管理ができる。			
					計	1,254
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010502100
課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算書ページ	119
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103050	障がい者支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,547,418	768,412	384,206	0	450	394,350
前年度	1,460,304	724,862	362,431	0	450	372,561
増減額	87,114	43,550	21,775	0	0	21,789

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	自立支援給付費負担金	688,816	15	障害児入所給付費等負担金	28,368					
14	自立支援医療負担金	22,860	15	自立支援医療負担金	11,430					
14	障害児入所給付費等負担金	56,736					(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	(263,000)		

【目的・効果】
【目的】
 障害者総合支援法、児童福祉法に基づき、障がい者、障がい児が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用者に対して必要な給付を行う。
【効果】
 障がい者、障がい児の自立した日常生活及び社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業内容】
 ・自立支援医療給付(更生・育成・療養介護)
 ・自立支援給付(障害福祉サービス等[介護給付費、訓練等給付費、障害者相談支援給付費、特定障害者特別給付費、やむを得ない事由による措置]・補装具費・高額障害福祉サービス費)
 ・障害児通所給付費(児童発達支援、放課後等デイサービス費、保育所等訪問支援、障害児相談支援給付費)
 ・支援区分認定等事務(認定調査員賃金、医師意見書、支援区分認定審査会負担金)
【費用負担】
 ・給付基準額に対し、国:1/2、県:1/4、市:1/4
 ・支援区分認定等事務は平成28年度より一般財源

【詳細事業内訳】
 障害支援区分認定等事務 7,013千円 自立支援給付事業 1,426,933千円 障害児通所支援給付事業 113,472千円

【一般財源増加理由】 利用者の意向を踏まえ、総合的・継続的なサービスを提供することにより、利用者、利用量の増加により、費用の増加が見込まれる。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	3,202	障害認定区分認定調査員賃金				
08	報償費	240	育成医療審査に係る医師への謝礼				
12	役務費	3,618	国保連等支払手数料及び認定調査医師意見書作成				
14	使用料及び賃借料	648	障害福祉サービス請求内容チェックシステム借上料				
19	負担金補助及び交付金	2,705	支援区分認定審査会負担金(松本広域連合)				
20	扶助費	1,537,005	自立支援医療給付費、自立支援給付費、障害児通所支援給付費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	自立支援給付事業	地域社会における共生の実現に向けて、障がい福祉サービスの充実など障がい者、障がい児の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	20	扶助費	1,423,533	
				12	役務費	2,512	
				14	使用料及び賃借料	648	
				08	報償費	240	
					計	1,426,933	
2	ソフト	障害児通所支援給付事業	地域社会における共生の実現に向けて、障がい福祉サービスの充実など障がい児の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	20	扶助費	113,472	
					計	113,472	

重点的に推進する取組み	(2)		コード	010502100		予算書ページ	119
			課・係等	福祉課 障がい福祉担当			
予算	款	03	民生費		総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費			基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費			基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103060	児童発達支援事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,440	0	0	0	9,000	5,440
前年度	13,236	0	0	0	5,000	8,236
増減額	1,204	0	0	0	4,000	△ 2,796

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	17	ふるさと寄附金	5,000								9,000
	18	ふるさと寄附基金繰入金	4,000								

【目的・効果】
【目的】
 子ども発達支援相談室に専門職を配置し、発達に心配のある子ども及び保護者の相談、個別療育、教室運営など発達支援に必要な事業の実施及び支援に必要な情報が共有できるネットワークの構築を図ることにより、自立した生活を営むことができる児童の育成をする。
【効果】
 ・障がいの早期発見や相談体制の強化により、安心して生活できる環境を整備していく。
 ・早期療育を実施することにより生活における二次障害を予防する。
 ・自立した生活基盤の確保ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 子ども発達支援相談室に専門職を配置し、発達に心配のある子ども及び保護者の相談、個別療育、教室運営など発達支援に必要な事業の実施。
 1) 早期発見、早期支援のための個別相談
 2) 乳幼児期から途切れることのない子どものライフステージに応じた一貫した支援と支援に必要な情報の共有化、発達に心配のある子ども連絡会の開催
 3) 保育所等への巡回的相談
 4) 遊びの教室、子育てサポートプログラム、はいはいたちの相談日事業の実施
 5) 学校、保育所等対応職員との連携強化と専門性向上のための支援

【詳細事業内訳】
 児童発達支援事業 14,440千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	11,962	作業療法士(育休代替)、言語聴覚士、保育士、子ども相談員賃金及び遊びの教室等雇いあげ賃金		27	公課費	23	公用車重量税	
08	報償費	1,098	遊びの教室、子育て講演会、子育てサポートプログラム講師報償費						
09	旅費	108	講師旅費及び研修旅費						
11	需用費	729	心理等検査用紙、サポートブック、公用車車検(3台分)、タイヤ買替						
12	役務費	482	電話料、公用車ガソリン代、公用車車検(手数料、自賠責保険)						
18	備品購入費	23	遊びの教室備品						
19	負担金補助及び交付金	15	研修参加負担金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	児童発達支援事業	【事業内容】 専門職(言語聴覚士の配置)による相談支援の一層の充実と安心して子育てできるための啓発(子育て講演会の開催) 【効果】 早期に療育事業を実施することにより二次障害を防ぎ、発達の加速化を図り自立した生活を送れる児童の育成する。	07	賃金	11,962
				08	報償費	1,098
				11	需用費	729
				12	役務費	482
					計	14,271
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010502100
課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算書ページ	121
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103070	地域生活支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	81,811	22,364	11,180	0	0	48,267
前年度	84,109	26,390	13,195	0	0	44,524
増減額	△ 2,298	△ 4,026	△ 2,015	0	0	3,743

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	地域生活支援事業補助金	22,364							
15	地域生活支援事業補助金	11,180								

【目的・効果】
【目的】
 ・障害者総合支援法第77条及び第78条に基づく地域生活支援事業
 障がい者、障がい児が基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を総合的に実施する。
【効果】
 基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業内容】
 ・理解促進研修啓発事業・自発的活動支援事業・相談支援事業・成年後見制度利用支援事業・成年後見制度法人後見支援事業・意思疎通支援事業・日常生活用具給付事業・手話奉仕員養成研修事業・移動支援事業・地域活動支援センター機能強化事業・訪問入浴サービス事業・日中一時支援事業・レクリエーション活動等支援・芸術文化活動振興
【費用負担】
 基準額に対して、国:1/2、県:1/4、市:1/4

【詳細事業内訳】
 日常生活用具給付等事業 25,000千円 移動支援、訪問入浴、日中一時支援事業 33,325千円 自発的活動支援事業(補助金) 953千円 障がい者相談支援事業 15,750千円 理解促進研修・啓発事業 56千円 手話奉仕員養成研修事業 464千円 地域活動支援センター事業(Ⅱ型) 894千円 意思疎通支援事業 1,551千円 レクリエーション活動等支援、芸術文化活動振興事業(補助金) 1,322千円 成年後見制度事業 2,496千円

【一般財源増加理由】 国県の補助率の低下による増加。(H27年度:0.72、H28年度:0.63)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	503	理解促進研修・啓発事業、手話奉仕員養成研修事業				
11	需用費	17	理解促進研修・啓発事業、手話奉仕員養成研修事業				
12	役務費	1,551	意思疎通支援事業				
13	委託料	49,075	障害者相談支援事業、移動支援事業、日中一時支援事業、訪問入浴サービス事業				
19	負担金補助及び交付金	4,315	自発的活動支援事業、成年後見制度法人後見支援事業、レクリエーション等活動支援・芸術文化活動振興事業				
20	扶助費	26,350	成年後見制度利用支援事業、日常生活用具給付等事業、地域活動支援センター事業(Ⅱ型)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	理解促進研修・啓発事業	障がい者等が、日常生活または社会生活を営むうえで生じる「社会的障壁」を除去するため障がい者等の理解を深めるための講演会を実施する。	08	報償費	50
				11	需用費	6
					計	56
2						
					計	0

予算書ページ	121
--------	-----

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010502100
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103080	精神障がい者居宅生活支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,286	0	0	0	0	3,286
前年度	4,482	0	0	0	0	4,482
増減額	△ 1,196	0	0	0	0	△ 1,196

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・在宅の精神障がい者の社会復帰の促進と精神障がい者を抱える家族の精神的負担の軽減を図る。
- ・ひきこもり者支援についての方向性を探り、個別事案に関しては社会復帰の支援を実施する。

【効果】

- ・精神障がい者(ひきこもり者を含む)の社会復帰及び家族の負担軽減と支援方法の獲得を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・主治医のいない精神等障がいのある困難な事例に対する症例検討実施時に精神科医からのスーパーバイズを受ける事業の実施
- ・精神障がい者を抱える家族に対し、情報の提供や対応のスキルアップ、同じ悩みを持つ家族同士の意見交換等による家族の精神的負担の軽減、精神障がい者が回復を促す暮らしやすい環境づくりのための家族教室の実施
- ・ひきこもり支援に関する知識及び対応方法を学ぶための研修会の開催と地域の実情の把握と個別支援

【詳細事業内訳】

精神障がい者等相談支援事業 2,255千円 ひきこもり支援事業 1,031千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,107	保健師臨時賃金				
08	報償費	148	精神障がい者家族教室、ひきこもり支援講演会等講師謝礼				
09	旅費	31	講師旅費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ひきこもり支援事業	【事業内容】 一般市民を対象に講演会の開催、ひきこもり者の家族の支援のための家族会運営、ひきこもり支援事業のプロジェクト、庁内連携会議の実施。 重点事業として新たな社会資源としてひきこもりからの回復のための居場所づくりについての検討をする。 【効果】 ひきこもり本人や家族を支援することにより、本人及び家族等の福祉の増進を図り、自立した生活が可能となる。	07	賃金	950
				08	報償費	50
				09	旅費	31
					計	1,031
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010502100		予算書ページ	121
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103090	障がい者福祉総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	125,200	38,687	3,405	0	0	83,108
前年度	131,624	39,178	3,565	0	0	88,881
増減額	△ 6,424	△ 491	△ 160	0	0	△ 5,773

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	地域福祉総合助成金	2,971								
15	特別児童扶養手当事務委託金	434								

【目的・効果】
【目的等】
 ○障がい者等の誰もが生きがいを持って生き生きと暮らせる安全で安心な社会づくりの実現に向けて、様々な補助事業及び扶助を総合的・一体的に実施する。
【効果】
 ○自分らしく心豊かな生活を送るための福祉サービスができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○やまびこ学園の運営委託のため委託料を支払う。
 ○障がい者団体(身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、聴覚障害者協会、夢の実)への補助を行う。
 ○障がい者の外出を支援するための外出支援事業、ふれあいバスの旅事業へ補助を行う。
 ○障がい者の生活を扶助するための特別障害者手当・障害児福祉手当、タイムケア事業、重度心身障害者・児福祉金、透析通院支援等を実施する。
 ○介護を必要とする障がい者へしゃくなげの湯家族風呂利用料の扶助を行う。
 ○あったカフェ運営への補助を行う。

【詳細事業内訳】
 特別児童扶養手当事務 434千円 障害者余暇活動支援事業補助 300千円 特別障害者・障害児福祉手当事業 55,229千円 重度心身障害児・者福祉金事業 24,140千円 重度障害者家族介護慰労金事業 5,750千円 身体障害者補助犬飼育助成事業 36千円 自動車運転免許取得・改造助成事業 500千円 通所通園補助事業補助 476千円 特定疾患見舞金事業 6,720千円 軽度・中程度難聴児補聴器購入補助 300千円 障害者社会参加促進事業補助 1,350千円 障がい者外出支援事業 5,310千円 透析患者通院支援事業 4,225千円 障がい福祉総務費 3,685千円 身体障害者療護施設建設負担金 0千円 障害者住宅等整備事業補助 3,150千円 障害者福祉団体活動補助 1,288千円 障害児・者タイムケア事業 2,030千円 障がい児療育・精神障がい者自立支援事業運営委託 8,935千円 家族介護用品購入助成事業 648千円 身体障害者会館運営事業 556千円 障害児通園施設利用児療育支援補助 138千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	2,069	臨時職員賃金	20	扶助費	104,385	重度心身障害児・者福祉金、特定疾患見舞金、特別障害者・障害児福祉手当、暖らんの湯利用扶助
8	報償費	368	講師謝礼、医師謝礼、障害福祉運営委員謝礼				
9	旅費	152	職員研修会旅費				
11	需用費	658	特別児童扶養手当事務、障がい者支援事務、障がい福祉総務事務消耗品				
12	役務費	136	クリーニング代、健康診断料、損害保険料、手話通訳等派遣費用				
13	委託料	9,518	やまびこ学園運営委託料、豊科身体障害者会館指定管理料、大型バス運行委託料				
19	負担金補助及び交付金	7,914	障害者住宅等整備事業補助金、ふれあいバスの旅補助金、障がい者福祉団体活動補助、あったカフェ運営補助				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	しゃくなげの湯家族風呂(暖らんの湯)利用扶助	介護を必要とする障がい者へしゃくなげの湯家族風呂利用料の扶助を行う。	20	扶助費	297
					計	297
2	ソフト	あったカフェ運営補助	あったカフェの運営を安定させるため運営費の補助を行う。	19	負担金補助及び交付金	240
					計	240

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010502200
課・係等	福祉課 生活支援担当

予算書ページ	125
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,251	7,493	0	0	0	2,758
前年度	10,458	7,648	0	0	0	2,810
増減額	△ 207	△ 155	0	0	0	△ 52

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	生活困窮者住居確保給付金負担金	514								
14	子ども学習支援事業補助金	186								
14	就労準備支援事業補助金	800								

【目的・効果】

【目的】

生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある者に対し、生活困窮状態からの自立を支援する。

【効果】

個別に具体的な支援プランを作成することで、提供するサービス(事業)が明確になり自立支援につなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・自立相談支援機関(委託)による、相談支援、支援調整会議開催、支援プランの作成を行い、サービス(事業)の提供を行う。
- ・離職者に対し、住居確保給付金の支給を行い求職活動を支援する。
- ・子ども学習支援事業を行い、将来において最低限度の生活を維持できることを目指す。
- ・県との共同で就労準備支援事業を行い、一般就労が困難な者に対し、就労に必要な訓練を日常生活自立、社会生活自立段階から実施し一般就労に結び付ける。

【詳細事業内訳】

住居確保給付金事業 687千円 生活困窮者自立相談支援事業 7,991千円 子ども学習支援事業 373千円 就労準備支援事業 1,200千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	53	中間教室非常勤職員(学校講師)休日出勤分賃金 1,445円×3時間×6日×2人=52,020円				
13	委託料	8,311	生活困窮者自立相談支援事業委託、子ども学習支援事業委託				
19	負担金補助及び交付金	1,200	就労準備支援事業(共同実施)の負担金				
20	扶助費	687	住居確保給付金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子ども学習支援事業	生活困窮世帯の子どもに対して東日本大震災時に学習支援を行いノウハウのある大学生が学習・居場所づくり等の支援を行うことにより貧困の連鎖を食い止める。	13	委託料	320
				07	賃金	53
					計	373
2	ソフト	就労準備支援事業	一般就労が困難な困窮者に対して、就労に必要な訓練を日常生活自立、社会生活自立段階から有期で実施し、一般就労につなげる。	19	負担金補助及び交付金	1,200
					計	1,200

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010502200
課・係等	福祉課 生活支援担当

予算書ページ	161
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	生活保護費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	生活保護総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103510	生活保護総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	793,389	527,732	3,550	0	5,571	256,536
前年度	845,064	574,726	8,880	0	13,857	247,601
増減額	△ 51,675	△ 46,994	△ 5,330	0	△ 8,286	8,935

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	被保護者就労支援事業負担金	1,397	20	返還金	2,350	20	徴収金過年度	300		
14	生活保護適正実施推進事業補助金	353	20	徴収金	600	20	徴収金過年度(旧法)	600		
15	生活保護費県負担金	3,550	20	徴収金(旧法)	100	20	貸付金元金収入過年度分	1		

【目的・効果】
【目的】
 ・要保護者の生活維持と自立支援を図るため、生活扶助、医療扶助等を給付する。
【効果】
 ・保護費の支給により、最低限度の生活が維持できる。
 ・生活環境を整え、就労へつなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・生活保護受給者に対し、生活保護費(扶助費)を支給する。
 ・レセプト点検により、適正な医療扶助費の支給に努める。
 ・生活保護システム現バージョン5年経過によるリプレイス。

【詳細事業内訳】
 生活保護費給付事業 712,810千円 生活保護適正実施推進事業 420千円 旅行者対策事業 97千円 生活保護支援資金貸付事業 1,200千円 就労自立給付金事業 500千円 生活保護総務費78,362千円

【一般財源増加理由】平成30年度は生活保護システムのリプレイスがあるため例年より増加してしまっている。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	30,811	一般職(職員課)	12	役務費	961	携帯電話料、審査支払手数料、公用車車検外手数料等
03	職員手当等	14,907	職員諸手当(職員課)	13	委託料	11,700	レセプト点検、生保システムリプレイス、システム保守(生保、訪問支援)、生保システム改修(法改正に伴う)
04	共済費	9,941	職員共済組合納付金(職員課)	14	使用料及び賃借料	1,401	訪問支援システムレンタル料881,280円、レセプト管理システム使用料518,400円
07	賃金	7,058	非常勤職員 4人分	20	扶助費	713,407	生活保護扶助費、就労自立給付金、旅行者対策費
08	報償費	558	嘱託医手当 2人分	21	貸付金	1,200	生活保護支援貸付金
09	旅費	82	職員研修等旅費	27	公課費	41	公用車の自動車重量税
11	需用費	1,322	参考図書、事務用品、緊急避難所修繕費、公用車燃料、公用車修繕等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	生活保護費給付事業	要保護者に対し生活維持と自立支援を図るため、適正な生活扶助、医療扶助等を給付する。保護費の支給により最低限度の生活維持が可能になる。	20	扶助費	712,810	
					計	712,810	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010502200
課・係等	福祉課 生活支援担当

予算書ページ	163
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	生活保護費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103520	社会就労センター管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	80,845	44,524	0	0	775	35,546
前年度	80,707	44,881	0	0	744	35,082
増減額	138	△ 357	0	0	31	464

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	障害者就労支援センター電気料	540								
20	社会就労センター自販機電気料	235								

【目的・効果】
【目的】
 ・社会就労センター管理運営を効率的・効果的かつ安定的に行うこと。
【効果】
 ・民間のノウハウを取り込むことで、管理経費の削減やサービスの向上を期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・社会就労センターの管理運営を効率的・効果的かつ安定的に行うため指定管理者へ管理運営に関する業務を委託する。
 ・就労または技能習得のための機会及び便宜(施設=社会就労センター)を提供する。
 ・各企業から1年を通じて安定的な仕事を確保する。
 ・利用者の確保と一般就労への支援を行う。

【詳細事業内訳】
 社会就労センター管理費 80,845千円

【一般財源増加理由】 優先度の高い修繕及び工事請負が多かったため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	444	施設修繕費 100,000円×4施設=400,000円 身障者用トイレ・女性用トイレ修繕(穂高)43,860円				
13	委託料	78,468	指定管理委託料				
15	工事請負費	633	火災通報装置取付(豊科) コンプレッサー室アルミ屋根延長工事(明科)				
19	負担金補助及び交付金	1,300	社会就労センター福利厚生等事業への補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	社会就労センター管理費	社会就労センターの管理運営を指定管理者へ委託。民間のノウハウ等を活かし、事業の効率化・安定化が期待できる	13	委託料	78,468
				19	負担金補助及び交付金	1,300
				15	工事請負費	633
				11	需用費	444
					計	80,845
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503100		予算書ページ	125
		課・係等	子ども支援課 児童係			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103100	母子福祉事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源	
	国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	20,990	11,196	3,503	0	2	6,289
前年度	27,245	13,253	4,658	0	2	9,332
増減額	△ 6,255	△ 2,057	△ 1,155	0	0	△ 3,043

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	母子生活支援施設等入所者負担金	2	15	母子生活支援施設入所県負担金	3,485				
14	母子生活支援施設入所国庫負担金	6,970	15	母子家庭等日常生活支援事業補助金	18					
14	母子家庭自立支援給付金事業補助金	3,306								
14	児童虐待・DV対策総合支援事業補助金	920								

【目的・効果】

【目的】

・DV被害者及びひとり親家庭への相談及び自立支援を図ることで、安全で安定した日常生活を過ごせる環境づくりを行う。

【効果】

・家庭での不安や悩みなどの相談に対処することで、重篤な事案に発展しないための未然防止を図る。

・継続的かつ細やかな支援サービスを行うことで、経済的不安等を抱えるひとり親家庭等が、自立していくための生活環境を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・配偶者からの暴力に関するDV相談及び安全確保のための一時保護及び緊急避難、その後の自立に向けての支援
- ・ひとり親家庭での悩みや不安に関する相談及び自立に向けた経済的支援

【詳細事業内訳】

母子福祉事業 4,549千円 女性保護事業 16,441千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,010	女性相談員賃金				
09	旅費	150	DV被害者移送支援旅費・研修会等参加旅費				
11	需用費	316	ひとり親家庭パンフ印刷製本費・避難施設維持管理費及び小破修繕費				
12	役務費	78	携帯電話料				
19	負担金補助及び交付金	10	協議会負担金				
20	扶助費	18,426	母子生活支援施設入所措置費・助産施設入所費・高等職業訓練促進給付金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	女性保護事業	【事業内容】 ・女性相談員を配置し、DV被害等による様々な相談に応じることで、安心安全を確保しつつ継続的な支援を図っていく。 ・緊急時の対応として、被害者同意のもと避難施設への一時避難を勧告し、その後の対応策について指導・助言をする。 【効果】 ・関係機関と連携し、孤立状態にさせず常に状況を把握していることで、被害者の安全を確保できる。 ・事態発生後の被害者の生活手段を共に検討していき、広範囲な選択肢のなかで自立に向けた支援を図ることができる。 ・配偶者暴力相談支援センターの設置により、被害者の相談の応じることで支援措置や諸手当等の給付手続に係る証明書の発行が主体となって行える。	20	扶助費	13,989
				07	賃金	2,010
				11	需用費	282
				09	旅費	78
					計	16,359
2					計	0

予算書ページ	137
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503100
		課・係等	子ども支援課 児童係

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103230	児童福祉総務費			

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,990,039	1,152,996	233,126	0	30,811	573,106
前年度	1,996,548	1,160,674	234,274	0	25,509	576,091
増減額	△ 6,509	△ 7,678	△ 1,148	0	5,302	△ 2,985

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	児童扶養手当国庫負担金	100,924	15	児童手当県費負担金	229,017	20	児童手当過年度返還金	25	
14	児童扶養手当国庫負担金精算分	1	15	子ども子育て支援交付金	4,101	20	児童扶養手当返還金	100		
14	児童手当国庫負担金	1,047,894	15	児童福祉施設入所負担金判定委託金	8	20	児童扶養手当過年度返還金	586		
14	児童手当国庫負担金前年度精算分	1	17	ふるさと寄附金	15,000		(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	(339,000)		
14	児童虐待・DV対策総合支援事業補助金	75	18	ふるさと寄附基金	15,000					
14	子ども子育て支援交付金	4,101	20	児童手当返還金	100					

【目的・効果】

【目的】

- ・児童虐待の未然防止及び早期発見と支援に着手するため、要保護児童対策地域協議会の調整役として情報共有しながら関係機関との連携強化を図る。
- ・社会保障制度に基づく児童手当及び児童扶養手当、市独自施策による子育て応援手当を支給することで、子育て世代への経済的支援を行う。

【効果】

- ・要対協体制強化により、要保護及び要支援児童の安全が確保され、児童虐待における未然防止等に繋がる。また、関係機関との情報共有により幅広い視野を持ちながら支援活動が行える。
- ・児童手当等の支給により経済的な支援を図ることで、日常生活における平等な支援と子育て世代が安心して暮らせる環境を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童虐待に関する相談事業及び支援活動
- ・児童手当法及び児童扶養手当法に基づく当該手当支給事業
- ・子育て応援手当実施要綱に基づく当該手当支給事業

【詳細事業内訳】

児童扶養手当給付事業 302,811千円 家庭児童相談事業 18,913千円 ファミリーサポート事業 6,844千円 子育て応援手当給付事業 38,667千円 児童福祉総務費 114,401千円 児童手当給付事業 1,506,593千円 子ども・子育て支援事業計画策定事業 1,810千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	59,419	一般職員給与	12	役務費	426	公用車車検整備費(点検手数料・自賠責保険・重量税)・子育て応援手当振込手数料
03	職員手当等	29,917	職員諸手当	13	委託料	10,061	児童家庭相談及び子育て応援手当システム保守業務委託料・ファミサポ事業業務委託料・事業計画ニーズ調査委託料
04	共済費	20,021	職員共済組合納付金	15	工事請負費	994	小規模公園遊具撤去工事
07	賃金	8,966	児童係事務非常勤職員賃金・家庭児童相談員賃金	19	負担金補助及び交付金	11,078	研修会参加、協議会負担金・乳児院施設整備事業負担金
08	報償費	168	子ども子育て会議出席謝礼	20	扶助費	1,847,406	児童手当・児童扶養手当・子育て応援手当・子育て短期支援及び養育支援訪問事業費
09	旅費	92	児童虐待防止研修会・虐待児童移送支援費	27	公課費	26	公用車重量税
11	需用費	1,465	現況届及び受給者証用紙代・支払通知書印刷費・公用車経費(タイヤ・燃料・修繕)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子育て応援手当給付事業	【事業内容】 ・第2子以降の児童を、保育施設等を利用せずに家庭で保育する世帯において、児童1人あたり月額3,000円の手当を支給する市独自施策事業 【効果】 ・子育て世代への経済的支援をすることにより、成長する過程で重要な乳幼児期に家庭で保育することの大切さを実感してもらいことができる。 ・保育施設等の利用を抑制することで、未満児保育における待機児童軽減に繋げることができる。 ・福祉支援の不均衡を是正しながら、人口増加に繋がる環境を提供することができる。	20	扶助費	37,800
				13	委託料	584
				12	役務費	227
				11	需用費	56
					計	38,667
2	ソフト	ファミリーサポート事業	【事業内容】 ・子育ての援助を受けたい方と子育ての援助をしたい方が会員となり、地域で助け合いながら子育てをする会員制の相互援助活動の運営を業務委託により実施 【効果】 ・利用者のニーズに沿った支援援助サービスに対応することで、子育て世代の育児負担の軽減や不安を解消できる。 ・地域での援助活動を行うことにより会員同士の輪が広がり、地域での繋がりを生みながら、安心して子育てしやすい環境づくりができる。	13	委託料	6,844
					計	6,844

予算書ページ	139
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103290	公立認定こども園整備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	971,453	0	51,200	857,900	20,000	42,353
前年度	1,144,142	0	0	1,059,900	0	84,242
増減額	△ 172,689	0	51,200	△ 202,000	20,000	△ 41,889

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	市町村合併特例交付金	51,200							
18	公共施設整備基金繰入金	20,000								
21	保育所建設事業	530,100								
21	施設整備事業債	327,800								

【目的・効果】

【目的】

・子育て支援の充実を図るため、老朽・狭隘化した園舎を新築・改修し、未満児室・延長保育室を設置充実するなど教育・保育環境を整備する。

【効果】

・施設更新により、教育・保育環境と耐震性能、防犯性能の向上を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

明科南認定こども園・・・敷地造成工事を進めると共に、園舎建設工事に着手する。
三郷北部認定こども園・・・2期工事として、旧園舎解体後の跡地に駐車場を造成する。
たつみ認定こども園・・・園舎建設工事を進める。

【詳細事業内訳】

たつみ認定こども園建設事業 377,148千円・明科南認定こども園建設事業 454,186千円・三郷北部認定こども園建設事業 136,506千円
穂高認定こども園改修事業 3,613千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	8,594	たつみ新園舎用消耗品購入				
12	役務費	360	園舎建設工事検査手数料ほか				
13	委託料	24,017	たつみ建築工事監理、明科南駐車場造成設計ほか				
15	工事請負費	899,596	明科南造成完成払い、たつみ建設費、明科建設前払い				
17	公有財産購入費	28,659	明科南駐車場用地購入				
18	備品購入費	10,227	たつみ新園舎備品購入				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	明科南認定こども園建設事業	新園舎敷地の造成工事を完了させる。その後進める園舎新築工事を滞りなく進める。	15	工事請負費	418,396
				17	公有財産購入費	28,659
				13	委託料	7,024
				12	役務費	107
					計	454,186
2	ハード	たつみ認定こども園建設事業	新園舎の建設を進める。施設面が一新されることで、子ども達への教育・保育の充実が図られると共に、保護者の安心に寄与できる。	15	工事請負費	347,280
				13	委託料	10,794
				18	備品購入費	10,227
				11	需用費	8,594
					計	376,895

予算書ページ	141
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103300	保育政策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	460,480	194,469	78,378	0	30,254	157,379
前年度	413,576	184,166	72,796	0	13,005	143,609
増減額	46,904	10,303	5,582	0	17,249	13,770

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	保育児童保育料	18,745	14	子ども・子育て支援推進費補助金	1,200	15	子どものための教育・保育給付費地方単独費用補助金	2,144	
14	子どものための教育保育給付費負担金	131,787	15	保育対策総合支援事業補助金	33	15	子ども子育て支援交付金	8,148		
14	子どものための教育保育給付費負担金前年度精算分	1	15	子どものための教育保育給付費負担金	64,924	15	第3子以降の保育料減免事業補助金	396		
14	保育所等整備交付金	53,333	15	子育て支援総合助成金	2,399	20	一時的保育料	11,447		
14	子ども子育て支援交付金	8,148	15	教育支援体制整備事業補助金	334	20	病児・病後児保育利用料	62		

【目的・効果】

- ・子ども・子育て支援法に基づく、教育・保育の給付及び地域子ども・子育て支援事業の実施
- ・認可外保育施設を支援し、認可外保育施設を利用する児童の処遇向上を図る
- ・多子世帯に対する経済的負担の軽減
- ・3歳未満児の保育の受け皿の拡大による待機児童の解消

【効果】

幼児期の良質な教育・保育が保護者の選択によって多様な実施主体において受けることができるほか、多子世帯に対する経済的負担の軽減や多様な保育サービス等により、子育て環境の充実が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童福祉法並びに子ども・子育て支援法に基づく、教育・保育の給付(私立の特定教育・保育施設(保育所、幼稚園、認定こども園)及び特定地域型保育事業(小規模保育事業、家庭的保育事業)に対する給付費の支給
- ・地域子ども・子育て支援事業の実施(私立の特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の延長保育事業に対する補助、病児・病後児保育事業の医療機関への業務委託、公立認定こども園における一時保育事業の実施)
- ・認可外保育施設への補助金の交付
- ・認可外保育施設や幼稚園(給付対象施設以外の幼稚園)を利用する第3子目以降の子どもに対する利用料に係る補助金の交付
- ・小規模施設の施設整備に対する補助金の交付(3歳未満児の保育の受け皿の拡大による待機児童の解消)

【詳細事業内訳】

私立保育所等延長保育事業 12,616千円 私立保育所等特別保育事業 22,766千円 保育総務費 10,181千円 多子世帯保育料負担軽減事業 2,436千円 認可外保育施設支援事業 7,122千円 子どものための教育・保育給付費 313,414千円 病児・病後児保育事業 13,129千円 一時預かり事業 18,732千円 実費徴収補給付事業 84千円 小規模保育施設整備事業 60,000千円

【一般財源増加理由】 子どものための教育・保育給付の対象施設が増加したことにより、法定負担割合(国1/2、県1/4、市1/4)の市負担分も増加した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	26,664	臨時職員賃金				
08	報償費	27	入園等支援委員会出席謝礼				
09	旅費	109	研修等旅費				
11	需用費	1,118	消耗品、印刷製本費、収納関係長帳票類				
13	委託料	15,531	病児・病後児保育事業、市外保育業務委託				
19	負担金補助及び交付金	417,031	私立保育所等延長保育事業、私立保育所等特別保育事業、多子世帯保育料負担軽減事業、認可外保育施設支援事業、子どものための教育・保育給付費、実費徴収補給付事業、小規模保育施設整備事業				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子どものための教育・保育給付費	私立の保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業を利用する子どもに対して、教育・保育給付費を負担することにより、すべての子どもが発達段階に応じた幼児期の教育・保育を受けられる。	19	負担金補助及び交付金	310,955
				13	委託料	2,459
					計	313,414
2	ソフト	小規模保育施設整備事業	小規模保育施設の設置者に整備に係る補助金を交付して、施設整備を行い、3歳未満児の受け皿を拡大することにより、待機児童の解消を図る。	19	負担金補助及び交付金	60,000
					計	60,000

予算書ページ	141
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103310	認定こども園管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1,361,248	1,344,545	16,703	378	22,212	0	518,175
			357	22,896	0	546,931
			21	△ 684	0	△ 28,756
						820,483
						774,361
						46,122

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
12	突発長時間保育料	3,038	14	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業補助金	378	20	認定こども園廃油売却代金	16		
12	保育児童保育料滞納繰越金	480	15	電源立地地域対策交付金	10,467	20	南穂高認定こども園太陽光発電売電	27		
12	他市町村保育児童保育料	360	15	子育て支援総合助成金	189	20	西穂高認定こども園太陽光発電売電	2		

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野市の公立認定こども園を適切に管理・運営し、子ども・子育て支援法、児童福祉法並びに認定こども園法に基づき、幼児期の教育・保育の給付を行う。
【効果】
 ・発達段階に応じた質の高い教育・保育及び子育て支援の提供ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 施設及び設備の点検及び修繕を行い、適切に維持管理するとともに、園長及び主任保育士を含め保育士に対して担当業務に必要な研修を行い、質を高めながら幼児期の教育・保育を提供する。また、信州やまほいく認定制度も活用しながら安曇野市としての特色ある教育・保育を実践していく。

【詳細事業内訳】
 公立認定こども園管理費 1,343,656千円 公立認定こども園空調機設置事業 17,592千円

【一般財源増加理由】 空調機設置事業の推進ほか。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,230	医師報酬	11	需用費	6,488	保育士作業用被服費、園施設修繕費ほか
02	給料	352,204	保育士給料	12	役務費	4,085	機器調整手数料ほか
03	職員手当等	156,603	保育士各種手当	13	委託料	21,635	園設備管理点検委託料ほか
04	共済費	105,595	保育士共済組合納付金	14	使用料及び賃借料	8,848	コピー印刷機借上げ、園用地借地料ほか
07	賃金	666,906	保育臨時職員賃金	15	工事請負費	24,048	園施設改修工事ほか
08	報償費	9,458	保育協力員謝礼ほか	19	負担金補助及び交付金	2,342	研修会講習会負担金ほか
09	旅費	806	自家用車公務使用、研修会旅費ほか				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公立認定こども園管理費	公立認定こども園を適切に管理・運営することにより、発達段階に応じた質の高い教育・保育及び子育て支援の提供ができる。	07	賃金	666,906
				02	給料	352,204
				03	職員手当等	156,603
				04	共済費	102,579
					計	1,278,292
2	ハード	公立認定こども園空調機設置事業	認定こども園遊戯室にエアコンを設置し、夏場の午睡等に利用することで子ども達の健康を図る一助とする。	15	工事請負費	14,861
				13	委託料	2,731
					計	17,592

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103320	認定こども園給食運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	340,988	国支出金	県支出金	市債	その他	319,064
前年度	346,151	0	0	0	20,872	325,279
増減額	△ 5,163	0	0	0	1,052	△ 6,215

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	認定こども園職員給食代	21,924							

【目的・効果】
【目的】
 ・児童に安全安心な給食を提供する。
 ・給食施設の衛生・安全点検を行う。
【効果】
 ・給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。
 ・ウィルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・給食調理業務委託を以下の区分に分け、業者に委託している。
 Aグループ 西穂高・北穂高・穂高
 Bグループ 有明の森・有明あおぞら・堀金
 Cグループ 三郷東部・三郷西部・三郷南部・三郷北部
 Dグループ 豊科・豊科南部・たつみ・アルプス
 Eグループ 南穂高・上川手・明科南・明科北
 ・食器、調理用消耗品、衛生用品、給食材料の購入。
 ・職員保菌検査、ノロウィルス検査等の実施。
 ・調理用備品の整備

【詳細事業内訳】
 公立認定こども園給食運営費 340,988千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	199,711	給食用消耗品、食材費ほか				
12	役務費	1,427	衛生管理検査費ほか				
13	委託料	137,287	調理業務委託料ほか				
18	備品購入費	2,563	アルプス コールドテーブル 三郷東部スチームコンベクション				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	公立認定こども園給食運営費	【内容】 ・児童に安全安心な給食を提供する。 ・給食施設の衛生・安全点検を行う。 【効果】 ・給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。 ・ウィルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。	11	需用費	199,711	
				13	委託料	137,287	
				18	備品購入費	2,563	
				12	役務費	1,427	
					計	340,988	
2							
					計	0	

予算書ページ	145
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503201
		課・係等	子ども支援課 豊科認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103330	豊科認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,901	0	0	0	0	5,901
前年度	6,194	0	0	0	0	6,194
増減額	△ 293	0	0	0	0	△ 293

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】

豊科認定こども園管理 5,901千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	5,312	保育用消耗品ほか				
12	役務費	182	電話料ほか				
13	委託料	162	給食用昇降機メンテナンス				
14	使用料及び賃借料	60	コピー機使用料				
18	備品購入費	155	テント				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	豊科認定こども園管理	・当園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる	11	需用費	5,312
				12	役務費	182
				13	委託料	162
				18	備品購入費	155
					計	5,811
2					計	0

予算書ページ	145
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503202
		課・係等	子ども支援課 豊科南部認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103340	豊科南部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,062	0	0	0	0	5,062
前年度	5,418	0	0	0	0	5,418
増減額	△ 356	0	0	0	0	△ 356

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料

【詳細事業内訳】

豊科南部認定こども園管理 5,062千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	4,703	保育用消耗品ほか				
12	役務費	206	電話料ほか				
13	委託料	75	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	48	コピー機使用料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	豊科南部認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	4,703
				12	役務費	206
				13	委託料	75
				14	使用料及び賃借料	48
					計	5,032
2					計	0

予算書ページ	147
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503203
		課・係等	子ども支援課 南穂高認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103350	南穂高認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,921	0	0	0	0	6,921
前年度	6,962	0	0	0	0	6,962
増減額	△ 41	0	0	0	0	△ 41

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】

南穂高認定こども園管理 6,921千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	5,498	保育用消耗品ほか				
12	役務費	280	電話料ほか				
13	委託料	23	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	53	コピー機使用料				
18	備品購入費	1,037	5歳児用イスほか				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	南穂高認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	5,498
				18	備品購入費	1,037
				12	役務費	280
				14	使用料及び賃借料	53
					計	6,868
2					計	0

予算書ページ	147
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503204
		課・係等	子ども支援課 たつみ認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103360	たつみ認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,595	0	0	0	0	4,595
前年度	5,097	0	0	0	0	5,097
増減額	△ 502	0	0	0	0	△ 502

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】

たつみ認定こども園管理 4,595千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	3,598	保育用消耗品ほか				
12	役務費	136	電話料ほか				
13	委託料	90	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	47	コピー機使用料				
18	備品購入費	694	3歳児用イスほか				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	たつみ認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育園用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	3,598
				18	備品購入費	694
				12	役務費	136
				13	委託料	90
					計	4,518
2					計	0

予算書ページ	147
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503205
		課・係等	子ども支援課 アルプス認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103370	アルプス認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,737	0	0	0	0	3,737
前年度	4,435	0	0	0	0	4,435
増減額	△ 698	0	0	0	0	△ 698

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】

アルプス認定こども園管理 3,737千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	3,320	保育用消耗品ほか				
12	役務費	122	電話料ほか				
13	委託料	45	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	44	コピー機使用料				
18	備品購入費	176	ワイヤレスアンプマイクセット				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	アルプス認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	3,320
				18	備品購入費	176
				12	役務費	122
				13	委託料	45
					計	3,663
2					計	0

予算書ページ	149
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503206
		課・係等	子ども支援課 上川手認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103380	上川手認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,081	0	0	0	0	4,081
前年度	4,081	0	0	0	0	4,081
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料

【詳細事業内訳】

上川手認定こども園管理 4,081千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	3,767	保育用消耗品ほか				
12	役務費	215	電話料ほか				
13	委託料	23	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	46	コピー機使用料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	上川手認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	3,767
				12	役務費	215
				14	使用料及び賃借料	46
				08	報償費	30
					計	4,058
2					計	0

予算書ページ	149
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503207
		課・係等	子ども支援課 有明の森認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103390	有明の森認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,403	0	0	0	0	5,403
前年度	6,044	0	0	0	0	6,044
増減額	△ 641	0	0	0	0	△ 641

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料

【詳細事業内訳】

有明の森認定こども園管理 5,403千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	5,001	保育用消耗品ほか				
12	役務費	274	電話料ほか				
13	委託料	65	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	33	コピー機使用料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有明の森認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	5,001
				12	役務費	274
				13	委託料	65
				08	報償費	30
					計	5,370
2						
					計	0

予算書ページ	151
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503208
		課・係等	子ども支援課 有明あおぞら認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103400	有明あおぞら認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,031	0	0	0	0	6,031
前年度	6,289	0	0	0	0	6,289
増減額	△ 258	0	0	0	0	△ 258

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】

有明あおぞら認定こども園管理 6,031千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	5,487	保育用消耗品ほか				
12	役務費	316	電話料ほか				
13	委託料	49	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	119	コピー機使用料ほか				
18	備品購入費	30	コードレス電話				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有明あおぞら認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	5,487
				12	役務費	316
				14	使用料及び賃借料	119
				13	委託料	49
					計	5,971
				2		

予算書ページ	151
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503209
		課・係等	子ども支援課 西穂高認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103410	西穂高認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,609	0	0	0	0	8,609
前年度	8,640	0	0	0	0	8,640
増減額	△ 31	0	0	0	0	△ 31

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】

西穂高認定こども園管理 8,609千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	7,931	保育用消耗品ほか				
12	役務費	269	電話料ほか				
13	委託料	22	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	40	コピー機使用料				
18	備品購入費	317	絵本整理棚ほか				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	西穂高認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	7,931
				18	備品購入費	317
				12	役務費	269
				14	使用料及び賃借料	40
					計	8,557
2						
					計	0

予算書ページ	151
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503210
		課・係等	子ども支援課 北穂高認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103420	北穂高認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,892	0	0	0	0	3,892
前年度	3,941	0	0	0	0	3,941
増減額	△ 49	0	0	0	0	△ 49

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】

北穂高認定こども園管理 3,892千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	3,334	保育用消耗品ほか				
12	役務費	163	電話料ほか				
13	委託料	17	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	32	コピー機使用料				
18	備品購入費	316	未満児用プールほか				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	北穂高認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	3,334
				18	備品購入費	316
				12	役務費	163
				08	報償費	30
					計	3,843
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503211
		課・係等	子ども支援課 穂高認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103430	穂高認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,941	0	0	0	0	7,941
前年度	8,609	0	0	0	0	8,609
増減額	△ 668	0	0	0	0	△ 668

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。
【効果】
 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料
 ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】
 穂高認定こども園管理 7,941千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	6,819	保育用消耗品ほか				
12	役務費	352	電話料ほか				
13	委託料	25	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	32	コピー機使用料				
18	備品購入費	683	5歳児用テーブル				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	穂高認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	6,819
				18	備品購入費	683
				12	役務費	352
				08	報償費	30
					計	7,884
2					計	0

予算書ページ	153
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503215
		課・係等	子ども支援課 三郷西部認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103440	三郷西部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,495	0	0	0	0	3,495
前年度	3,518	0	0	0	0	3,518
増減額	△ 23	0	0	0	0	△ 23

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】

三郷西部認定こども園管理 3,495千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	36	子育て講演会ほか				
11	需用費	3,107	保育用消耗品ほか				
12	役務費	160	電話料ほか				
13	委託料	39	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	40	コピー機使用料				
18	備品購入費	113	キッチンワゴンほか				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷西部認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	3,107
				12	役務費	160
				18	備品購入費	113
				14	使用料及び賃借料	40
					計	3,420
2					計	0

予算書ページ	155
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503213
		課・係等	子ども支援課 三郷南部認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103450	三郷南部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,989	0	0	0	4,989
前年度	5,311	0	0	0	5,311
増減額	△ 322	0	0	0	△ 322

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料

【詳細事業内訳】

三郷南部認定こども園管理 4,989千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	4,699	保育用消耗品ほか				
12	役務費	135	電話料ほか				
13	委託料	78	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	47	コピー機使用料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷南部認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	4,699
				12	役務費	135
				13	委託料	78
				14	使用料及び賃借料	47
					計	4,959
2						
					計	0

予算書ページ	155
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503214
		課・係等	子ども支援課 三郷東部認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103460	三郷東部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,590	0	0	0	7,590
前年度	7,590	0	0	0	7,590
増減額	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】

三郷東部認定こども園管理 7,590千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	5,921	保育用消耗品ほか				
12	役務費	168	電話料ほか				
13	委託料	39	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	26	コピー機使用料				
18	備品購入費	1,406	4歳児用イスほか				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷東部認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	5,921
				18	備品購入費	1,406
				12	役務費	168
				13	委託料	39
					計	7,534
2					計	0

予算書ページ	157
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503212
		課・係等	子ども支援課 三郷北部認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103470	三郷北部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,277	0	0	0	0	5,277
前年度	5,277	0	0	0	0	5,277
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料

【詳細事業内訳】

三郷北部認定こども園管理 5,277千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	4,908	保育用消耗品ほか				
12	役務費	240	電話料ほか				
13	委託料	78	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	21	コピー機使用料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷北部認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	4,908
				12	役務費	240
				13	委託料	78
				08	報償費	30
					計	5,256
2					計	0

予算書ページ	157
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503216
		課・係等	子ども支援課 堀金認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103480	堀金認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,642	0	0	0	0	8,642
前年度	8,730	0	0	0	0	8,730
増減額	△ 88	0	0	0	0	△ 88

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】

堀金認定こども園管理 8,642千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	7,829	保育用消耗品ほか				
12	役務費	483	電話料ほか				
13	委託料	94	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	90	コピー機使用料ほか				
18	備品購入費	116	ベビーカーほか				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	堀金認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	7,829
				12	役務費	483
				18	備品購入費	116
				13	委託料	94
					計	8,522
2					計	0

予算書ページ	159
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503218
		課・係等	子ども支援課 明科南認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103490	明科南認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,605	0	0	0	0	4,605
前年度	5,049	0	0	0	0	5,049
増減額	△ 444	0	0	0	0	△ 444

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・児童に必要な保育用品の購入
 ・施設維持に必要な光熱水費の支払
 ・産業廃棄物処理業務等
 ・コピー機使用料

【詳細事業内訳】

明科南認定こども園管理 4,605千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	4,220	保育用消耗品ほか				
12	役務費	210	電話料ほか				
13	委託料	82	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	63	コピー機使用料ほか				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	明科南認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	4,220
				12	役務費	210
				13	委託料	82
				14	使用料及び賃借料	63
					計	4,575
2						
					計	0

予算書ページ	159
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503217
		課・係等	子ども支援課 明科北認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103500	明科北認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,161	0	0	0	0	4,161
前年度	4,873	0	0	0	0	4,873
増減額	△ 712	0	0	0	0	△ 712

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。
 ・施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童に必要な保育用品の購入
- ・施設維持に必要な光熱水費の支払
- ・産業廃棄物処理業務等
- ・コピー機使用料
- ・必要備品の購入

【詳細事業内訳】

明科北認定こども園管理 4,161千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会ほか				
11	需用費	3,701	保育用消耗品ほか				
12	役務費	263	電話料ほか				
13	委託料	68	厨房雑排水処理				
14	使用料及び賃借料	48	コピー機使用料				
18	備品購入費	51	非常用ライト				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	明科北認定こども園管理	・当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。 ・児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。 ・施設の適正な管理を行うことでより快適な教育・保育を提供できる。	11	需用費	3,701
				12	役務費	263
				13	委託料	68
				18	備品購入費	51
					計	4,083
2					計	0

予算書ページ	303
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	幼稚園費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110293	幼稚園総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
4,698	5,652	△ 954	1,204	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	幼稚園就園奨励費	1,204							

【目的・効果】
【目的】
 ・次世代を担う人づくりの推進を図る為、保護者の所得状況に応じた利用料の負担で幼稚園が利用できるよう、私立幼稚園への就園奨励費の支出をおこなう。
【効果】
 私立幼稚園の設置者が、通園しているお子さんをお持ちの保護者に対し入園料及び保育料を減免する場合に、市が国庫補助を受けて補助金を交付し、所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減と公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 国における補助基準を基に、補助金(幼稚園就園奨励費)の交付を行う。
 (「子ども・子育て支援新制度」による「施設型給付」を選択した幼稚園については、施設型給付費により別に給付費が支給される。)

【詳細事業内訳】
 幼稚園就園奨励費 4,698千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	4,698	私立幼稚園に対する補助金(幼稚園就園奨励費)の交付				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	幼稚園就園奨励費	国における補助基準を基に、補助金の交付を行い、保護者の負担軽減を図る。	19	負担金補助及び交付金	4,698
					計	4,698
2					計	0

予算書ページ	303
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	幼稚園費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110295	穂高幼稚園運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
64,685	59,576	5,109	0	1,159	0	11,298
			0	△ 1,159	0	△ 2,222
						53,387
						44,897
						8,490

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	幼稚園使用料	11,226							
20	幼稚園預かり保育料	72								

【目的・効果】
【目的】
 ・次世代を担う人づくりの推進を図るため、幼稚園の運営費を支出する。
【効果】
 ・幼稚園へ通園する園児に適切な幼児期の教育を受けさせる為に、幼稚園が必要とする教材の消耗品・配布物の印刷や園児が安全な環境の中で生活ができるための施設の安全管理等、必要な支出を行うことにより園児が明るく健やかに成長できるように幼児教育事業を支える条件整備を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 穂高幼稚園は、安曇野市唯一の幼稚園であり、幼児が環境とかかわって展開する具体的な活動を通して幼児の発達を助長していく学校である。定員は140名で、安曇野市全域からの受け入れをしている。幼稚園としてのニーズもあることから、今後も幼稚園として運営する。本年度は、クラス数が1減となり5クラスの編成となる。
 ・本年から預かり保育を実施する。
 ・障がい児に係る支援体制を認定こども園と同基準で配置する。

【詳細事業内訳】
 穂高幼稚園園庭駐車場整備事業 7,331千円 穂高幼稚園運営費 57,354千円

【一般財源増加理由】 園庭整備工事を行うため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	213	園医報酬ほか	11	需用費	5,434	消耗品、電気料ほか
02	給料	15,651	職員給料	12	役務費	678	電話料、各種検査手数料ほか
03	職員手当等	8,163	職員各種手当	13	委託料	2,045	施設管理委託料ほか
04	共済費	4,907	職員共済組合納付金	14	使用料及び賃借料	276	印刷機借上げ料ほか
07	賃金	18,609	臨時職員、教諭ほか賃金	15	工事請負費	7,219	園庭整備、駐車場整備工事ほか
08	報償費	781	講演会講師、保育協力員謝礼ほか	18	備品購入費	202	テントほか
09	旅費	420	研修、研究会旅費ほか	19	負担金補助及び交付金	87	研究会、協議会等参加負担金ほか

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○	穂高幼稚園園庭駐車場整備事業	排水条件や土質状況が良くない園庭の土を入替え、子ども達がのびのび遊べる園庭とする。	15	工事請負費	6,630
				13	委託料	701	
					計	7,331	
2					計	0	

予算書ページ	307
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	幼稚園費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110300	穂高幼稚園給食運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,604	0	0	0	4,381	6,223
前年度	12,307	0	0	0	5,793	6,514
増減額	△ 1,703	0	0	0	△ 1,412	△ 291

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	幼稚園給食費	4,380							
20	幼稚園廃油売却代金	1								

【目的・効果】

【目的】

- ・児童に安全安心な給食を提供する。
- ・給食施設の衛生・安全点検を行う。

【効果】

- ・給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。
- ・ウイルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・給食調理業務の事業者委託。
- ・食器、調理用消耗品、衛生用品、給食材料の購入。
- ・職員保菌検査、ノロウイルス検査等の実施。
- ・老朽化した備品の整備。

【詳細事業内訳】

穂高幼稚園給食運営費 10,604千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	5,254	給食用消耗品費、食材費ほか				
12	役務費	36	食品検査費ほか				
13	委託料	5,314	調理業務委託料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	穂高幼稚園給食運営費	・児童に安全安心な給食を提供する。 ・給食施設の衛生・安全点検を行う。 ・給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。 ・ウイルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。	11	需用費	5,254
				13	委託料	5,314
				12	役務費	36
				18	備品購入費	0
					計	10,604
2						
					計	0

保健医療部

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010701100
課・係等	健康推進課 健康推進係 (健康推進課 健康推進担当)

予算書ページ	165
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	地域医療の充実
	事業	0104010	保健衛生総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	273,541	0	0	0	0	273,541
前年度	280,991	0	0	0	0	280,991
増減額	△ 7,450	0	0	0	0	△ 7,450

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○休日、および、夜間の地域医療の体制を充実させる。 ○松本医療圏救急医療体制を維持する。 ○松本地域における出産子育て安心ネットワークを維持する。 ○災害時医療救護所装備品の整備を進める。
【効果】
 ○地域医療、救急医療の体制整備を進めることができる。 ○少子化対策の一環 ○災害時医療体制の整備を進めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○在宅(休日)当番医制事業を安曇野市医師会へ委託する。
 ○在宅(休日)歯科当番医制事業を安曇野市歯科医師会へ委託する。
 ○病院群輪番制病院運営事業について、負担金を支払う。
 ○松本地域出産子育て安心ネットワーク事業について、同協議会へ負担金を支払う。
 ○災害時医療救護活動にかかわる事業の実施(医療救護所装備品等の購入など)

【詳細事業内訳】
 保健衛生総務費 272,033千円 保健医療救護事業 1,508千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
02	給料	137,288				14	使用料及び賃借料	100	旧小倉診療所の借地代金		
03	職員手当等	62,746				18	備品購入費	303	災害時医療救護所装備品		
04	共済費	41,639				19	負担金補助及び交付金	22,634	病院群輪番制負担金、松本地域出産子育て安心ネットワーク事業負担金 外		
08	報償費	147	新型インフルエンザ医療体制検討、医療救護活動マニュアル検証委員会委員の出席謝礼								
11	需用費	1,494	医療救護所医薬品・装備品、新興感染症備蓄品など								
12	役務費	244	保健福祉事業等総合賠償保険								
13	委託料	6,946	在宅(休日)当番医制事業委託、安定ヨウ素剤管理委託								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	在宅(休日)当番医制事業委託	休日等において、二次救急病院の負担軽減も視野に入れながら、地域のかかりつけ医が急病者の対応に当たり、地域の「安心」を提供する事業であることから、今後も継続が必要だと考えている。	13	委託料	6,918	
					計	6,918	
2	ソフト	病院群輪番制負担金(松本広域圏)	松本市が松本医療圏における救急医療対応実施機関のとりまとめを行い、市は負担金を支払っている。市内の二次救急病院も少ないことから、松本広域圏における救急医療対応実施機関の確保は今後も必要不可欠である。	19	負担金補助及び交付金	20,334	
					計	20,334	

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010701200
		課・係等	健康推進課 保健予防係 (健康推進課 健康支援担当)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104015	予防総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	57,595	0	0	0	100	57,495
前年度	56,929	0	0	0	100	56,829
増減額	666	0	0	0	0	666

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	その他衛生費雑入(健康推進課)	100							

【目的・効果】
【目的】
 ○健康づくりに関係する各種計画の策定及び事業評価を行う。
 ○実務にあたる専門職員の人材確保(非常勤職員)と資質向上を図る。
 ○健康管理システム運用により市民の健康データを一元的に管理し、効果的な保健指導を実施する。
【効果】
 ○各種保健事業を実施するための環境が整備されることで、市民の健康を守り健康長寿を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○附属機関会議(食育推進会議)及び有識者会議(健康づくり推進協議会・歯科口腔保健部会)を開催し各種計画の進捗管理を行う。
 ○事業実施に必要な専門職員(非常勤職員)を雇用する。また専門職対象に開催される研修会に出席する。
 ○健康管理システムのリース及び保守業務委託を行う。

【詳細事業内訳】
 予防総務費 57,595千円

【一般財源増加理由】		印刷製本費の増加(第3次食育推進計画)									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	116	食育推進会議委員報酬			19	負担金補助及び交付金	224	専門職員研修会負担金		
07	賃金	47,055	健康推進課非常勤職員(18人)								
08	報償費	339	健康づくり推進協議会・歯科口腔保健部会委員出席謝礼								
09	旅費	167	専門職員研修会旅費								
11	需用費	3,361	健診こよみ・第3次食育推進計画・保健事業報告書印刷代								
13	委託料	2,723	健康管理システム保守・改修委託料								
14	使用料及び賃借料	3,610	健康管理システムリース料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	予防総務費	市民の健康データを蓄積し一元的に管理することで、効果的な保健指導を実施することができる。	14	使用料及び賃借料	3,610	
				13	委託料	2,723	
					計	6,333	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104020	健康づくり事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,884	0	0	0	0	2,884
前年度	6,799	0	0	0	3,300	3,499
増減額	△ 3,915	0	0	0	△ 3,300	△ 615

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	0							
20	健康診査徴収金	0								

【目的・効果】
【目的】
 ○健康に関する学習や実践をととして家族・地域へ健康活動の輪を広げていく。
【効果】
 ○地域レベルで、健康づくりのための知識の普及・啓発に関わる者の育成が進む。
 ○検診(健診)の受診率が向上する。
 ○こころの健康づくり活動を広げる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○全体研修会・地域会・地区学習により健康づくり推進員の学習を深め自らの健康、家族の健康、地域の健康に広めていく。
 ○食生活推進協議会の活動により地域で食生活改善を中心に健康づくりの輪を広げていく。また、リーダーの育成を図る。

【詳細事業内訳】
 健康づくり事業 2,884千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	1,987	講演会・地域活動講師謝礼 健康づくり推進員出席謝礼								
11	需用費	41	健康づくり推進員だより紙代他 食改養成講座・歯科指導出前講座材料費								
13	委託料	856	食改研修大会・健康づくり推進員研修大会バス代 食改伝達講習会費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	健康づくり事業	健康づくり推進員や食生活改善推進員の活動により地域全体の健康づくりに対する意識を向上させる。	08	報償費	1,987	
				11	需用費	41	
				13	委託料	856	
					計	2,884	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010701200
		課・係等	健康推進課 保健予防係 (健康推進課 健康支援担当)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104025	穂高健康支援センター管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,784	0	0	0	1,070	20,714
前年度	22,463	0	0	0	964	21,499
増減額	△ 679	0	0	0	106	△ 785

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	保健センター使用料	16								
20	保健センター自販機電気料	38								
20	穂高健康支援センター外部団体光熱水費	1,012								

【目的・効果】

【目的】

○市の保健医療施策を展開する拠点として各種事業が計画どおり執行されるよう、また地域の保健事業の拠点として市民が健康づくり活動を安心安全に行えるよう、施設の維持管理を行う。

【効果】

○各種検診及び予防活動の際に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- 施設利用者の安全を確保するため、施設及び設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。
- 施設及び設備の計画的な更新を検討する。
- 配置された公用車(23台)を適正に管理する。

【詳細事業内訳】

穂高健康支援センター管理事業 21,784千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	12,199	事務用品・施設管理用品・公用車用品・公用車燃料費・施設修繕費・光熱水費・施設及び公用車修繕費				
12	役務費	3,274	電話料・光回線使用料・公用車定期点検手数料・自賠責保険料				
13	委託料	4,284	施設及び設備管理業務委託料(警備・消防用設備点検・清掃・自動ドア保守点検・外構整備・休日施設管理・除雪等)				
14	使用料及び賃借料	1,788	コピー機・印刷機借上料及び使用料				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会負担金				
27	公課費	235	自動車重量税				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	穂高健康支援センター管理事業	施設及び設備の維持管理を適切に行うことで、市民が安心安全に施設を利用することができる。	13	委託料	4,284
					計	4,284
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010701200
		課・係等	健康推進課 保健予防係 (健康推進課 健康支援担当)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104030	地域保健センター管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,033	0	0	0	26	4,007
前年度	3,735	0	0	0	24	3,711
増減額	298	0	0	0	2	296

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	保健センター使用料	26							

【目的・効果】
【目的】
 ○地域の保健事業の拠点として市民が健康づくり活動を安心安全に行えるよう施設の維持管理を行う。
【効果】
 ○各種検診及び予防活動の際に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○施設利用者の安全を確保するため、施設及び設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。
 ○施設及び設備の計画的な更新を検討する。

【詳細事業内訳】
 地域保健センター管理費 4,033千円

【一般財源増加理由】 施設修繕費の増加(豊科保健センター自動ドア修繕工事)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	852	施設管理用品・燃料代・施設修繕費				
12	役務費	560	電話料・クリーニング代				
13	委託料	2,316	施設及び設備管理業務委託料(警備・清掃・自動ドア保守等)				
14	使用料及び賃借料	204	コピー機借上料及び使用料				
18	備品購入費	101	乳児健診用テーブル				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地域保健センター管理費	施設及び設備の維持管理を適切に行うことで、市民が安心安全に施設を利用することができる。	13	委託料	2,316
					計	2,316
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進係 (健康推進課 健康推進担当)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	02	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104060	予防接種事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	262,767	0	0	0	0	262,767
前年度	262,760	0	0	0	0	262,760
増減額	7	0	0	0	0	7

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

○予防接種は、各種の病原体に対する免疫を持たない者を対象に行われるもので、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを目的としている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行う。
 - 近年変更が相次ぐ予防接種が混乱なく実施できるよう、対象者や医療機関への周知を行う。
 - 個別予防接種として、医療機関との委託契約を締結し実施する。
- A類(個人負担なし):二種混合(DT)、麻しん風しん(MR)、日本脳炎、BCG、Hib、小児用肺炎球菌、4種混合、水痘、子宮頸がん、B型肝炎
- B類(個人負担あり):高齢者インフルエンザ(1,200円)、高齢者肺炎球菌(2,000円)

【詳細事業内訳】

予防接種事業 262,767千円

【一般財源増加理由】ドットプリンタリース開始による皆増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	132	予診票封入作業臨時職員				
09	旅費	17	研修会参加				
11	需用費	2,077	予診票印刷、封筒作成、パンフレット購入				
13	委託料	259,984	個別予防接種委託料				
14	使用料及び賃借料	65	ドットインパクトプリンタリース料				
20	扶助費	492	自己負担等扶助(生活保護、県外医療機関での接種等)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	予防接種委託事業	予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行うことにより、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを図る。	13	委託料	259,984
					計	259,984
2					計	0

予算書ページ	169
--------	-----

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104070	成人検診事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	76,742	200	0	0	6,465	70,077
前年度	74,485	222	0	0	6,700	67,563
増減額	2,257	△ 22	0	0	△ 235	2,514

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	がん検診推進事業補助金	200							
18	国民健康保険特別会計繰入金	0								
20	成人検診徴収金	6,465								

【目的・効果】
【目的】
 ○壮年死亡の減少や健康寿命の延伸にむけ、がん検診やその他検診を実施する。
【効果】
 ○検診等の受診により自らの健康を維持していくことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○がん検診(胃・大腸・乳房超音波・マンモグラフィ・子宮頸部・肺がんCT)
 ○その他健診(結核)
 ○がん検診受診率向上をめざし検診体制の検討や見直し、受診勧奨の送付等を行う。

【詳細事業内訳】
 成人検診事業 76,742千円

【一般財源増加理由】 マンモグラフィ検診の受診者見込みの増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	473	検診看護師 検診事務賃金				
08	報償費	56	医療体制検討会議謝礼				
11	需用費	1,172	医薬材料費・検診用発送封筒・女性がん検診クーポン他・検診勧奨用はがき他				
12	役務費	166	検診クーポン券等郵送料				
13	委託料	74,755	検診事務事業委託料 検診医務委託料				
19	負担金補助及び交付金	120	女性がん検診助成				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	成人検診事業	各種がん検診の受診率向上のため、受診申込者通知、未受診者通知を適宜発送し受診勧奨につなげていく。	07	賃金	473
				11	需用費	1,172
				12	役務費	166
				13	委託料	74,755
					計	76,566
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010701300
課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算書ページ	171
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104075	健康増進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,322	0	3,000	0	507	9,815
前年度	10,886	0	3,500	0	307	7,079
増減額	2,436	0	△ 500	0	200	2,736

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	保健事業補助金	3,000							
20	健康診査徴収金	507								

【目的・効果】
【目的】
 ○健康診査を実施し、健診結果に基づく保健指導を行い、生活習慣病の発症予防、重症化予防に取り組み、健康増進を図る。
【効果】
 ○一人一人の健診結果に基づく保健指導により、生活習慣病の発症リスクを確認し、個人にあった生活改善の方法を知ることができる。
 ○生活改善により、生活習慣病の発症予防、重症化予防ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○健康増進法に基づく事業を行う。
 健康相談
 健康教育
 保健指導
 訪問指導
 肝炎ウイルス検診等
 ○特定健診、特定保健指導

【詳細事業内訳】
 健康増進事業 13,331千円

【一般財源増加理由】	予算組み替えによる増加						
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,655	保健師、看護師、歯科衛生士等専門職賃金				
08	報償費	1,110	健康運動指導士講師謝礼、歯科医師、歯科衛生士等労務謝礼				
11	需用費	1,097	医薬材料・保健指導用教材購入、指導用消耗品購入、健診帳票・通知用封筒等印刷				
12	役務費	637	肝炎ウイルス検診お知らせ及び結果通知				
13	委託料	8,731	健診通知作成など事務委託及び健康増進法に基づく各種健診医務委託				
14	使用料及び賃借料	92	保健指導用教材使用料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	健康増進事業	健診結果に基づき関係機関と連携して効果的な保健指導により、生活習慣病の発症予防重症化予防に取り組む。生活習慣病発症との関連が高いといわれている歯周疾患の重症化を予防するため、特定健診時に歯科健診を重視し、重症化予防に取り組む。	13	委託料	8,731	
				07	賃金	1,655	
				08	報償費	1,110	
				11	需用費	1,097	
					計	12,593	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010701300		予算書ページ	173
		課・係等	健康推進課 健康支援担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104090	母子保健事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,515	0	0	0	0	21,515
前年度	22,126	0	0	0	0	22,126
増減額	△ 611	0	0	0	0	△ 611

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】すべての子どもが健やかに成長発達し、将来にわたる健康的な生活習慣を身につけるための支援をする。
【効果】
 ○保護者が子どもの月齢に応じた発達、生活リズムや栄養、歯科口腔保健等が理解できる。
 ○健康的な生活習慣を身につけ、将来の生活習慣病予防等に繋がる。
 ○育児に対する不安を軽減し、産後うつや虐待等の予防を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○特定妊婦やハイリスク妊婦など特に支援を要する妊婦が増加しているため、出産後の背景などを確認し支援につなげることを目的に、母子手帳交付時には専門職による面接や相談を行う。
 ○乳幼児健診や相談、教室などで、発達や生活リズム、栄養や歯科口腔等の個別指導を行う。
 ○必要な子どもや保護者に対して、個別相談や訪問、専門医によるクリニック、療育の教室等につなげてフォローする。
 ○保護者の社会的問題や心の問題、虐待などについて、関係機関と連携を図りながら対応する。
 ○保育園、小中学校でのフッ化物洗口の実施。

【詳細事業内訳】
 母子保健事業 21,516千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	6,921	専門職賃金				
08	報償費	10,593	医師等労務謝礼				
11	需用費	2,484	乳幼児健診等必要物品、健診等通知封筒・健診等帳票印刷				
13	委託料	1,518	歯科関係委託				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	母子保健事業	乳幼児健診を実施することで、児の異常の早期発見・早期対応による健全な成長を促すとともに、母親の孤立化や育児不安を軽減し、安心した育児と虐待防止ができる。	08	報償費	10,593
				07	賃金	6,921
				11	需用費	2,484
				13	委託料	1,518
					計	21,516
2					計	0

予算書ページ	175
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進係 (健康推進課 健康推進担当)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104110	妊婦・乳児一般健康診査事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	80,065	0	0	0	0	80,065
前年度	85,793	0	0	0	0	85,793
増減額	△ 5,728	0	0	0	0	△ 5,728

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
											0

【目的・効果】
【目的】
 ○妊娠中、医療機関での継続した健康管理を行う。(妊婦健診)
 ○医療機関での乳児健診を行い、発達発育のチェックを行う。
【効果】
 ○妊婦が安心して安全な出産ができるようにするとともに、経済的な負担を軽減する。
 ○乳児疾病異常を早期発見し、早期治療に結びつける。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ○母子手帳交付時に妊婦一般健康診査受診券を発行し、出産に向けての経済的負担を軽減する。
 (妊婦一般健康診査受診券…妊娠届時に計23枚発行する妊婦健診用のクーポン券。妊婦健診時に受診券を使用し、医療機関は補助以外を本人に請求する。国保連合会では医療機関から提出された受診券をもとに各自治体へ請求する。この事業は長野県内で行われているため、里帰り分娩等で県外で受診した場合は、対象者は一旦支払をもらい、補助対象となる金額を償還払いしている。)

【詳細事業内訳】
 妊婦・乳児一般健康診査事業 80,065千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	77	健康診査の受診券印刷費等							
12	役務費	343	国保連合会事務手数料							
13	委託料	77,813	妊婦・乳児一般健康診査の事務委託、医師等による健診委託料							
19	負担金補助及び交付金	1,832	里帰り出産等、県外での受診に対する助成							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	妊婦・乳児一般健康診査事業委託	母子手帳交付時に妊婦一般健康診査受診券を発行し、出産に向けての経済的負担を軽減する。	13	委託料	77,813		
					計	77,813		
2								
					計	0		

予算書ページ	175
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104120	妊産婦・新生児訪問指導事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,675	792	792	0	0	2,091
前年度	3,360	750	750	0	0	1,860
増減額	315	42	42	0	0	231

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	子ども子育て支援交付金	792							
15	子ども子育て支援交付金	792								

【目的・効果】
【目的】安心して妊娠・出産・育児を行うため、様々な悩みや不安を軽減するために支援する。
【効果】
 ○出産、育児に対する不安を軽減し、安心、安全な出産ができる。
 ○子どもの成長発達を支援するとともに、育児に対する不安を軽減し、虐待の予防を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○妊婦訪問の実施。(特に特定妊婦やハイリスク妊婦等を対象に、保健師・助産師が訪問する)
 ○新生児訪問を実施。出生届が提出されてからできるだけ早期に全員の訪問指導を目指し、児と母親等の状況を把握するとともに、母子の環境(初産、社会的背景、母の健康状況など)に応じて、適切な助言や技術的支援、関係機関との連携を行う。

【詳細事業内訳】
 妊産婦・新生児訪問指導事業 3,675千円

【一般財源増加倍】 母子保健事業で作成した指導用資料を、新生児訪問の配布資料と合わせて作成するため増額となった。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	2,730	妊産婦・新生児訪問指導謝礼				
11	需用費	945	新生児訪問指導用資料・訪問用帳票印刷、訪問指導用物品				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	妊産婦・新生児訪問指導事業	妊産婦・新生児に個別訪問することで、育児不安を軽減し健やかな発達の支援と虐待予防ができる。	08	報償費	2,730	
				11	需用費	945	
					計	3,675	
2					計	0	

予算書ページ	175
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進係 (健康推進課 健康推進担当)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104130	未熟児養育医療事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,456	3,625	1,812	0	1,200	1,819
前年度	10,503	4,494	2,247	0	1,500	2,262
増減額	△ 2,047	△ 869	△ 435	0	△ 300	△ 443

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	養育医療国庫補助金	3,625							
15	養育医療県補助金	1,812								
20	未熟児養育医療費徴収金	1,200								

【目的・効果】
【目的】
 ○未熟児の養育に係る医療費を市が負担する
【効果】
 ○未熟児の養育のために保護者の経済的負担を軽減する

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○おおむね出生児体重が2000g以下で、医師が入院による養育が必要であると認めた乳児の保護者に対し、医療費の負担を行い、経済的負担の軽減を図る。(25年度より県から移譲された事業)
 ○具体的手法…対象となった乳児の保護者は市の窓口で医師の意見書や世帯所得状況などを提出する。市は世帯の所得状況や診療報酬支払基金から提出された内容を確認し、所得に応じて保護者に自己負担を徴収するとともに、基金等に支払する。自己負担額を除いて国1/2、県市1/4の事業。

【詳細事業内訳】
 未熟児養育医療事業 8,456千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		12	役務費	6	養育医療審査支払事務手数料				
		20	扶助費	8,450	保険診療報酬による医療給付費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	未熟児養育医療給付事業	医師が入院による養育が必要であると認めた乳児の保護者に対し、医療費の負担を行い、経済的負担の軽減を図る。	20	扶助費	8,450	
					計	8,450	
2					計	0	

予算書ページ	175
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進係 (健康推進課 健康推進担当)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104131	母子・子育て相談事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,499	1,162	1,162	0	0	1,175
前年度	3,521	1,167	1,167	0	0	1,187
増減額	△ 22	△ 5	△ 5	0	0	△ 12

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	子ども子育て支援交付金	1,162							
15	子ども子育て支援交付金	1,162								

【目的・効果】
【目的】
 ○妊娠・出産・育児に関する各種の相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や、地域の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整を行う
【効果】
 ○妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を提供することにより、母子の負担を軽減する

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○母子保健コーディネーターとして、保健師(非常勤職員)を1名配置し、相談・支援窓口対応をする(母子・子育て相談事業)

【詳細事業内訳】
 母子・子育て相談事業 3,499千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	3,190	母子保健コーディネーター(非常勤保健師)賃金				
08	報償費	74	母子保健連絡調整会議出席謝礼				
11	需用費	235	母子・子育て相談事務用品				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	母子・子育て相談事業	母子保健コーディネーターとして、保健師(非常勤職員)を1名配置し、相談・支援窓口対応をすることにより、母子の負担を軽減する	07	賃金	3,190	
				08	報償費	74	
				11	需用費	235	
					計	3,499	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進係 (健康推進課 健康推進担当)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104132	産後ケア事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,204	1,596	0	0	0	1,608
前年度	1,611	798	0	0	0	813
増減額	1,593	798	0	0	0	795

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	産後ケア事業国庫補助金	1,596							

【目的・効果】
【目的】
 ○産後の支援が必要な母子に費用の一部を補助する
【効果】
 ○産後の支援を行うことにより、母子の負担を軽減する

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○医療機関等へ宿泊や母乳相談の委託を行う(H29年10月から開始)

【詳細事業内訳】
 産後ケア事業 3,204千円

【一般財源増加理由】 平成29年10月より新規開始した本事業が通年となったため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	12	産後ケア事業助成券印刷代				
13	委託料	3,192	宿泊型産後ケア・母乳相談事業委託				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	産後ケア事業	医療機関等へ宿泊や母乳相談の委託を行う(H29年10月から開始)ことにより、産後の不安等の解消を図る。	13	委託料	3,192
					計	3,192
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	010701100
課・係等	健康推進課 健康推進係 (健康推進課 健康推進担当)

予算書ページ	177
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104133	不妊・不育症治療費助成事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,359	0	0	0	14,000	4,359
前年度	18,846	0	0	0	10,000	8,846
増減額	△ 487	0	0	0	4,000	△ 4,487

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	7,000							
18	ふるさと寄附基金繰入金	7,000								

【目的・効果】
【目的】
 ○不妊・不育症治療を行う夫婦に対して、その治療費の一部を補助することにより、経済的負担軽減と少子化対策を行う
【効果】
 ○経済的負担軽減と少子化対策を行う

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○不妊・不育症治療を行う夫婦に対して、その治療費の3分の2で上限30万円の助成を行う

【詳細事業内訳】
 不妊・不育症治療費助成事業 18,359千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	18,359	不妊・不育症治療費助成						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	不妊・不育症治療費助成事業	不妊・不育症治療を行う夫婦に対して、その治療費の3分の2で上限30万円の助成を行うことにより、経済的負担軽減と少子化対策につなげる。	19	負担金補助及び交付金	18,359
					計	18,359
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進係 (健康推進課 健康推進担当)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	08	診療所費		基本施策	地域医療の充実
	事業	0104200	夜間急病センター運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,446	0	1,400	0	11,871	9,175
前年度	22,449	0	1,400	0	10,406	10,643
増減額	△ 3	0	0	0	1,465	△ 1,468

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	夜間急病センター診療手数料滞納繰越分	1								
13	夜間急病センターその他手数料	150								
15	小児初期救急医療体制整備補助金	1,400								

【目的・効果】

【目的】

○地域医療体制充実のために、夜間における一次医療体制を担う。

【効果】

○二次救急医療の負担軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

○安曇野市医師会館内にセンターを設置。医師会医師により夜間の診療を行う。

【詳細事業内訳】

夜間急病センター運営事業 22,446千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	12,474	診療医報酬				
07	賃金	4,875	看護師ほか				
08	報償費	63	運営委員会				
11	需用費	1,705	医薬品ほか運営雑品				
12	役務費	427	クリーニング代ほか				
13	委託料	1,621	医療事務ほか				
14	使用料及び賃借料	1,281	医師会館借り上げ				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	夜間急病センター運営事業	安曇野市医師会館内にセンターを設置し、医師会医師により夜間の診療を行うことにより、2次救急医療の負担軽減等を図る。	1	報酬	12,474
				7	賃金	4,875
				11	需用費	1,705
				13	委託料 外	3,392
					計	22,446
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	131
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103180	介護保険対策費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,265,596	5,598	3,099	0	1,256,899
前年度	1,479,720	5,473	225,642	0	1,248,605
増減額	△ 214,124	125	△ 222,543	0	8,294

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	低所得者保険料軽減県負担金	2,799								
15	介護保険事業費補助金	300								

【目的・効果】
【目的】
 介護保険特別会計へ介護給付費・地域支援事業の市負担分を繰出す他、保険料軽減負担金及び事務費を繰出し、介護保険事業の円滑な運営を図る。
 介護保険特別会計以外の介護保険に関する事業を実施し介護保険事業の円滑な運営を図る。
【効果】
 介護保険事業が円滑に運営される。
 施設整備補助や社会福祉法人への軽減補助を実施し、介護保険事業所等の充実が図れる。
 市内の地域包括ケア体制構築のため、生活支援体制整備を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 介護予防・日常生活支援総合事業は平成30年4月に完全移行。地域包括ケアシステム構築の為の補助事業の実施。第7期介護保険事業計画に基づく事業実施。

【詳細事業内訳】
 介護保険特別会計繰出金 1,252,203千円 介護保険事業費補助金 400千円 介護保険支え合い施設整備補助金 1,500千円 介護保険課総務費(特別会計によらないもの) 11,493千円

【一般財源増加理由】 介護報酬プラス改定及び、介護施設数増加による介護給付費増加に伴う繰出金の増加等。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	10,016	本庁窓口、介護保険事務 4名、相談事務社会福祉士1名				
11	需用費	219	認定調査係事務室修繕費				
13	委託料	350	認定調査係事務室警備費				
15	工事請負費	908	認定調査係事務室電話交換機修理工事				
19	負担金補助及び交付金	1,900	支えあい施設整備補助金、社会福祉法人補助金				
28	繰出金	1,252,203	介護保険事業(給付費、地域支援事業)市負担分繰出金、保険料軽減繰出金、事務費繰出金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	介護保険支え合い施設整備補助金	地域が主体の高齢者の生活支援体制、介護予防体制を構築・促進するための補助事業の実施。	19	負担金補助及び交付金	1,500
					計	1,500
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	133
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103190	在宅介護福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,147	0	0	0	0	17,147
前年度	17,347	0	0	0	0	17,347
増減額	△ 200	0	0	0	0	△ 200

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

要介護者が在宅で生活するためのサービス提供とその家族等の支援と高齢者の権利擁護を目的とする。

【効果】

当事業を実施することにより介護をする家族の経済的、精神的な負担軽減を図ることができる。
判断力が低下し自己決定が困難な高齢者が成年後見制度を利用することにより高齢者の権利が守られ、安定した生活を送ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・家族介護者を支援するため家庭介護用品購入の際に利用できる助成券を対象者に交付する。
- ・成年後見支援センターへの補助金交付。

【詳細事業内訳】

在宅介護福祉事業 17,147千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	347	介護用品購入助成券印刷費、返信用封筒印刷費				
19	負担金補助及び交付金	8,160	成年後見支援センター補助金				
20	扶助費	8,640	家庭介護用品購入助成費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	成年後見支援センター補助金	安曇野市他1市5村が利用する「成年後見支援センター」の運営に対し、補助金を交付する。成年後見制度に関する相談、啓発、法人後見の活用等により市民の権利擁護の推進が図られる。	19	負担金補助及び交付金	8,160
					計	8,160
2	ソフト	介護用品購入助成事業	要介護3~5の高齢者を在宅で介護している家族に1か月あたり1,000円の介護用品購入助成券を交付。介護する家族の経済的、精神的負担の緩和が図られる。	20	扶助費	8,640
					計	8,640

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	125
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103120	国保会計繰出金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	653,708	87,147	283,133	0	283,428
前年度	676,011	87,318	286,233	0	302,460
増減額	△ 22,303	△ 171	△ 3,100	0	△ 19,032

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	保険基盤安定負担金	87,147							
15	保険基盤安定負担金	283,133								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業を実施するにあたり、法令等で定められた額を国保特別会計に繰り出す。
【効果】
 ・国民健康保険事業で必要とする費用を繰り出すことにより、国保加入者の負担を軽減できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国民健康保険事業実施による経費についての繰出しを随時行う。

【詳細事業内訳】
 国保会計繰出金 653,708千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
28	繰出金	653,708	国保特別会計への繰出金653,708千円(内訳:保険基盤安定事業493,707千円、出産育児一時金22,400千円、財政安定化支援事業55,966千円、精神給付金20,000千円、事務費61,635千円)								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	133
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103200	後期高齢者医療事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
1,233,976	1,211,501	22,475	0	182,136	0	6,743
			0	175,754	0	11,309
			0	6,382	0	△ 4,566
						20,659

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	市町村特別対策広報等事業補助金	6,743								188,879

【目的・効果】
【目的】
 ・後期高齢者医療被保険者を対象に、人間ドック受診者に対し受診費用の一部の助成を行う。
 ・後期高齢者医療保険を運営している長野県後期高齢者医療広域連合へ法令に基づく市負担金の支払い、及び、後期高齢者医療特別会計への繰出しを行う。
【効果】
 ・後期高齢者被保険者人間ドック事業を実施することにより、身体機能の保持と疾病の早期発見・早期治療を促し、健康で長寿を目指す。
 ・後期高齢者医療保険の健全な運営が保たれ、制度も安定的に維持されていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・後期高齢者医療人間ドック等受診者に対する助成金を交付する。(助成方式・償還払い方式)
 ・医療給付費負担金は、長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支出をする。
 ・繰出金 ①保険基盤安定繰出金 ②事務費繰出金 を繰出計画に基づき後期高齢者医療保険特別会計へ繰出す。

【詳細事業内訳】
 後期高齢者医療事業 1,221,003千円 後期高齢者医療人間ドック等助成事業 12,973千円

【一般財源増加理由】	人間ドック受診者数増加見込み、繰出金の増加										
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	13	人間ドック等受診券用紙(13千円)								
13	委託料	11,900	人間ドック等受診助成委託費(11,900千円)								
19	負担金補助及び交付金	927,627	人間ドック等受診補助金(1,060千円)、療養給付費負担金(926,567千円)								
28	繰出金	294,436	後期高齢者健診費用分国保会計繰出金(8,137千円)、後期保険基盤安定繰出金(242,849千円)、広域連合事務費繰出金(38,617千円)、事務費繰出金(4,833千円)								

【上記予算内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	後期高齢者医療人間ドック等助成事業	後期高齢者医療被保険者を対象に、人間ドック・脳ドックの受診費用の一部を助成し、費用の負担軽減を図るとともに、早期発見・早期治療により重症化予防ができ、後期高齢者医療費の削減が見込まれる。	11	需用費	13
				13	委託料	11,900
				19	負担金補助及び交付金	1,060
					計	12,973
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	133
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	03	国民年金事務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103210	国民年金事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	63,993	20,393	0	0	0	43,600
前年度	60,828	16,980	0	0	0	43,848
増減額	3,165	3,413	0	0	0	△ 248

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	国民年金事務委託金	20,393							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民年金事務の一部は、法定受託事務として市町村が行うこととなっている。また、法定受託事務に関する事務や相談等は国と市の協力・連携のもと実施している。
 ・主な手続きとして、国民年金の加入・喪失届出の手続き、口座振替の推進、免除制度の案内、未支給年金手続きの受付や年金の加入等による相談を行う。
【効果】
 ・市の窓口で受付を行うことで、国民年金被保険者の利便性が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国民年金に関する各種届出受付業務を扱い、受付した届出書等を日本年金機構へ進達する。

【詳細事業内訳】
 国民年金事務費 63,993千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	35,687							
03	職員手当等	16,458							
04	共済費	10,943							
11	需用費	402	啓発用パンフレット(391千円)、異動データ送付用CD等(11千円)						
13	委託料	503	年金生活者支援給付金支給準備に伴うシステム改修(503千円)						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	国民年金業務システム改修事業	年金生活者支援給付金制度の開始に伴う、給付金支給事務に必要な所得情報等を日本年金機構へ提供するためのシステム改修を行い事務の効率化を図る。	11	需用費	402
				13	委託料	503
					計	905
2					計	0

農林部

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801100
課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	199
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106030	農業総務費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	180,040	0	50	0	179,990
前年度	205,595	0	140	0	205,455
増減額	△ 25,555	0	△ 90	0	△ 25,465

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域農業マスタープラン作成事業補助金	50							

【目的・効果】
【目的】
 ・農業振興事業関係の事務的経費
【効果】
 ・農業振興事業の円滑な推進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農業振興事業の総務事務費(人件費、報償費、需用費、公用車管理経費など)

【詳細事業内訳】
 農業総務費 179,732千円 農業・農村計画事業 308千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
02	給料	86,074	一般職(24人)			12	役務費	272	公用車車検費用		
03	職員手当等	40,793	職員諸手当			14	使用料及び賃借料	4	駐車場使用料		
04	共済費	26,791	職員共済組合納付金			19	負担金補助及び交付金	6,371	(株)エア・ウォーター農園補助金		
07	賃金	15,981	臨時職員賃金			27	公課費	26	公用車重量税		
08	報償費	2,234	農家組合長謝礼								
09	旅費	96	職員出張旅費								
11	需用費	1,398	農業振興関係参考図書、事務用品購入、会議賄費、公用車等消耗品、燃料、修繕費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010801100
		課・係等	農政課 農業政策係

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106040	農業振興地域整備促進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,017	0	0	0	6	1,011
前年度	4,357	0	0	0	6	4,351
増減額	△ 3,340	0	0	0	0	△ 3,340

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	農振関係証明手数料	6							

【目的・効果】
【目的】
 ・農業振興地域の整備に関する法律(農振法)と安曇野市農業振興地域整備計画に基づく適正な計画変更の推進
【効果】
 ・優良農地の保全

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農振法に基づく農振整備計画の変更手続き(年2回)
 ・安曇野市農業振興地域整備促進協議会及び同地域協議会の運営

【詳細事業内訳】
 農業振興地域整備促進事業 1,017千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	392	協議会の委員報酬								
08	報償費	581	地域協議会の委員出席謝礼								
11	需用費	44	事務用品購入								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	201
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106060	農業生産振興費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,562	0	10,920	0	0	17,642
前年度	26,695	0	19,384	0	0	7,311
増減額	1,867	0	△ 8,464	0	0	10,331

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	環境保全型農業直接交付金	720							
15	産地パワーアップ事業	10,000								
15	水田農業経営確立推進指導事業補助金	200								

【目的・効果】

【目的】

・農家所得の向上と、環境にやさしい農業技術向上に向けた検証事業を実践する為、市農業再生協議会へ交付金を交付しJA等農業関係者と取組む。検証結果等は、年度末に農家へ向けて発信する。

・地域の営農戦略に基づき、意欲のある農業者等が高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取り組みに対し支援する。

【効果】

・農業技術の課題克服やコスト低減、環境に配慮した農業技術方法を発信することで、農家所得の向上や環境に配慮した農業を実践する。

・担い手への集約やコスト低減技術の導入等により生産コストを低減する。また、品質向上や高付加価値化等により販売額を向上させる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市農業再生協議会(農家・市・JA・県改良普及センター・のうさい・市農業委員会で組織)では、農業技術向上検証事業等により所得の向上や環境の保全対策検証に取り組む。

・環境保全型農業の推進では、国の事業を活用し、有機農業及び緑肥使用等による化学肥料・化学合成農薬使用を低減する営農活動に対し、市からも対象農家へ補助金を支給し支援する。

・生産コスト削減や高収益な作付け体系への転換を図る取り組みを行う農業者等の掘り起こしを行い支援する。

○H30年度より麦後湛水事業の予算が、環境課事業から農業再生協議会事業に移管されたため一般財源が増加した。

【詳細事業内訳】

農業生産振興事業(市再生協事業) 16,839千円 産地パワーアップ事業 10,000千円 農業生産振興総務費 763千円 環境保全型農業直接支払交付金事業 960千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	28,562	市農業再生協議会交付金、産地パワーアップ事業、環境保全型農業直接支払事業				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農業生産振興事業(市再生協事業)	市農業再生協議会において、農業技術向上検証事業等により所得の向上や環境の保全対策検証に取り組む。また、これらの情報を農家に提供する。	19	負担金補助及び交付金	16,839
					計	16,839
2	ソフト	産地パワーアップ事業	地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者等が高収益な作物。栽培体系への転換を図るための取り組みを総合的に支援する。	19	負担金補助及び交付金	10,000
					計	10,000

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	203
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106070	水田農業振興事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	34,000	0	20,000	0	14,000
前年度	38,600	0	24,600	0	14,000
増減額	△ 4,600	0	△ 4,600	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・経営所得安定対策等推進事業を円滑に推進する。
 ・水稻の病害虫及び稲黄萎病による被害を未然に防ぎ、水稻の安定生産と安定収入に繋げる。
【効果】
 ・需要に見合った米の適正生産及び経営所得安定対策等推進事業の円滑化。
 ・一等米比率は全国トップクラスを維持しており、安曇野米のブランドを維持している。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【主な事業】
 ・経営所得安定対策等推進事業の事務費等として、県交付金は全額市農業再生協議会へ交付。
 ・苗箱施薬剤購入費の一部(600円/kg)補助。

【詳細事業内訳】
 経営所得安定対策等推進事業 20,000千円 苗箱施薬剤購入補助事務 14,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	34,000	経営所得安定対策等推進事業費、水稻苗箱施薬剤購入補助								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	経営所得安定対策等推進事業	・市農業再生協議会へ交付金を交付することにより、経営所得安定対策等推進事業事務等の円滑化及び農家への交付金交付の適正な推進を図る。	19	負担金補助及び交付金	20,000
					計	20,000
2	ソフト	苗箱施薬剤購入補助事務	・稲作の病害虫防除対策及び農業経営の安定を図るため、苗箱施薬剤購入費の一部助成を行うことにより、全国トップクラスの一等米比率を安定して維持している。	19	負担金補助及び交付金	14,000
					計	14,000

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	203
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106080	畑作園芸振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	78,191	0	0	0	44,000	34,191
前年度	78,508	0	0	0	25,000	53,508
増減額	△ 317	0	0	0	19,000	△ 19,317

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	22,000							
18	ふるさと寄附基金繰入金	22,000								

【目的・効果】

【目的】

- ・転作作物の推進に併せ、安曇野市の地味・気候に適し、作業効率、採算面を考慮し産地化の図れる作物の生産振興を図る。
- ・果樹共済では、昨年に引き続き、共済加入農家掛金の33.3%を支援し、共済制度加入促進を図る。
- ・そ菜価格安定共助制度(各JA取組)への市負担金により、農家が安心してそ菜を生産できる環境を整える。
- ・市の主要農産物である果樹の新植と、土地利用型作物で米に代わる作物として振興を図る玉ねぎについて助成を行い面積拡大を図る。

【効果】

安曇野市の主要農産物であるリンゴを中心とした果樹の生産拡大や、気象災害等による被害対策である共済加入促進を図り、経営安定につなげる。また、機械化一貫体系で栽培可能な玉ねぎを振興し、労力の軽減と農家所得の向上を図る。また、国が食料・農業・農村基本計画において位置付けている飼料用米の生産拡大を図り、水田のフル活用を推進する。これにより地下水涵養の効果も期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

- ・経営所得安定対策の実績を基に、3品目に対して補助金(15,000円/10a以内)を交付。併せて20a以上作付者に対して、生産面積拡大を促すため3,000円/10a以内から9,000円/10a以内の傾斜加算をする。
- ・新植による果樹の栽培面積の拡大に際し、果樹棚及び苗代の1/3を補助及び、未収益期間の支援として 年50,000円/10aを4年間補助する。
- ・機械化一貫体系による玉ねぎ栽培の拡大を図るため、機械化用苗代の1/3、作業機械の購入費の1/3を補助する。

【詳細事業内訳】

そ菜価格安定共助会負担金 3,300千円 玉ねぎ機械化体系支援事業 6,220千円 市農業振興作物等推進事業 56,201千円 果樹生産農家支援事業 12,470千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	78,191	玉ねぎ機械化体系支援事業、果樹生産農家支援事業、市農業振興作物等推進事業など				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	市農業振興作物等推進事業	・転作作物に対し、担い手支援・生産振興作物推進等の補助金を交付することにより、農業振興及び需要に即応した米作りを推進する。	19	負担金補助及び交付金	56,201
					計	56,201
2	ソフト	玉ねぎ機械化体系支援事業	玉ねぎの機械化により栽培面積を拡大を図る農家へ、機械化用苗の購入、機械の購入に対し補助を行う。	19	負担金補助及び交付金	6,220
					計	6,220

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801400
課・係等	農政課 マーケティング担当

予算書ページ	203
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	04	消費拡大対策費		基本施策	農業の振興
	事業	0106100	消費拡大対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,052	3,250	0	0	0	13,802
前年度	21,283	3,250	0	0	0	18,033
増減額	△ 4,231	0	0	0	0	△ 4,231

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	新型交付金	3,250							

【目的・効果】
【目的】
 ・地元産農産物を、都市部の消費者に向けたPR販売と情報発信の機会を築き、農業振興の活性化を図る。
 ・玉ねぎまつり等を開催することにより、安曇野の農産物PR・地産地消を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農業者の祭典とした「農林業まつり」を、商工会主管の“新そばと食の感謝祭”と同時開催することで「農と食」をPRし、安曇野の農産物ブランド、地域イメージを築き、農産物の消費拡大へ繋げる。
 ・農産物の消費拡大を推進するにあたり、県や友好都市等のアンテナショップを活用したイベント販売の開催による農産物PR販売の推進。

【詳細事業内訳】
 海外輸出販路開拓事業 6,540千円、農産物等販路拡大事業 6,113千円、産直センター運営支援事業 4,399千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	818	農産物PRでの職員旅費				
11	需用費	195	地域イベントでの消耗品				
12	役務費	109	展示商談会等の運搬費用				
13	委託料	3,820	産直センター委託料				
14	使用料及び賃借料	160	展示商談会のブース借上料				
19	負担金補助及び交付金	11,950	他団体への補助金、再生協への交付金等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	海外輸出販路開拓事業	地方創生交付金を活用して、わさびの海外輸出を推進し、農家所得の向上を図る。	19	負担金補助及び交付金	6,540	
					計	6,540	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801400
課・係等	農政課 マーケティング担当

予算書ページ	205
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	04	消費拡大対策費		基本施策	農業の振興
	事業	0106110	直売加工施設運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	36,105	0	0	0	8,027	28,078
前年度	30,117	0	0	0	8,343	21,774
増減額	5,988	0	0	0	△ 316	6,304

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18	堀金産地形成促進施設基金繰入金	2,316	20	豊科南部地区産地形成施設使用料	180					
20	堀金産地形成施設利用料	2,340	20	穂高農業活性化施設利用料	2,290					
20	三郷畜産活性化施設利用料	0								

【目的・効果】
【目的】
 ・市内の直売加工施設に係る維持管理・改修費等及び指定管理による費用。
 ・穂高農業活性化施設(Vif穂高)の公共下水道工事の完了。
【効果】
 ・市内の直売加工施設の維持管理の向上。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内各直売加工施設の維持管理・改修。

【詳細事業内訳】
 堀金物産センター及び農産物処理加工施設運営事業 9,349千円、ピフ穂高公共下水道整備事業 7,025千円、豊科農産物加工交流センター運営事業 2,470千円、三郷産地形成促進施設運営事業 475千円、明科農産物加工交流施設運営事業 2,837千円、直売加工施設運営総務費 2,100千円、穂高農業活性化施設運営事業 11,849千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,100	直売加工施設の修繕、修理				
13	委託料	11,790	指定管理料等				
14	使用料及び賃借料	6,766	直売加工施設の土地賃借料				
15	工事請負費	7,692	直売加工施設の工事費				
18	備品購入費	4,348	直売加工施設の備品購入費				
19	負担金補助及び交付金	1,057	Vif穂高の下水道受益者負担金、水道料負担金				
25	積立金	2,352	堀金物産センター基金積立金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	ピフ穂高公共下水道整備事業	ピフ穂高直売所施設の下宅内配管整備に伴う工事費用。	13	委託料	368	
				15	工事請負費	5,930	
				19	負担金補助及び交付金	727	
					計	6,657	
2	ソフト	堀金物産センター及び農産物処理加工施設運営事業	堀金農産物処理加工施設に係る指定管理料。直売加工所施設の維持管理、備品買い替え費用。	13	委託料	1,234	
				14	使用料及び賃借料	3,445	
				18	備品購入費	2,031	
				25	積立金	2,352	
	計	7,828					

予算書ページ	207
--------	-----

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010801400
		課・係等	農政課 マーケティング担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106115	市民農園事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	607	0	0	0	405	202
前年度	837	0	0	0	414	423
増減額	△ 230	0	0	0	△ 9	△ 221

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	市民農園利用料		405						

【目的・効果】
【目的】
 市民農園の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流を図る。
【効果】
 市民が、市民農園を利用することにより農業の振興に繋がる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市民農園(市内10か所)の管理、運営。その他、JAあづみ管理、運営の市民農園(1か所)の周知支援。

【詳細事業内訳】
 市民農園事業 607千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	29							
13	委託料	98							
14	使用料及び賃借料	477							
19	負担金補助及び交付金	3							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	市民農園事業	・市民が農のある暮らしを享受できるよう、市内10か所、273区画の市民農園の管理、運営のための費用を計上。	11	需用費	29
				13	委託料	98
				14	使用料及び賃借料	477
				19	負担金補助及び交付金	3
					計	578
2					計	0

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801100
課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	207
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106120	農村都市交流促進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,689	0	0	0	1,740	8,949
前年度	9,360	0	0	0	1,740	7,620
増減額	1,329	0	0	0	0	1,329

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	三郷やすらぎ空間施設利用料	1,740							

【目的・効果】

【目的】

- ・農村都市交流施設の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流促進を図る。
- ・研修や講座の開催、健康づくりのための体育活動、農家の集いの場として活用するための施設。農村の活性化に寄与している。
- ・農村都市交流(農家民宿事業)を推進することにより、市民や観光客が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流促進を図る。(H27年度～H29年度受入れ人数2,430人)

【効果】

- ・効果的で適正な施設管理
- ・安曇野の地域イメージの向上

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・三郷やすらぎ空間施設の管理(H17建築、木造平屋建、指定管理者:募集中)
- ・穂高農村景観活用交流施設の管理(H4建築、木造平屋建、指定管理者:矢原区)
- ・小倉多目的研修センターの管理(S57建築、鉄骨2階建、指定管理者:JAあづみ)
- ・農家民宿事業を推進するための講演会及び開設補助を行う。
- ・安曇野スタイルの農家民宿事業を推進するために、受入農家の開拓に伴う講演会及び開設補助を行う。(H30年度受入れ予定人数約1,000人)

【新規】地域おこし協力隊員の採用。

【詳細事業内訳】

コミュニティー施設運営事業 1,175千円 小倉多目的研修施設管理事業 2,700千円 農家民宿推進事業 3,291千円 三郷やすらぎ空間運営事業 3,523千円

【一般財源増加理由】 地域おこし協力隊員の採用のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	2,835	地域おこし協力隊員の賃金				
08	報償費	70	視察研修時の講師謝礼				
09	旅費	86	地域おこし協力隊員の旅費				
11	需用費	422	施設小破修繕/地域おこし協力隊員の消耗品				
13	委託料	3,821	指定管理委託料/視察研修時の運転代行				
14	使用料及び賃借料	3,200	施設用地借地料				
19	負担金補助及び交付金	255	農家民宿受入れ農家への開業補助				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農家民宿推進事業	農家民宿事業を推進し、農村と都市との交流を促進させるとともに、受入農家の拡充を行う。 その事業に携わる地域おこし協力隊員の雇用。	07	賃金	2,835
				08	報償費	70
				09	旅費	86
				19	負担金補助及び交付金	255
					計	3,246
2					計	0

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801100
課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	207
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106130	安曇野の里運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	38,750	0	0	0	10,725	28,025
前年度	80,833	10,400	0	0	50,593	19,840
増減額	△ 42,083	△ 10,400	0	0	△ 39,868	8,185

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	安曇野の里基金利子	13							
18	安曇野の里基金繰入金	5,422								
20	安曇野の里施設利用料	5,290								

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野市豊科安曇野の里自然活用村施設の管理を行い、都市と農村の交流促進を図る。
【効果】
 ・施設の適正な維持管理。
 ・市内外の学童や市民に農業に親しむ機会を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・施設の指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】
 豊科安曇野の里自然活用村(指定管理者:(一社)豊科開発公社、憩いの池と遊歩道は直営)
 ビレッジ安曇野(S62・H5建築、鉄筋コンクリート、一部鉄骨造)、あづみ野ガラス工房(S60建築、鉄骨平屋建)、あづみ野第2ガラス工房(H4建築、鉄骨2階建)、プラザ安曇野(S63建築、木造2階建)、わさび田広場、湧水探索路

【詳細事業内訳】
 安曇野の里改修事業 13,693千円 安曇野の里運営事業 25,057千円

【一般財源増加理由】	平成29年度は国庫補助金が充当されていたこと並びに、宿泊施設の今後のあり方を検討するにあたり、必要な業務委託をするため										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	600	施設小破修繕								
13	委託料	21,772	工事設計監理業務、指定管理委託料、宿泊施設あり方検討業務								
14	使用料及び賃借料	3,625	施設用地借地料								
15	工事請負費	12,739	ビレッジ安曇野ろ過機改修工事								
25	積立金	14	基金・利子積立								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	安曇野の里運営事業	・宿泊施設の今後のあり方を検討するにあたり、必要な業務委託をすることで、最適な方針を示すための材料とする。	13	委託料	20,832	
				14	使用料及び賃借料	3,625	
				11	需用費	600	
					計	25,057	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801100
課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	209
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106140	ファインビュー室山運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,136	0	0	0	25,135	1
前年度	87,102	0	0	0	74,041	13,061
増減額	△ 61,966	0	0	0	△ 48,906	△ 13,060

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18	三郷農林漁業体験実習館基金繰入金	4,500								
20	農林漁業体験実習館利用料	20,610								

【目的・効果】
【目的】
 ・ファインビュー室山の管理を行い、都市と農村の交流促進の拠点施設としての活用を図る。
【効果】
 ・施設の適正な維持管理。
 ・都市と農村の交流促進。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】
 ファインビュー室山(H10・H12建築、鉄筋コンクリート2階建、指定管理者(株)ファインビュー室山)

【詳細事業内訳】
 ファインビュー室山運営事業 600千円 ファインビュー室山改修事業 24,536千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	600	施設小破修繕				
13	委託料	584	工事設計監理業務				
15	工事請負費	3,316	空調改修工事、照明器具更新工事				
25	積立金	20,636	基金・利子積立				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010801100
		課・係等	農政課 農業政策係

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106150	ほりで一ゆ～運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	112,183	0	0	0	106,592	5,591
前年度	95,546	0	0	0	89,855	5,691
増減額	16,637	0	0	0	16,737	△ 100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18	堀金観光開発基金繰入金	49,675								
20	ほりで一ゆ～施設利用料	56,530								

【目的・効果】
【目的】
 ・ほりで一ゆ～四季の郷ほか周辺施設の管理を行い、都市と農村の交流等を進める施設としての活用を図る。
【効果】
 ・施設の適正な維持管理。
 ・都市と農村の交流促進。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

【施設の概要】
 ほりで一ゆ～四季の郷(H7・H12建築、鉄筋コンクリート4階建、指定管理者(株)ほりで一ゆ～)、コテージ四季の郷(H8建築、木造2階建6棟、指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、啼鳥山荘(S45建築、木造平屋建、指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、バターゴルフ場・マレットゴルフ場・キャンプ場(指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)

【詳細事業内訳】
 ほりで一ゆ～運営事業 10,329千円 ほりで一ゆ～改修事業 101,854千円

【一般財源増加理由】		金額		主な内容		金額		主な内容	
節	節名称	金額		節	節名称	金額		節	節名称
11	需用費	4,738			ほりで一ゆ～厨房設備修繕、オートキャンプ場消火栓修繕等 施設小破修繕				
13	委託料	5,338			工事設計監理業務、指定管理料				
14	使用料及び賃借料	3,591			借地料				
15	工事請負費	38,135			コテージ四季の郷改修工事、ほりで一ゆ～四季の郷ろ過装置整備工事、音響設備改修工事、浴場照明器具改修工事等				
18	備品購入費	3,463			下駄箱、脱衣ロッカー購入、券売機等購入				
25	積立金	56,918			基金・利子積立				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801300
課・係等	農政課 集落支援担当

予算書ページ	211
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106160	担い手支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	40,699	0	18,626	0	180	21,893
前年度	56,337	0	30,830	0	180	25,327
増減額	△ 15,638	0	△ 12,204	0	0	△ 3,434

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	農地利用集積事業補助金	8,000								
15	経営体育成支援事業補助金	10,000								
20	農業経営基盤強化資金利子補給金返還金	180								

【目的・効果】

【目的】

・地域農業を担う認定農業者や集落営農組織などを育成しつつ営農支援することにより、持続的で力強い農業経営基盤を確立する。

【効果】

・農業の担い手の所得確保や経営力アップ、農業・農村の活性化が進む。
 ・担い手への農地の集積・集約化により、効率的な農業の実施と、農地の保全維持・向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1 農業用機械施設整備事業
 担い手が整備する農業機械・施設に対し、国及び市それぞれの制度を活用した補助金または交付金を交付する。①集落営農組織機械等整備支援事業(市単) ②親元就農機械等整備支援事業(市単) ③経営体育成支援事業(国庫) ④農業用施設取得補助金(市単)
- 2 制度資金給付事業
 融資に対する利子補給 ①農業経営基盤強化資金利子補給金 ②農業近代化資金利子補給金
- 3 安曇野市農業再生協議会集落支援事業
 市再生協議会の集落支援事業に対して交付金を交付する(集落営農組織助成、後継者対策、荒廃農地対策、有害鳥獣対策)
- 4 農地集積事業
 農地中間管理機構を介した農地集積を行い、農家・集落等に交付金を交付する(地域集積協力金、経営転換協力金、耕作者集積協力金)

【詳細事業内訳】

制度資金給付事業 1,460千円 農業用機械施設整備事業 22,700千円 市農業再生協議会集落支援事業 8,200千円 集落支援総務費 339千円 農地集積事業 8,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
09	旅費	65	職員出張旅費								
11	需用費	20	消耗品費								
19	負担金補助及び交付金	40,614	農業用機械施設整備事業補助金、市農業再生協議会交付金他								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	農業用機械施設整備事業	認定農家や集落営農組織が取得する農業用機械・施設に対して補助金交付を行い、農業の機械化を図る。	19	負担金補助及び交付金	22,700	
					計	22,700	
2	ソフト	農地集積事業	機構集積協力金を活用し、農地中間管理機構を介した農地の集積集約化を図る。	19	負担金補助及び交付金	8,000	
					計	8,000	

予算書ページ	211
--------	-----

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010801300
		課・係等	農政課 集落支援担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106170	後継者対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	46,520	0	40,500	0	900	5,120
前年度	51,500	0	40,500	0	5,900	5,100
増減額	△ 4,980	0	0	0	△ 5,000	20

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	新規就農者住宅使用料	900							
15	農業次世代投資資金(経営開始型)	40,500								

【目的・効果】

【目的】

・新規就農者や農業後継者の確保・育成を推進する。

【効果】

・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。
 ・各種支援策があることにより、就農者の増加と定着が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

次世代を担う農業者を確保・育成し、新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を、国及び市の給付金制度により支援する。
 「農業次世代人材投資資金(国庫)」、「親元就農支援金(市単)」、「新規就農者生活支援金(市単)」、「新規就農者住宅支援金(市単)」、「就農希望者研修費助成(市単)」

【詳細事業内訳】

後継者育成事業 46,520千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	80	新規就農者住宅施設等修繕費				
19	負担金補助及び交付金	46,440	農業次世代投資資金、親元就農給付金他				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	後継者育成事業	国及び市の給付金制度を活用し、新規就農者の確保・育成を図る。	11	需用費	80
				19	負担金補助及び交付金	46,440
					計	46,520
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801400
課・係等	農政課 マーケティング担当

予算書ページ	211
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106175	職農教育推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,480	0	0	0	0	1,480
前年度	2,456	0	0	0	0	2,456
増減額	△ 976	0	0	0	0	△ 976

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・農業を魅力ある職業と捉える「職農教育」を推進し、将来の農業後継者の確保・育成を推進する。
【効果】
 ・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。
 ・農業高校等との連携事業により、就農に資する実習を経験することにより、将来の就農者の増加と定着が見込まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【主な事業】
 ・市内の農業高校との連携事業。
 ・農業塾等就農者育成組織活動助成事業。

【詳細事業内訳】
 南農高校連携事業 943千円 女性農業者支援事業 45千円 職農教育推進事業 42千円 農業塾等助成事業 450千円

【一般財源増加理由】 講演会等での講師謝礼増加のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	200	農業フォーラム講師謝礼				
09	旅費	23	南農販売実習での引率職員旅費				
11	需用費	143	南農販売実習での消耗品費				
12	役務費	68	南農販売実習での商品運搬費				
13	委託料	181	南農販売実習での運転代行				
16	原材料費	415	南農連携事業商品開発の原材料費				
19	負担金補助及び交付金	450	農業塾育成組織活動補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1		農業塾等助成事業	・市民に農業学習の場を提供している農業塾、体験農場において行われている農業者育成に係る事業を支援するため、補助金を計上。	19	負担金補助及び交付金	450	
					計	450	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801300
課・係等	農政課 集落支援担当

予算書ページ	213
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106180	荒廃農地対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,147	2,500	2,000	0	0	6,647
前年度	13,452	1,000	7,300	0	0	5,152
増減額	△ 2,305	1,500	△ 5,300	0	0	1,495

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	新型交付金		2,500						
15	荒廃農地等利活用促進交付金		2,000							

【目的・効果】
【目的】市内の荒廃農地の解消に向けた取組みを推進し、全体面積を減少させる。
【効果】荒廃農地を減少することにより、健全な農地と景観維持、田園保全につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ・「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査要領(農林水産省農村振興局通知)」を受け、関係部署が協力し山林原野化した農地の見極め調査を行い、荒廃の状況等の情報を把握・共有する
 ・荒廃農地を再生・解消するため、国の「荒廃農地等利活用促進交付金」および「安曇野市荒廃農地解消就農者支援金」を活用し、再生作業を行う個人および団体を支援する。
 ・荒廃したわさび田を復旧させるため、実証ほ場を選定し施行方法の検証を行うとともに、低コストでの栽培方法を見出すための支援を行う。

【詳細事業内訳】
 荒廃農地解消事業 6,147千円 荒廃わさび田再生検証事業 5,000千円

【一般財源増加理由】		荒廃わさび田再生事業(地方創生事業)の事業費増加が必要になった									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	136	山林原野化農地調査員謝礼								
12	役務費	11	山林原野化農地調査員傷害保険								
19	負担金補助及び交付金	11,000	荒廃農地等利活用促進交付金、荒廃農地解消就農者支援金、荒廃わさび田復旧事業補助金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	荒廃わさび田再生検証事業	実証ほ場を選定し施行方法の検証を行うとともに、検証業務を通じ低コストでの栽培方法を見出すことにより、荒廃化したわさび田を復旧させ、生産振興に繋げる。	19	負担金補助及び交付金	5,000
					計	5,000
2	ソフト	荒廃農地解消事業	荒廃農地を再生する個人・団体を支援するために、国の交付金、市単の補助金を交付することにより、再生作業が活性化され、全体面積の減少へ繋がるとともに、農地が保全される。	08	報償費	136
				12	役務費	11
				19	負担金補助及び交付金	6,000
					計	6,147

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010801300
		課・係等	農政課 集落支援担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106190	中山間地域等支援事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,470	0	10,173	0	7,297
前年度	17,529	0	10,208	0	7,321
増減額	△ 59	0	△ 35	0	△ 24

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	中山間地域等直接支払推進交付金	30								

【目的・効果】
【目的】農業生産条件の不利な中山間地域において、農用地を維持・管理していく。集落等を単位に取決めを締結し、農地・農村を守る。
【効果】営農意欲が生まれるとともに、農業・農村の持つ多面的な機能を確保する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 中山間地域等直接支払交付金
 ・国の中山間地域等直接支払交付金制度(国・県・市からの交付金)を活用し、農業生産条件の不利農地で農業生産活動に取り組む協定集落を支援する。(第4期対策協定集落:11集落)
 安曇野市中山間地域農業直接支払交付金
 ・国の制度の対象とならない農用地区域外の同様の集落において、市単の制度(安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金)を活用し、支援する。(協定集落:4集落)

【詳細事業内訳】
 中山間地域直払事業 17,470千円

【一般財源増加理由】		金額		主な内容		金額		主な内容	
節	節名称	金額		節	節名称	金額		節	節名称
11	需用費	50							
14	使用料及び賃借料	20							
19	負担金補助及び交付金	17,400							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中山間地域直払事業	中山間地域において農業・農村の持つ多面的機能を確保するため、農地を守る協定を締結することにより、農業生産活動を継続できるとともに、農用地の保全に繋がる。	11	需用費	50
				14	使用料及び賃借料	20
				19	負担金補助及び交付金	17,400
					計	17,470
2					計	0

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010801300
課・係等	農政課 集落支援担当

予算書ページ	213
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106200	有害鳥獣等予防対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,349	0	0	0	0	9,349
前年度	11,266	0	1,895	0	0	9,371
増減額	△ 1,917	0	△ 1,895	0	0	△ 22

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】有害鳥獣による農作物被害を未然に防止する。
【効果】生産意欲の減退を防ぐとともに、農業生産活動を継続させ、生産量を保持する。
 荒廃農地の発生を防ぐことができるとともに、営農の再開も可能になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【事業概要】
 ・有害獣による農作物への被害を未然に防止するため、広域獣害防護柵の設置を進める。
 ・個人で設置する、侵入防止柵および防止装置等への資材・装置購入への支援を行う。
 ・防止対策の一つとして、西山山麓地域で取り組むモンキードッグ事業を支援するため、新たな犬の養成・訓練を行う。

【詳細事業内訳】
 有害鳥獣防止対策事業 9,349千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		11	需用費	1,377	野鼠駆除薬剤代、モンキードッグ関連消耗品				
		13	委託料	2,432	モンキードッグ養成訓練費、防護柵緩衝帯整備費				
		16	原材料費	1,500	獣害防護柵材料費				
		19	負担金補助及び交付金	4,040	松本広域鳥獣被害防止対策協議会負担金、市野生鳥獣被害防止対策補助金、モンキードッグ維持管理補助金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有害鳥獣防止対策事業	国の交付金を活用した広域獣害防護柵の設置や、個人で設置する侵入防止柵および防止装置への補助等を行うなど未然の防止対策を複合で組合せ対策を講じていくことにより、農作物被害の軽減を図ることができる。	11	需用費	1,377
				13	委託料	2,432
				16	原材料費	1,500
				19	負担金補助及び交付金	4,040
					計	9,349
2					計	0

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010801200
		課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	215
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	07	畜産業費		基本施策	農業の振興
	事業	0106210	畜産振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,150	0	0	0	63	4,087
前年度	5,008	0	0	0	63	4,945
増減額	△ 858	0	0	0	0	△ 858

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	家畜防疫事業収入		63						

【目的・効果】
【目的】
 ・畜産が起因となっている環境問題(悪臭等)に対し、平成27年10月から施行になった悪臭防止法の規制にあわせ有効な悪臭低減等の対策を実施し、持続可能な畜産経営をしていくためのバックアップを行う。
【効果】
 ・畜産農家周辺に住む市民の安心・安全な住環境づくり。
 ・畜産農家の経営の安定化。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・悪臭問題が懸案となっている地域での市民を交えた協議会の開催をし、悪臭対策の推進を図る。併せて、悪臭の原因を探るための臭気測定を実施する。
 ・JA中信農業共済に常駐している獣医師の人件費等の一部を中信地域の19市町村で負担し、家畜の疾病への対応を図る。
 ・平成27年10月から施行された悪臭防止法への対応として、畜産農家が購入する悪臭低減資材等に対して補助金を支出し、畜産農家自らが悪臭問題への取り組みを強化する意識を高める。
 ・各種の疾病に対する防疫措置を図るため、畜産農家自らが購入する消毒液や消石灰に対して補助する。併せて、周辺環境にも影響を与えるハエ等の害虫に対する駆除剤の購入に対しても補助をする。

【詳細事業内訳】
 畜産農家支援事業 4,150千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	158	畜産悪臭対策協議会出席謝礼						
19	負担金補助及び交付金	3,992	中信農家畜診療所負担金、畜産経営安定化事業補助金、予防注射接種事業補助金など						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	畜産農家支援事業	・環境対策の一環として、畜産農家が購入する資材に対して補助する。(1/2補助、上限あり) ・家畜伝染病予防法に規定された疾病の定期検査に対する補助等。(1/3補助) ・畜環リース事業により建設した堆肥舎等に係る利子に対する補助。 等により持続可能な畜産経営に資する。	08	報償費	158
				19	負担金補助及び交付金	3,992
					計	4,150
2					計	0

予算書ページ	215
--------	-----

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010801200
		課・係等	農政課 生産振興担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	07	畜産業費		基本施策	農業の振興
	事業	0106220	三郷堆肥センター運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,800	0	0	0	0	15,800
前年度	31,698	0	0	0	0	31,698
増減額	△ 15,898	0	0	0	0	△ 15,898

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を恒久的に発展させる。
【効果】
 ・近年は各種の取組により、良質な完熟堆肥を製造している。また、地道な営業努力により耕種農家からの評判も良くなっており、顧客数も増加している。(農産物のブランド化の一助にもなり得る)

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・良質で安定した堆肥製造に取組み、耕種農家への安定供給に取組む。

【詳細事業内訳】
 三郷堆肥センター運営事業 15,800千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容			
節	節名称	金額		節	節名称	金額	
13	委託料	14,000	指定管理委託料				
14	使用料及び賃借料	1,800	借地料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	三郷堆肥センター運営事業	・市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を恒久的に発展させる。	13	委託料	14,000	
				14	使用料及び賃借料	1,800	
					計	15,800	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010801200
		課・係等	農政課 生産振興担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	04	水産業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	水産業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106360	水産業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	185	0	0	0	0	185
前年度	185	0	0	0	0	185
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

漁業権の対象魚種の増殖。

【効果】

釣りの観光資源確保と漁業法により長野県内水面漁業管理組合が定めた増殖指示量(稚魚400kg:5g/1匹)の確保につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 “犀川漁業協同組合が取組む水産資源拡大事業に対し補助金を交付する。□

【詳細事業内訳】

水産資源拡大補助事業 185千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	185	水産資源確保				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	201
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	林業の振興
	事業	0106050	有害鳥獣駆除対策			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,710	0	1,294	0	0	12,416
前年度	13,981	0	732	0	0	13,249
増減額	△ 271	0	562	0	0	△ 833

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	野生鳥獣総合管理対策事業補助金	1,294							

【目的・効果】
【目的】
 野生鳥獣がもたらす農林水産業への被害の軽減及び人身被害の防止を図る。
【効果】
 ・野生動物の出没低減により、住民が安心して生活することができる。
 ・安定した農林水産業を営むことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市猟友会に有害鳥獣捕獲業務を委託し、鳥獣被害対策実施隊が中心となり捕獲を実施する。
 ・林縁部に緩衝帯を整備し、周辺部からの視界を良くすることにより、野生獣が出没しにくい状況にする。
 ・公道等での野生小動物の死体回収を業者に委託する。
 ・新規銃猟者確保のため、免許取得経費の一部を補助する。

【詳細事業内訳】
 有害鳥獣駆除対策事業 13,710千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	524	鳥獣被害対策実施隊員				
11	需用費	201	消耗品費、鳥獣捕獲檻修繕費				
13	委託料	10,465	有害鳥獣捕獲業務委託、緩衝帯整備、野生小動物死体回収				
14	使用料及び賃借料	24	捕獲檻設置用地				
18	備品購入費	461	カラス用捕獲檻、鳥獣追払用電動銃				
19	負担金補助及び交付金	2,035	駆除従事者傷害保険、有害鳥獣捕獲者支援				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有害鳥獣駆除対策事業	猟友会に委託して定期的な有害鳥獣捕獲、クマ個体数調整、緊急対応を行うほか、錯誤捕獲については信州大学にも併せて対応を委託することにより、計画的に駆除を進めることができる。	13	委託料	10,465
				19	負担金補助及び交付金	2,035
				01	報酬	524
				18	備品購入費	461
					計	13,485
2					計	0

予算書ページ	215
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106230	林業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	110,192	0	4,575	0	2,865	102,752
前年度	107,258	0	4,726	0	7,981	94,551
増減額	2,934	0	△ 151	0	△ 5,116	8,201

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	森のエネルギー推進事業補助金	1,500	16	旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金利子	8				
15	森林づくり推進支援金	2,600	18	旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金繰入金	800					
15	森林所有者情報活用推進事業補助金	475	18	旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金繰入金	250					
16	旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金利子	307	20	緑の募金緑化交付金	1,500					

【目的・効果】

【目的】

森林の多面的機能の維持や森林体験施設を活用し、健全な森林づくりを図る。

【効果】

森林の保健保養的利用やみどりの少年団活動、学有林活動等を通じ、市民がさまざまな形で森林にふれあう機会を設けることにより、森林がもつ二酸化炭素の排出抑制や水源涵養等の森林の重要性を普及することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・里山再生計画を推進するため、計画の具体的な5つのプロジェクトを実施する。
- ・森林づくり推進支援金を活用し、ペレットストーブ導入者に設備設置費用の一部を補助する。
- ・緑の募金の交付金を受けて、市内の公共施設(公民館・公園・学校等)に緑化木の苗木を頒布し緑化の推進を図る。
- ・長峰山森林体験交流センター施設運営【指定管理者】(株)穂高カントリー【期間】平成26年度～平成30年度
- ・森林法による林地台帳制度において林地台帳の整備をする。
- ・長峰山展望休憩施設の長寿命化を図るため、塗装工事を実施する。

【詳細事業内訳】

長峰山森林体験交流センター改修事業 7,776千円 林業振興総務事業 84,398千円 里山再生計画推進事業 4,858千円 長峰山森林体験交流センター事業 14,909千円 林地台帳整備運用事業 7,950千円

【一般財源増加理由】 林地台帳の整備及び長峰山展望休憩施設の塗装工事の実施による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	34,660	一般職(11人)	12	役務費	164	ペレットストーブ点検整備・さとぶるイベント保険
03	職員手当等	15,485	職員諸手当	13	委託料	22,273	林地台帳作成業務・天平の森指定管理委託業務外
04	共済費	10,712	職員共済組合納付金	15	工事請負費	8,082	長峰山展望台塗装工事外
07	賃金	1,280	里山再生計画推進業務臨時職員賃金	16	原材料費	1,569	緑の募金緑化推進苗木代外
08	報償費	2,269	講師謝礼・出席謝礼・労務謝礼	18	備品購入費	875	林地台帳用パソコン・業務用大型冷蔵冷蔵庫
09	旅費	253	職員旅費	19	負担金補助及び交付金	9,387	山林組合・林業振興会等関係団体負担金・緑の少年団助成・ペレットストーブ補助金外
11	需用費	2,814	参考図書・現場用消耗品・施設修繕費外	25	積立金	369	山林組合基金利子

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	里山再生計画推進事業	里山再生計画の推進を図るため、具体的な5つのプロジェクトを実施することで、多くの市民等が里山に関心を持ち、里山に入ること、現在の里山の抱える課題を解消することができる。	08	報償費	1,393
				07	賃金	1,280
				19	負担金補助及び交付金	1,150
				13	委託料	540
				計	4,363	
2	ソフト	長峰山森林体験交流センター事業	長峰山森林体験交流センターを指定管理者が管理することにより、利用者のニーズに応じて効果的、効率的に施設運営をすることができる。	13	委託料	13,912
				11	需用費	500
				18	備品購入費	497
				計	14,909	

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	217
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106240	松くい虫被害対策事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	217,151	0	102,718	0	114,432
前年度	244,735	0	114,614	0	130,120
増減額	△ 27,584	0	△ 11,896	0	△ 15,688

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	森林造成事業費補助金	8,000								
15	森林づくり推進支援金	2,000								
20	更新伐事業雑入	1								
										102,719

【目的・効果】
【目的】
 松くい虫による被害の拡大を防止し、森林資源の保護育成や健全な森林機能の保全を図る。
【効果】
 ・自然環境の保全や地域の里山の再生を図る。
 ・災害に強い森林としての減災効果を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・森林における松くい虫被害木の伐倒駆除や予防対策の薬剤散布を実施する。
 ・更新伐事業により、松枯損木を含むアカマツを伐採し、新たな広葉樹林への樹種転換を図る。
 ・庭園松等の所有者や管理者が実施する防除対策について、使用薬剤購入費や伐倒処理経費への補助を行う。
 ・被害木の有効活用を図る。

【詳細事業内訳】
 松くい虫防除対策事業市単補助事業 30,395千円 松くい虫防除対策事業 159,193千円 松くい虫被害対策更新伐事業 27,563千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	488	被害対策協議会出席謝礼			16	原材料費	1,445	樹幹注入材外		
09	旅費	56	職員旅費			19	負担金補助及び交付金	30,395	松くい虫防除対策市単補助(樹幹注入・薬剤散布・伐倒駆除)		
11	需用費	235	予防対策消耗品								
12	役務費	729	松くい虫被害材活用(被害材製材乾燥手数料)								
13	委託料	175,940	松枯損木伐倒処理、松くい虫防除薬剤散布、更新伐事業外								
14	使用料及び賃借料	799	木材破砕機借り上げ料								
15	工事請負費	7,064	更新伐搬出路復旧、貯木場路面補修								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	松くい虫被害対策更新伐事業	松くい虫被害地において更新伐を実施し、被害材を含めたアカマツの有効活用を図りながら、有用な広葉樹に更新して里山の再生を図る。	13	委託料	21,579	
				15	工事請負費	5,984	
					計	27,563	
2	ソフト	松くい虫防除対策事業市単補助事業	個人庭園松や地域神社林等の所有者や管理者が実施する、薬剤散布や樹幹注入による予防対策費用や松枯損木の伐倒処理経費に対して補助金を交付する。	19	負担金補助及び交付金	30,395	
					計	30,395	

予算書ページ	219
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106250	市有林の造成及び管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,407	0	3,197	0	610	12,600
前年度	18,383	0	4,601	0	601	13,181
増減額	△ 1,976	0	△ 1,404	0	9	△ 581

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	森林造成事業費補助金	3,197							
20	林業費雑入	10								
20	森林の里親促進事業支援金	600								

【目的・効果】

【目的・効果】

安曇野市森林整備計画に基づき造林事業を行い、健全な森林造りを図る。

【効果】

森林(もり)の里親促進事業の提携企業と協働により市有林の森林整備を図り、また、学有林活動による体験的森林施業など、多くの人がさまざまな方法で森林に触れ合う機会を設け、森林の重要性を普及する事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

安曇野市森林整備計画及び森林経営計画に基づき、市有林の造林事業を行う。

・市有林の施業指針に基づき、搬出間伐等を計画的に実施する。

森林(もり)の里親促進事業の推進をする。

・まゆみ池(堀金)周辺の整備 …… 富士電機メータ(株)

学有林活動 …… 堀金中学校、穂高西中学校

市有林の施業指針を作成し、市有林の管理をする。

【詳細事業内訳】

市有林森林整備事業 16,407千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	14,635	森林整備(搬出間伐、学友林整備、県単間伐外)				
13	委託料	1,772	施業指針作成業務委託				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	219
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106260	間伐対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,332	0	900	0	2,922	13,510
前年度	20,710	0	1,875	0	2,166	16,669
増減額	△ 3,378	0	△ 975	0	756	△ 3,159

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	森林総合研究所負担金	2,916							
15	森林整備地域活動支援事業交付金	900								
16	分収造林事業基金利子	6								

【目的・効果】

【目的】

森林環境を守り山林の立地特性に応じた森林造成にむけて、計画的に施業を行う。

【効果】

計画的に森林施業を行うことにより、効率よく木材を生産するだけでなく、水源の涵養や土砂災害の防止といった森林の公益的機能をより高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・森林整備事業により林地残材となったアカマツを破砕処理する。
- ・水源林造成事業の実施と事業地の成林現況調査を行う。
- ・林業事業体が行う森林整備事業の計画作成や造林事業に対して補助金を交付する。

【詳細事業内訳】

分収造林事業 3,132千円 森林造成事業(補助) 14,200千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	役務費	3,125	水源林創生事業外				
19	負担金補助及び交付金	14,200	森林造成事業嵩上げ補助				
25	積立金	7	分収造林事業基金利子				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	森林造成事業(補助)	長野県が定める「信州の森林づくり事業」を推進するため、個人林等の森林施業に対し、事業実績に応じて市が嵩上補助を行う。事業の実施により森林整備が活性化する。	19	負担金補助及び交付金	14,200
					計	14,200
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106270	市単林道事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,397	0	0	0	18,397
前年度	19,151	0	0	0	19,151
増減額	△ 754	0	0	0	△ 754

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

林道の草刈や路面整備等の維持管理を行い、安定した通行を確保する。

【効果】

林道及び作業道の排水施設維持整備、土砂排除、倒木除去等を適切に行うことにより、利用者が安全で安心して林道を通行することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
・既存林道51路線について、草刈り、排水施設維持、土砂排除、倒木除去等の維持管理を行う。

【詳細事業内訳】

市単林道維持事業 18,397千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	265	消耗品				
13	委託料	3,400	林道草刈、土砂排除、倒木除去外				
15	工事請負費	14,300	林道維持補修工事				
16	原材料費	432	工費用原材料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106275	林道危険箇所重点整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	40,398	0	18,010	0	0	22,388
前年度	71,138	0	30,299	0	30,000	10,839
増減額	△ 30,740	0	△ 12,289	0	△ 30,000	11,549

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	公共補助林道事業補助金	18,010							

【目的・効果】
【目的】
 交通量の多い観光道路として利用される幹線林道において、大規模な落石や倒木からの被害を未然に防ぐため、単年度に集中して危険箇所の重点的な整備を行い林道の安全性を確保する。
【効果】
 危険箇所を早急に改修することにより、法面崩落等の被害を未然に防ぎ、森林整備関係者のみならず観光来訪者や登山者が林道を安全に通行することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・大規模な被害を及ぼす可能性がある林道沿いの支障木について伐採を委託する。
 ・林道烏川線の改良工事を行う。

【詳細事業内訳】
 林道危険箇所重点整備事業 40,398千円

【一般財源増加理由】 林道烏川線の改良工事について補助対象事業費が増加するため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	4,002	支障木伐採、改良工事実施設計、工事監督補助				
15	工事請負費	36,396	林道烏川線改良工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	林道危険箇所重点整備事業	補助事業を活用し、林道烏川線の改良工事を実施する。工事を実施し土砂崩落等の危険箇所を改善することにより、利用者が安心して安全に林道を通行することができる。	15	工事請負費	36,396	
				13	委託料	4,002	
					計	40,398	
2					計	0	

予算書ページ	221
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106280	耕地総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	109,377	0	8,979	0	1,170	99,228
前年度	158,926	0	8,979	0	1,170	148,777
増減額	△ 49,549	0	0	0	0	△ 49,549

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	農村環境改善センター維持管理分担金	1,050							
15	国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	8,836								
15	地滑り防止施設管理委託金	143								
20	高瀬川左岸水利運営調整費	120								

【目的・効果】

【目的】耕地事業全般にわたる経常的経費及び各種団体への負担金支出や土地改良事業に係る償還事務を行う。

【効果】経常的経費及び負担金等を取りまとめて支出管理業務を行っているため、収支の管理が容易となっています。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・耕地林務課職務的経費(職員給料、公用車管理等)
- ・ほ場整備事業等に係る借入金償還事務(H35年度償還終了)
- ・土地改良区に係る県営土地改良事業負担金支出
- ・三郷農村環境改善センターに係る指定管理料、土地借地料、施設器具修繕費等

【詳細事業内訳】

土地改良事業農林漁業資金償還金 6,214千円 農業用水路維持管理負担金(国営造成) 14,748千円 耕地総務費 75,036千円 三郷農村環境改善センター施設管理事業 7,709千円 農村公園遊具更新事業 5,670千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	38,098	一般職(10人)	14	使用料及び賃借料	2,699	三郷農村環境改善センター借地料
03	職員手当等	18,728	職員諸手当	15	工事請負費	5,400	農村公園遊具更新に係る工事請負費
04	共済費	10,366	職員共済組合納付金	19	負担金補助及び交付金	26,617	土地改良事業借入償還金、土地改良事業維持管理負担金、県単土地改良事業負担金等
09	旅費	94	研修会旅費日当	27	公課費	52	自動車重量税
11	需用費	1,085	公用車燃料代、課内の消耗品費、施設修繕費等				
12	役務費	260	車検・法定点検手数料・自賠責保険料、三郷資料センターのクレーン点検料等				
13	委託料	5,978	農村公園遊具更新設計業務、三郷農村環境改善センター指定管理料等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	010802100
課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算書ページ	223
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106290	土地改良施設維持管理適正化事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,211	0	0	0	0	3,211
前年度	10,656	0	0	0	6,820	3,836
増減額	△ 7,445	0	0	0	△ 6,820	△ 625

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 土地改良施設維持管理適正化事業により、農業用排水路の健全化工事を行う。
【効果】
 健全化工事を行うことで、土地改良施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○拠出金
 ・青木花見地区 360千円
 ○建設負担金
 ・赤松分水工(梓川土地改良区) 51千円
 ・畑かんがい工(中信平左岸土地改良区) 2,000千円
 ・水門改修工(矢原堰土地改良区) 800千円

【詳細事業内訳】
 農業用水路改修工事(土地改良施設維持管理適正化) 3,211千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	3,211	工事請負費に係る負担金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農業用水路改修工事(土地改良施設維持管理適正化)	計画的な水利施設の更新より維持管理の軽減が図ることができる。	19	負担金補助及び交付金	3,211
					計	3,211
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106300	国営土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	94,284	0	0	0	0	94,284
前年度	94,885	0	0	0	0	94,885
増減額	△ 601	0	0	0	0	△ 601

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
【目的】
 国営及び県営広域排水事業により造成された施設の維持管理を行う。
【効果】
 施設の管理体制が整備されるとともに、適切な維持管理が行われている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野・松本行政事務組合負担金
 ・国営広域排水事業に伴う借入金償還

【詳細事業内訳】
 国営広域排水事業負担金 94,284千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
15	工事請負費	993	沈砂池の浚渫工事等								
19	負担金補助及び交付金	93,291	国営広域排水事業借入金償還、安曇野・松本行政事務組合負担金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算書ページ	223
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106310	市単土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	39,263	0	0	0	102	39,161
前年度	34,800	0	0	0	106	34,694
増減額	4,463	0	0	0	△4	4,467

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	ふるさと・水と土保全基金 利子	102							

【目的・効果】
【目的】
 市単事業により農業用排水路の健全化工事を行う。
【効果】
 農業用排水路の健全化工事を行うことで施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・農業用排水路等に係る小規模工事の実施
 ・水路管理者へ農業用排水路の漏水補修材の支給
 ・水路管理者が行う水路改修工事等に補助金交付

【詳細事業内訳】
 農業施設維持工事(市単) 39,263千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	103	用排水路の管理作業料						
11	需用費	117	参考図書、現場作業用消耗品等の購入						
13	委託料	5,003	水利施設維持管理業務委託料						
14	使用料及び賃借料	823	積算システム外						
15	工事請負費	22,300	農業用水利施設補修工事等						
16	原材料費	2,187	水路補修材購入						
19	負担金補助及び交付金	8,730	土地改良区等が施行する改修工事補助金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	農業施設維持工事(市単)	農業用排水路等の維持補修工事を行うことにより、維持管理の軽減や農業経営の安定化が図ることができる。	15	工事請負費	22,300
				19	負担金補助及び交付金	8,730
				13	委託料	5,003
				16	原材料費	2,187
					計	38,220
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106320	県営土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,050	0	0	22,500	0	2,550
前年度	35,279	0	0	29,800	0	5,479
増減額	△ 10,229	0	0	△ 7,300	0	△ 2,929

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	県営農道整備事業	22,500							

【目的・効果】
【目的】
 県営事業により土地改良施設の機能更新や農道環境整備が行われるため、建設負担金を支出する。
【効果】
 県営事業の実施により、農業生産基盤の強化や農村環境が改善される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市内では県営事業により農業基盤整備が進められており、市から建設負担金を支出し事業を推進している。
【事業概要】
 ・県営農道整備事業 安曇野地区
 歩道等安全施設整備工事
 負担割合 国50%、県25%、市25%

【詳細事業内訳】
 県営土地改良負担金 25,050千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	25,050	県営事業負担金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	県営土地改良負担金	県営土地改良事業で広域農道(三郷)に歩道整備されることで、歩車道分離なされ農業者の安全な作業環境が確保される。	19	負担金補助及び交付金	25,050
					計	25,050
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	010802100
課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算書ページ	225
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106330	団体営土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	43,453	0	17,595	0	931	24,927
前年度	28,026	0	9,741	0	0	18,285
増減額	15,427	0	7,854	0	931	6,642

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	団体営土地改良事業補助金	17,595								18,526

【目的・効果】
【目的】
 団体営事業により農業用排水路の改修工事を行う。
【効果】
 計画的な水路改修工事を行うことにより、農家の維持管理費の削減や農業生産性の向上が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○水利施設整備事業 北穂高地区
 排水路改修工事 15,000千円
 ○基盤整備促進事業 安曇野市地区
 排水路改修工事 18,000千円

【詳細事業内訳】
 農業用排水路工事・農道舗装工事(団体営) 43,453千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		11	需用費	50	事務用品購入				
		13	委託料	1,500	実施設計業務委託料				
		15	工事請負費	33,400	排水路改修工事				
		19	負担金補助及び交付金	8,503	土地改良区事業に係る負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	農業用排水路工事・農道舗装工事(団体営)	梓川土地改良区が行う水路改修工事に対し建設負担金を支出し、土地改良区の経費の負担軽減を図る。	15	工事請負費	33,400
				19	負担金補助及び交付金	8,503
				13	委託料	1,500
				11	需用費	50
					計	43,453
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010802100
課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算書ページ	225
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106340	多面的機能支払交付金事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	235,582	0	176,300	0	0	59,282
前年度	218,139	0	163,175	0	0	54,964
増減額	17,443	0	13,125	0	0	4,318

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】農村地域の高齢化、人口減少等により、農村環境の保全や共同活動等に支障が生じつつあるため、地域で組織化された活動組織を支援する。
【効果】平成27年度から施行された「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づき、農業農村の多面的機能(草刈り作業、道水路やため池等の施設の維持補修、水路更新工事等)を発揮のため、地域活動等への支援する事により、市内の田園風景や環境が適切に維持管理されている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 平成29年度53組織(取組面積3,073ha)から平成30年度56組織(取組面積3,350ha)に拡充されるため負補助金額が増加した。

【詳細事業内訳】
 農地保全活動交付金(多面的機能支払) 235,582千円

【一般財源増加倍理由】		取組面積増による一般財源の増加									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
09	旅費	40	先進地視察、研修会旅費日当								
11	需用費	56	新規組織に関わる消耗品購入								
13	委託料	486	活動区域図の作成業務								
19	負担金補助及び交付金	235,000	活動組織支援補助金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	農地保全活動交付金(多面的機能支払)	近年農村部の高齢化、混住化、過疎化等の進行に伴う集落営農の機能低下により、農地や農業用施設の維持保全の確保が困難である。この事業に地域住民等の取り組みにより、地域資源の保全が適切に管理されている。	19	負担金補助及び交付金	235,000	
				13	委託料	486	
				11	需用費	56	
				09	旅費	40	
					計	235,582	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	010802100
課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算書ページ	225
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106350	経営体育成基盤整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	63,729	0	412	21,200	23,625	18,492
前年度	29,765	0	825	7,800	8,750	12,390
増減額	33,964	0	△ 413	13,400	14,875	6,102

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	団体営土地改良事業補助金	412								
21	県営ほ場整備事業	21,200								

【目的・効果】

【目的】

県営ほ場整備事業により区画整理を行い営農の効率化を図る。

【効果】

区画整理を行い点在していた農地を集約することにより、作業効率が向上し担い手への農地の集約化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

経営体育成基盤整備事業 烏川地区
 ○事業負担金 47,250千円 (事業費270,000千円×17.5%)
 ・幹線農道舗装工事 1,900m(W=6.0m 県4.75m、市1.25m、表層、上層)、連絡水路工事
 ・3工区区画整理工事 34ha続き(変更工事+補完工事分)
 ○事業負担金アロケーション分 10,000千円
 ・H29県債務工事分下層路盤工事に対する市施工分の工事請負費(随意契約)
 3-6工区 幹線農道下層路盤工事市施工分 531m、3-8工区 幹線農道下層路盤工事市施工分 379m
 ○農業経営高度化支援事業(ソフト事業)
 ・農地集積計画
 ・事業費 500千円 補助率82.5%

【詳細事業内訳】

ほ場整備負担金(経営体育成基盤整備) 63,729千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	39	(ソフト補助)土地利用調整委員、農地集積推進委員報酬	22	補償補填及び賠償金	500	立木移転補償費
11	需用費	310	(ソフト補助)消耗品費 (外)公用車燃料代				
13	委託料	1,578	(ソフト補助)農地集積状況図等編集業務、(外)境界測量・用地測量				
14	使用料及び賃借料	361	公用車借り上げ料				
15	工事請負費	3,132	幹線農道下層路盤工事市施工分(3-6工区、3-8工区)				
17	公有財産購入費	421	取付け道水路用地購入費				
19	負担金補助及び交付金	57,388	県営事業負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	ほ場整備負担金(経営体育成基盤整備)	ほ場整備事業により区画整理を行うことで作業効率が向上するとともに、担い手への農地集積が図れる。	19	負担金補助及び交付金	57,388
				15	工事請負費	3,132
				13	委託料	1,578
				22	補償補填及び賠償金	500
					計	62,598
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	353
--------	-----

予算	款	11	災害復旧費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	農林水産施設災害復旧費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業施設災害復旧		基本施策	林業の振興
	事業	0111020	林道災害復旧事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,000	0	1,625	0	0	2,375
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	4,000	0	1,625	0	0	2,375

特定財源の内訳	款	金額		款	細節名称	金額		合計金額
		細節名称	金額			款	細節名称	
	15	林業施設災害復旧事業補助金	1,625					1,625

【目的・効果】
【目的】
 交通量の多い観光道路として利用される幹線林道において、災害復旧整備を行い林道の安全性を確保する。
【効果】
 災害箇所を早急に改修することにより、森林整備関係者のみならず観光来訪者や登山者が林道を安全に通行することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 林道烏川線の災害復旧工事を行う。

【詳細事業内訳】
 林道災害復旧事業 4,000千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主要内容		節	節名称	金額	主要内容	
13	委託料	1,000	災害復旧工事実施設計、工事監督補助						
15	工事請負費	3,000	林道烏川線災害復旧						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

商工觀光部

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010901100
課・係等	商工労政課 商業労政係

予算書ページ	195
--------	-----

予算	款	05	労働費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	労働費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	労働諸費		基本施策	労働・雇用対策の推進
	事業	0105010	勤労者福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	57,392	0	0	0	50,000	7,392
前年度	57,392	0	0	0	50,000	7,392
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	勤労者資金元金	50,000							

【目的・効果】
【目的】
 ○安心して働ける環境作りを目指すために、市内中小企業事業所の勤労者の福利厚生事業や共済事業を推進する。
【効果】
 働きやすい環境整備や福利厚生の向上により生産性の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市勤労者互助会及び当該団体の福利厚生事業活動を支援する。
 ・勤労者の生活の安定を図り、福祉の向上に資するため、勤労者資金融資あっせん(協調融資)や、勤労者住宅建設資金の融資に対する利子補給を行う。
 ・安曇野市穂高勤労者福祉センターの管理運営を指定管理者を定め行う。

【詳細事業内訳】
 安曇野市勤労者互助会運営事業 4,250千円 勤労者福祉センター管理事業 842千円 勤労者支援事業 52,300千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	50	安曇野市穂高勤労者福祉センター小破修繕費							
13	委託料	746	安曇野市穂高勤労者福祉センター指定管理委託料							
14	使用料及び賃借料	46	安曇野市穂高勤労者福祉センター内AED賃借料							
19	負担金補助及び交付金	6,550	安曇野市勤労者互助会負担金、勤労者住宅建設利子補給金、労働者福利厚生事業補助金							
21	貸付金	50,000	勤労者協調融資預託金							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	安曇野市勤労者互助会運営事業	安曇野市勤労者互助会の事業を支援する。 【効果】 市内中小企業等の福利厚生向上により生産性の向上につながる。	19	負担金補助及び交付金	4,250
					計	4,250
2	ソフト	勤労者支援事業	・当該団体の福利厚生事業活動を支援する。 ・勤労者の生活安定と福祉の向上に資するため、協調融資のあっせんや、勤労者住宅建設資金融資に対する利子補給を行う。 【効果】 働きやすい環境整備や福利厚生の向上により生産性の向上につながる。	21	貸付金	50,000
				19	負担金補助及び交付金	2,300
					計	52,300

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010901100
課・係等	商工労政課 商業労政係

予算書ページ	195
--------	-----

予算	款	05	労働費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	労働費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	労働諸費		基本施策	労働・雇用対策の推進
	事業	0105020	労働雇用対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,962	0	0	0	0	2,962
前年度	3,420	0	0	0	0	3,420
増減額	△ 458	0	0	0	0	△ 458

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○地域内の求職情報を提供し雇用促進を図るとともに、労働関係に起因する各種相談体制を整え、安心して働ける環境整備に努める。
【効果】
 就労環境の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・松本公共安定所と共同で市内を中心とした就職希望者の相談業務をふるさとハローワークで行う。
 ・職場定着セミナー、労働相談会の開催

【詳細事業内訳】
 ふるさとハローワーク管理事業 2,732千円 雇用対策事業 230千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,742	ふるさとハローワーク非常勤職員賃金						
11	需用費	65	ふるさとハローワーク管理消耗品、修繕費						
12	役務費	252	ふるさとハローワーク電話料						
13	委託料	180	ふるさとハローワークコピー機保守委託料、労働相談事業委託料、産業事情視察バス運転委託料						
14	使用料及び賃借料	23	ふるさとハローワークAED借上料						
19	負担金補助及び交付金	700	長野県安曇野庁舎共益費、松本職業安定協会負担金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	雇用対策事業	松本職業安定協会と協調し、中信地域内高等学校等の進路指導において有益な情報を提供し、地域経済を支える人材を確保する。	13	委託料	130
				19	負担金補助及び交付金	100
					計	230
2	ソフト	ふるさとハローワーク管理事業	松本公共職業安定所と共同で市内を中心とした就職希望者の相談業務を長野県安曇野庁舎1階に設置した「安曇野市ふるさとハローワーク」で行う。	07	賃金	1,742
				19	負担金補助及び交付金	600
				12	役務費	252
				11	需用費	65
					計	2,659

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010901100
課・係等	商工労政課 商業労政係

予算書ページ	229
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	商工総務費		基本施策	商業の振興
	事業	0107010	商工総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	220,706	0	0	0	27,000	193,706
前年度	212,646	0	0	0	20,000	192,646
増減額	8,060	0	0	0	7,000	1,060

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	15,000							
18	ふるさと寄附基金繰入金	12,000								

【目的・効果】

【目的】

- 地域経済の基幹をなす中小企業の経営基盤強化を図る。
- 市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援する。
- 事業承継等持続可能な事業展開に向け、商工会・金融機関等と協力し支援体制を整える。

【効果】

中小・小規模事業者の経営の安定につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野市商工会経営支援員による市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援する。
- ・地域の活性化を担うイベントに対しその費用の一部を負担する。
- ・市、商工会、金融機関、県事業引継ぎ支援センター、専門機関等で構成する事業承継推進プロジェクトチームを立ち上げ、事業承継の課題解決に取り組んでいく。

【詳細事業内訳】

商工総務費 157,606千円 地域総合振興事業 43,907千円 経営改善普及事業 19,193千円

【一般財源増加理由】 人件費の増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	84	商工業振興審議会委員報酬	13	委託料	20	松本広域ものづくりフェア視察バス運行委託料
02	給料	86,237		14	使用料及び賃借料	6	出張時有料駐車場使用料
03	職員手当等	41,078		19	負担金補助及び交付金	63,904	経営改善普及事業補助金、地域総合振興事業補助金、各種団体負担金
04	共済費	27,426					
07	賃金	1,722	商工事業事務補助非常勤職員賃金				
09	旅費	125	職員旅費				
11	需用費	104	経済関係書籍類購入費他				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	経営改善普及事業	安曇野市商工会経営支援員による市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援する。 【効果】 中小・小規模事業者の経営の安定を図る。	19	負担金補助及び交付金	19,193
					計	19,193
2	ソフト	地域総合振興事業	地域の活性化を担うイベントに対しその費用の一部を負担する。 新そばと食の感謝祭等 【効果】 地域経済の活性化を図る。	19	負担金補助及び交付金	43,907
					計	43,907

予算書ページ	229
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商業労政係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	商工費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	商工総務費		基本施策	公共交通の充実
	事業	0107020	JR・高速乗合バス利用対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,800	0	0	0	6,486	13,314
前年度	20,092	0	0	0	6,648	13,444
増減額	△ 292	0	0	0	△ 162	△ 130

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	市営駐車場使用料	2,476							
20	JR乗車券類等発売業務	4,010								

【目的・効果】

【目的】

○市民の交通手段の利便性の向上を図るため、市内JR営業線無人駅での乗車券類等の発券業務や駐車場・駐輪場等の管理運営を行う。

【効果】

駅周辺や高速乗合バス駐車場周辺の環境美化と利用者の利便性の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・JR営業線無人駅での乗車券類等発券業務を行うなかで、業務の効率化を検討する。
- ・JR営業線駅の駐輪場等の管理を行う。
- ・安曇野インターチェンジ東駐車場等の管理を行う。

【詳細事業内訳】

駅関連施設管理事業 17,066千円 市営駐車場管理業務 2,734千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,075	簡易委託駅管理光熱水費、安曇野インターチェンジ東駐車場消耗品、施設修繕費等				
12	役務費	361	簡易委託駅電話回線、安曇野インターチェンジ東駐車場警備回線通信費				
13	委託料	17,697	簡易委託駅管理委託費、駅駐輪場管理委託費、安曇野インターチェンジ東駐車場等管理委託費				
14	使用料及び賃借料	667	JR営業線駅前駐輪場用地借地料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	駅関連施設管理事業	JR営業線無人駅での乗車券類等の発券業務 JR営業線駅の駐輪場等の管理 【効果】 公共交通利用の利便性の向上を図る。	13	委託料	15,435
				11	需用費	715
				14	使用料及び賃借料	667
				12	役務費	249
					計	17,066
2	ソフト	市営駐車場管理業務	安曇野インターチェンジ東駐車場、一日市場駐車場、豊科駅前駐車場等の管理 【効果】 公共交通利用の利便性の向上を図る。	13	委託料	2,262
				11	需用費	360
				12	役務費	112
					計	2,734

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010901100
課・係等	商工労政課 商業労政係

予算書ページ	231
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107030	商業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,077	0	0	0	463	5,614
前年度	6,851	0	0	0	403	6,448
増減額	△ 774	0	0	0	60	△ 834

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	産業会館使用料	91							
13	まちづくり会館使用料	246								
20	産業会館光熱水費	126								

【目的・効果】
【目的】
 ○市内商業系事業者の経営基盤を安定させ、経済活動の活性化を図る。
 ○商業関連施設の維持管理
【効果】
 既存商店街の活力を促し、経済活動を活発化させる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・商店街等が管理する街路灯の維持費用の一部を助成する。
 ・明科駅前の国道歩道整備に伴い、駅周辺商業再生について検討する。
 ・豊科まちづくり会館、明科産業会館の維持管理を行う。

【詳細事業内訳】
 商業関連施設管理事業 4,627千円 商業事業者支援事業 1,450千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,237	商業関連施設維持管理用消耗品・光熱水費・修繕費等						
12	役務費	130	商業関連施設電話回線使用料、同点検手数料他						
13	委託料	2,930	商業関連施設管理委託料						
14	使用料及び賃借料	322	豊科まちづくり会館隣接駐車場借地料、同館AED借上料						
19	負担金補助及び交付金	1,458	商店街街路灯維持管理事業、販路拡大出展事業、商店街活性化事業						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	商業関連施設管理事業	豊科まちづくり会館、明科産業会館の維持管理 【効果】 既存商店街の活力を促し経済活動を活発化させる。	13	委託料	2,930
				11	需用費	1,237
				14	使用料及び賃借料	322
				12	役務費	130
					計	4,619
2	ソフト	商業事業者支援事業	街路灯維持管理事業、販路拡大松本山雅ホームゲーム会場出展支援事業、商店街活性化事業 【効果】 既存商店街の活力を促し経済活動を活発化させる。	19	負担金補助及び交付金	1,450
					計	1,450

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010901200
課・係等	商工労政課 工業振興係

予算書ページ	231
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	工業の振興
	事業	0107050	工業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	249,024	0	0	0	99,000	150,024
前年度	132,096	0	0	0	48,000	84,096
増減額	116,928	0	0	0	51,000	65,928

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18	ふるさと寄附基金繰入金	69,000								

【目的・効果】
【目的】
 ○コーディネーターの企業訪問により、経営状況・販路拡大・技術支援・人材育成などのニーズ情報を収集し、アドバイスやマッチング等の支援活動を行う。
 ○ポータルサイトでは、企業情報の他に企業間の受発注・求人情報などを掲載し、販路開拓や人材確保など企業ネットワークの確立を図る。
 ○企業が利用しやすい助成制度の検証とともに周知を図り、市内企業の業績向上、雇用促進の推進に加え、市外からの企業誘致を推進する。
【効果】
 市外からの新たな企業誘致だけでなく、市内の既存企業にも支援することで、地域経済の活性化や雇用確保につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○市内製造業の事業活動をサポートし、様々な情報をワンストップサービスで提供する窓口として、産業支援コーディネーターによる企業個別訪問を継続実施する。
 ○地域内の効率的な経済活動に役立つ最新情報を適時に共有できる産業振興ポータルサイトの事業者登録を増やす。
 ○主な助成制度として、生産設備取得に対する補助、空き工場等促進事業では賃借料の一部補助、工場用地取得事業および工場等設置事業では工場等の新設・移設・増設または取得用地に係る固定資産税相当額を第3年度まで補助する等の10メニューに加え、新たに地域経済牽引企業工場用地取得に対する補助事業を新設し助成する。

【詳細事業内訳】
 企業助成事業 242,892千円 企業サポート事業(工業系) 4,925千円 産業団地特別会計繰出金(その他) 548千円 産業団地特別会計繰出金(建設) 604千円 工業振興総務費 55千円

【一般財源増加倍理由】 地域経済牽引企業工場用地取得事業の新設及び活用企業の増、特定財源の「ふるさと寄附金」の増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	3,363	産業支援コーディネーター賃金	28	繰出金	1,152	産業団地特別会計繰出金
08	報償費	228	工業振興連携推進協議会、新製品・新技術開発事業会議出席謝礼				
09	旅費	74	産業支援コーディネーター、工業振興連携推進協議会、新製品・新技術開発事業会議費用弁償				
11	需用費	92	公用車燃料費、事務用品				
13	委託料	1,070	産業振興ポータルサイト保守管理業務				
14	使用料及び賃借料	214	自動車借上料				
19	負担金補助及び交付金	242,831	企業等支援助成事業242,137千円、安曇野工業会人材育成セミナー694千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	企業サポート事業(工業系)	補助金を活用した企業等の状況や企業からの要望も踏まえて、補助率や限度額の見直し等により助成制度の再構築を進める。ポータルサイトの成果を出すため、登録企業の拡大・RSS機能を活用し、市からの情報提供を積極的に行う。	07	賃金	3,363
				13	委託料	1,070
				14	使用料及び賃借料	214
				08	報償費	183
					計	4,830
2	ソフト	企業助成事業	市商工業助成制度10メニューの利用促進を行い、企業誘致の推進・市内企業の業績向上を図る。特に、生産設備取得事業の新規雇用要件を緩和し、中小企業の雇用を守り、生産性向上を支援する。	19	負担金補助及び交付金	242,831
				08	報償費	45
				09	旅費	16
					計	242,892

予算書ページ	233
--------	-----

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商業労政係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107060	市制度資金貸付事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	927,679	0	0	0	903,883	23,796
前年度	928,938	0	0	0	904,722	24,216
増減額	△ 1,259	0	0	0	△ 839	△ 420

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	市制度資金元金	900,000							
20	制度資金保証料補給金返還金	3,883								

【目的・効果】

【目的】

○市内企業等の経営の安定化を図るため、市内金融機関に資金を預託し、中小企業の運転・設備等の資金の貸し付けを行う。また、融資に伴う信用保証料や利子の一部について助成することで、企業経営を支援する。

【効果】

市内中小企業の経営の安定と生産性の向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市内金融機関(八十二銀行、長野銀行、松本信用金庫及び長野県信用組合)に資金を預託し、市内企業の設備投資や運転資金に必要な資金の貸し付けを行う。
- ・その際発生する長野県信用保証協会の保証料の一部を補填する。
- ・制度資金利用者に対し、融資実行日から1年間に限り、年1%を上限にその利子分を補填する。

【詳細事業内訳】

制度資金貸付事業 927,679千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	27,679	制度資金保証料補給金、制度資金利子補給金				
21	貸付金	900,000	制度資金預託金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	制度資金貸付事業	市内金融機関(八十二銀行、長野銀行、松本信用金庫及び長野県信用組合)に資金を預託し、市内企業の設備投資や運転資金に必要な資金の貸し付けを行い、市内企業の経営の安定と生産性の向上を図る。	21	貸付金	900,000
				19	負担金補助及び交付金	27,679
					計	927,679
2						

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010901300
		課・係等	商工労政課 産業連携推進係

予算書ページ	233
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	02	商工振興費		基本施策	戦略的な地域ブランドの創出
	事業	0107070	産業連携推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,440	0	0	0	18	13,422
前年度	9,672	0	0	0	108	9,564
増減額	3,768	0	0	0	△ 90	3,858

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	地域産品販路拡大支援事業 出展事業者負担金	18							

【目的・効果】
【目標】
 ○地域資源(市内産の農林水産物)を最大限活用するとともに、既存のカテゴリーの枠を超えた事業者連携により、それぞれの有する経営資源を相互に有機的に発揮し、地域ビジネスとして新たな産業の構築を図る。
【効果】
 異業種との連携・協同による商品開発や販路拡大、新たなサービスの形成などにより、付加価値の高い「ブランド」が発信され、併せて地域活性化に繋げる事業とする。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・産業支援コーディネーターと外部プロデューサーを配置し、情報の共有を図り連携型産業のマッチングとブランド化を進める。
 ・市内の異業種間が連携した取り組みの推進に向け調整を図り、課題解決に向け情報の共有も図る。
 ・地域資源活用型連携推進事業を推進するため、事業公募を行い、補助事業採択を行うため、意見聴取会を実施しながら具現化に向けた推進を図る。
 ・既存商品群も含め、首都圏への販路拡大を行ない、企業収益の向上と新取引先の開拓に向け支援をする。
 ・企業の経営革新に繋げるためモニター調査の実施と、商品開発等の基礎資料とした商品ブラッシュアップを行い、首都圏等においてテスト販売も進めより明確な市場分析により売れる商品づくりのための支援を行う。
 ・農商工連携モデル事業のさらなる産業化を目指すため、新たに地域おこし協力隊制度を活用し、クラフトビールによる地域活性化策として、栽培技術の習得とクラフトビール開発及び製造補助、クラフトビールを核に市内事業者との連携企画の実施を行いながら、域内活性化の促進を図る。

【詳細事業内訳】
 地域資源活用型連携推進事業 5,762千円 企業サポート事業(食品流通系) 7,678千円

【一般財源増加理由】		地域おこし協力隊を活用した地域活性化事業の促進											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容			
07	賃金	5,989	産業支援コーディネーター(食品流通系)、地域おこし協力隊				19	負担金補助及び交付金	2,889	販路拡大展示会小間負担金、地域資源活用型・販路拡大補助金等			
08	報償費	658	外部プロデューサー謝礼、地ビールに合う食の提案謝礼等										
09	旅費	762	地域おこし協力隊現地指導研修旅費、職員・コーディネーター販路拡大・連携推進事業関係旅費										
11	需用費	63	コーディネーター車燃料費、地域おこし協力隊消耗品										
12	役務費	66	販路拡大展示会出展用宅配費										
13	委託料	2,549	首都圏市場ニーズ・テストマーケティング事業委託費										
14	使用料及び賃借料	464	コーディネーター車リース代、販路拡大展示会備品レンタル費										

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	地域おこし協力隊の活用	農商工連携モデル事業として進める安曇野産クラフトビール事業に、地域おこし協力隊を活用し、栽培技術習得や製造補助、市内事業者との連携企画の実施などにより、地域活性化の促進を図る。	07	賃金	2,711
					09	旅費	237
					08	報償費	150
					11	消耗品費	22
						計	3,120
2	ソフト	○	首都圏市場ニーズ・テストマーケティング事業	首都圏モニター、商品ブラッシュアップを進めるとともに、商品キュレーションを仕掛けた実店舗テスト販売を行い、事業者への明確な商品分析と新商品開発に結び付く経営の革新に繋げる契機を促す。	13	委託料	2,549
						計	2,549

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010902100
課・係等	観光交流促進課 ブランド推進担当

予算書ページ	235
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	03	観光費		基本施策	戦略的な地域ブランドの創出
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,489	0	0	0	1,210	8,279
前年度	10,641	0	0	0	12	10,629
増減額	△ 1,152	0	0	0	1,198	△ 2,350

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	天蚕振興基金利子	12							
18	天蚕振興基金繰入金	1,198								

【目的・効果】
【目的】市民との協働による安曇野ブランドの創出や、ブランドイメージの効果的な発信を行う。
【効果】観光地としての魅力向上や市内産品の商品価値を高め、地域振興に繋げる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野やさいスイーツフェアの開催や安曇野林檎ナポリタンのPRなど、安曇野の食の魅力を情報発信する取り組みを行う。
 ・映画・ドラマ等の制作関係者が市内に宿泊し撮影を行う場合、宿泊費の助成を行い、安曇野市へのロケ誘致を図る。
 ・安曇野の朝の魅力を伝えるためVIを活用したイメージ統一を図るとともに、インスタグラムなどを活用し情報発信を行っていく。
 ・安曇野市の特産品の一つである天蚕に関する資料展示や機織作業が見学できる安曇野市天蚕センターの指定管理を行う。また、安曇野市天蚕振興会と連携し、産業として確立できるよう必要な支援を行う。
 ・安曇野ブランドの創出に取り組んでいる市民団体の支援を行う。

【詳細事業内訳】
 天蚕センター維持管理事業 4,049千円 天蚕振興事業 2,250千円 安曇野ブランド創出事業 3,190千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	59	ご当地料理検討協力謝礼等						
09	旅費	100	先進地視察外						
11	需用費	372	料理イベント材料費・ブランド調査書等						
13	委託料	5,027	メディアロケ誘致推進事業等、天蚕センター指定管理						
14	使用料及び賃借料	245	飼育林借地料						
19	負担金補助及び交付金	3,673	安曇野ブランド創出事業、天蚕振興補助金						
25	積立金	13	天蚕振興基金利子						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	天蚕振興事業	天蚕飼育林の栽培エリアを拡大し、天蚕繭の収量の拡大を図る。また、安曇野市天蚕センターを拠点に、関係産地と連携した広域観光ルートを整備する。	11	需用費	274
				13	委託料	3,540
				14	使用料及び賃借料	245
				19	負担金補助及び交付金	2,227
					計	6,286
2					計	0

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010902100
課・係等	観光交流促進課 ブランド推進担当

予算書ページ	237
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107100	受入体制整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	57,853	5,050	0	0	2,750	50,053
前年度	71,434	5,800	0	0	3,550	62,084
増減額	△ 13,581	△ 750	0	0	△ 800	△ 12,031

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
18	山岳環境整備基金繰入金	2,750								

【目的・効果】
【目的】
 安曇野市へ来訪する観光客が快適に滞在できるよう、観光案内や二次交通を充実させる等、受け入れ体制を整備する。
 着地型旅行商品の造成により、魅力的な旅行提案を行う。
 インバウンド需要を取り込むための受け入れ体制整備やエージェント営業等を積極的に行う。
【効果】
 観光誘客により他産業へも経済効果を波及させ、地域の活性化を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高駅前観光情報センターと大王わさび農場観光案内所を中心に、来訪者への観光案内業務を行う。
 ・安曇野市の地域資源を活用した着地型旅行商品の造成・販売を行う。
 ・周遊バスや空港シャトル便を運行し二次交通の充実を図る。また、自転車を活用した二次交通の拡充を検証する。
 ・山岳観光推進実行委員会が主催する山岳フェスタ2018を実施し、「北アルプスパノラマ銀座」の魅力をアピールする。
 ・地方創生推進交付金を活用しインバウンド需要を取り込むため、受入研修会の開催や、インバウンド商談会での営業活動を強化する。
 ・農家民泊などの学習旅行の受け入れを行い、多くの子供たちに安曇野を体感していただく機会を提供する。

【詳細事業内訳】
 来訪者受入環境整備事業 6,852千円 観光推進組織支援等事業 51,001千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	13	wifi設備電気量				
12	役務費	541	フレッツ光回線費用等				
13	委託料	9,343	観光案内・情報発信等業務委託等				
14	使用料及び賃借料	78	インターネット系プリンター使用料				
19	負担金補助及び交付金	47,878	観光推進組織補助金等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	外国人誘客事業	地方創生推進交付金を活用し、海外エージェントの招聘やインバウンド商談会への参加等、外国人誘客のための営業活動を安曇野市観光協会と連携し実施するとともに、外国語対応研修会の開催等、受入体制を強化する。	19	負担金補助及び交付金	10,100	
					計	10,100	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010902100
課・係等	観光交流促進課 ブランド推進担当

予算書ページ	237
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	03	観光費		基本施策	安曇野ブランド発信の強化
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	32,923	8,000	0	0	0	24,923
前年度	35,524	8,000	0	0	0	27,524
増減額	△ 2,601	0	0	0	0	△ 2,601

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】観光地として「安曇野」が選ばれるよう関係市町村・事業者と連携し、安曇野の魅力を情報発信する。
【効果】交流人口の拡大による地域活性化

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市を紹介する旅行雑誌・新聞等への広告掲載、総合パンフレットの作成、高速バス(新宿～白馬線)へのラッピング広告、松本山雅HPへの観光情報掲出等により、安曇野市の観光資源をPRする。
 ・銀座NAGANOを活用し観光誘客を目的としたイベントを開催する。
 ・観光協会、商工会等と連携した海外プロモーションを実施する。

【詳細事業内訳】
 観光プロモーション事業 25,991千円 広域団体連携事業 6,932千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	700	イベント記念品等								
09	旅費	978	情報発信職員旅費等								
11	需用費	1,179	イベント用品、観光宣伝用手提げ袋作成等								
12	役務費	5,469	情報発信広告等								
13	委託料	2,491	教育旅行助成事業、総合観光パンフレット増刷等								
14	使用料及び賃借料	174	イベント時施設使用料等								
19	負担金補助及び交付金	21,932	海外プロモーション協議会補助金、広域観光団体等負担金等								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	海外プロモーション事業	安曇野市観光協会、安曇野市商工会、あづみ農協などで組織する安曇野市海外プロモーション協議会において、海外に向けてAZUMINOの情報発信を行い、外国人旅行者の誘客を図る。	19	負担金補助及び交付金	15,000		
					計	15,000		
2	ソフト	広域連携観光誘客事業	県や周辺市町村、観光施設等と連携し、観光誘客の推進や、松本空港の利用促進等の事業に取り組む。	19	負担金補助及び交付金	6,932		
					計	6,932		

予算書ページ	237
--------	-----

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010902300
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造する
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107118	都市再生整備計画事業(拠点維持整備分)			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	124,171	0	0	117,100	0	7,071
前年度	339,938	107,992	0	215,900	0	16,046
増減額	△ 215,767	△ 107,992	0	△ 98,800	0	△ 8,975

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	しゃくなげの湯整備事業	117,100							

【目的・効果】
【目的】本市の豊かな自然環境資源等を活かした環境拠点の整備を行う。
【効果】観光拠点の整備及び拠点間を繋げることにより、来訪者の市内での回遊性を高め、周遊滞在型観光に繋げる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・都市再生整備計画事業により、平地での観光拠点整備事業を計画的に行なう。(平成26年度から平成30年度までの5ヶ年間)
 ・安曇野しゃくなげの湯周辺整備事業の芝生広場(公園2-1)木立の庭(公園2-2)整備工事、EV充電装置設置工事、駐車場(6工区)整備工事、既存トイレ改修工事等を行う。

【詳細事業内訳】
 しゃくなげの湯周辺整備事業 124,171千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	4,278	芝生広場(2-1工区)整備工事監理業務、木立の庭(2-2工区)整備工事修正設計及び工事監理業務、既存トイレ改修工事監理業務						
15	工事請負費	119,893	芝生広場(2-1工区)整備工事、木立の庭(2-2工区)整備工事、駐車場(6工区)整備工事、既存トイレ改修工事、EV充電装置設置工事、遊具撤去工事						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	しゃくなげの湯周辺整備事業	安曇野しゃくなげの湯周辺の温泉公園整備を行い、観光拠点としての基盤整備により来訪者等の滞在時間の延長を図る。	13	委託料	4,278
				15	工事請負費	119,893
					計	124,171
2					計	0

予算書ページ	239
--------	-----

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010902300
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造する
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107140	温泉活用施設事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,029	0	0	5,590	2,439
前年度	6,664	0	0	1,090	5,574
増減額	1,365	0	0	4,500	△ 3,135

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	しゃくなげの湯外施設使用料	5,590							

【目的・効果】

【目的】・貴重な資源である天然温泉を多くの人々が利用できるよう、温泉施設の維持管理を行い市民福祉の向上と交流人口の拡大により安曇野の魅力を高める。
 【効果】・温泉施設の適切な維持管理により、利用者が温泉を享受できるよう受け入れ体制を整え、利用者の満足度を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野しゃくなげ湯、湯多里山の神、八面大王足湯の適正な維持管理を行ない、来訪者の満足度向上を図る。
- ・安曇野しゃくなげの湯薪ボイラーへの薪供給。
- ・指定管理者と連携を密にして施設の有効活用及び市民サービスの向上に努める。

【詳細事業内訳】

温泉施設経営管理等事業 8,029千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
9	旅費	14	鉱山保安会議				
11	需用費	5,355	足湯清掃用品、しゃくなげの湯ボイラー用薪、指定管理施設修繕費、電気料・水道料				
13	委託料	2,126	足湯管理業務委託料、温泉公園清掃管理業務委託料				
14	使用料及び賃借料	160	温泉公園駐車場借地料				
15	工事請負費	184	しゃくなげの湯維持工事(家族風呂網戸設置、地下電話増設ベル取付)				
19	負担金補助及び交付金	190	穂高山麓排水事業組合環境整備負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	しゃくなげの湯ボイラー用薪供給	しゃくなげの湯の薪ボイラーに松くい虫被害木等を薪材として供給し、被害木等の有効活用及び施設の適正な運営を図る。	11	需用費	3,996
					計	3,996
2						
					計	0

予算書ページ	239
--------	-----

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010902300
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	豊かな産業のあるまちの形成
	項	01	商工費		基本方針	活力ある商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107150	潮沢廃線敷整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,983	0	0	0	0	2,983
前年度	3,089	0	0	0	0	3,089
増減額	△ 106	0	0	0	0	△ 106

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】・安曇野の近代化を支えた篠ノ井線の当時の姿を楽しめるよう、維持管理を行い、情報発信に努め来訪者の増加を図る。
【効果】・歴史的遺産を、貴重な観光資源として活用し、来訪者の滞在時間の延長を図り満足度を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・潮沢廃線敷の公衆便所等維持管理により、受け入れ環境を整え、来訪者の満足度の向上を図る。
 ・三五山トンネル、漆久保トンネルの安全・安心を高めるため、継続監視業務を行なう。
 ・施設の有効性についての検証を進める。

【詳細事業内訳】
 廃線敷施設維持点検管理事業 2,983千円

【一般財源増加理由】		節		節			
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	300	廃線敷遊歩道整備謝礼				
11	需用費	362	潮公衆便所他電気料、水道料、下水道料				
12	役務費	176	トイレ汲取り手数料				
13	委託料	2,010	三五山、漆久保トンネル継続監視業務委託、トイレ清掃委託料等				
14	使用料及び賃借料	91	仮設トイレ委託料				
16	原材料費	44	廃線敷整備用砂利				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	廃線敷施設維持点検管理事業	三五山・漆久保トンネル継続監視業務を行い、利用者の安全安心を確保する。	13	委託料	832		
					計	832		
2								
					計	0		

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010902300
課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算書ページ	239
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造する
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107160	施設管理整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	78,257	0	0	0	2,394	75,863
前年度	126,173	25,626	300	0	20,825	79,422
増減額	△ 47,916	△ 25,626	△ 300	0	△ 18,431	△ 3,559

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16	山岳環境整備基金利子	297								
18	山岳環境整備基金繰入金	1,300								
20	観光施設駐車場負担金	697								

【目的・効果】
【目的】・来訪者が観光施設を快適に利用できるよう、施設整備及び維持管理を行なう。
【効果】・整備管理された観光施設を利用いただくことにより、安曇野市のイメージアップを図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・登山道整備のための費用を、北アルプス登山道等維持連絡協議会に負担金として支出する。(30年度整備路線は、燕岳歩道、常念岳歩道等の協議会登録ルートを中心に整備する。)
 ・中房登山口の交通状況等改善の目的で平地部に登山者車両の駐車誘導を図るため、宮城老人保健センター跡地を駐車場として利用するための造成工事を行なう。
 ・かじかの里公園等公園施設(8施設)及び公衆便所(29ヶ所(仮設6ヶ所含む))の維持管理を行なう。
 ・都市再生整備計画事業により水辺の里エリア内のVIサイン看板等整備工事を行なう。

【詳細事業内訳】
 観光施設公園管理事業 41,899千円 登山者用駐車場整備事業 2,603千円 観光案内看板整備事業 17,000千円 登山道等整備事業 16,755千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
7	賃金	1,885	臨時職員			15	工事請負費	21,378	三股登山者用駐車場舗装修繕工事・宮城登山者用駐車場造成工事・VIサイン看板等整備工事		
8	報酬費	1,920	登山道草刈謝礼、光城山清掃謝礼等			16	原材料費	213	明科駅前植栽用花苗・駐車場等整備用砕石		
9	旅費	59	北アルプス山岳環境対策連絡協議会、登山者カウンター設置立会			18	備品購入費	99	チェーンソー・ブロワー		
11	需用費	6,151	施設小破修繕、光熱水費			19	負担金補助及び交付金	7,868	北アルプス登山道等維持連絡協議会負担金等		
12	役務費	1,618	トイレ汲取り手数料等			25	積立金	298	山岳環境整備基金利子積立金		
13	委託料	15,307	公衆便所等施設清掃業務委託等			28	繰出金	17,165	観光宿泊施設事業特別会計繰出金		
14	使用料及び賃借料	4,296	白鳥湖トイレ借上料、観光施設用地借地料等								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	登山者用駐車場整備事業	登山口の路上駐車や交通渋滞を緩和し、公共交通機関や緊急車両の通行を確保するとともに、登山者等来訪者の安全確保また満足度の向上を図る。	15	工事請負費	2,603
						0
						0
					計	2,603
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010902300
課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算書ページ	241
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造する
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107170	自然交流センター			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,546	0	0	0	0	3,546
前年度	5,559	0	0	0	0	5,559
増減額	△ 2,013	0	0	0	0	△ 2,013

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 【目的】・豊かな水環境に触れ、自然体験ができるよう施設の管理運営を行なう。
 【効果】・当施設の利用により、身近な自然環境に親しみ、親水空間とのふれあいの機会を提供し、地域コミュニティの形成また観光拠点として交流人口の拡大を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定管理者により自然体験交流センター「せせらぎ」の良好な管理運営を行なうとともに、施設の新たな有効活用方法について検討する。

【詳細事業内訳】
 自然交流センター「せせらぎ」の運営管理事業 3,546千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	284	施設軒天井修繕等								
13	委託料	3,262	指定管理料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	自然体験交流センター「せせらぎ」の運営管理事業	施設の適正な維持管理を行うと共に、有効活用を図り、雄大な安曇野の自然景観と水環境を楽しんでもらい来訪者の滞在時間の延長を図る。	11	需用費	284	
				13	委託料	3,262	
					計	3,546	
2					計	0	

予算書ページ	235
--------	-----

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010902200
		課・係等	観光交流促進課 観光交流促進係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107090	観光イベント事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	42,463	0	0	0	6,400	36,063
前年度	40,723	0	0	0	8,000	32,723
増減額	1,740	0	0	0	△ 1,600	3,340

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	スポーツ振興くじ助成金	6,400							

【目的・効果】
 観光や二地域居住により交流人口を拡大させ、観光経済波及効果による地域経済の活性化を図る。
 (人口減少による影響を軽減させていく。)

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市民、すべての産業事業者(従事者)、市外からの来訪者を対象に、魅力ある観光イベントの開催と情報の発信により、市域外から市内消費(観光振興による他産業への経済波及)を呼び込む。
 ※特定財源をH29実績に合せたため

【詳細事業内訳】
 観光イベント事業 42,463円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	60	おもてなしイベント開催に伴う協力者への謝礼				
09	旅費	296	県内外での誘客促進PR用				
11	需用費	1,193	ハーフマラソン駐車場用グラウンド整備等				
16	原材料費	270	ハーフマラソン駐車場用グラウンド整備用砂				
19	負担金補助及び交付金	40,644	観光イベント事業補助				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	信州安曇野ハーフマラソン	市政施行10周年記念事業として、平成26年のプレ大会を経て、平成27年に第1回大会開催、平成29年6月に第3回大会を終了した。安曇野の様々な魅力を全国に向けて発信するとともに、スポーツを通じた市の一体感の醸成と地域の活性化、交流人口の拡大を図る。	11	需用費	1,096
				16	原材料費	270
				19	負担金補助金及び交付金	26,000
					計	27,366
2					計	0

予算書ページ	253
--------	-----

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010902300
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造する
	項	03	河川費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	河川費		基本施策	観光の振興
	事業	0108170	水辺の楽校費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,242	0	0	0	1,242
前年度	1,847	0	0	0	1,847
増減額	△ 605	0	0	0	△ 605

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】・遊歩道の散策や豊かな水環境に触れ、自然体験ができるよう施設の維持管理を行なう。
【効果】・恵まれた親水空間と緑豊かな自然に包まれた環境を活かし、来訪者に自然とのふれあいの場を提供し、魅力ある水辺環境の情報発信を促進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・御宝田水のふるさと公園の維持管理を行い、来訪者が自然に親しむ機会の提供を行う。

【詳細事業内訳】
 御宝田水のふるさと公園の管理事業 1,242千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需要費	281	施設管理用品						
12	役務費	10	草刈ボランティア作業等保険料						
13	委託料	760	公園整備業務委託						
14	使用料及び賃借料	191	重機借上料						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	御宝田水のふるさと公園の管理事業	御宝田遊水池の草刈整備業務委託等を行い施設の適正な管理により豊かな親水空間を創出し、水辺環境との触れ合いの場を提供する。	13	委託料	760
					計	760
2					計	0

都市建設部

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011001100			予算書ページ	245
		課・係等	監理課 庶務係				
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	01	土木管理費		基本方針	利便性の高いまち	
	目	01	土木管理費		基本施策	道路整備の推進	
	事業	0108010	土木総務費				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	256,614	15,233	0	36,399	204,982
前年度	265,543	5,833	0	37,116	222,594
増減額	△ 8,929	9,400	0	△ 717	△ 17,612

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	道路占用料	27,312	13	市道占用料督促手数料	1	20	その他雑入(都市建設部)	1	
13	道路占用料滞納繰越分	1	13	公共物占用料督促手数料	1					
13	公共物占用料	3,100	14	国道19号明科駅前歩道整備事業用地事務委託	15,233					
13	公共物占用料滞納繰越分	1	20	有料道路割引回数通行券販売代	5,982					

【目的・効果】

【目的】

・社会資本ストックの的確な維持管理に努め、社会基盤の骨格となる幹線道路等の整備を推進する。

【効果】

・人、モノ、情報の交流が盛んになり、産業の振興、文化交流の促進、生活の利便性や災害時における安全性の向上が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・三才山トンネル等有料道路を利用する市民の負担軽減を図るため、割引通行券の販売を行う。
- ・市内建設業に係る技術者を育成し、経営と雇用の安定を図るため、資格取得費用補助を行う。
- ・所管する公用車の維持管理、事務消耗品管理を行う。

【詳細事業内訳】

土木総務費 248,175千円 建設技術者等資格取得費補助金交付事業 1,260千円 有料道路通行料金負担軽減事業 7,179千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	135,936	一般職員	27	公課費	32	公用車自動車重量税32千円
03	職員手当等	66,020	職員諸手当				
04	共済費	43,004	職員共済組合納付金				
11	需用費	2,809	事務用品等396千円・公用車燃料費及び修繕費2,291千円				
12	役務費	374	公用車車検286千円・自賠責保険料88千円				
14	使用料及び賃借料	7,179	有料道路割引回数券購入代7,179千円				
19	負担金補助及び交付金	1,260	建設技術者資格取得費補助1,260千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有料道路通行料金負担軽減事業	三才山トンネル等有料道路を利用する通勤・通学・通院者に対し、「時間帯割引券」を販売し、利用者の負担軽減を図る。	14	使用料及び賃借料	7,179
					計	7,179
2	ソフト	建設技術者等資格取得費補助金交付事業	建設業者が負担する資格取得費用の1/2以内の額(上限10万円)を補助する。従業員の資格取得で、技術者が確保され公共事業の品質確保ができる。また、建設業者の負担軽減により雇用創出が期待できる。	19	負担金補助及び交付金	1,260
					計	1,260

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	011001300
課・係等	監理課 管理登記担当

予算書ページ	245
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木管理費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108020	地籍管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,735	0	0	0	432	26,303
前年度	29,231	0	0	0	432	28,799
増減額	△ 2,496	0	0	0	0	△ 2,496

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公図写等発行手数料	432							

【目的・効果】

【目的】国土調査法第21条第2項の規定に基づき、調査成果である土地台帳及び地籍複図(公図)を適正に管理し、利用する市民、市外の方に提供する。
 【効果】土地台帳、地籍複図(公図)については平成27年度より、地籍管理システムを運用して市民への閲覧を行っており、窓口対応の効率化が図られている。また、本事業により更新する地籍情報は、本市GISシステムの基礎として利用されている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・地籍管理システムの稼働に伴い、法務局より送付される異動通知書を基に、土地の分筆・合筆や所有権移転等のデータ更新を業務委託により行う。
- ・安曇野市が行う、道水路改良事業等により取得した、公共用地の登記事務を嘱託登記事務職員を雇用して行う。
- ・道水路の管理者として、申請者からの申請に基づき、官民境界の確認事務を行う。

【詳細事業内訳】

公共取得用地登記事務 10,616千円 土地台帳、公図管理事務 16,119千円

【一般財源増加理由】 地籍管理システム土地異動更新業務委託で復元基準点データ登録業務が終了するため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	4,696	嘱託登記事務職員賃金 4,696千円				
11	需用費	100	事務用品、境界立会用消耗品、書籍 100千円				
13	委託料	21,939	地籍管理システム土地異動更新業務 16,119千円 国土調査錯誤箇所、未登記箇所地図作成業務 5,820千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	土地台帳、公図管理事務	法務局から送付される異動通知書に基づき、地籍情報のデータ更新を業務委託により行う。 地籍管理システムにより、土地台帳・公図の閲覧を行っており、窓口対応の効率化が図られる。	13	委託料	16,119	
					計	16,119	
2							
					計	0	

予算書ページ	247
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011001100
		課・係等	監理課 庶務係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108040	道路橋梁総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,061	0	0	0	0	1,061
前年度	1,329	0	0	0	0	1,329
増減額	△ 268	0	0	0	0	△ 268

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
【目的】
 ・関係市町村と同盟会活動を行うことで、本市道路網の骨格をなす国県道の整備を図る。
【効果】
 ・国県道の整備促進が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 各種道路関係の同盟会負担金を納入し、同盟会要望活動により事業を推進する。

【詳細事業内訳】
 道路関係同盟会事業 1,061千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
09	旅費	510	各種同盟会、総会、中央要望等旅費510千円								
13	委託料	18	須砂渡トンネル要望バス運行18千円								
19	負担金補助及び交付金	533	道路関係同盟会等の負担金489千円(長野県道路整備期成同盟会他9団体)・道路愛護会44千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	道路関係同盟会事業	各種同盟会に参画し、関係機関への要望活動を行う。要望活動により事業促進が図られる。	09	旅費	510	
				13	委託料	18	
				19	負担金補助及び交付金	533	
					計	1,061	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011001300	予算書ページ	247
		課・係等	監理課 管理登記担当		

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108050	道路橋梁管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,060	0	0	0	424	20,636
前年度	24,638	0	0	0	556	24,082
増減額	△ 3,578	0	0	0	△ 132	△ 3,446

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	道路占用料	388							
20	地図等交付代	36								

【目的・効果】
【目的】道路法28条の規定により、道路管理者は道路台帳を調整、保守しなければならないため、同法に基づき整備している道路台帳について、適正な管理を目的に、過年度工事箇所等の台帳更新を行う。
【効果】整備した台帳のデータは、道路行政の基礎的資料とするほか、台帳図は市のホームページにおいて閲覧可能とし、市民にも活用されている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・道路台帳管理システムの図面データ及び調書の補正更新を業務委託により行う。
 ・道路水路の適正利用を図るため、道路水路の管理事務を行う。
 ・道路及び公共物に対する占用、自営工事等の申請について、その許認可事務と、占用料金徴収事務を行う。

【詳細事業内訳】
 市道法定外公共物管理事務 388千円 道路台帳加除事業 20,672千円

【一般財源増加倍】 道路台帳補正業務委託において、認定道路精査・カーブミラー登録業務が終了するため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	29	職員研修参加旅費 29千円				
12	役務費	290	市道清掃除草手数料 290千円				
13	委託料	20,672	道路台帳補正業務委託 20,672千円				
14	使用料及び賃借料	34	道路用地借地料 34千円				
19	負担金補助及び交付金	35	道路管理と諸問題実務研修負担金 35千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	道路台帳加除事業	道路台帳の調整と保守のため、過年度工事箇所等のデータ更新を業務委託する。台帳データは道路行政の基礎的資料とするほか、台帳図はHP上で閲覧可能としている。	13	委託料	20,672		
					計	20,672		
2								
					計	0		

予算書ページ	247
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108060	道の駅維持管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,700	0	0	0	0	5,700
前年度	5,700	0	0	0	0	5,700
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】道路利用者及び観光客の立寄り拠点となっている、道の駅の運営管理を指定管理委託により行い、利用者に快適な休憩空間を提供する。
 【効果】道の駅公衆トイレ、情報交流室、駐車場の指定管理委託により、併設する物産センター・農産物加工施設の管理者と同一となるため、施設利用者の利便性向上が期待されると共に、事務の効率化も図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

道の駅施設を指定管理により、隣接する堀金物産センター及び農産物加工施設の指定管理者である、農事組合法人匂の味ほりがね物産センター組合に委託し、管理運営を行う。

【詳細事業内訳】

道の駅管理事務 5,700千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	5,700	指定管理による道の駅管理業務 5,700千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	道の駅管理事務	道の駅公衆トイレ、情報交流室、駐車場の管理を指定管理により行う。 併設する物産センターの管理者と同一となるため、利用者の利便性向上が期待される。	13	委託料	5,700
					計	5,700
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	011001200
課・係等	監理課 国県事業推進担当

予算書ページ	251
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	災害に強いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108090	県営新設改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,200	0	0	0	0	19,200
前年度	19,000	0	0	0	0	19,000
増減額	200	0	0	0	0	200

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

- ・危険箇所の防災工事を実施し、災害に強いまちづくりを進める。
- ・本市道路網の骨格をなす国県道の整備を図る。

【効果】

- ・県営事業に対して市が一部負担することで、危険箇所の改善及び道路網の整備が図られる。□

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 急傾斜地崩壊対策、兼用側溝整備、県単道路改良事業に対して、事業費の一部を負担する
- ・急傾斜地崩壊対策事業(5%)
 - ・兼用側溝整備事業(50%)
 - ・県単道路改良事業(15%)

【詳細事業内訳】

県営新設改良事業負担金 19,200千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	19,200	県営新設改良事業負担金19,200千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	県営新設改良事業負担金	事業費の一部を負担し、事業実施することで、急傾斜地崩壊対策、兼用側溝整備等の事業が実施可能となり、危険箇所の改善、及び道路網の整備が図られる。	19	負担金補助及び交付金	19,200
					計	19,200
2					計	0

予算書ページ	255
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011001100
		課・係等	監理課 庶務係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108130	河川総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,481	0	0	0	80	11,401
前年度	1,024	0	0	0	80	944
増減額	10,457	0	0	0	0	10,457

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	取水占用料		80						

【目的・効果】
 監理課 庶務係
【目的】
 ・関係市町村と同盟会活動を行うことで、河川の整備促進を図る。
【効果】
 ・市内河川の整備促進が図られる。

監理課 国県事業推進担当
【目的】
 ・万水川下流域の治水安全度向上を図る。
【効果】
 ・周辺住民の安全と農水産物の被害軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 監理課 庶務係
 各種河川関係の同盟会負担金を納入し、同盟会要望活動により事業を推進する。

監理課 国県事業推進担当
 万水川内水被害対策に伴い、万水川内水解析業務を実施する。

【詳細事業内訳】
 内水対策事業 10,152千円 河川関係同盟会事業 1,329千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
09	旅費	265	各種同盟会、総会、中央要望等旅費265千円								
13	委託料	10,152	万水川内水解析業務委託料10,152千円								
19	負担金補助及び交付金	1,064	河川関係同盟会等の負担金1,064千円(長野県河川協会他6団体)								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	河川関係同盟会事業	各種同盟会に参画し、関係機関への要望活動を行う。要望活動により事業促進が図られる。	09	旅費	265	
				19	負担金補助及び交付金	1,064	
					計	1,329	
2	ソフト	内水対策事業	万水川下流域では、平成18年豪雨により内水被害が発生している。内水排水施設を設置することで周辺住民の安全と農水産物の被害軽減が図られる。	13	委託料	10,152	
					計	10,152	

予算書ページ	255
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	河川費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108140	河川管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	515	0	0	0	515	0
前年度	515	0	0	0	515	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	取水占用料	515							

【目的・効果】
【目的】市内の準用河川等について地元区、河川愛護会の協力を得て、河川環境の保全を図る。
【効果】河川内の除草・清掃作業を通じて、地元住民の河川環境保全意識の醸成が期待される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 市内河川の除草清掃作業について、地元区及び河川愛護会の協力を得て行い、河川環境の保全に努めるほか、地域の河川愛護意識の向上が図られる。

【詳細事業内訳】
 河川管理愛護事務 515千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
12	役務費	515	河川除草清掃等手数料 515千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	河川管理愛護事務	河川敷地の除草清掃作業を各団体の協力により行い、良好な河川環境の保全に努めるほか、地域の河川愛護意識の向上が期待される。	12	役務費	515	
					計	515	
2					計	0	

予算書ページ	251
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011001200
		課・係等	監理課 国県事業推進担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108230	国県事業推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	625	157	0	0	0	468
前年度	899	377	0	0	0	522
増減額	△ 274	△ 220	0	0	0	△ 54

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	国道19号明科駅前歩道整備事業用地事務委託	157				

【目的・効果】
【目的】
 ・国、県事業の円滑な推進を図るため、国、県と地元の調整及び、必要な調査等行う。
【効果】
 ・主要幹線道路である国、県道の整備が進むことで、安全、安心な生活環境が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国道19号明科駅前歩道整備事業の国と地元の調整、及び国との委託契約による用地事務を行う。また、事業促進のため国への要望活動を行う。
 ・地域特性に配慮した避難体制づくりの支援を行う。(リーフレットの作成)

【詳細事業内訳】
 国県事業推進事業 625千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	487	国道19号明科駅前歩道整備事業要望及び、国県事業用地交渉旅費487千円				
11	需用費	130	警戒避難体制マップ印刷130千円				
14	使用料及び賃借料	8	要望活動タクシー代8千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	国県事業推進事業	国道19号明科駅前歩道整備事業の、国と地元の調整、用地事務を行う。明科駅周辺まちづくりに効果が期待できる。自主避難体制の支援を行うことにより、防災対策の充実が図られる。	09	旅費	487	
				11	需用費	130	
				14	使用料及び賃借料	8	
				08	報償費	0	
					計	625	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	011002200
課・係等	建設課 維持担当

予算書ページ	245
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108030	建設機械管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,030	0	0	0	0	3,030
前年度	3,084	0	0	0	0	3,084
増減額	△ 54	0	0	0	0	△ 54

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・道路ストックの適切な維持を進めるための維持作業車や機械器具を良好な状態に保つため、点検・整備と車両の更新を目指します。
【効果】
 ・安全な維持作業及び緊急時の円滑な対応による、市道の安全性の確保と利便性の向上が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・道路維持作業車(11台)の法定点検及び車両整備の実施と機械器具類の保守整備を行う。

【詳細事業内訳】
 道路維持作業車整備事業 3,030千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,750			消耗品費トラックタイヤ外450千円、燃料費350千円、点検時他修繕費等950千円				
12	役務費	902			点検手数料682千円、自賠責保険料220千円				
18	備品購入費	49			24V車充電器外49千円				
27	公課費	329			自動車重量税329千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	011002200
課・係等	建設課 維持担当

予算書ページ	247
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108070	道路橋梁維持費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	334,470	0	0	36,000	259,700	38,770
前年度	331,092	0	0	0	288,000	43,092
増減額	3,378	0	0	36,000	△ 28,300	△ 4,322

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	12	道路復旧費原因者負担金	59,700							
18	公共施設整備基金繰入金	200,000								
21	道路橋梁維持事業(長寿命化)	36,000								

【目的・効果】
【目的】
 ・一般交通に支障を及ぼさないよう、道路利用者が安全で安心に利用できる道路環境を提供する。
【効果】
 ・道路利用者に安全・安心な道路環境が提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・道路パトロールの実施により、危険個所の早期解消を進める。
- ・道路の路面、道路側溝等の傷んだ部分の維持修繕工事を行う。
- ・道路占用工事完了後の舗装本復旧工事を行う。
- ・主要な市道・除雪優先路線・管理協定箇所の路面清掃、草刈り、街路樹管理及び支障木伐採、側溝清掃等の道路環境整備を行う。
- ・地区で行う道路整備活動に必要な原材料を支給する。

【詳細事業内訳】
 道路橋梁維持事業 326,550千円 道路維持総務費 7,920千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,654	臨時職員賃金	3,654千円					
11	需用費	5,187	消耗品	300千円、燃料費	18千円、施設修繕	1,500千円、光熱水費	3,369千円		
12	役務費	130	電話通信料	130千円					
13	委託料	24,760	道路管理業務委託	22,700千円、廃棄物収集運搬処分	60千円、調査測量業務委託	1,000千円、工事設計業務委託	1,000千円		
14	使用料及び賃借料	439	作業機械借上料	50千円、現場状況報告システム	使用料	389千円			
15	工事請負費	297,000	道路維持修繕	180,000千円、道路占用路面復旧	77,000千円、市単舗装修繕(長寿命化)	40,000千円			
16	原材料費	3,300	道路補修用資材	2,300千円、資材支給	1,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路橋梁維持事業	一般交通に支障を及ぼさないよう、道路を常時良好な状態に保つように維持管理を行う。道路利用者に安全・安心な道路環境が提供される。	13	委託料	24,700
				15	工事請負費	297,000
					計	321,700
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	011002200
課・係等	建設課 維持担当

予算書ページ	249
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108080	除雪対策費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	112,286	0	0	0	112,286
前年度	115,815	0	0	0	115,815
増減額	△ 3,529	0	0	0	△ 3,529

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・除雪計画に基づき、通勤通学や物流に欠かせない主たる市道において、降雪・積雪による交通遮断が生じないように除融雪作業を行い、道路網の機能確保を図る。

【効果】

・降雪や積雪による交通遮断防止により、市内の産業、経済活動と市民生活の安定が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・除雪、排雪、融雪業務を委託する。
- ・除雪車両管理と法定点検、車両整備を行う。
- ・除雪業務で不足する除雪用タイヤドーザの借上げ。
- ・除融雪指定路線以外の地域に密着している生活道路や歩道の除雪は、地域の協力により行う。
- ・各区へ歩行型除雪機を貸与する。また、凍結防止剤の配布を行う。

【詳細事業内訳】

除雪融雪事業 112,286千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	19,285	凍結防止剤14,000千円、除雪車消耗品2,050千円、除雪車燃料費485千円、除雪車修繕費2,750千円				
12	役務費	2,565	降雪量調査費30千円、除雪車両法定点検費1,760千円、除雪ボランティア保険料617千円、除雪車自賠責保険料158千円				
13	委託料	75,500	除雪業務委託68,500千円、融雪業務委託7,000千円				
14	使用料及び賃借料	11,996	除雪ドーザ借上げ11,996千円				
18	備品購入費	2,831	歩行型除雪機2,831千円				
27	公課費	109	凍結防止剤散布車重量税109千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	除融雪業務	市道1,694kmの内、873kmを除雪路線、104kmを融雪路線に指定。迅速な対応に向けて除融雪業務の委託を行う。降雪や積雪による交通遮断を防止し、市民生活の利便性と安全性の確保が図られる。	11	需用費	14,000
				13	委託料	75,500
				14	使用料及び賃借料	11,996
					計	101,496
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	011002100
課・係等	建設課 建設担当

予算書ページ	251
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108100	市道新設改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	523,257	0	0	152,000	300,000	71,257
前年度	428,556	0	0	50,800	300,000	77,756
増減額	94,701	0	0	101,200	0	△ 6,499

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	市道新設改良事業	152,000								

【目的・効果】
【目的】
 ・道路は、暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で必要不可欠な社会基盤であることから、安全性の確保や利便性の向上に向けて道路整備を進める。
【効果】
 ・生活道路の整備により、安全・安心な生活環境が構築される。
 ・地域間を結ぶ重要路線の整備により、地域間の連携強化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・生活道路の整備(継続:30路線)を進める。
 ・幹線道路の整備(合併特例債事業:4路線)を進める。

【詳細事業内訳】
 道路改良総務費 4,357千円、市道新設改良事業(市単独) 358,900千円、市道新設改良事業(合併特例債) 160,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
09	旅費	153	不在地主用地交渉、研修旅費及び日当153千円			19	負担金補助及び交付金	504	研修会負担金504千円		
11	需用費	812	測量関係用品外802千円、物品修繕費10千円			22	補償補填及び賠償金	138,000	道路拡幅部等の物件移転補償、立木及び営業補償費等138,000千円		
12	役務費	1,090	携帯電話料96千円、測量機器検査手数料及び不動産鑑定料外994千円								
13	委託料	85,214	保守料314千円、道路改良事業に伴う測量設計、用地測量及び補償調査費84,900千円								
14	使用料及び賃借料	1,484	土木積算システム使用料1,484千円								
15	工事請負費	236,000	道路改良工事費236,000千円								
17	公有財産購入費	60,000	道路拡幅部の用地買収費60,000千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	市道新設改良事業(市単独)	生活道路を拡幅することにより、安全・安心な道路環境を構築する。	13	委託料	48,900	
				15	工事請負費	230,000	
				17	公有財産購入費	20,000	
				22	補償補填及び賠償金	60,000	
					計	358,900	
2	ハード	市道新設改良事業(合併特例債)	幹線道路の整備、歩道の整備をすることにより、安全・安心な道路環境を構築する。	13	委託料	36,000	
				15	工事請負費	6,000	
				17	公有財産購入費	40,000	
				22	補償補填及び賠償金	78,000	
					計	160,000	

予算書ページ	253
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011002100
		課・係等	建設課 建設担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	482,700	国支出金	県支出金	市債	その他	
前年度	467,000	263,780	0	184,800	0	34,120
増減額	15,700	263,780	0	165,500	0	44,650
		6,930	0	19,300	0	△ 10,530

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	道路改良費補助金	263,780							
21	特定交通安全事業	0								
21	道路整備事業	184,800								

【目的・効果】

【目的】

- ・道路は暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で必要不可欠な社会基盤であり、安全性の確保や利便性の向上に向けて道路整備を進める。
- ・舗装修繕維持管理計画、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、損傷の激しい道路舗装や橋梁の修繕を行います。
- ・橋梁点検では、平成26年7月の道路法施行規則改正に伴い、『5年に1回の頻度で近接目視による点検』が義務付けられ、平成26年度より市内全ての道路橋を対象として点検を進めています。

【効果】

- ・幹線道路の整備や歩道等安全施設の整備により、地域間の連携強化が図られる。
- ・橋梁長寿命化計画に基づく橋梁の修繕、舗装維持管理計画に基づく舗装の修繕により、安全・安心な道路環境が構築される。
- ・交通環境が確保されるとともに、沿道や第三者被害の防止が図られる。
- ・一般交通に支障を及ぼさないように利便性の向上と安全性の確保が図られる。
- ・事業費の平準化とコスト縮減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・社会資本整備総合交付金を活用し、幹線道路、歩道等の整備、橋梁、舗装修繕を進める。
 - 改良事業 豊科1級26号線(吉野)・三郷1級5号線(温)・穂高1級6号線(穂高)・明科5080号線(潮沢)
 - 歩道設置事業 穂高1級15号線(立足)・豊科1345号線(新田)・豊科2055号線(細萱)・穂高1級1号線他(穂高)・三郷1級19号線(一日市場)・豊科1級24号線(細萱)・豊科1級29号線(真々部他)
 - 橋梁修繕事業 橋梁長寿命化修繕計画見直し(市内一円)・穂高2級25号線他(穂高24号橋他24橋)・明科1級3号線他(会田川橋他7橋)・豊科1級29号線(拾ヶ堰橋他13橋)
 - 舗装修繕事業 豊科1118号線(豊科)・豊科1級23号線他3路線(南穂高)・穂高1級10号線(牧)・堀金1441号線他(三田)
- 計19事業

【詳細事業内訳】

市道新設改良事業(交付金) 285,600千円、道路橋梁修繕事業(交付金) 197,100千円

【一般財源増加理由】 各計画にもとづいた事業を遂行するため、社資交付金要望額増加に伴い、一財も併せて増加します。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	93,500	道路改良事業に伴う測量設計、用地測量、補償調査費、橋梁修繕事業委託費93,500千円				
15	工事請負費	350,100	道路改良工事費、歩道設置工事費、橋梁修繕工事費、舗装修繕工事費350,100千円				
17	公有財産購入費	22,200	道路拡幅の用地買収費22,200千円				
22	補償補填及び賠償金	16,900	道路拡幅部等の物件移転補償、立木補償費等16,900千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市道新設改良事業(交付金)	道路整備推進計画に基づく、幹線道路の整備や歩道等安全施設の整備により、安全・安心な道路環境が構築される。	13	委託料	60,000
				15	工事請負費	186,500
				17	公有財産購入費	22,200
				22	補償補填及び賠償金	16,900
					計	285,600
2	ハード	道路橋梁修繕事業(交付金)	橋梁、道路舗装の計画的な修繕及び点検を行うことにより、道路・橋梁の長寿命化が図られ、安全・安心な道路環境が構築される。	13	委託料	33,500
				15	工事請負費	163,600
					計	197,100

予算書ページ	253
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011002200
		課・係等	建設課 維持担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	災害に強いまち
	目	03	交通安全施設費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0108120	交通安全施設整備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,100	0	0	0	0	29,100
前年度	30,000	0	0	0	0	30,000
増減額	△ 900	0	0	0	0	△ 900

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・交通安全施設を適切に維持・整備し、交通上の安全確保を図り、安全・安心な道路環境を提供する。
【効果】
 ・安全・安心して利用できる道路環境が提供される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・区やPTAなどからの要望を緊急性や必要性を判断して、交通安全施設の維持・補修・整備をおこなう。
- ・施設損傷の小破修繕
- ・区画線等路面表示の整備
- ・大型道路案内標識の修繕

【詳細事業内訳】
 交通安全施設整備事業 29,100千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,000	道路反射鏡等損傷による修繕外2,000千円				
15	工事請負費	27,100	維持整備・区画線等の路面表示25,100千円、道路案内標識撤去外2,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	交通安全施設整備事業	区やPTAなどからの要望に応じながら、交通事故が起こりにくい道路環境の整備を行う。安全・安心して利用できる道路環境が提供される。	11	需用費	2,000	
				15	工事請負費	27,100	
					計	29,100	
2					計	0	

予算書ページ	255
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011002100
		課・係等	建設課 建設担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108150	河川改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,610	0	0	0	0	7,610
前年度	13,000	0	0	0	0	13,000
増減額	△ 5,390	0	0	0	0	△ 5,390

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・豪雨や台風などによる準用河川や普通河川の氾濫を防ぐため、河川改修を進める。
【効果】
 ・浸水や溢水、護岸決壊などを防止することにより、市民の生命・財産を守ると共に、地域の生活環境の整備が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・大井戸川等の河川改修を進める。

【詳細事業内訳】
 河川改修事業 7,610千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	610	河川改修事業に伴う測量設計、用地測量、補償調査費610千円						
15	工事請負費	7,000	河川改修工事費7,000千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	河川改修事業	河川改修工事を行い、河川の溢水を防止することで、流域住民の安全・安心が確保される。	13	委託料	610
				15	工事請負費	7,000
					計	7,610
2						
					計	0

予算書ページ	255
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011002200
		課・係等	建設課 維持担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0108160	河川維持費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,471	0	0	0	0	16,471
前年度	10,230	0	0	0	0	10,230
増減額	6,241	0	0	0	0	6,241

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・災害に強い河川環境を維持する。
 ・水防倉庫の管理と水防資機材の充実を図る。
【効果】
 ・災害に強い河川環境の提供、出水時など災害への迅速な対応が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・河川構造物の維持を行う。
- ・河川の流下能力が損なわれないように除草、支障木除去及び堆積土の排除を行う。
- ・水防倉庫等の施設維持管理及び水防資機材の充実を図る。

【詳細事業内訳】
 水防倉庫施設管理事業 1,236千円 河川維持事業 8,570千円 水防倉庫改修事業 6,665千円

【一般財源増加理由】 施設の再配置と適正管理を図る目的で水防倉庫改修事業に着手するため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	977	災害応急資材消耗品200千円、倉庫小破修繕250千円、光熱水費527千円				
12	役務費	240	排水ポンプ保守点検240千円				
13	委託料	6,672	施設管理委託料3,373千円、廃棄物収集運搬委託料90千円、設計監理委託料3,209千円				
15	工事請負費	8,306	小規模修繕1,400千円、河床整備外3,450千円、倉庫解体工事3,456千円				
16	原材料費	250	水防資材 洗い砂外250千円				
18	備品購入費	26	可搬ポンプ用全自動充電器26千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	河川維持事業	河川の流下能力が損なわれないように、除草、支障木除去及び堆積土砂の排除を行う。災害に強い河川環境が提供される。	13	委託料	3,360
				15	工事請負費	4,850
					計	8,210
2	ハード	水防倉庫改修事業	施設の適正管理に向けた統廃合による施設解体と施設改築を実施。施設の適正な管理を図る。	13	委託料	3,209
				15	工事請負費	3,456
					計	6,665

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011002100
		課・係等	建設課 建設担当

予算	款	11	災害復旧費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木施設災害復旧費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路災害復旧費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0111010	道路災害復旧事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,000	0	0	0	0	2,000
前年度	11,000	4,669	0	2,300	0	4,031
増減額	△ 9,000	△ 4,669	0	△ 2,300	0	△ 2,031

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公共土木施設災害復旧事業負担金	0							
21	補助災害復旧事業債	0								

【目的・効果】
【目的】
 ・市が管理している公共土木施設(道路、河川)が、異常気象で被災した場合に施設機能の早期の復旧を進める。
【効果】
 ・公共土木施設(道路、河川)を早期に機能回復する事により、市民の生命・財産を守ると共に、地域の生活環境が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・異常な天然現象により生じた災害について、早急に復旧工事を進める。

【詳細事業内訳】
 道路災害復旧事業 2,000千円

【一般財源増加理由】 H27年度発生 of 明科底白地区道路災害復旧工事をを行う為

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	1,000	災害復旧事業に伴う測量設計、用地測量、補償調査費1,000千円				
15	工事請負費	1,000	災害復旧工事費1,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路災害復旧事業	道路災害の復旧工事をを行う事で、沿線住民の安全・安心が確保される。	13	委託料	1,000
				15	工事請負費	1,000
					計	2,000
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	011003100
課・係等	都市計画課 計画係

予算書ページ	257
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108180	都市計画総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	254,824	0	2,551	0	33,654	218,619
前年度	211,969	2,754	0	0	12,875	196,340
増減額	42,855	△ 2,754	2,551	0	20,779	22,279

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	公営住宅使用料	14,018	18	地域振興基金繰入金	19,600				
14	立地適正化計画推進事業	0	20	都市計画図等交付代	36					
15	市町村合併特例交付金	0								
15	都市計画調査委託金	2,551								

【目的・効果】
【目的】
 ・秩序ある土地利用を推進し、生活基盤や経済基盤等の整備を図りつつ、市の均衡ある発展と適正かつ合理的な土地利用に努め、計画的なまちづくりを推進する。
 ・市内の観光・公共施設案内サインを統一し、順次整備を進める。
【効果】
 ・豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守りつつ、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくりを推進することができる。
 ・案内サインの統一により、インバウンド、ユニバーサルデザインへの対応ができる。また、安曇野市を訪れているということが、視覚から感じる事が出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・平成29年度に引き続いて、都市計画基本図を修正する。
 ・5年に一度実施している都市計画基礎調査を実施する。

【詳細事業内訳】
 都市計画総務費 226,376千円 立地適正化計画策定業務 0千円 情報案内板整備 28,060千円 土地利用制度 388千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	574	都市計画審議会委員報酬 土地利用審議会委員報酬			13	委託料	36,457	都市計画基本図修正、都市計画基礎調査、情報案内板整備検討業務
02	給料	105,933				14	使用料及び賃借料	390	会場借上げ料、土木積算システム使用料
03	職員手当等	51,637				15	工事請負費	24,840	情報案内板設置
04	共済費	33,275				19	負担金補助及び交付金	761	都市計画協会等負担金、都市計画実務研修負担金
08	報償費	180	制度評価委員会委員出席謝礼						
09	旅費	613	職員旅費、都市計画審議会等委員費用弁償						
11	需用費	164	法規等追録、大型プリンター用紙						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	土地利用制度	恵まれた自然や美しい景観をまもり、活かしながら、秩序ある発展を継続することにより、誰もが住みたい、働きたい、と思えるまち、訪れてみたいと感じてもらえるまちをつくる。	01	報酬	294
				09	旅費	94
					計	388
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	011003200
課・係等	都市計画課 都市整備係

予算書ページ	261
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	02	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108210	街路整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	95,360	49,885	0	36,700	0	8,775
前年度	403,520	211,750	0	155,900	0	35,870
増減額	△ 308,160	△ 161,865	0	△ 119,200	0	△ 27,095

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	街路事業	36,700								

【目的・効果】
【目的】
 ・都市の骨格を形成し、安心で安全な市民生活と機能的な都市活動を確保するため、都市計画道路吉野線の整備を行う。
【効果】
 ・両側歩道を整備することにより豊科南小学校や県立豊科高校の通学路としての安全性が高まる。
 ・豊科地域の中心市街地の外郭道路が整備され、市街地および沿線街区からの交通の円滑化につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・平成30年度は用地取得を主体的に進める。また、取得済となった箇所へ安全対策として柵等を設置する。

【詳細事業内訳】
 街路整備事業(交付金) 95,360千円

【一般財源増加理由】		金額		主な内容		金額		主な内容	
12	役務費	500		不動産鑑定委託	500千円				
13	委託料	2,700		補償調査業務	2,700千円				
15	工事請負費	2,160		安全対策工事	2,160千円				
17	公有財産購入費	12,000		吉野線 用地買収費	12,000千円				
22	補償補填及び賠償金	78,000		吉野線 物件補償費	78,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	街路整備事業(交付金)	機能的な都市を形成するため都市計画道路の整備を行う。通学路の安全対策と中心市街地での円滑な交通が確保される。	12-13	委託料他	3,200
				15	工事請負費	2,160
				17	公有財産購入費	12,000
				22	補償補填及び賠償金	78,000
					計	95,360
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011003200	予算書ページ	261
		課・係等	都市計画課 都市整備係		

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	利便性の高いまち
	目	02	街路事業費		基本施策	公共交通の充実
	事業	0108211	都市再生整備計画事業(都市整備分)			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	251,000	62,800	0	84,700	50,000	53,500
前年度	44,200	17,480	0	0	0	26,720
増減額	206,800	45,320	0	84,700	50,000	26,780

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	都市再生整備計画事業	62,800							
18	公共施設整備基金繰入金	50,000								
21	都市再生整備計画事業	84,700								

【目的・効果】
【目的】
 ・既存商店街の環境整備や自然環境を活用した街づくりを推進するため、道路整備、街路灯整備、公園整備、観光施設整備等を行う。
 ・本格的な人口減少社会を迎え、駅周辺の利便性が高いコンパクトなまちづくりを進める。
【効果】
 ・市街地道路の整備をはじめ地域の特性を生かした街づくりや商店街の活性化が図られる。
 ・公共交通や都市機能施設が集約されることにより、市民の利便性が向上し、また、持続可能な都市が形成される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高西友通の歩道拡幅及び街路灯整備を行うことで、地域住民の安全で安心な生活空間が創出できる。
 ・明科駅周辺地区においては、関係機関との調整を図り、次年度以降の工事に向けた、測量設計を行う。

【詳細事業内訳】
 都市再生整備計画事業(水辺の里) 94,000千円、都市再生整備計画事業(明科駅周辺) 157,000千円

【一般財源増加理由】 水辺の里地区において、全体事業費に対する、交付額がH29年度までに40%を超えており、当年度交付金の充当が見込めないため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	101,500	穂高駅周辺歩道整備設計修正 500千円、明科駅周辺地区測量設計委託 101,000千円				
15	工事請負費	90,000	穂高駅周辺歩道整備工事 90,000千円				
17	公有財産購入費	56,000	明科駅前広場用地買収費 56,000千円				
22	補償補填及び賠償金	3,500	穂高駅周辺歩道整備物件移転補償費 3,500千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	都市再生整備計画事業(水辺の里)	地域の活性化と商店街の再生に繋げるため、穂高駅周辺整備をおこなう。	13	委託料	500
				15	工事請負費	90,000
				22	補償補填及び賠償金	3,500
					計	94,000
2	ハード	○ 都市再生整備計画事業(明科駅周辺)	明科駅周辺地区整備により、市の東の玄関口として、活力のあるまちづくりを推進する。	13	委託料	101,000
				17	公有財産購入費	56,000
					計	157,000

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011003300
課・係等	都市計画課 公園緑地係

予算書ページ	261
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心・快適なまちの形成
	項	04	都市計画費		基本方針	風土に根差した魅力あるまち
	目	03	公園事業費		基本施策	住環境の整備
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	600,412	175,500	0	157,900	55,986	211,026
前年度	446,823	132,400	0	119,100	7,803	187,520
増減額	153,589	43,100	0	38,800	48,183	23,506

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	豊科南部総合公園テニスコート使用料	3,800	14	社会資本整備総合交付金(公園分)	175,500	20	碌山公園研成ホール雑入	1	
13	碌山公園使用料	1,800	18	公共施設整備基金繰入金	50,000	20	講座参加料	60		
13	室山アグリパーク施設使用料	250	20	常念ふれあい公園太陽光発電売電	15	21	都市公園事業	157,900		
13	都市公園使用料	40	20	室山アグリパーク目販機電気料	20					

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市公園施設長寿命化計画に沿って公園施設の計画的な修繕及び更新を行う。また、市民からの通報、日頃のパトロールや遊具点検等により不具合箇所を早期に把握し、市民の安全安心な公園利用を図る。

【効果】

公園を良好に維持することにより、地域住民の憩い・交流・レクリエーションの場所となり、また景観・防災面においても向上する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・公園の清掃、除草、芝生管理等維持作業を地元団体、シルバー人材センター、専門業者に委託する。
- ・公園施設長寿命化対策支援事業と市単独事業により、老朽化した公園施設の補修、更新を図る。
- ・三郷文化公園体育館の大規模改修工事を29・30年度の2年間で実施する。
- ・平成31年度開催予定の全国都市緑化信州フェアの平成30年度実行委員会負担金を支出する。

【詳細事業内訳】

公園施設長寿命化事業 86,743千円 三郷文化公園体育館大規模改修 403,060千円 その他公園管理事業 14,857千円 都市公園管理事業54,898千円 公園総務費 40,864千円

【一般財源増加理由】 全国都市緑化信州フェア負担金、三郷文化公園体育館の大規模改修工事費の増による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	65	三郷文化公園のリンゴの木の手入れ45千円、自然観察会等講師謝礼20千円	16	原材料費	622	砂場用砂159千円、マレットゴルフ場用赤土18千円、菜の花の種28千円、その他417千円
09	旅費	185	研修会旅費83千円、都市緑化フェア旅費102千円	18	備品購入費	517	防風ネット196千円、その他321千円
11	需用費	24,375	公園維持に関わる消耗品1,969千円、施設修繕費13,000千円、光熱水費9,090千円、その他316千円	19	負担金補助及び交付金	40,681	全国都市緑化信州フェア実行委員会負担金35,409千円、市実行委員会負担金5,049千円、その他223千円
12	役務費	244	南部総合公園、碌山公園研成のホール電話料128千円、その他116千円	23	償還金、利子及び割引料	30	使用料還付金30千円
13	委託料	67,523	公園管理委託料49,238千円、設計監理委託料12,700千円長寿命化計画委託料5,559千円 その他26千円				
14	使用料及び賃借料	7,636	公園敷地賃借料7,484千円、借上料110千円、その他42千円				
15	工事請負費	458,544	長寿命化対策支援事業工事費等40,700千円、三郷文化390,360千円、市単工事27,484千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	公園施設長寿命化事業	老朽化により不具合の生じている公園施設の補修・更新を行い、一般市民はもとより子供と子育て中の親の安全安心、快適な公園利用を図る。	11	需用費	13,000
				13	委託料	5,559
				15	工事請負費	68,184
					計	86,743
2	ハード	三郷文化公園体育館大規模改修	老朽化により不具合の生じている三郷文化公園体育館を整備し、生涯スポーツの活動拠点や、災害時の避難所としての機能を高める。	13	委託料	12,700
				15	工事請負費	390,360
					計	403,060

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	011003200
課・係等	都市計画課 都市整備係

予算書ページ	265
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	都市下水道事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108240	都市下水道維持管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,268	0	0	0	0	2,268
前年度	7,904	0	0	0	0	7,904
増減額	△ 5,636	0	0	0	0	△ 5,636

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・ 都市下水道及び都市施設である潮雨水ポンプ場の維持管理を行う。
【効果】
 ・ 維持管理を行うことにより、市街地において適切な排水機能が確保される。
 ・ 豪雨時における潮雨水ポンプ場の適切な運用につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・ 豊科地域の都市下水道について草刈り、泥上げ等の維持管理を事情に精通する「新田農事組合」へ委託する。
 ・ 潮雨水ポンプ場は点検等のメンテナンスを業務委託する。

【詳細事業内訳】
 都市下水道維持管理費(市単独) 2,268千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		11	需用費	256	潮雨水ポンプ場 修繕費100千円 電気料他156千円				
		13	委託料	1,158	都市下水道管理委託 300千円 潮雨水ポンプ場管理委託 858千円				
		15	工事請負費	854	町尻都市下水道整備工事 854千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	都市下水道維持管理費(市単独)	都市下水道の排水機能を確保するため維持管理を行う。適切な排水機能が確保される。	11	需用費	256
				13	委託料	1,158
				15	工事請負費	854
					計	2,268
2					計	0

予算書ページ	265
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011003200
		課・係等	都市計画課 都市整備係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	都市下水道事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108250	市街地排水路改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,388	0	0	0	0	9,388
前年度	7,020	0	0	0	0	7,020
増減額	2,368	0	0	0	0	2,368

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・拠点、準拠点市街区域での住環境整備を目的として、土水路の改修や改修済み排水路の維持補修及び勾配修正等を行う。
【効果】
 ・住環境整備が図られる。
 ・土水路の改修により維持管理費の経費削減につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地元からの要望により市街地排水路の改修及び漏水等の維持管理を行う。

【詳細事業内訳】
 市街地排水路改修事業(市単独) 9,388千円

【一般財源増加理由】 経年劣化による、排水路維持補修箇所増加の為

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	1,080	設計業務委託 1,080千円				
15	工事請負費	8,208	改修及び維持補修工事 8,208千円				
16	原材料費	100	水路維持原材料支給 100千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市街地排水路改修事業(市単独)	住環境整備のため、排水路の改修を行う。環境整備と農業用水路の維持管理費の節減が図られる。	13	委託料	1,080
				15	工事請負費	8,208
				16	原材料費	100
					計	9,388
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011004100
		課・係等	建築住宅課 建築景観係

予算書ページ	257
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	景観の保全と育成の推進
	事業	0108190	景観整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,638	0	0	0	150	13,488
前年度	14,036	0	0	0	100	13,936
増減額	△ 398	0	0	0	50	△ 448

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	屋外広告物許可手数料	150							

【目的・効果】
【目的】
 ・景観条例、屋外広告物条例の適正な運用を図る。
 ・景観づくり住民協定の活動支援と住宅地の緑化推進を図る。
【効果】
 ・よい景観をつくることで、市民の暮らしの満足度や充実感を高めることが期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・景観及び屋外広告物の手続きに関し、窓口において適切な案内と指導を行うとともに、定期パトロールを実施する。
 ・「緑のまちづくり事業」として記念樹(苗木)の配布及び生垣設置、ブロック塀撤去に対する補助を行なう。
 ・景観づくり住民協定に対する支援として、活動・運営の補助を行う。

【詳細事業内訳】
 景観整備事業 2,579千円 景観育成団体支援事業 3,050千円 緑のまちづくり事業 8,009千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	137	景観審議会委員報酬137千円				
07	賃金	1,797	臨時職員賃金1,797千円				
08	報償費	172	景観住民協定連絡会 総会・役員会謝礼130千円、アドバイザー会議42千円				
09	旅費	83	景観まちづくり研修会等参加旅費48千円、景観審議会委員旅費35千円				
11	需用費	80	事務用品、参考図書80千円				
13	委託料	210	環境フェア プース等作製216千円				
19	負担金補助及び交付金	11,159	研修負担金100千円、記念樹配布4,009千円、住民協定補助金3,050千円、生垣補助金4,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1		緑のまちづくり事業	住宅地の緑化向上のため、住宅新築、誕生、小学校入学、結婚の記念として記念樹の配布を行う。また、生垣設置等をする場合に補助金の交付を行う。緑化に対する意識の向上効果が期待される。	19	負担金補助及び交付金	8,009
					計	8,009
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	011004200
課・係等	建築住宅課 開発調整係

予算書ページ	259
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108200	土地利用調整事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	47,083	0	0	0	38,000	9,083
前年度	20,483	0	0	0	0	20,483
増減額	26,600	0	0	0	38,000	△ 11,400

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附金	20,000							
18	ふるさと寄附基金繰入金	18,000								

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野の豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守り、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくりを進めるため、まちづくりの基盤となる土地の適正かつ合理的な利用を推進する。
 ・土地利用基本計画で定める拠点市街区域、準拠点市街区域及び田園居住区域へ新たに住宅を新築又は新築住宅の購入をして居住する者に支援を行うことにより、対象区域への居住誘導を促し拠点集約型のコンパクトなまちづくりを進めるとともに、既存の補助金に加算をすることにより移住促進と子育て支援を図る。
【効果】
 ・安曇野の自然環境や景観を維持しながら、適正かつ合理的な土地利用の実現に資することができる。
 ・暮らしやすさと産業発展のバランスがとれた田園産業都市の基盤づくりを推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市民や開発事業者に対し、資料等を用いてより分かりやすく丁寧な説明をする。
 ・係内で情報を共有することにより、土地利用制度の適正な運用を図る。
 ・対象区域において新たに住宅を新築又は新築住宅の購入をし住民登録をした者へ補助金(200千円/戸)を交付する。
 ・従来の補助金(200千円)に加え、市外からの転入100千円、未就学児100千円/1人(最大2人まで)の補助金を交付する。

【詳細事業内訳】
 ・土地利用調整事業 383千円 ・拠点地域等住宅購入費助成事業 46,700千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	40	職員研修旅費				
11	需用費	100	事務用品・参考図書				
14	使用料及び賃借料	52	窓口案内用パソコン賃借料				
19	負担金補助及び交付金	46,891	職員研修費負担金191千円 拠点地域等住宅購入費補助金46,700千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	拠点地域等住宅購入費助成事業	対象区域において、住宅を新築又は新築住宅の購入をし住民登録をした人へ補助金(200千円/戸)を交付することにより、対象区域への居住誘導を促し拠点集約型のコンパクトなまちづくりが図られる。 また、転入者、未就学児を対象に補助金を加算することで、若い世帯の転入促進が図られる。	19	負担金補助及び交付金	46,700	
					計	46,700	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(4)	コード	11004300
		課・係等	建築住宅課 住宅係

予算書ページ	259
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108205	耐震化推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	48,438	17,947	13,540	0	0	16,951
前年度	20,698	6,299	7,199	0	0	7,200
増減額	27,740	11,648	6,341	0	0	9,751

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	16,281							
14	宅地耐震化推進事業	1,666								
15	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金	13,540								

【目的・効果】
 建築住宅課 開発調整係
【目的】
 ・大規模な盛土を行った造成地は、大地震の際に滑動崩落等の恐れがあることから、国の定めた要件に該当する盛土造成地の有無を把握し、調査結果に基づくマップを作成・公表することにより住民への情報提供を図る。
【効果】
 ・大規模盛土造成地マップを作成・公表することで、住民の防災意識向上と安心・安全に暮らせるまちづくりの推進が図られる。

建築住宅課 住宅係
【目的】
 ・市内の既存建築物の耐震性能を確保するため、昭和56年5月31日以前に建設された住宅・建築物の耐震診断の実施と、その結果に基づく耐震改修を促進する。
【効果】
 ・耐震性能の向上を図ることで今後予想される地震災害から市民の生命・財産が守られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 建築住宅課 開発調整係
 ・調査対象地域の設定と、盛土造成地の位置と規模の把握を行い、大規模盛土造成地を抽出する。
 ・大規模盛土造成地マップを作成し、住民等への周知・普及を図る。

建築住宅課 住宅係
 ・昭和56年5月31日以前に建設された木造戸建住宅所有者の申し出により、市が耐震診断士を無料で派遣する。また、木造戸建以外の住宅については、耐震診断・耐震設計を実施する所有者に対して補助を行う。
 ・耐震診断の結果、耐震性が低い住宅において一定の効果のある耐震補強工事に対する補助を行う。

【詳細事業内訳】
 住宅・建築物耐震改修促進事業 43,438千円 宅地耐震化推進事業 5,000千円

【一般財源増加理由】
 ・宅地耐震化推進事業は、実施計画に基づき新規に行う事業であるため。
 ・耐震診断の実施件数及び耐震改修工事補助金の件数を増やしたため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	76	耐震改修フォローアップ等通知郵送料76千円				
13	委託料	27,784	診断士による木造住宅等耐震診断事業委託(356件)22,784千円 大規模盛土造成地変動予測調査業務委託料 5,000千円				
19	負担金補助及び交付金	20,578	耐震補強工事補助金20,000千円 その他住宅耐震診断・耐震設計補助金578千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	住宅・建築物耐震改修促進事業	耐震診断により住宅の安全性を確認し、診断結果により行う耐震補強工事に対し補助を行う。市内の住宅の耐震化を進めることで市民の生命・財産が守られる。	12	役務費	76
				13	委託料	22,784
				19	負担金補助及び交付金	20,578
					計	43,438
2						
					計	0

予算書ページ	259
--------	-----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011004300
		課・係等	建築住宅課 住宅係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108207	災害危険住宅移転事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,992	1,996	998	0	998
前年度	0	0	0	0	0
増減額	3,992	1,996	998	0	998

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	災害危険住宅移転事業補助金	1,996							
15	災害危険住宅移転事業補助金	998								

【目的・効果】
【目的】
 ・土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づき知事が指定した土砂災害特別警戒区域内に居住する方の安全な地域への移転を促進する。
【効果】
 ・土砂災害による住宅等の被害から、市民の生命・財産が守られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 30年度の移転希望(1件)に対し、災害危険住宅移転事業(既存住宅の除却費と移転後の住宅建築費)の補助を行う。

【詳細事業内訳】
 災害危険住宅移転事業 3,992千円

【一般財源増加理由】		新規の為							
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	3,992	災害危険住宅移転補助金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	011004300
課・係等	建築住宅課 住宅係

予算書ページ	267
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	05	住宅費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	住宅管理費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108290	住宅管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	54,379	8,258	0	0	46,121	0
前年度	55,492	6,405	0	0	49,087	0
増減額	△ 1,113	1,853	0	0	△ 2,966	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
13	公営住宅駐車場使用料	3,298	14	公営住宅等ストック総合改善事業補助金	8,258					
13	公営住宅使用料滞納繰越分	1	20	太陽光発電売電等	242					
13	公営住宅駐車場使用料滞納繰越分	1	20	市営住宅等一時使用料	1					

【目的・効果】
【目的】
 安全で快適に暮らせる住環境を確保するため、市営住宅14か所、特定公共賃貸住宅2か所の維持管理を行う。
【効果】
 住宅に困窮する低額所得者に対し、市営住宅を低廉な家賃で賃貸することで、セーフティーネットの役割を持ち、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・入居の募集、入居決定、入退きの立会いを行う。
 ・入居者が快適に生活できるよう、建物、遊具、敷地内全般の維持管理・修繕を実施する。
 ・県営住宅アルプス団地協働建替え事業の3号棟・4号棟の完成に伴い、移転可能な市営住宅入居者の移転を行う。

【詳細事業内訳】
 公営住宅等維持管理事業 26,256千円 公営住宅等長寿命化事業 26,653千円 公営住宅整備事業 1,470千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	24	住宅維持管理等説明会参加旅費24千円				
11	需用費	13,837	参考図書他99千円、施設修繕費13,525千円、電気料112千円、住宅使用料納入通知書等印刷101千円				
12	役務費	1,423	遊具点検44千円、施設点検等手数料813千円、火災保険料566千円				
13	委託料	3,831	消防施設点検、草刈・植栽剪定他、田沢団地・一日市場団地改修工事設計監理業務委託 3,831千円				
15	工事請負費	33,767	田沢団地・一日市場団地改修工事、追分団地改修工事 33,767千円				
16	原材料費	27	市営住宅敷地用砕石27千円				
22	補償補填及び賠償金	1,470	市営アルプス団地移転補償料1,470千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額		
1		公営住宅等長寿命化事業	市営住宅等を安全で快適な住まいとして長きにわたり確保するため、安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく修繕及び耐久性の向上等を図る改善を行うことで、更新コストの削減と事業量の平準化を図る。	15	工事請負費	21,120		
				11	需用費	3,803		
				13	委託料	1,730		
					計	26,653		
2					計	0		

上下水道部

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011101100		予算書ページ	193
		課・係等	経営管理課 庶務担当(上下水)			

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	上水道費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	上水道施設費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0104300	水道事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	314,562	0	0	255,200	0	59,362
前年度	175,362	0	0	116,000	0	59,362
増減額	139,200	0	0	139,200	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	一般会計出資債(上水道分)	255,200							

【目的・効果】
 水道水給水体制の整備・充実を図るとともに水道事業の財政的安定化を図る。
 貴重な資源である地下水の有効利用を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 水道ビジョンに沿った事業計画を進めるに際し、水道事業統合による豊科・明科整備事業を行うため出資を行う。
 また、水道事業の経営安定化のため、下水道事業に係る水道施設減耗補償分の負担を行う。

【詳細事業内訳】
 水道事業負担金 59,362千円 水道事業出資金 255,200千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	59,362	下水道減耗補償等負担金				
24	投資及び出資金	255,200	豊科・明科地域施設整備事業				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1		水道事業出資金	水道事業の統合により明科地域から豊科地域への送水ができるようになるため、災害時において豊科犀川右岸地域の水量を確保するため、田沢橋東の豊科光地区へ送水を行う。このため豊科・明科の送水管の布設、豊科配水池等の整備を行う。	24	投資及び出資金	255,200	
					計	255,200	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(4)	コード	011101100
		課・係等	経営管理課 庶務担当(上下水)

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	05	下水道事業費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0108270	下水道事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,189,031	0	0	0	0	2,189,031
前年度	2,222,900	0	0	0	0	2,222,900
増減額	△ 33,869	0	0	0	0	△ 33,869

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 下水道処理施設・下水管路の整備と適切な維持管理を図り、公共用水域の水質保全を図る。
 下水道接続の促進による下水道事業の経営の安定化に努め、快適な生活環境の持続を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 下水道事業の経営安定化のため、経費の負担区分に基づき一般会計が負担することとされている経費について「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)の基準の定めにより繰出しを行う。

【詳細事業内訳】
 下水道事業繰出金 2,189,031千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		28	繰出金	2,015,031	下水道事業繰出金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

会計課

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	011201100
課・係等	会計課 出納係

予算書ページ	75
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	04	会計管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102240	会計管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,224	0	0	0	1,301	6,923
前年度	10,966	0	0	0	1,301	9,665
増減額	△ 2,742	0	0	0	0	△ 2,742

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	財務会計処理実費徴収	1,300							
20	会計雑入	1								

【目的・効果】
【目的】
 ・市財務規則等にとり、適正に市会計事務全般を処理する。
【効果】
 ・適正な財政運営のための基本である、公金の適正な管理を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・現金及び物品等の出納事務
 ・伝票等の審査事務
 ・決算書の調製
 ・基金等の管理、運用

【詳細事業内訳】
 会計管理事務8,224千円

【一般財源増加理由】 八十二銀行から支所宛集配金手数料の依頼が来ているため計上。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,844	窓口対応臨時職員 1,748、源泉徴収票送付事務臨時職員 96				
09	旅費	56	NOMA研修旅費1名2回分(名古屋市)				
11	需用費	3,659	消耗品費740(事務用品外200、参考図書外40、文書保存用指定物品500)、印刷製本費2,889(決算書外836、指定物品2,053)、物品修繕費30(製本機外)				
12	役務費	2,520	振込手数料外360、派出派遣手数料2,160				
14	使用料及び賃借料	72	ハイラインサービス(支払データ伝送用)65、ANSERサービス(口座残高確認用)7				
19	負担金補助及び交付金	63	NOMA研修負担金2回分				
22	補償補填及び賠償金	10	欠損補填金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

教育部(教育委員会)

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301100
課・係等	学校教育課 教育総務係

予算書ページ	277
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	教育委員会費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110010	教育委員会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,917	0	0	0	0	5,917
前年度	5,975	0	0	0	0	5,975
増減額	△ 58	0	0	0	0	△ 58

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に定められた教育委員会の活動に必要な経費を支出する。
【効果】
 ・教育委員会の職務である学校等の教育機関を管理し、学校の組織編制、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教職員の身分の取扱いに関する事務、並びに社会教育その他の教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・教育委員4人の報酬等の支出
 ・学校教職員初任者研修の実施
 ・全国都市教育長協議会定期総会、関東甲信越静岡市町村教育委員会研修会総会等への参加
 ・定例・臨時教育委員会、総合教育会議の開催
 ・教育関係者による活力ある小中学校のあり方検討
 ・長野県市町村教育委員会連絡協議会等への負担金の支出

【詳細事業内訳】
 教育委員会費 5,917千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	3,322	教育委員4人報酬			19	負担金補助及び交付金	476	県市町村教育委員会連絡協議会、会議・研修等参加負担金		
08	報償費	382	活力ある学校のあり方検討会議有識者謝礼、教育委員会事務事業点検評価有識者謝礼等								
09	旅費	467	教育委員、事務局職員研修会等旅費								
11	需用費	304	事務用品、教育長会議贈、教育要覧印刷代等								
12	役務費	17	元市内小中学校長逝去に伴う弔電								
13	委託料	944	教育委員会会議、総合教育会議反訳委託料等								
14	使用料及び賃借料	5	研修会等駐車料金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	教育委員会費	・活力ある学校のあり方検討会議(継続) 教育的な視点から少子化に対応した活力ある学校づくりのための方策を教育関係者により検討する。	08	報償費	311
					計	311
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	011301300			予算書ページ	279
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当				
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110015	事務局費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	233,848	0	0	0	37,983	195,865
前年度	285,832	0	0	0	77,555	208,277
増減額	△ 51,984	0	0	0	△ 39,572	△ 12,412

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	入学準備金貸付基金利子	226							
18	入学準備金貸付基金繰入金	26,000								
20	入学準備貸付金	11,757								

【目的・効果】
 学校教育課 学校庶務担当
 教育委員会事務局として活動を進めるための予算を計上し、学校教育の充実を図るとともに学校・家庭・地域と連携して特色ある学校づくりを目指す。
 高校や大学等への入学に要する費用の支出が困難な家庭に対して入学準備金の貸し付けを無利子で行い、未来を担う人材の育成に寄与する。

学校教育課 学校教育係
 教育委員会事務局として必要な活動を進めるための予算を計上し、学校教育の充実を図るとともに学校・家庭・地域と連携して特色ある学校づくりを目指す。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 学校教育課 学校庶務担当
 事務局として必要な経費を計上する。
 市校長会等への負担金及び交付金を支出する。
 県大会以上の大会出場における補助及び私立高等学校への運営補助金を交付する。

学校教育課 学校教育係
 ・教育委員会へセンターサーバを設置し、各学校の情報共有、セキュリティの確保、高速化を推進する。
 ・学校図書館システム等の共通管理システムと学校ネットワークの一元管理を図る。
 ・児童、生徒の安全対策を図るため、熊よけ鈴の配布、学校安全マップの作成、学校安全連絡網メール配信システムの活用、安曇野市交通安全推進協議会通学路交通安全部会による通学路合同点検などによる安全確保を進める。

【詳細事業内訳】
 事務局費総務 208,671千円 学校システム管理事業 21,280千円 学校安全対策事業 3,897千円

【一般財源増加理由】 入学準備金貸付制度を設けたことによる

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	105	通学区域審議会	11	需用費	2,768	事務用・就学相談用・公用車用消耗品、参考図書、公用車燃料、公用車修繕/学校安全対策用品、緊急無線通報システム修繕、通学路安全マップ、交通安全標識修繕
02	給料	75,195	職員給与	12	役務費	3,575	電話、公用車車検等手数料、公用車自賠責保険/学校インターネット回線利用料、害虫駆除
03	職員手当等	36,450	諸手当	13	委託料	4,507	入学通知作成/センターサーバ保守、ネットワーク機器保守、緊急無線通報システム教室名変更、GIS通学路データ保守
04	共済費	24,309	共済組合	14	使用料及び賃借料	16,691	センターサーバ、図書館システム、図書館システムソフトウェア使用料、学校安全メール配信システム
07	賃金	10,928	教育指導員、一般事務	15	工事請負費	756	通学路標識設置
08	報償費	3,092	講演会等講師謝礼、就学相談員・調査員謝礼等/通学路交通安全部会	19	負担金補助及び交付金	17,226	小中学校校長会等負担金、各種大会等出場補助、私立高等学校運営補助等
09	旅費	195	職員研修、講演会講師	21	貸付金	26,000	高校、専門学校、短大、大学入学準備金

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	入学準備金貸付制度	高校や大学等への入学に要する費用の支出が困難な家庭に対して入学準備金の貸し付けを無利子で行い、未来を担う人材の育成に寄与する。	21	貸付金	26,000
				計		26,000
2	ソフト	学校システム管理事業	各学校設置のサーバ、ネットワークの統合を推進し、教育委員会でシステムの一元管理を行うことで、セキュリティの強化と機能の充実を図る。	12	役務費	1,799
				13	委託料	3,837
				14	使用料及び賃借料	15,644
				計		21,280

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301200
課・係等	学校教育課 教育指導室

予算書ページ	281
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110020	学校支援員配置事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	148,044	685	0	0	0	147,359
前年度	146,265	255	0	0	0	146,010
増減額	1,779	430	0	0	0	1,349

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	小中学校看護師配置事業補助金	685							

【目的・効果】
【目的】
 ・障害者差別解消法の施行に加え、インクルーシブ教育の浸透によるよりきめ細やかな支援について保護者からの要望も高くなっているため、各学校に支援員外を配置することにより、不登校や心身障がい児等、配慮を要する児童生徒への支援や教科指導を充実させる。また、スクールカウンセラーを派遣し、教育相談の充実を図る。
【効果】
 ・教諭の補助的な支援により、指導内容が広がるとともに、少人数による行き届いた支援が可能となる。
 ・児童生徒の個々に応じた指導や支援により、安全で適切な教育が実現する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・特別支援学級支援員、障がい児支援員、中間教室支援員、学力向上支援員については、市内17校の学校長ヒアリングを実施し、審議の上で配置(任務及び人数と時間数)を決定。人選については校長会に依頼。
 ・スクールカウンセラーについては、県からの派遣のみでは対応できない学校に市から派遣し、全学校に配置できるようにしている。
 ・小中学校の実情や要望により障がい児等指導相談員を派遣し、教職員や保護者への支援・助言・相談を実施している。
 ・放課後学習室は、全小学校で放課後に実施。校長会と連携し指導者を派遣している。

【詳細事業内訳】
 学校支援員配置事業 148,044千円

【一般財源増加理由】	臨時職員賃金(月額、時間給)の給与改定、医療支援員(看護師)の勤務日数増による										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	142,463	特別支援学級支援員、障がい児支援員、中間教室支援員、学力向上支援員、医療支援員(看護師)、スクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター賃金								
08	報償費	4,872	スクールカウンセラー、障がい児等指導相談員(作業療法士他)、放課後学習室支援員								
09	旅費	666	スクールカウンセラー、障がい児等指導相談員(作業療法士他)、スクールソーシャルワーカー・不登校支援コーディネーター他旅費								
11	需用費	43	放課後学習室 指導員用消耗品								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	学校支援員配置事業	年々増加する発達障がいや、医療支援等の身体的な配慮を要する児童生徒に、支援員による個別対応を行うことで、当該児童生徒の安定した生活や周りの児童生徒の落ち着いた環境を作り、学校全体の生活・学力の向上を図る。	07	賃金	142,463
				08	報償費	4,872
				09	旅費	666
				11	需用費	43
					計	148,044
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301400
課・係等	学校教育課 学校教育係

予算書ページ	283
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110025	コミュニティスクール事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,675	0	0	0	0	9,675
前年度	8,425	0	0	0	0	8,425
増減額	1,250	0	0	0	0	1,250

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校・地域・家庭が一体となり、子どもの育てる連携体制の強化を図り、児童・生徒の育成環境の充実に向け、開かれた学校づくりを進め子ども達の「生きる力」を育む学校教育を推進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・学校支援プログラムによるボランティア派遣の実施。
- [学習活動][子ども安全見守り][総合的な学習・読書活動][環境整備][課外活動・部活動][日本語支援][障がいのある児童生徒支援][不登校の児童生徒支援][放課後活動]
- ・実行委員会による学校支援の企画事業評価の実施。
- ・地域教育協議会による学校運営の理解、参画、学校支援、学校関係者評価の実施。
- ・地域コーディネーター及びボランティア養成講座の開催。
- ・立志塾の開催支援。
- ・子どもと保護者を対象とした安全対策講習会の実施。

【詳細事業内訳】

コミュニティスクール事業 9,675千円

【一般財源増加理由】 中学生の自主的な朝の活動を支援するため、「朝の校内活動見守り活動」の取組みを追加したこと

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	9,135	学校支援活動、コーディネーター、実行委員、協議会委員、子ども安全対策講習会、部活動外部指導者、立志塾講師外謝礼				
09	旅費	195	子ども安全対策講習会講師				
11	需用費	30	事業用消耗品				
12	役務費	315	地域教育協議会ボランティア保険料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	コミュニティスクール事業	教職員が行っていた中学校の「朝の活動の安全見守り」に学校応援隊として地域の方々が支援していただくことにより、教職員の勤務時間の削減を図る。(1校当たり2人:年間200時間)	08	報償費	9,135
				09	旅費	195
				11	需用費	30
				12	役務費	315
					計	9,675
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301200
課・係等	学校教育課 教育指導室

予算書ページ	283
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110030	教育支援センター運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,685	0	0	0	0	10,685
前年度	10,711	0	0	0	0	10,711
増減額	△ 26	0	0	0	0	△ 26

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
 平成28年4月より「教育支援センター」を開設し、「適応指導教室」と「教育相談室」を設置。
 ○適応指導教室
【目的】学校に行けない不登校の児童生徒が通い、学習指導や適応指導等をうけながら学校復帰を目指す。
【効果】不登校児童生徒の引きこもりを防止できる。学習の場を保障できる。学校との連携により、学校登校者が増える。
 ○教育相談室
【目的】児童生徒や保護者等の教育全般に関する相談を行なう。(いじめ相談ホットライン含む)
【効果】適応指導教室とも連携して学校不適応に対応できる。また、児童生徒、保護者、教職員等からの幅広い相談に対応し、学校生活を充実したものとするための支援ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・適応指導教室職員体制:適応指導員(非常勤)4名(内訳:月給2名・時給2名)。
 ・教育相談室職員体制:教育相談員(非常勤)4名(内訳:月給1名・時給3名)。
 ・開室日:原則として、学校の登校日。(夏季休暇中の特別開室もあり)。
 ・教育支援センターの運営経費を支出する。

【詳細事業内訳】
 教育支援センター運営事業 10,685千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	8,816	適応指導教室職員(適応指導員)、教育相談室職員(教育相談員)賃金						
08	報償費	1,465	適応指導教室実習講師謝礼、教育相談員謝礼						
09	旅費	8	教育支援センター職員旅費						
11	需用費	246	適応指導教室の施設管理用品・実習用品・教材等、教育相談室事務用品、施設小破修繕費						
12	役務費	150	適応指導教室、教育相談室、いじめ相談専用電話料						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	教育支援センター運営事業	不登校児童生徒にとって学校と家庭との中間的な役割を果たすことで学校への復帰を促す。また、面談他によって未就学家庭から一般の家庭までの相談を受け付け、相談内容に応じて学校につなぐ等、必要な支援を行う。	07	賃金	8,816
				08	報償費	1,465
				11	需用費	246
				12	役務費	150
					計	10,677
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	283
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110035	学校バス運行事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	94,409	0	0	0	0	94,409
前年度	90,451	0	0	0	0	90,451
増減額	3,958	0	0	0	0	3,958

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

遠距離通学になる児童生徒が安全で安心した通学が行えるようにスクールバスを運行する。
市バス又は民間バスを利用して学校行事における児童生徒の運搬を行い、保護者負担の軽減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

市バスと業者バスを併用してスクールバスを運行する。利用者増により2つの路線で運行台数が増える。また、大口沢から通学する児童がいるため、スクールタクシーを運行する。
学校の行事に対するバスについては、一定の基準を設けて市バス又は民間バスを利用した児童生徒の運搬を行う。

【詳細事業内訳】

学校行事バス運行事業 12,203千円 スクールバス運行事業 82,206千円

【一般財源増加理由】 利用者増により運行するバス等が増えたことによる

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,827	車両関係消耗品、燃料、車両修繕				
12	役務費	509	車検等点検手数料、自賠責保険				
13	委託料	84,822	スクールバス運行業務、学校行事バス運転業務				
14	使用料及び賃借料	7,128	学校行事バス借り上げ				
27	公課費	123	重量税				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	スクールバス運行事業	遠距離通学になる児童生徒が安全で安心した通学が行えるようにスクールバスを運行する。	11	需用費	1,187
				12	役務費	509
				13	委託料	80,387
				27	公課費	123
					計	82,206
2	ソフト	学校行事バス運行事業	市バス又は民間バスを利用して学校行事における児童生徒の運搬を行い、保護者負担の軽減を図る。	11	需用費	640
				13	委託料	4,435
				14	使用料及び賃借料	7,128
					計	12,203

重点的に推進する取組み (3)

コード 011301300
課・係等 学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ 285

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	住宅管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110040	教職員住宅運営事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,120	0	0	0	7,120
前年度	14,216	0	0	0	8,902
増減額	△ 7,096	0	0	0	△ 1,782

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	教員住宅貸付料	7,108							
20	その他雑入(学校教育課)	12								

【目的・効果】
県内各地から安曇野市立学校に配属された教職員の赴任に要する住宅を整備することにより、教職員の勤務(居住)環境の充実が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
○住宅の保守・点検・修繕により居住環境を整える。

【詳細事業内訳】
教職員住宅運営事業 7,120千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	3,735	管理用消耗品、住宅修繕、電気料						
12	役務費	870	点検・清掃作業						
13	委託料	920	排水設備清掃、消防設備等点検、工事設計						
15	工事請負費	1,295	住宅営繕工事						
18	備品購入費	300	給湯器						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301500
課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算書ページ	287
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110045	給食センター総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	152,561	0	0	0	0	152,561
前年度	153,210	0	0	0	1	153,209
増減額	△ 649	0	0	0	△ 1	△ 648

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市内4か所の学校給食センターの運営を円滑に実施する。
【効果】
 ・人件費等学校給食全体監理に係る事業費であり、職員への衛生管理・安全作業を徹底し安全で安心な給食を提供する。
 ・学校給食費の口座振替の推進と未納者対策の強化。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・学校給食センター運営委員会運営事業
 ・安全な食材への取り組み(放射性物質検査)
 ・学校給食提供非常勤職員雇用管理
 ・学校給食栄養士の資質向上
 ・学校給食費口座振替の納付関連事業

【詳細事業内訳】
 学校給食費徴収事業 1,032千円 給食センター総務費 151,529千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	140	学校給食センター運営委員会委員報酬			12	役務費	664	システム回線通信料、口座振替・口座送金手数料		
02	給料	22,429	職員			13	委託料	415	学校給食会計監査資料作成委託		
03	職員手当等	11,094	職員			19	負担金補助及び交付金	65	県学校栄養職員部会負担金外		
04	共済費	6,913	職員			27	公課費	5	収入印紙代		
07	賃金	110,387	非常勤職員賃金								
08	報償費	54	学校給食会計監査謝礼外								
11	需用費	395	口座振替納付関連様式印刷費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301500
課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算書ページ	289
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110050	北部給食センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	44,665	0	0	0	13	44,652
前年度	42,810	0	0	0	13	42,797
増減額	1,855	0	0	0	0	1,855

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	食用廃油売渡し収入		13						

【目的・効果】
【目的】
 ・北部学校給食センターにおいて、管内の小中学校へ学校給食を安定的に提供できるよう施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・穂高南小学校・穂高北小学校・穂高西小学校・穂高東中学校・穂高西中学校へ、安全・安心でおいしい給食を提供する。
 ・食育の推進、地産地消の推進等の継続充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 [北部学校給食センター]
 (1)対象校:穂高南・北・西小学校、穂高東・西中学校
 (2)用地:安曇野市穂高9747番地(5,991.02㎡)
 (3)概要:鉄骨造一部二階建て 延床面積2,091.65㎡
 (4)県築年:平成24年1月31日竣工(4月1日稼働)
 (5)規模等:最大3,500食(H28.4.1現在2,870食)
 オール電化施設

【詳細事業内訳】
 北部給食センター管理運営費 44,665千円

【一般財源増加理由】 劣化の激しい給食用食器 ポールの購入(買い替え)のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	28,188	調理器具・洗浄機関係等消耗品費(給食用食器 購入 3,759千円)、燃料費、光熱水費、施設器具等修繕費。				
12	役務費	1,273	保菌検査手数料等。				
13	委託料	14,270	施設設備・調理備品等の管理運営。				
14	使用料及び賃借料	134	コピー機の借上料及び使用料。				
18	備品購入費	713	角型食缶の購入。				
27	公課費	87	公用車・配送車重量税。				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	北部給食センター管理運営費	当施設は「オール電化」であり、年度契約電力を1日の内30分オーバーすると契約がランクアップ(年度間1,000千円単位で増額)する。調理に一度に大量の電力を使用しない等節電を心がけ電気料削減に繋げる。	11	需用費	28,188
				12	役務費	1,273
				13	委託料	14,270
				18	備品購入費	713
					計	44,444
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301500
課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算書ページ	289
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110055	堀金給食センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,403	0	0	0	2	20,401
前年度	21,027	0	0	0	2	21,025
増減額	△ 624	0	0	0	0	△ 624

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	食用廃油売渡し収入		2						

【目的・効果】
 目的
 ・堀金学校給食センターが、管内の学校へ安全に給食を提供できるように施設及び環境を整備する。
 効果
 ・堀金小・中学校へ安全・安心・おいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消の推進等

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①対象校:堀金小学校・堀金中学校
 ②用 地:安曇野市堀金烏川3000番地
 ③施設概要:鉄骨造1階建て 延床面積752㎡
 ④建築年:平成17年3月23日(竣工)
 ⑤調理規模:最大1,100食
 (H27.4月現在1,000食、2校34クラス分)
 ⑥公用車等:コンテナ車1台(配送業務は直営で実施)
 軽貨物車1台
 ⑦付帯設備:特になし
 ・学校給食提供に伴う施設及び物品等の整備による
 環境維持・ホワイ-等の点検整備委託

【詳細事業内訳】
 堀金給食センター管理運営費 20,403千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	14,768	調理器具・洗浄機関係消耗品・燃料費・光熱水費施設及び器具等の修繕11-01食器(特注どんぶり購入)1,124千円						
12	役務費	1,056	保菌検査手数料等						
13	委託料	4,357	施設設備・調理備品等の管理運営						
14	使用料及び賃借料	175	コピー機・印刷機等の借上げ料及び使用料						
27	公課費	47	公用車・配送車重量税						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	堀金給食センター管理運営費	【事業内容】 平成29年度に引き続き、特注柄どんぶりが開所以来購入していないため、安全で安心な給食を提供するうえで不可欠であり1,000枚の購入を重点事項に掲げる。 【効果】 堀金学校給食センター管内の2校の食器が新しく入れ替わることで、安全で安心な給食が提供できる。	11	需用費	14,768
				12	役務費	1,056
				13	委託料	4,357
				14	使用料及び賃借料	175
					計	20,356
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301500
課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算書ページ	291
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110060	中部給食センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	40,852	0	0	0	410	40,442
前年度	46,377	0	0	0	409	45,968
増減額	△ 5,525	0	0	0	1	△ 5,526

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	太陽光発電売電収入	400							
20	食用廃油売渡し収入	10								

【目的・効果】
【目的】
 ・中部学校給食センターにおいて、所管する学校へ学校給食をできるように施設及び環境を整備する。
【効果】
 ・所管する小・中学校へ安全で安心なおいしい給食の提供
 ・食育の推進、地産地消等

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①対象校 豊科北小、豊科東小、明北小、明南小、豊科北中、豊科南中、明科中
 ②施設概要 鉄骨一部2階建て 延床面積1,951㎡
 ③建築年 平成19年8月1日(竣工)
 ④調理規模 1日約2,350食、7校85クラス
 ⑤公用車等 配送車3台、軽自動車1台
 ⑥付帯設備 太陽光発電システム90kw

【詳細事業内訳】
 中部給食センター管理運営費 40,852千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	26,273	調理用消耗品、電気料、上下水道料、ガス代、施設修繕、物品修繕								
12	役務費	1,966	給食従事者保菌検査、食品微生物検査、厨房フード清掃外								
13	委託料	11,821	機械設備保守点検業務、厨房機器保守点検業務外								
14	使用料及び賃借料	214	コピー機使用料								
18	備品購入費	497	給食配送用コンテナ1台								
27	公課費	81	給食配送車・公用車重量税								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301500
課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算書ページ	291
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110065	南部給食センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	44,417	0	0	0	410	44,007
前年度	46,440	0	0	0	409	46,031
増減額	△ 2,023	0	0	0	1	△ 2,024

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	太陽光発電売電収入	400							
20	食用廃油売渡し収入	10								

【目的・効果】

目的 管轄校(豊科南小学校・三郷小学校・三郷中学校)へ学校給食が安定的に供給できるように環境を整備する。

効果 管轄内の学校へ安心安全なおいしい給食の提供
 児童生徒への食育の推進
 地産地消の推進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ①対象校 豊科南小、三郷小、三郷中
- ②用地 三郷明盛84番地2
- ③施設概要 鉄骨造一部2階建 延床面積1,793㎡
- ④竣工年月日 平成19年7月25日
- ⑤調理規模 最大3,000食(H29.4月現在2,400食、69クラス)
- ⑥公用車等 配送コンテナ車2台 軽貨物車1台
- ⑦付帯施設 太陽光システム 90kw

【詳細事業内訳】

南部給食センター管理運営費 44,417千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	29,523	調理器具、食器・食缶洗浄機関係消耗品、光熱水費、施設修繕、厨房機器等の修繕				
12	役務費	2,032	給食用パン・麺輸送費、保菌検査手数料等				
13	委託料	11,866	施設設備、厨房機器備品等の点検委託				
14	使用料及び賃借料	205	コピー機等借り上げ及び使用料				
15	工事請負費	481	2階トイレ引き戸設置等				
18	備品購入費	260	サラダ室移動台車購入				
27	公課費	50	配送車重量税				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301400
課・係等	学校教育課 学校教育係

予算書ページ	285
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110070	学校保健事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35,877	0	0	0	0	35,877
前年度	34,507	0	0	0	0	34,507
増減額	1,370	0	0	0	0	1,370

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校における児童生徒の健康保持推進と疾病を予防するために学校保健安全法及び同法施行規則に基づき、毎年定期的に健康診断を実施する。教職員の健康診断及びカウンセリング事業を推進するほか、ストレスチェックを実施することにより心身の健康管理も進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童生徒については、学校医による健康診断(内科、耳鼻科、歯科、眼科)実施するほか、尿、心臓、血液の検査を実施する。
- ・教職員については、健康診断及びストレスチェックの推進を行うほか、必要に応じてカウンセリングも実施する。

【詳細事業内訳】

小学校保健指導事業費 19,746千円 教職員健康推進事業 5,246千円 中学校保健指導事業費 10,885千円

【一般財源増加理由】 オートクレープ、視力検査器などの備品購入費が増えたため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	13,063	小学校学校医、中学校学校医	18	備品購入費	2,253	オージオメーター、視力検査器、オートクレープ他保健指導備品
07	賃金	317	就学児健康診断事務				
08	報償費	3,962	小中学校管理医、就学児健康診断医師、歯科指導、看護師他				
11	需用費	778	就学児知能検査用紙、学校環境衛生用品、保健記録カード他印刷、学校健診器具修繕				
12	役務費	11,848	尿検査・心臓検診、オージオメーター検査、水質検査他				
13	委託料	3,652	教職員カウンセリング、教職員ストレスチェック、教職員健康診断、結核健康診断精密検査				
14	使用料及び賃借料	4	心臓検診送迎費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	293
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	011301300
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110075	小学校総務管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	273,697	0	0	0	625	273,072
前年度	268,461	0	0	0	95	268,366
増減額	5,236	0	0	0	530	4,706

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16	教員住宅貸付料	535								
20	小学校公衆電話料	10								

【目的・効果】
 学校教育課 学校庶務担当
 学校運営に必要な経費を計上し、児童が安全で安心した学校生活を行える環境を整えるとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

学校教育課 学校教育係
 学校運営に必要な経費のうち、小学校の総括した予算を計上することで児童が安全で安心した学校生活を送れる環境を整える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 学校教育課 学校庶務担当
 学校教育や教員のスキルアップに必要な講演会等を行うための経費を計上。
 学校運営や施設維持のために必要な経費の計上。
 学校に必要な備品購入にかかわる経費を計上。

学校教育課 学校教育係
 ・教育用パソコンの更新等を行い、情報機器(ICT)を活用した分かりやすい授業の推進を図る。
 ・校務用パソコンや管理ソフトウェアの更新、維持を行い、学校教職員の事務処理に係る負担軽減を図る。

【詳細事業内訳】
 堀金小学校総務管理費 12,796千円 豊科南小学校総務管理費 13,771千円 豊科東小学校総務管理費 9,117千円 小学校総務管理費 97,737千円 豊科北小学校総務管理費 13,031千円 明北小学校総務管理費 6,302千円 穂高南小学校総務管理費 15,066千円 穂高北小学校総務管理費 15,987千円 穂高西小学校総務管理費 12,762千円 明南小学校総務管理費 9,919千円 小学校情報教育推進事業 42,537千円 三郷小学校総務管理費 24,672千円

【一般財源増加理由】 情報教育に係る保守等の経費と学校管理備品の購入費用が増えた。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	60,841	学校事務、図書館司書、学校庁務員	18	備品購入費	16,877	学校管理備品(児童用机椅子、簡易テント、石油温風暖房機等)、パソコン等情報機器
08	報償費	2,833	講演会・講習会等講師謝礼、卒業記念品	19	負担金補助及び交付金	4,808	防火管理者、災害共済、水利組合等
09	旅費	649	市費非常勤職員、講演会講師等				
11	需用費	108,217	校用消耗品、燃料、小破修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕/情報機器等修繕費				
12	役務費	12,227	電話、庭木の手入れ、楽器調整、クリーニング、ワックスがけ、エアコンクリーニング等				
13	委託料	24,501	ごみ処理、学校警備、消防施設点検、電気工作物点検、エレベーター保守等/セキュリティ設定管理、ソフトウェア更新、学校サーバ保守				
14	使用料及び賃借料	42,744	学校用地、学校田・畑借上げ等/校務・教育用パソコンリース料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	小学校情報教育推進事業	パソコンやソフトウェア等の更新、維持を行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業の推進と教職員の事務処理に係る負担軽減を図り、子どもの充実した学校教育環境を整備する。	11	需用費	1,400
				13	委託料	6,431
				14	使用料及び賃借料	34,588
				18	備品購入費	118
					計	42,537
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	295
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110130	小学校教育振興費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	114,965	1,535	454	0	15,000	97,976
前年度	106,030	1,605	452	0	12,000	91,973
増減額	8,935	△ 70	2	0	3,000	6,003

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	特別支援教育就学奨励費補助金	714	18	ふるさと寄附基金繰入金	7,000					
14	理科教育設備整備費補助金	800								
15	被災児童生徒就学等支援事業補助金	454								

【目的・効果】

学校教育課 学校庶務担当
教育振興に必要な経費を計上し、教育活動の推進や設備の充実を図るとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

学校教育課 学校教育係
教育振興に関わる経費のうち、総括した予算を計上することで教育活動の推進や設備の充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校教育課 学校庶務担当
学力検査や体力テスト、ハイパーQU検査を行うための経費を計上。
吹奏楽の楽器等の修理や購入費用を計上。
学校ごとには教科用の消耗品及び備品の購入費用、図書購入費用を計上。

学校教育課 学校教育係
・外国語指導指導講師を配置し、児童の外国語活動、国際理解教育を進める。
・要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。(教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

【詳細事業内訳】

豊科北小学校教育振興費 3,302千円 穂高北小学校教育振興費 3,949千円 小学校外国語指導講師配置事業 27,595千円 小学校教科用指導書等購入事業 1,122千円 豊科東小学校教育振興費 1,939千円 穂高西小学校教育振興費 2,933千円 三郷小学校教育振興費 4,809千円 堀金小学校教育振興費 3,301千円 豊科南小学校教育振興費 3,814千円 小学校教育振興費 9,935千円 穂高南小学校教育振興費 3,488千円 明南小学校教育振興費 2,271千円 小学校就学援助事業 44,719千円 明北小学校教育振興費 1,788千円

【一般財源増加理由】		新学習指導要領の実施に伴う日本ALTの増員及び前年度実績による就学援助認定者増加								
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	7,520	英語指導教員				20	扶助費	44,719	要保護・準要保護就学援助費、特別支援教育就学奨励費
09	旅費	134	費用弁償(英語指導教員)							
11	需用費	17,449	教科用消耗品、吹奏楽の楽器及びピアノ修繕/英語指導教材							
12	役務費	4,848	標準学力検査、ハイパーQU検査、体力テスト							
13	委託料	19,700	外国語指導助手、外国語活動研修							
18	備品購入費	20,565	教育振興備品、吹奏楽の楽器							
19	負担金補助及び交付金	30	英語教育指導研修会							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	小学校外国語指導講師配置事業	新学習指導要領の実施に伴う英語教育の充実のため、日本人及び外国人外国語指導講師(ALT)を配置し、児童の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うと共に、英語教科化に向けての教職員の研修を実施する。	07	賃金	7,520
				09	旅費	134
				11	需用費	211
				13	委託料	19,700
					計	27,565
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	011301200			
		課・係等	学校教育課 教育指導室			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110185	通級指導教室事業			

予算書ページ	297
--------	-----

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	444	0	0	0	444
前年度	468	0	0	0	468
増減額	△ 24	0	0	0	△ 24

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・通常学級に在籍し、言語障害・学習障害・発達障害などの障がいをもつ児童のうち、比較的軽度の障がいがある児童に対して、各教科等の指導は通常の学級で行ないつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の指導の場として通級による指導を行なう。
【効果】
 ・言語障害(ことばの教室)、学習障害・発達障がい(まなびの教室)の2教室を運営し、個に応じた専門性の高い指導支援ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【施設概要 等】
 ・設置校:穂高北小学校(設置主体:県)
 ・ことばの教室職員体制:県教員1名、市費補助指導員1名
 ・まなびの教室職員体制:県教員1名、市費補助指導員2名
【事業概要】
 ・通級の可否を判定する運営委員会の開催。
 ・市費補助指導員への賃金の支払い。
 ・各教室運営のための教材等の整備。

【詳細事業内訳】
 通級指導教室事業 444千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
07	賃金	317			
11	需用費	127			

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	通級指導教室事業	県費加配担当教員に加え、市費補助指導員を配置し、個別の対応やグループソーシャルスキルトレーニングを行うことで、コミュニケーションスキルを向上し、学校・家庭生活になじめるように成長を促す。	07	賃金	317
				11	需用費	127
					計	444
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	297
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	37,731	0	0	0	0	37,731
前年度	41,210	0	0	0	0	41,210
増減額	△ 3,479	0	0	0	0	△ 3,479

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

小学校10校の施設を修繕することにより、安心・安全な学校生活ができる環境を提供できるとともに、施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 小学校10校の施設の修繕・改修工事の実施
- 安全点検の実施(遊具、他)

【詳細事業内訳】

小学校施設維持修繕事業 37,731千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	13,341	管理用消耗品、施設修繕				
12	役務費	570	施設点検・清掃作業				
13	委託料	6,850	除草等作業等(シルバー人材)、施設台帳作成、施設劣化状況調査、排水管清掃、設計・監理業務				
14	使用料及び賃借料	243	作業用重機借上				
15	工事請負費	16,727	施設営繕工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	297
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110195	小学校施設改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	746,061	106,086	0	175,100	160,000	304,875
前年度	177,701	38,176	0	42,100	50,000	47,425
増減額	568,360	67,910	0	133,000	110,000	257,450

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	学校施設環境改善交付金	106,086							
18	公共施設整備基金繰入金	160,000								
21	学校施設改修事業	175,100								

【目的・効果】

○小学校施設について、国が示す耐震性能を確保することで、安心・安全な施設環境を提供できる。
○老朽化した施設を改修することで、施設全体の長寿命化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【防災機能強化】

屋内運動場における天井材、照明器具等の非構造部材の耐震化工事の実施
設計:穂高南小学校体育館、堀金小学校体育館、明北小学校体育館
工事:豊科北小学校体育館、穂高北小学校体育館、穂高西小学校体育館

【長寿命化改良】

老朽化した校舎の長寿命化対策と老朽対策工事の実施
○調査:三郷小学校校舎劣化状況調査
○設計:穂高南小学校長寿命化改良工事(Ⅲ期)実施設計
○工事:穂高南小学校長寿命化改良工事(Ⅱ期)

【詳細事業内訳】

堀金小学校施設改修事業 2,355千円 明北小学校施設改修事業 1,674千円 豊科北小学校施設改修事業 59,952千円 豊科東小学校施設改修事業 8,587千円 穂高北小学校施設改修事業 31,536千円 穂高南小学校施設改修事業 588,311千円 穂高西小学校施設改修事業 35,674千円 三郷小学校施設改修事業 17,972千円

【一般財源増加理由】 穂高南小学校長寿命化改良工事の工事請負費の増、及び屋内運動場非構造部材耐震化工事の施工対象の増(1校)等による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	役務費	356	建築確認検査手数料				
13	委託料	72,906	工事設計・監理業務、校舎劣化状況調査				
15	工事請負費	672,799	非構造部材耐震化工事、長寿命化改良工事、他				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	防災機能強化(屋内運動場非構造部材耐震化)	災害発生時に避難所となる屋内運動場の天井材等の落下防止対策である非構造部材の耐震化を行い、安全・安心な施設環境を提供する。	13	委託料	11,699
				15	工事請負費	123,100
					計	134,799
2	ハード	長寿命化改良	校舎の長寿命化対策(コンクリートの中性化対策等)の実施と共に老朽対策を実施して、健全な施設環境を提供する。	4	手数料	356
				13	委託料	42,760
				15	工事請負費	541,588
					計	584,704

重点的に推進する取組み	(3)	コード	011301300	予算書ページ	299
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当		

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110205	中学校総務管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	212,720	0	0	0	665	212,055
前年度	224,852	0	0	0	185	224,667
増減額	△ 12,132	0	0	0	480	△ 12,612

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16	教員住宅貸付料	535								
20	中学校公衆電話料	50								

【目的・効果】
 学校教育課 学校庶務担当
 学校運営に必要な経費を計上し、生徒が安全で安心した学校生活を行える環境を整えるとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

学校教育課 学校教育係
 学校運営に必要な経費のうち、中学校の総括した予算を計上することで生徒が安全で安心した学校生活を送れる環境を整える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 学校教育課 学校庶務担当
 学校教育や教員のスキルアップに必要な講演会等を行うための経費を計上。
 学校運営や施設維持のために必要な経費の計上。
 学校に必要な備品購入にかかわる経費を計上。

学校教育課 学校教育係
 ・教育用パソコンの更新、維持や電子黒板等の情報機器(ICT)を活用した分かりやすい授業の推進を図る。
 ・校務用パソコンや管理ソフトウェアの更新、維持を行い、学校教職員の事務処理に係る負担軽減を図る。

【詳細事業内訳】
 中学校情報教育推進事業 47,375千円 豊科南中学校総務管理費 11,187千円 穂高西中学校総務管理費 13,963千円 穂高東中学校総務管理費 16,148千円 堀金中学校総務管理費 10,672千円 三郷中学校総務管理費 19,300千円 中学校総務管理費 73,673千円 豊科北中学校総務管理費 12,150千円 明科中学校総務管理費 8,252千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	42,500	学校事務、図書館司書、学校庁務員			18	備品購入費	14,813	学校管理備品(生徒用机椅子、石油温風暖房機)、パソコン等情報機器		
08	報償費	3,552	講演会・講習会等講師謝礼、卒業記念品			19	負担金補助及び交付金	2,604	防火管理者、災害共済		
09	旅費	745	市費非常勤職員、講演会講師等								
11	需用費	75,355	校用消耗品、燃料、小破修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕/情報機器等修繕費								
12	役務費	10,142	電話、庭木の手入れ、楽器調整、クリーニング、ワックスがけ、エアコンクリーニング等								
13	委託料	16,709	ごみ処理、学校警備、消防施設点検、電気工作物点検、エレベーター保守等/セキュリティ設定管理、ソフトウェア更新、学校サーバ保守								
14	使用料及び賃借料	46,300	学校用地/校務・教育用パソコンリース、電子黒板リース								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中学校情報教育推進事業	パソコンやソフトウェア等の更新、維持や電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業の推進と教職員の事務処理に係る負担軽減を図り、子どもの充実した学校教育環境を整備する。	11	需用費	1,000
				13	委託料	4,397
				14	使用料及び賃借料	41,860
				18	備品購入費	118
					計	47,375
2				14	使用料及び賃借料	
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	301
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110245	中学校教育振興費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	129,853	1,415	637	0	30,100	97,701
前年度	127,870	1,713	349	0	21,100	104,708
増減額	1,983	△ 298	288	0	9,000	△ 7,007

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
14	特別支援教育就学奨励費補助金	558	18	ふるさと寄附基金繰入金	13,000					
14	理科教育設備整備費補助金	800	18	青少年育成基金繰入金	2,000					
15	被災児童生徒就学等支援事業補助金	637	20	海外ホームステイ参加者負担金	2,100					

【目的・効果】

学校教育課 学校庶務担当
教育振興に必要な経費を計上し、教育活動の推進や設備の充実を図るとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

学校教育課 学校教育係
教育振興に関わる経費のうち、総括した予算を計上することで教育活動の推進や設備の充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校教育課 学校庶務担当
学力検査や体力テスト、ハイパーQU検査を行うための経費を計上。
吹奏楽の楽器等の修理や購入費用を計上。
学校ごとには教科用の消耗品及び備品の購入費用、図書購入費用を計上。

学校教育課 学校教育係
・外国語指導講師を配置し、中学校における英語教育の充実と国際理解を進める。
・英会話能力向上のための課外授業の実施。
・海外での語学(英語)体験を通じて、国際社会に対応できる人材の育成を図るための海外ホームステイ交流派遣事業の実施。
・要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。(教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

【詳細事業内訳】

中学生海外ホームステイ交流派遣事業 8,665千円 豊科北中学校教育振興費 4,433千円 中学校外国語指導講師配置事業 34,944千円 穂高西中学校教育振興費 4,579千円 中学校教育振興費 6,281千円 豊科南中学校教育振興費 4,342千円 明科中学校教育振興費 3,122千円 中学校就学援助事業 48,998千円 三郷中学校教育振興費 5,521千円 堀金中学校教育振興費 3,862千円 穂高東中学校教育振興費 5,031千円 中学校教科用指導書等購入事業 75千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	91	海外ホームステイ訪問学校記念品						
09	旅費	64	海外ホームステイ引率者日当						
11	需用費	16,490	教科用消耗品、吹奏楽の楽器/海外ホームステイ体験作文集						
12	役務費	3,290	標準学力検査、ハイパーQU検査、体力テスト						
13	委託料	43,343	外国語指導助手、英語課外授業、海外ホームステイアシスタント業務						
18	備品購入費	17,577	教育振興備品、吹奏楽の楽器						
20	扶助費	48,998	要保護・準要保護就学援助費、特別支援教育就学奨励費						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中学校外国語指導講師配置事業	新学習指導要領の実施に伴う英語教育の充実のため、外国人外国語指導講師(ALT)を各校に配置し、生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うと共に、英会話能力向上のため英語課外授業を各校で実施する。	13	委託料	34,944
					計	34,944
2	ソフト	中学生海外ホームステイ交流派遣事業	中学生が海外でのホームステイ経験を通じて、異なる文化、英会話の基礎を学び、グローバル化が進む現代社会において、すぐれた国際感覚とコミュニケーション力により活躍できる人材を育成する。	08	報償費	91
				09	旅費	64
				11	需用費	111
				13	委託料	8,399
					計	8,665

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	303
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,694	0	0	0	0	23,694
前年度	22,673	0	0	0	0	22,673
増減額	1,021	0	0	0	0	1,021

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

中学校7校の施設を修繕することにより、安心・安全な学校生活ができる環境を提供できるとともに、施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

中学校7校の施設の修繕・改修工事の実施

【詳細事業内訳】

中学校施設維持修繕事業 23,694千円

【一般財源増加理由】 施設修繕・工事費の増加による。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	7,985	管理用消耗品、施設修繕				
12	役務費	71	トイレ詰り対応、微量PCB混入検査				
13	委託料	3,107	除草作業等(シルバー人材)、排水管清掃、設計・監理				
14	使用料及び賃借料	162	作業用重機借上げ				
15	工事請負費	12,369	施設営繕工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み (3)

コード 011301300
課・係等 学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ 303

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110290	中学校施設改修事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	121,350	26,061	0	43,700	21,589
前年度	241,076	36,554	0	81,600	22,922
増減額	△ 119,726	△ 10,493	0	△ 37,900	△ 1,333

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	学校施設環境改善交付金	26,061							
18	公共施設整備基金繰入金	30,000								
21	学校施設改修事業	43,700								

【目的・効果】

- 中学校施設について、国が示す耐震性能を確保することで、安心・安全な施設環境を提供できる。
- 老朽化した施設・設備を改修することで、施設全体の長寿命化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【防災機能強化】

穂高西中学校講堂における天井材、照明器具等の非構造部材の耐震化工事の実施

【詳細事業内訳】

穂高西中学校施設改修事業 121,350千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	2,258	工事監理業務				
15	工事請負費	119,092	穂高西中学校講堂非構造部材耐震化工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	防災機能強化(屋内運動場非構造部材耐震化)	○穂高西中学校講堂 災害発生時に避難所となる屋内運動場の天井材等の落下防止対策である非構造部材の耐震化を行い、安心・安全な施設環境を提供する。	13	委託料	2,258
				15	工事請負費	119,092
					計	121,350
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	011302100		予算書ページ	139
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	児童館費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0103260	児童館運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	214,370	20,726	20,726	0	41,842	131,076
前年度	185,290	13,023	13,023	0	37,167	122,077
増減額	29,080	7,703	7,703	0	4,675	8,999

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
12	児童クラブ負担金滞納繰越分	1								
13	児童クラブ利用者負担金督促手数料	1								
14	子ども子育て支援交付金	20,726								

【目的・効果】

【目的】

・児童館、児童クラブ事業を行うことによる子育て支援の充実と、放課後の児童の安全な居場所の確保を図る。

【効果】

- ・児童館事業として子育て支援事業を広く展開することにより、子どもの健全な発達と子育て世代の母親の交流が図れる。
- ・児童クラブ事業を充実することにより、安心して働ける環境づくりができる。
- ・全館指定管理を行うことにより、提供するサービスの均一化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市内9児童館、10児童クラブを指定管理制度による指定管理委託により運営する。
- ・指定管理委託料が、人件費の増額に伴い増加した。
- ・児童クラブについては、利用者の増加及び障がい児受入れに伴う加配に対応するため、それに伴う増額経費を計上した。
- ・小学校内で児童クラブ実施場所を設置または増設となった教室には、エアコン設置工事費用を計上した。

【詳細事業内訳】

児童館運営事業(民間委託事業) 214,370千円

【一般財源増加理由】 指定管理委託料の人件費増額及び小学校内で児童クラブ実施場所を設置または増設となった教室に、エアコン設置工事の実施

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,725	児童クラブ事務非常勤職員賃金				
08	報償費	273	児童館職員研修会講師謝礼、建設検討委員会謝礼				
11	需用費	816	児童クラブ納付書用封筒、児童館施設修繕費				
13	委託料	203,407	児童館指定管理委託料				
14	使用料及び賃借料	478	児童館用地借地料				
15	工事請負費	7,388	豊科南小児童クラブエアコン設置、豊科東小児童クラブエアコン設置、穂高西小児童クラブエアコン設置他				
18	備品購入費	283	南穂高児童館遊具				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	児童館運営事業(民間委託事業)	児童クラブは、利用者が増加傾向にある。児童クラブを利用することにより、保護者は仕事に専念できる。	13	委託料	203,407
					計	203,407
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	139
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	児童館費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0103270	児童館整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	281	0	0	0	0	281
前年度	735	0	0	0	0	735
増減額	△ 454	0	0	0	0	△ 454

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・子育て支援の充実を図るために老朽化した穂高北部児童館の整備を行い、環境整備による子育て支援を行う。
【効果】
 ・新たに児童館を建設することにより、これまで欠けていた園庭、プレールーム等の施設が整備され、充実した環境下での子育て支援の児童館事業ができるようになる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高北部児童館を建設する用地を取得するにあたり、候補予定地の不動産鑑定を行う。

【詳細事業内訳】
 穂高北部児童館整備事業 281千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		13	委託料	281	不動産鑑定委託料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	307
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110305	社会教育総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	331,414	0	0	0	0	331,414
前年度	319,210	0	0	0	0	319,210
増減額	12,204	0	0	0	0	12,204

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○第2次総合計画の基本方針「学び合い人と文化を育むまち」を図るため、安曇野市教育大綱(安曇野市の教育)並びに第2次安曇野市生涯学習推進計画などの個別計画に基づく施策を進める体制などを統括する。
【効果】
 ○市民や各種団体との連携・協力により生涯学習の推進体制を構築し、組織の充実・強化が図られる。
 ○第2次安曇野市生涯学習推進計画に基づく、生涯学習活動の展開が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○社会教育に係る統括的総務事務を行う。
 ○社会教育に関する諸計画について、社会教育委員が審議する。
 ○第2次生涯学習推進計画(平成30年度～平成39年度)を生涯学習推進本部及び生涯学習市民会議とともに進捗管理、各種施策の検討等を行う。

【詳細事業内訳】
 社会教育総務事業 331,082千円 生涯学習推進計画 332千円

【一般財源増加理由】		人件費の増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	378	社会教育委員報酬			13	委託料	72	バス運転業務		
02	給料	179,499				14	使用料及び賃借料	5	有料駐車場代		
03	職員手当等	79,991				19	負担金補助及び交付金	52	社会教育委員連絡協議会負担金、社会教育研究大会参加負担金		
04	共済費	55,765									
07	賃金	14,911	社会教育指導員賃金								
08	報償費	115	生涯学習推進市民会議出席謝礼								
11	需用費	626	事務消耗品、生涯学習推進計画書印刷製本								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	社会教育総務事業	関東甲信越静、県及び中信地区協議会の研修会等への積極的な参加により、社会教育委員の活動の充実化を図る	01	報酬	378
				13	委託料	72
				19	負担金補助金及び交付金	52
					計	502
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	309
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110308	生涯学習推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,046	0	0	0	0	3,046
前年度	6,757	0	639	0	0	6,118
増減額	△ 3,711	0	△ 639	0	0	△ 3,072

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○第2次安曇野市生涯学習推進計画に掲げる「ふるさと安曇野をまるごと学びの場にして生きる」基本理念の実現に向けて施策を展開する。
【効果】
 ○市民の学習要望に応じる学習機会の充実が図れる。
 ○学習成果を活かし、支え合い認め合う協働のまちづくりが推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○安曇野アカデミー(講座)を新規に開催。風土を見つめふるさとを理解する内容で市民の学習要望に応じる。
 ○市民大学講座及び学校開放講座を開催し、市民の学習機会を充実させる。
 ○日本語教室を運営し、外国人住民への学習支援と日本語指導ボランティア講習会によりボランティアスタッフを育成する。
 ○芸術文化協会への補助金交付により運営を支援する。
 ○囲碁将棋大会実行委員会への補助金交付により大会を充実させる。
 ○安曇野市太鼓連盟ほかへの補助金交付により生涯学習団体を育成する。

【詳細事業内訳】
 社会教育団体支援事業 1,410千円 生涯学習講座実施事業 1,636千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	581	各種講座講師謝礼				
11	需用費	213	各種講座教材他、ポスター・チラシ印刷				
12	役務費	500	市民大学講座特別編(時勢)講師講演料				
13	委託料	342	日本語教室運営業務、安曇野アカデミー バス運行業務				
19	負担金補助及び交付金	1,410	囲碁将棋大会、太鼓連盟、芸術文化協会他				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 安曇野アカデミー	安曇野の歴史、伝統、文化、地域特色等について、テーマを設定し開催。地域知識を高めた市民の学習要望に応じるとともに、得た知識を活用し安曇野の魅力を広く発信していけるよう努める。	08	報償費	100	
				11	需用費	56	
				13	委託料	77	
					計	233	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)	コード	011302100
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	05	社会教育費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	人権教育推進費		基本施策	人権の尊重
	事業	0110365	人権教育推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,349	0	95	0	0	4,254
前年度	5,106	0	100	0	0	5,006
増減額	△ 757	0	△ 5	0	0	△ 752

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標「人権を尊重し差別のない明るい住みよい安曇野市の実現」のため、人権教育・啓発を推進する。
【効果】
 ○市民の人権意識を高めることができる。
 ○人権の理解から住みよい社会が形成される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○人権教育推進委員及び人権教育指導員の設置により人権教育の推進、振興に努める。
 ○人権教育講演会及び講座を開催し、人権意識の醸成を図る。
 ○人権・平和特別授業を開催し、児童への人権啓発を行う。
 ○人権尊重作文集を作成し・配付し、人権啓発を行う。
 ○大会及び研修会に参加し、人権問題への理解を深める。
 ○企業人権教育推進協議会を運営し、指導者の育成と情報提供を行う。
 ○人権集会所の維持管理を行う。

人権教育推進事業 2,508千円 人権啓発事業 1,348千円 人権集会所管理事業 493千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	2,492	人権教育推進協議会出席謝礼、人権教育講演会・講座講師謝礼、人権尊重作文集入選者記念品				
09	旅費	49	第69回全国人権研究大会(島根県)				
11	需用費	639	人権尊重作文集印刷、資料代、人権集会所光熱水費				
12	役務費	1,002	人権・平和特別授業講演料、人権集会所維持				
13	委託料	143	人権・平和特別授業バス運行業務、人権集会所消防設備点検				
14	使用料及び賃借料	22	人権・平和特別授業バス借上げ				
19	負担金補助及び交付金	2	安曇野市企業人権推進協議会負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	人権尊重作文集	市内小中学生の作品を応募し、人権尊重作文集を作成する。その文集を周知することで、市民の人権教育に対する関心を高め、人権が尊重される社会を目指す。	08	報償費	30
				11	需用費	195
					計	225
2					計	0

重点的に推進する取組み (3)

コード 011302100
課・係等 生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ 329

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110370	青少年健全育成費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,799	0	0	0	26	19,773
前年度	20,229	0	0	0	33	20,196
増減額	△ 430	0	0	0	△ 7	△ 423

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	参加者負担金	12								

【目的・効果】
【目的】
 ・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもが育つ町を目指す。
【効果】
 ・様々な体験学習を通して、集団での活動や世代間交流を進める機会を設けることができる。
 ・地域の人々とふれあう中で、様々なことを学ぶ機会が作れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地区子ども会育成会と連携し、地域で行われる行事についての手法・技術の講習会を行うことにより、人間性豊かな子どもを育て、地域を担う核となる子どもやリーダーの育成を図る。
 ・市内の子ども達が一堂に会し、日頃行っている活動を自由な発想で発表、展示する機会として子ども文化祭を開催する。
 ・子どもたちの創造性の発揮、コミュニケーション能力の向上、共同作業の楽しさを知ること、自分自身の新たな発見をすることを目的に子ども映画教室を開催し、子ども文化祭で発表する。
 ・地区子ども会育成会、市育成会連合会の活動を支援し、補助金を交付する。
 ・市全体の青少年健全育成の取り組みを行うため、青少年センター事業を実施する。
 ・平成31年1月13日に「平成31年安曇野市成人式」を挙げる。

【詳細事業内訳】
 青少年育成環境整備事務 1,762千円 青少年体験事業 2,188千円 成人式実施事業 4,186千円 子ども会育成会支援事務 11,663千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	70	青少年健全育成審議会委員報酬	14	使用料及び賃借料	589	成人式時テント及び無線借上料、体験活動機材借上料
07	賃金	1,725	子ども会育成会連合会事務非常勤職員賃金	19	負担金補助及び交付金	9,171	子ども会育成会補助金、青少年健全育成諸団体補助金
08	報償費	4,247	成人式記念品、体験活動講師謝礼、子ども会育成会連合会常任委員出席謝礼、青少年センター運営委員出席謝礼	25	積立金	15	青少年育成基金利子
09	旅費	9	ジュニアリーダー研修旅費				
11	需用費	1,117	体験活動消耗品、青少年センター消耗品、子ども会育成会だより印刷代				
12	役務費	240	体験活動保険料、青少年センター巡回活動保険料				
13	委託料	2,616	成人式会場設営委託、子ども体験講座委託、洞合公園管理委託				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子ども会育成会支援事務	補助金が交付されることで地区の活動が活発に行われことにより、異世代交流、地域に根付いた郷土の文化を引き継ぐ活動を促進させ、心豊かな子どもの育成を図る。	19	負担金補助及び交付金	8,525
					計	8,525
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	331
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成
	事業	0110375	放課後・家庭教育推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,526	0	2,587	0	0	5,939
前年度	9,160	0	1,795	0	0	7,365
増減額	△ 634	0	792	0	0	△ 1,426

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	放課後子どもプラン補助金	2,587							

【目的・効果】
【目的】
 ・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもが育つ町を目指す。
【効果】
 ・学校や地域の中で、放課後や休日の子どもたちの安全・安心で健やかな遊び場や居場所が確保できる。
 ・異年齢間での遊びや活動、地域住民との交流を図ることで、心豊かなたくましい子どもを育てる環境が整備できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内の小学生全員を対象にして放課後の安全・安心な居場所づくりと異世代・異年齢交流による様々な体験の機会を提供するため、放課後子ども教室を開催する。

【詳細事業内訳】
 放課後子ども教室実施事業 8,526千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	6,921	放課後子ども教室スタッフ謝礼、家庭教育講演会講師謝礼						
11	需用費	712	放課後子ども教室消耗品						
12	役務費	839	放課後子ども教室保険料						
13	委託料	54	放課後子ども教室スタッフ研修会バス運転委託、家庭教育講演会託児委託						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	放課後子ども教室実施事業	市内の小学生全員を対象として放課後の安全・安心の居場所づくりと異世代・異年齢交流による様々な体験や集団遊びの場を提供する。	08	報償費	6,921	
				12	役務費	839	
				11	需用費	712	
				13	委託料	54	
					計	8,526	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	339
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110380	中央公民館事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	61,013	0	0	0	30,825	30,188
前年度	37,571	0	0	0	30,825	6,746
増減額	23,442	0	0	0	0	23,442

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	地域振興基金繰入金	30,825							

【目的・効果】
【目的】
 ○「安曇野市公民館の理念」に基づき各種事業を行い、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
【効果】
 ○定期講座を開設し、市民の学習要望に応じることで、市民一人ひとりが生き生きと活動することができる。
 ○市民に最も身近な地区公民館を支援し、地域コミュニティの充実に寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○公民館事業の企画実施について、公民館運営審議会が調査審議する。
 ○安曇野市公民館大会を開催し、公民館活動の発展を推進する。
 ○安曇野市公民館報を発行し、公民館活動を広く市民に周知する。
 ○地域を超えた全市的事业として安曇野市総合芸術展を開催し、市民に一体感の醸成を図る。
 ○県、中信地区協議会事業に参加し、公民館職員の資質向上に努める。
 ○公民館役員功労者・地区公民館の表彰を実施し、その功績を称える。
 ○地区公民館の活動と建設に対し補助金を交付し、地区公民館を支援する。

【詳細事業内訳】
 中央公民館事業 5,077千円 地区公民館支援事業 55,936千円

【一般財源増加理由】「地区公民館建設補助金」の申請予定件数が増加したため。(平成29年度1件、平成30年度5件)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	158	公民館運営審議会委員報酬				
08	報償費	2,220	公民館大会・公民館講座講師謝礼、公民館報記者謝礼、総合芸術展実行委員会委員出席謝礼				
09	旅費	108	第40回全国公民館研究集会 東京大会				
11	需用費	1,539	公民館報印刷、大会資料				
12	役務費	24	表彰状筆耕代				
19	負担金補助及び交付金	56,964	地区公民館活動補助金、地区公民館建設事業補助金、協議会負担金、市民運動会交付金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地区公民館支援事業	地区公民館の活動と建設に係る経費に対して補助金を交付して、地区公民館を支援する。	19	負担金補助及び交付金	55,936
					計	55,936
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	011302200
課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算書ページ	345
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110440	社会体育総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,811	0	0	0	0	16,811
前年度	18,290	0	0	0	0	18,290
増減額	△ 1,479	0	0	0	0	△ 1,479

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 市民が自主的・主体的にスポーツ活動を展開するための仕組みを構築し、スポーツを通じたコミュニティづくりと心身の健康増進及び競技力の向上を図るための環境づくりを目的とする。
【効果】
 スポーツに親しむことで、体力の向上、ストレス解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の維持、増進に大きな効果を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ①平成29年度末に策定した第2次安曇野市スポーツ推進計画(平成30年度～平成39年度)の冊子を印刷し、市民や関係者等に周知する。
 ②スポーツ推進委員が、生涯学習課及び公民館事業(教室・運動会等)の企画、指導、協力をする。
 ③全国大会以上の各種競技会等へ出場する個人・団体に対して激励金を交付する。
 ④市体育協会及びスポーツ少年団に対し、組織強化・財務強化・競技力向上などの活動に対し支援を行う。

【詳細事業内訳】
 社会体育総務費 5,357千円 体育団体等支援事業 11,454千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	2,594	スポーツ推進委員、スポーツ審議会			19	負担金補助及び交付金	10,501	体育協会、スポーツ少年団、各種負担金		
07	賃金	1,722	事務補助								
08	報償費	1,054	激励金 外								
09	旅費	191	研修会 外								
11	需用費	648	事務用品 外								
12	役務費	56	スポーツ保険(スポーツ推進委員)								
13	委託料	45	バス運転								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○ 社会体育総務費	平成29年度末に策定した計画の冊子及び概要版を印刷し、市民及び関係者等に周知する。	11	需用費	508	
					計	508	
2	ソフト	体育団体等支援事業	スポーツ推進を図っている団体等(体育協会、スポーツ少年団)に対する支援を行う。また、全国大会以上の競技大会に出場する選手・団体に対して激励金を交付する。	19	負担金補助及び交付金	10,400	
				08	報償費	1,054	
					計	11,454	

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	011302200
課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算書ページ	347
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110445	スポーツ推進事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,963	0	0	0	1,800	7,163
前年度	9,367	0	0	0	1,500	7,867
増減額	△ 404	0	0	0	300	△ 704

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
20	スポーツ教室参加者傷害保険料	0								

【目的・効果】
【目的】
 生涯にわたり健康で明るく、活力のある生活を送るためにスポーツに親しむことは、極めて重要な意義を持っており、スポーツ教室等を充実・実現させ、生涯スポーツの推進、スポーツを通じたコミュニティづくり等を図る。また、第2次安曇野市スポーツ推進計画に沿った事業の展開を図る。
【効果】
 スポーツにかかわることができる環境を整えることで、スポーツをする楽しさや喜びの中で仲間との連帯感を深め、心身の健康と活力をもたらす。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 第2次安曇野市スポーツ推進計画の将来像「笑顔あふれ活力みなぎる健康スポーツ都市 安曇野」の実現に向けて、以下の事業を実施する。
 ①ライフステージに応じたスポーツ教室の開催。
 ②コーディネーショントレーニングの推進。
 ③障がい者スポーツの普及・啓発。
 ④体育協会と連携し、市民スポーツ祭を開催する。
 ⑤市町村対抗駅伝、県縦断駅伝大会について支援する。
 ⑥指導者に対する研修会の開催

【詳細事業内訳】
 スポーツ教室等開催事業 8,963千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	3,838	スポーツ教室講師謝礼 外				
09	旅費	16	運営スタッフ費用弁償				
11	需用費	178	スポーツ教室開催等に係る消耗品費				
12	役務費	450	傷害保険料(スポーツ教室参加者)				
13	委託料	2,461	スポーツ教室、バス運転				
19	負担金補助及び交付金	2,020	駅伝(市町村対抗、県縦断)、市民スポーツ祭				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	スポーツ教室等開催事業	市民の運動に触れる機会を創出するために、ライフステージに応じたスポーツ教室を開催する。また、子どもの運動能力向上を図るため、コーディネーショントレーニング事業を実施する。	08	報償費	3,838	
				13	委託料	2,461	
				19	負担金補助及び交付金	2,020	
				12	役務費	450	
					計	8,769	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011302200
課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算書ページ	349
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110450	社会体育施設管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	164,930	0	0	0	60,807	104,123
前年度	106,691	0	0	0	20,111	86,580
増減額	58,239	0	0	0	40,696	17,543

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	文化公園施設使用料	600	20	社会体育施設公衆電話料	7				
13	学校施設使用料	4,400	18	公共施設整備基金繰入金	40,000					
13	社会体育施設使用料	15,400								
20	社会体育施設自動販売機電気料	400								

【目的・効果】

【目的】

- ・利用者が安全で快適にスポーツが行える環境を整備する。
- ・市内の体育施設の維持管理を行う。

【効果】

- ・体育施設の環境を整備することにより、市民が屋内外の各種スポーツ施設を積極的に利用し、健康増進やスポーツ活動の活発化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 市内全ての社会体育施設の維持管理を行う。
- ・破損箇所や危険箇所を把握し、利用者の安全確保のため必要な修繕や工事を行う。不足、老朽備品の更新修理を行う。
 - ・管理人配置及び施設管理委託(施設予約申請、使用料徴収、清掃、鍵受け渡し等の管理)
 - ・マレットゴルフ場の指定管理委託を行う。・学校開放施設の適切な修繕を行う。
 - ・下記市内社会体育施設の維持管理及び施設修繕、改修工事
- 市内社会体育施設
豊科南社会体育館、勤労者スポーツ施設、豊科武道館、豊科弓道場、豊科県民運動広場、西穂高運動場、有明運動場、北穂高運動場、牧運動場、三郷体育館、小倉グラウンド、堀金体育館、常念ドーム、明科体育館、龍門渚運動広場、明科農村広場、高家スポーツ広場、屋内ゲートボール場、梓橋運動場、各マレットゴルフ場 等
- 社会体育施設の整備
・堀金総合体育館の老朽化に伴う大規模改修及び非構造部材耐震化工事のための耐震診断を行う。
・明科体育館の非構造部材耐震化及び照明の改修工事を行う。

【詳細事業内訳】

堀金総合体育館大規模改修工事 11,999千円、明科体育館非構造部材耐震化工事 59,272千円、社会体育施設管理費 93,659千円

【一般財源増加理由】	前年度は大規模な工事がなかったが、平成30年度は堀金総合体育館耐震診断業務・明科体育館非構造部材耐震化工事等が予定されているため									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	3,387	管理人賃金(堀金総合体育館)		19	負担金補助及び交付金	18	防火管理者協議会負担金等		
11	需用費	34,147	消耗品費、体育施設修繕費、光熱水費、物品修繕費		22	補償補填及び賠償金	10	補償金		
12	役務費	1,453	電話料外、モップ交換外、保険料		23	償還金、利子及び割引料	10	還付金		
13	委託料	58,369	施設管理業務委託料、事務事業委託料、指定管理委託料、堀金総合体育館耐震診断委託料		27	公課費	18	自動車重量税		
14	使用料及び賃借料	10,583	コピー借上げ料、重機借上げ料、使用料、借地料							
15	工事請負費	56,204	明科体育館非構造部材耐震化等工事							
18	備品購入費	731	体育器具							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○	堀金総合体育館大規模改修等工事	・堀金総合体育館の老朽化に伴う大規模改修と非構造部材耐震化工事に関する耐震診断を行う。なお、堀金総合体育館は平成8年度に出された官庁施設の総合耐震計画基準に定められた強度を満たさない建物のため、耐震強化を行う。	13	委託料	11,999
						計	11,999
2	ハード	○	明科体育館非構造部材耐震化等工事	・明科体育館の非構造部材耐震化工事を行い、安全で安心して使用出来る施設として整備する。また、照明を改修しLED化を行い、より使い易い施設として整備する。	13	委託料	3,068
					15	工事請負費	56,204
						計	59,272

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011302200
課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算書ページ	351
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110455	市民プール管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,065	0	0	0	0	25,065
前年度	24,656	0	0	0	0	24,656
増減額	409	0	0	0	0	409

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・市内唯一の公共プールを維持管理及び運営する。
【効果】
 ・夏場の市民の娯楽や体力向上、健康増進を促進することができる。
 ・夏休み時の子どもたちに楽しみの場・憩いの場として提供でき、子どもの「居場所づくり」にも寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・プール運営を維持するための施設修繕
 ・指定管理委託
 ・プール用地の借地料支払い
 ●施設概要
 ちびっこプール、子供プール、25Mプール、スラダー、流水プール、売店 等

【詳細事業内訳】
 市民プール管理費 25,065千円

【一般財源増加理由】 ちびっこプールのタイル目地部分の補修工事が必要となったため、修繕費が増加した。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,698	施設修繕費				
13	委託料	11,848	各種設備保守外、指定管理料				
14	使用料及び賃借料	11,519	借地料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	指定管理委託	・穂高プールの管理を、体育施設運営のノウハウを持つ「フクシ・エンタープライズ」に指定管理委託することにより、住民サービスの向上と経費削減等を図る。	13	委託料	11,777
					計	11,777
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011302200
課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算書ページ	351
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110457	社会体育施設整備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100,247	0	0	0	246	100,001
前年度	166,781	0	0	0	50,000	116,781
増減額	△ 66,534	0	0	0	△ 49,754	△ 16,780

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ○健康志向の高まりなどに伴い、スポーツ活動に対する市民の関心とニーズが一段と高まる中、市民が自主的・主体的にスポーツ活動を展開するための仕組みを構築し、スポーツを通じたコミュニティづくりと心身の健康増進及び競技力の向上を図るための環境づくりを目的とする。
 ○安曇野市公式スポーツ施設整備計画に掲げる施設の整備のため設置された「安曇野市公式スポーツ施設整備基金」の積立を行う。
【効果】
 ○社会体育施設が整備され、その施設を利用し、スポーツに親しむことで、体力の向上、ストレス解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の維持、増進に大きな効果を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 公式スポーツ施設整備計画に掲げた施設の整備に向け、基金を積み立てる。

【詳細事業内訳】
 公式スポーツ施設整備基金積立金 100,247千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
25	積立金	100,247	公式スポーツ施設整備基金積立金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	公式スポーツ施設整備基金積立金	公式スポーツ施設整備計画に掲げた施設の整備の促進に向け、財源確保のため、基金を積み立てる。	25	積立金	100,247	
					計	100,247	
2					計	0	

予算書ページ	261
--------	-----

重点的に推進する取組み	(3)	コード	011302200
		課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当 (総合体育館建設推進課 総合体育館建設推進係)

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	都市計画費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	03	公園事業費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0102275	新総合体育館建設事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	256,729	97,600	0	142,300	0	16,829
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	256,729	97,600	0	142,300	0	16,829

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	社会資本整備総合交付金(体育館分)	97,600							
21	体育施設整備事業	142,300								

【目的・効果】

【目的】

- 平成29年1月に策定された「新総合体育館整備基本計画」に基づき、南部総合公園に新総合体育館を合併特例債の期限の平成32年度までに建設する。
- 平成29年度に実施された「新総合体育館建設基本設計」に基づき、新総合体育館の建設実施設計及び施工を行う。

【効果】

- スポーツ拠点の形成
 - ・公式スポーツ施設整備計画で示された必要な機能、規模を確保することにより本格的な競技への対応を図るとともに、多くの市民がスポーツ活動に参加できる機会の拡大が図れる。
 - ・老朽化したスポーツ施設(豊科南社会体育館・豊科武道館剣道場)の建替え及びスポーツ施設の拡充
- 地域防災拠点の形成
 - ・災害時には、メインアリーナに約630人、柔剣道場に約140人が収容可能な指定避難所として利用できる。
 - ・サブアリーナは緊急支援物資の集積場所として利用できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 新総合体育館建設基本設計を基に、実施設計を行う。
- 新総合体育館の早期完成と不落のリスクの削減を図るため、施工者を早期に決定する。
- 実施設計の過程で施工者と早期に契約し、実施設計と施工を一体的に進める。
- 実施設計の段階で施工者の技術協力を仰ぎ、事業費の抑制と品質のバランスを図る。

【詳細事業内訳】

南部総合公園体育施設建設事業 256,729千円

【一般財源増加理由】 新総合体育館建設に伴う新設事業

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	1,070	実施設計審査謝礼				
09	旅費	26	実施設計審査委員実費弁償				
12	役務費	2,083	建築確認申請手数料				
13	委託料	96,800	実施設計業務等委託料				
17	公有財産購入費	156,750	新総合体育館用地費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○ 新総合体育館建設事業	・平成29年度に実施された「新総合体育館建設基本設計」に基づき、新総合体育館の建設実施設計及び施工を行う。 ・新総合体育館建設に伴う、南部総合公園拡張用地の取得を行う。	08	報償費	1,070
				09	旅費	26
				12	役務費	2,083
				13	委託料	96,800
				17	公有財産購入費	156,750
					計	256,729
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	341
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110385	豊科公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,809	0	0	0	2,056	24,753
前年度	20,231	0	0	0	1,514	18,717
増減額	6,578	0	0	0	542	6,036

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	豊科公民館使用料	2,000							
20	豊科公民館雑入	56								

【目的・効果】
【目的】
 ・生涯学習に触れる機会、学ぶ拠点として公民館が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を図るため。
【効果】
 ・学びや交流の場として公民館の環境整備を図ることで、より活力あるまちづくりとともに誰もが住みたいまちづくりの建設の推進に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・ホールの稼働率が高まる中で、設備の延命化を図り、幅広い利用形態や用途に対応するため、ホールの保安・管理の充実化とともにホール利用者が快適かつ安全に過ごせるよう施設・設備について法制度の規範に応える事業委託を推進する。

【詳細事業内訳】
 豊科公民館施設管理運営事業費 26,809千円

【一般財源増加理由】 経年劣化したホールの音響設備の取替工事や空調機能の安全性を図る委託業務を行うため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	352	ホール貸館管理業務	19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会負担金
11	需用費	4,643	消耗品、灯油、電気代、施設・物品修繕				
12	役務費	510	電話料、ピアノ調律・保守点検				
13	委託料	10,880	機械警備保障、エレベーター保守点検、消防用設備点検、ホール冷暖切替保守点検、シルバー人材委託等				
14	使用料及び賃借料	1,385	コピー使用料、駐車場借地料				
15	工事請負費	8,792	ホールスピーカー取替工事				
18	備品購入費	243	指揮台、案内看板等				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	341
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110390	豊科公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,723	0	0	0	16	5,707
前年度	5,747	0	0	0	14	5,733
増減額	△ 24	0	0	0	2	△ 26

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・文化活動やスポーツ事業を通じ、生きがいや健康増進及び様々な交流や連携の推進を図るため。
【効果】
 ・多くの市民が公民館事業に参加することで地域のつながりが深まり、地域間交流にも寄与する。
 ・文化祭・芸能発表会等、学びの成果の発表の場を提供することで生きがいとともに更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・ホール利用のPR及び催事の誘致
 ・文化祭出展を目指して大輪菊づくりを学ぶ菊作り講座
 ・幅広い世代の参加を促すため、競技種目やルールに配慮した2回の球技大会と市民運動会の開催
 ・気軽に参加できる親子ふれあい塾、自身の体験談や趣味にスポットを当てた講座の開講など

【詳細事業内訳】
 豊科公民館事業 5,723千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	2,478	公民館長報酬								
08	報償費	1,663	公民館役員研修会講師謝礼、文化祭・体育大会等協力者謝礼、体育大会等参加賞ほか								
11	需用費	404	消耗品、体育大会競技用品、文化祭プログラム								
12	役務費	216	トイレ汲取り料、公民館総合補償掛金								
13	委託料	255	文化祭会場設営委託、バス運転業務								
14	使用料及び賃借料	480	体育大会・菊花展パイプ TENT、競技用具運搬車両借上げ								
18	備品購入費	227	ワイヤレスアンプ、マイクスタンド								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011303100
課・係等	文化課 文化振興係

予算書ページ	309
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110310	文化振興費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	89,947	0	0	0	695	89,252
前年度	91,602	0	0	0	49	91,553
増減額	△ 1,655	0	0	0	646	△ 2,301

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	博物館等における美術品取得及び特別企画展開催	44							
16	名誉市民田淵行男顕彰基金利子	4								
16	ちくに生きものみらい基金利子	131								
18	ちくに生きものみらい基金繰入金	516								

【目的・効果】

【目的】

・諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出する。

【効果】

- ・心豊かで潤いある市民生活を実現することができる。
- ・安曇野市の活力と魅力を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・諸団体と協働で音楽祭、能公演などを行う。また、文化芸術を振興する事業に対し補助金を交付する
- ・東京藝術大学音楽学部との連携による安曇野市の中学生への演奏指導を実施し、演奏技術の向上を図るとともに、音楽家と接する機会を設ける。
- ・安曇野市内の美術館・博物館が連携する取り組みをおこない、各施設の学芸員の資質の向上をはかり、単独の施設では担いきれない鑑賞の機会を創出する。ちくに生きものみらい基金を活用した小中学校のクラス単位の自然観察会の開催補助と美術館・博物館の利用促進。
- ・美術館・記念館等の指定管理(指定管理期間:平成26年4月1日～平成31年3月31日)
安曇野市豊科近代美術館・田淵行男記念館・飯沼飛行士記念館・安曇野市穂高陶芸会館:公益財団法人安曇野文化財団
臼井吉見文学館:ほたるぶくろの会

【詳細事業内訳】

田淵行男記念館管理運営事業 18,956千円 穂高陶芸会館管理運営事業 7,344千円 文化芸術施設整備事業 2,545千円 豊科近代美術館管理運営事業 32,830千円 文化団体補助事業 15,296千円 美術館・博物館連携事業 836千円 飯沼飛行士記念館管理運営事業 2,385千円 臼井吉見文学館管理運営事業 2,185千円 文化振興総務費 2,988千円 芸術教育普及事業 4,582千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	165	博物館協議会・美術資料等選定委員会等の会議出席報酬	14	使用料及び賃借料	1,323	東京藝術大学交流事業及び能楽教室の講師などの宿泊施設使用料
07	賃金	1,787	文化振興係臨時職員賃金	18	備品購入費	1,858	美術品等購入費用
08	報償費	1,975	東京藝術大学交流事業講師・能楽教室講師等謝礼	19	負担金補助及び交付金	14,996	信州安曇野新能事業補助金・安曇野文化財団運営補助金など
09	旅費	259	東京藝術大学交流事業・能楽教室等職員及び講師の旅費など	25	積立金	182	ちくに生きものみらい基金利子など
11	需用費	1,766	指定管理施設修繕費など				
12	役務費	1,104	美術館博物館連携事業(学校ミュージアム)・藝大連携事業等の作品・楽器の運搬費など				
13	委託料	64,532	豊科近代美術館・田淵行男記念館などの指定管理料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	芸術教育普及事業	東京藝術大学音楽学部による演奏指導事業・能楽教室・学校ミュージアムなど、小中学校へのアウトリーチ事業を行い子どもたちが芸術家や美術作品に接する機会を創出する。	08	報償費	1,721
				18	備品購入費	1,000
				14	使用料及び賃借料	748
					その他	1,113
					計	4,582
2	ソフト	ちくに生きものみらい基金充当事業	ちくに生きものみらい基金を活用し、小中学生が自然観察を通し安曇野の自然を知る活動を支援するとともに、市内の美術館・博物館を訪れる機会を作る。	8	報償費	70
				13	委託料	446
					計	516

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011303100
課・係等	文化課 文化振興係

予算書ページ	313
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110315	高橋節郎記念美術館費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,115	0	0	0	2,430	18,685
前年度	22,565	0	0	0	2,320	20,245
増減額	△ 1,450	0	0	0	110	△ 1,560

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	記念美術館使用料	1,705							
20	美術館グッズ等販売	706								
20	その他教育費雑入(文化課)	19								

【目的・効果】
【目的】
 ・安曇野市名誉市民高橋節郎とその芸術を顕彰し、後世に継承する。そのために必要な資料の調査研究、収集、保管、展示及び講座・学習会などの教育普及活動を行う。
 ・主屋・南の蔵を活用し、市民に発表の機会と多様な芸術に接する機会を提供する。
【効果】
 ・市民が多様な文化芸術並びに名誉市民に親しむ機会を提供できる。
 ・観光振興に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・企画展・常設展・そば猪口アート公募展、講座・学習会等の諸事業を通じて、高橋節郎の人と芸術を顕彰する。
 ・敷地内の旧高橋家住宅を利用し、市民の文化活動を支援する。
 ・東京藝術大学美術学部との連携した教育普及活動の実施。
 ・近隣市町村の美術館等との連携(安曇野アートライン推進協議会等)との連携により、施設を広くアピールする。
 ・施設の修繕を行い、資料等を保全するとともに、利用者に快適な環境を提供する。

【詳細事業内訳】
 安曇野高橋節郎記念美術館教育普及事業 4,727千円 安曇野高橋節郎記念美術館管理運営事業 16,388千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	1,689	美術館長報酬			14	使用料及び賃借料	229	コピー機の使用料など		
07	賃金	5,487	美術館臨時職員賃金			16	原材料費	15	旧高橋家住宅庭園の苗木など		
08	報償費	1,132	教育普及活動講師謝礼・そば猪口アート公募展賞金など			18	備品購入費	96	収蔵作品データベース用ハードディスク		
09	旅費	351	企画展に係る調査・作品借用のための職員旅費、公募展審査員旅費など			19	負担金補助及び交付金	150	全国美術館会議・日本博物館協会などの負担金		
11	需用費	4,284	周知用印刷物の印刷費、講座用消耗品費、事務用消耗品費など								
12	役務費	2,529	企画展借用作品の運搬費用、企画展広告費用など								
13	委託料	5,153	施設維持管理のための管理委託料、展示作業等の事務事業委託料など								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	安曇野高橋節郎記念美術館教育普及事業	企画展「小口正二と高橋節郎(仮称)」では諏訪市美術館等より小口作品を借用し、高橋作品とともに展示。県内で生まれた二人の漆芸術家を紹介する。	12	役務費	1,448	
				13	委託料	1,172	
				08	報償費	1,132	
					その他	975	
					計	4,727	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011303300
課・係等	文化課 博物館係

予算書ページ	315
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110320	郷土博物館費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	24,567	0	0	0	300	24,267
前年度	34,712	0	0	0	503	34,209
増減額	△ 10,145	0	0	0	△ 203	△ 9,942

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	郷土博物館等使用料	250							
20	郷土博物館刊行物等頒布代	30								
20	郷土博物館雑入	20								

【目的・効果】
【目的】郷土の自然、歴史、民俗及び文化に関する知識の向上と文化の発展に寄与するため、資料の展示並びに収集及び保管を行う。所在地:豊科4289番地8 開館年:昭和54年。『安曇野市新市立博物館構想』に基づき、学芸体制の充実やコンパクト展示等を実施する。
【効果】安曇野市の魅力を市内外に発信し、郷土に対する市民の関心を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 企画展(夏季、秋季、冬季)を開催する。
 各種講座を開催する。
 博物館紀要等の刊行物を発行する。
 『新市立博物館構想』に基づき、コンパクト展示を展開する。

【詳細事業内訳】
 豊科郷土博物館等施設運営管理事業 20,867千円 豊科郷土博物館教育普及事業 3,700千円
 郷土資料館費と統合

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	1,689	館長報酬		14	使用料及び賃借料	896	使用料、借上料、借地料		
07	賃金	10,639	臨時職員賃金		18	備品購入費	158	管理用備品		
08	報償費	726	講座講演会講師謝礼外		19	負担金補助及び交付金	52	負担金		
09	旅費	177	出張旅費外		27	公課費	38	自動車重量税		
11	需用費	5,535	消耗品費、食糧費、印刷製本費、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費							
12	役務費	800	広告料、保険料、通信運搬費、手数料							
13	委託料	3,857	事務事業委託料、管理委託料							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	豊科郷土博物館教育普及事業	【事業内容】 文化遺産の調査・研究 調査・研究成果のまとめや公開・展示 学びの成果を共有する機会の提供他	11	需用費	2,173	
				08	報償費	726	
				13	委託料	426	
					その他	375	
					計	3,700	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011303200
課・係等	文化課 文化財保護係

予算書ページ	317
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110325	文化財資料センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,912	0	0	0	0	3,912
前年度	4,740	0	0	0	0	4,740
増減額	△ 828	0	0	0	0	△ 828

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 埋蔵文化財調査に伴い出土した遺物の整理作業を行い、適正な保存管理に努める。また博物館係所管の博物館等施設に展示及び保存する資料の収集、整理等を行う。豊科郷土博物館と連携して学芸活動を補完する役割を果たす。所在地:安曇野市穂高5836番地 開館年:平成25年
【効果】
 出土遺物や収蔵資料の整理等は地道な作業であるが、適切な保存と活用に向けて資料の収集、整理を進めている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 埋蔵文化財調査に伴い出土した遺物の整理作業を行い、適正な保存管理に努める。
 博物館等施設の資料整理を行う。

【詳細事業内訳】
 文化財資料センター施設運営管理事業 3,912千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,024	資料整理及び資料復元作業員						
11	需用費	1,275	事務用品 管理用品 燃料費 施設修繕 光熱水費 物品修繕他						
12	役務費	221	電話料外						
13	委託料	308	施設管理(警備 消防設備点検 剪定外) 廃棄物処理(粗大ごみ等)						
14	使用料及び賃借料	84	複合機等リース 回線使用料						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	文化財資料センター施設運営管理事業	発掘調査により得られた資料の保存活用を図るための整理作業を行う。	07	賃金	2,024
				11	需用費	1,275
				13	委託料	308
					その他	305
					計	3,912
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011303300
課・係等	文化課 博物館係

予算書ページ	317
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110335	貞享義民記念館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,362	0	0	0	381	13,981
前年度	15,174	0	0	0	385	14,789
増減額	△ 812	0	0	0	△ 4	△ 808

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	貞享義民記念館使用料	250							
20	義民館刊行物等頒布代	130								
20	義民館雑入	1								

【目的・効果】
【目的】貞享義民の業績にかかわる資料の収集、保存、展示及び調査研究を通じて、郷土の歴史や義民の顕彰、人権尊重の精神を広く啓発し、講座及び学習会などの教育普及活動を行う。
【効果】義民の精神を伝え、市民の人権学習の場となる。安曇野市南部における文化拠点の一つとして、市民に発表の機会と多様な芸術文化に接する機会を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 貞享義民の業績にかかわる資料及び人権学習に関する展示等を行う。
 市民の発表の機会と多様な芸術文化に接する機会として展示企画を募集し、共同で開催する。
 義民に関する講座及び古文書の学習会を開催する。

【詳細事業内訳】
 貞享義民記念館教育普及事業 575千円 貞享義民記念館施設運営管理事業 13,787千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	1,689	館長報酬			14	使用料及び賃借料	1,759	借上料、使用料、借地料		
07	賃金	4,223	臨時職員賃金			15	工事請負費	621	研修室空調設備工事費		
08	報償費	167	講座講師謝礼外			16	原材料費	40	義民公園苗木外		
09	旅費	22	臨時職員登録者使用旅費			19	負担金補助及び交付金	35	負担金		
11	需用費	2,251	消耗品費、施設修繕費、光熱水費、印刷製本費								
12	役務費	156	通信運搬費、広告料、手数料外								
13	委託料	3,399	管理委託料外								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	貞享義民記念館教育普及事業	企画展や講座を開催し、義民の顕彰、人権尊重の精神を広く市民へ啓発していく。	11	需用費	197	
				13	委託料	197	
				08	報償費	167	
				12	役務費	14	
					計	575	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011303200
課・係等	文化課 文化財保護係

予算書ページ	323
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110355	文化財保護費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,461	1,139	0	0	0	12,322
前年度	13,264	1,000	0	0	3,000	9,264
増減額	197	139	0	0	△ 3,000	3,058

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	民俗文化財調査	1,139							

【目的・効果】

安曇野市内にある文化財の保全を図り、公開へ向けた周辺整備と市民へ向けた啓発活動を推進する。
また、地域史の解明と文化財の保全を図るため、文化財の調査、記録保存を進め保存・活用を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ◎文化財保全事業
 - ・文化財保全、保存管理に係る補助事業・・・国・県・市指定文化財に対し、保存管理に要する費用の一部を補助する
 - 国重要文化財保存修理事業
 - 市指定有形文化財保存修理及び保存管理事業
 - 市指定無形民俗文化財保存伝承事業
 - ・「いわれの地」等文化財標柱、説明板等の整備
- ◎地域史研究と文化財保存・活用
 - ・安曇平のお船祭り調査の実施・・・国 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の選択に伴う調査
 - ・古民家調査(信州大学工学部連携)

【詳細事業内訳】

文化財保護事業事務 2,302千円 文化財保全事業 8,379千円 地域史研究と文化財保存・活用 2,780千円

【一般財源増加理由】有形文化財修理事業が発生したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	53	文化財保護審議会	15	工事請負費	426	文化財標柱設置等工事
07	賃金	1,722	文化財保護臨時職員	19	負担金補助及び交付金	7,359	曾根原家住宅保存修理 市指定有形文化財保存修理(礪山デッサン画 一日市場舞台他) 無形民俗文化財保存伝承他
08	報償費	1,627	指定文化財公開謝礼 文化財専門家相談謝礼 文化財調査委員会 オフネ祭り調査他	27	公課費	9	公用車重量税
09	旅費	431	職員研修視察 文化財保護審議会委員費用弁償 オフネ祭り調査委員等費用弁償他				
11	需用費	337	事務用消耗品 文化財調査消耗品 燃料費 物品修繕他				
12	役務費	68	公用車点検手数料 公用車自賠責保険				
13	委託料	1,429	史跡内除草 無形民俗文化財記録作成推進支援(オフネ調査) 古民家調査				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	文化財保全事業(指定文化財保存修理等補助金他)	安曇野市内にある文化財の保全を図るため、文化財の指定等に関する事務手続きを行う。 また、指定文化財の保存管理のための助言及び財政支援を行う	19	負担金補助及び交付金	7,359
				15	工事請負費	426
				08	報償費	405
					その他	189
					計	8,379
2	ソフト	地域史研究と文化財保存・活用(オフネ祭り調査 古民家調査)	地域史解明と、文化財の保全を図るための記録保存・調査を進め保存活用を図る。 また、指定文化財の公開のための周辺整備と市民へ向けた啓発活動を推進する。	13	委託料	1,351
				08	報償費	1,175
				09	旅費	234
				11	需用費	20
					計	2,780

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	11303300
課・係等	文化課 博物館係

予算書ページ	325
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110356	文書館費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	44,886	0	0	0	35	44,851
前年度	19,471	0	0	0	100	19,371
増減額	25,415	0	0	0	△ 65	25,480

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	文書館刊行物等頒布代	30							
20	文書館雑入	1								
20	その他刊行物頒布代(文化課)	4								

【目的・効果】

重要文書等を適切に保存し、公開することにより、市や市民の諸活動や歴史的事実を現在および将来の市民に対して説明する責任を果たすことが出来る。
 市民に、情報公開制度よりも簡便な方法で閲覧利用してもらうことにより、市民と行政との情報共有が進められ、市民の「参加」及び「協働」の原則に基づく住民自治の推進を図ることが出来る。
 市職員が重要文書等を通じて、過去の諸施策、事業等を検証することにより、行政の政策形成能力の向上に繋げることが出来る。
 重要文書等に加え、地域に残る歴史に関する情報も収集、保存、公開することで、市民一人一人が「先人たちが守り育ててきたかけがえのない自然、誇るべき郷土の歴史と文化を継承し、後世に伝える役割」(安曇野市自治基本条例前文)を果たし、教育、学術、文化、生活の向上を図ることが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ◎文書館開館準備
 - ・非現用文書等の運搬、荷解き、燻蒸、排架
 - ・資料閲覧、管理システムの構築
 - ・地域資料(古文書等)の調査及び寄贈手続、電子データ化、目録化を行う。
 - ・文献資料等の保存・収集を合わせて行う。
- ◎開館記念式典、企画展、講座等の開催
 - ・開館式典 時期:10月1日、関係者内覧会、テープカット等
 - ・「松沢求策展(明治150周年記念事業)(仮)」 時期:10月1日～12月27日、松沢求策の業績を紹介する展示
 - ・開館記念講演会、文書館活用講座、公文書管理研修会等を開催。

【詳細事業内訳】

文書館施設運営管理事業 42,041千円 文書館教育普及事業 2,845千円

【一般財源増加理由】	文書館開館へ向けた準備、開館イベント、施設管理費等必要なため。									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	7,721	臨時職員賃金		18	備品購入費	9,562	棚、折り畳みテーブル、スタッキングチェア等文書館備品		
08	報償費	1,035	講師謝礼、古文書調査員出席謝礼外		19	負担金補助及び交付金	42	負担金		
09	旅費	658	職員旅費、講師旅費外							
11	需用費	3,594	消耗品費、印刷製本費、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費							
12	役務費	8,973	通信運搬費、手数料等							
13	委託料	11,845	事務事業委託料、管理委託料							
14	使用料及び賃借料	1,456	借上料、使用料							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○	文書館施設運営管理事業 文書館開館へ向けて引っ越し作業(8,608千円)重要文書等保管場所6ヶ所→文書館、市内の各公文書保管場所2ヶ所→穂高会館 文書管理・検索システム構築業務(8,300千円)	13	委託料	11,191
				18	備品購入費	9,562
				12	役務費	8,973
					その他	12,315
					計	42,041
2	ソフト	○	文書館教育普及事業 開館式典、明治150周年記念「松沢求策展」、開館記念イベント、講演会、文書館活用講座、文書館コンパクト展示(文書管理に関する内容)、館案内パンフレット、文書館たより、古文書目録の発行。	08	報償費	1,035
				09	旅費	658
				13	委託料	654
					その他	498
					計	2,845

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011303200
課・係等	文化課 文化財保護係

予算書ページ	325
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110360	埋蔵文化財発掘調査事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,891	0	0	1	13,890
前年度	16,405	0	0	3,769	12,636
増減額	△ 2,514	0	0	△ 3,768	1,254

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	埋蔵文化財発掘調査委託料	1							

【目的・効果】

文化財保護法に基づき埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等に対して保護措置(発掘調査、試掘、確認調査、工事立会等)を行う。文化財保護法に基づき過年度の発掘調査記録(図面、遺物)を整理し、報告書を作成する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・官・民の土木工事等に際し、施工地が周知の埋蔵文化財包蔵地で、遺構等への工事の影響が不可避の場合は、記録保存(発掘調査)を行う。

【詳細事業内訳】

埋蔵文化財保護事業 13,891千円

【一般財源増加理由】平成30年度は民間開発の特定財源を見込んでいないため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	7,167	遺跡調査整理学芸員 遺跡調査整理作業員 遺跡発掘作業員	16	原材料費	41	発掘調査後の埋戻用砕石等
08	報償費	114	専門者相談 報告書執筆他	18	備品購入費	478	発掘調査記録写真撮影用機材
11	需用費	1,309	発掘及び調査整理用品 燃料費 光熱水費 報告書作成他				
12	役務費	32	発掘作業労働保険				
13	委託料	2,831	発掘測量 出土遺物保存処理・分析				
14	使用料及び賃借料	1,757	発掘機材・重機借上 整理用機材借上				
15	工事請負費	162	発掘調査時の安全対策等工事				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	埋蔵文化財保護事業	埋蔵文化財包蔵地内の開発行為について、文化財保護法に基づき保護対策を進める。また記録保存(発掘調査)により得られた資料についての保存活用を図る。	07	賃金	7,167
				13	委託料	2,831
				14	使用料及び賃借料	1,757
					その他	2,136
					計	13,891
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	011304100		予算書ページ	319
		課・係等	図書館交流課 図書館交流担当			

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110340	交流学習センター等管理費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	82,690	0	0	6,338	76,352
前年度	75,642	0	0	6,020	69,622
増減額	7,048	0	0	318	6,730

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	豊科交流学習センター使用料	1,800	20	その他教育費雑入(図書館交流課)	222	
13	穂高交流学習センター使用料	2,520	20	明科子どもと大人の交流学習施設利用料	1,189		
13	三郷交流学習センター使用料	307					
13	学習館使用料	300					

【目的・効果】
【目的】市民の「交流の場」「学習の場」、さらには地域交流の拠点として、市民が参加し活発に利用されるよう、図書館を核とした複合施設である、安曇野市穂高交流学習センター、安曇野市豊科交流学習センター、安曇野市三郷交流学習センター、安曇野市明科子どもと大人の交流学習施設の4施設の適正かつ円滑な管理運営(施設管理、貸館事業他)を行う。
【効果】展覧会やコンサート等、個人や団体による文化芸術活動を支援、有償ボランティアである音響照明スタッフやレセプションニストを育成し、市民主導で、文化芸術の企画、運営が行える体制づくりを進め、市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展することで、利用者相互の交流を深め、自己実現を図ることが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【当該年度の事業概要(手法)】
 ・施設・備品等の点検を行い、市民が安心して利用できる環境整備を図る。
 ・施設予約システムにより適正な受付・管理業務を行う。
 ・利用者の意向・要望に添えるように及び情報提供を行う。
 ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
 ・夜間、休日等の貸館事務等の業務委託
【増額の理由】
 ・安曇野市三郷交流学習センター供用開始に伴い、管理運営に係る予算の増額。

【詳細事業内訳】
 交流学習センター等管理費 82,690千円

【一般財源増加理由】		三郷交流学習センターの開館					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	7,995	施設管理・受付等事務	19	負担金補助及び交付金	12	防火管理者協会
8	報償費	1,560	音響照明スタッフ謝礼等	27	公課費	9	公用車重量税
11	需用費	38,692	管理用品、公用車等燃料費、施設修繕費、光熱水費等				
12	役務費	4,468	通信費、玄関マット等交換、ピアノ調律、建物検査等				
13	委託料	27,143	夜間・休日窓口管理業務、警備、自動ドア保守、清掃業務等				
14	使用料及び賃借料	2,762	複合機、印刷機等				
18	備品購入費	49	ホール専用マイク				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(3)	コード	011304100		予算書ページ	343
		課・係等	図書館交流課 図書館交流担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	06	図書館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110435	図書館費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	179,180	0	0	0	29,721	149,459
前年度	174,535	0	0	0	37,071	137,464
増減額	4,645	0	0	0	△ 7,350	11,995

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	市町村振興協会交付金	29,550							
20	図書カード再発行手数料	20								
20	図書館コピー使用料等	150								
20	図書館相互貸借送料	1								

【目的・効果】

【目的】

- 多様化する市民の「学び」に応える図書館を目指します。
- 「本と本、人と人の出会いの広場」となる図書館を目指します。

【効果】

- 市民へ新鮮な資料や最新の情報を提供し、さまざまな「学び」の場としての図書館サービスを充実等により、自ら学び挑戦する心を育み、学んだ知識や技術が地域社会に活かされる環境づくりに寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- 開館した三郷図書館の利用の拡大を図ります。
- 図書館資料収取計画に基づき、堀金図書館、三郷図書館をはじめとする5館の計画的な資料の充実と情報発信に努めます。
- 子どもの「生きる力」を育むため、市内の認定こども園、小中高校との連携を図り、調べ学習の支援、配本、読書通帳の普及等を通じ、子どもの読書活動や学習を支援します。
- 読書支援が必要な方へのサービスの充実を図ります。
- 図書資料への理解を深めるために、読み聞かせ等の読書活動推進の実践講座、講演会、講座・おはなし会を行います。
- 多くの市民に図書館を利用していただくため、図書館フェスタをはじめとする全館統一事業の充実を図ります。

【詳細事業内訳】

図書館サービス事業 4,844千円 図書館総務費 232千円 図書館管理運営費 122,494千円 図書館資料収集事業 45,341千円 明科図書館IC化事業 6,269千円

【一般財源増加理由】 市町村振興協会交付金△7,350千円、明科図書館のIC化6,269千円

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	105	図書館協議会10人	14	使用料及び賃借料	20,071	図書館システムリース料(16,690)、書誌データ使用料(1,372)、有料データベース使用料(1,172)
07	賃金	86,765	非常勤嘱託職員	18	備品購入費	40,211	通常図書(25,000)、三郷・堀金図書館資料充実(13,702)、調べ学習用(1,017)
08	報償費	1,595	講演会(600)、図書館講座講師謝礼(585)、障がい者対面朗読謝礼(200)	19	負担金補助及び交付金	109	県図書館協会(29)、講座受講(80)
09	旅費	146	職員旅費等				
11	需用費	17,593	雑誌・新聞購読料(5,308)、ブックスタート(1,104)、図書館整備・講座用消耗品(300)、イベントチラシ等印刷(428)、ICタグ(6,601)				
12	役務費	1,370	電話料(1,033)				
13	委託料	11,215	配本車運転(1,205)、図書館システム保守(4,886)、図書抽出マーク作成(1,979)、明科図書館IC化(2,949)				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	図書館資料収集事業	1 新聞・雑誌 5,308千円	18	備品購入費	39,719
			2 通常図書購入費25,000千円	11	需用費	5,524
			3 三郷・堀金計画購入図書13,702千円	13	委託料	98
			4 学校調べ学習用図書 1,017千円		計	45,341
2	ソフト	○ 明科図書館IC化事業	1 プライバシーの保護	11	需用費	3,320
			2 スムーズな貸出	13	委託料	2,949
			3 図書館サービスの充実			
			4 図書館運営上の効率化			
					計	6,269

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011304100
課・係等	図書館交流課 図書館交流担当

予算書ページ	321
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110460	交流学習センター等事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,807	0	0	0	432	4,375
前年度	8,119	0	0	0	2,917	5,202
増減額	△ 3,312	0	0	0	△ 2,485	△ 827

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	交流学習センター講座受講料	432							

【目的・効果】
【目的】複合施設の特徴を活かし、地域交流の拠点として、市民が参加し活発に利用されるよう、地域に根ざした事業の企画、運営を行い、さまざまな情報を発信するとともに、市民活動を支援する。
【効果】地域学習の中核機能を持った穂高交流学習センターと気軽に行ける各地域の交流学習センター(施設)を一体的に活用し、安曇野で活躍したい若手音楽家を発掘、発表の場をつくり、一流の演奏家による音楽に触れる機会の提供を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
【実演芸術の創造活動】
 ・新進音楽家の発掘(オーディション)と、選考者によるコンサートの実施
【音楽鑑賞事業】
 ・アンサンブル藝弦コンサート
【交流事業】
 ・松本大学との共同事業、小中学生向け各種講座
【熊井啓記念館(顕彰事業)】
 ・熊井啓監督作品の上映会、講演会

【詳細事業内訳】
 交流学習センター等事業費4,807千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
8	報償費	1,962	講演会講師、コンサート出演者謝礼								
9	旅費	29	講演会講師旅費								
11	需用費	343	熊井啓記念館管理用品等								
13	委託料	2,428	広告物製作、映画上映会等								
14	使用料及び賃借料	45	コンサート著作権使用料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	新進音楽家演奏会	新進音楽家の発掘(オーディション)と、選考者による発表の場としてのコンサートを開催し、市民が身近に音楽芸術に触れられる機会を提供する。	13	委託料	1,030	
				8	報償費	900	
				11	需用費	88	
					計	2,018	
2					計	0	

監査委員事務局

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	011500000
部・課・係等	監査委員事務局

予算書ページ	113
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	06	監査委員費		主要施策	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	監査委員費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102640	監査委員事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,589	0	0	0	0	28,589
前年度	28,352	0	0	0	0	28,352
増減額	237	0	0	0	0	237

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 行財政運営の健全性と透明性の確保に寄与し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資する。
【効果】
 監査を実施することにより、市の行財政運営が公正で合理的かつ効果的に実施されているか、また予算の執行及び事業の経営が適正に効果的で効率的、かつ経済的に行われているかを検証できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・年間の監査計画を策定し、その後各監査の実施計画の作成を行い、監査を実施する。
 ・全国都市監査委員会総会・研修会等に参加し、知識の取得と意識向上を図る。
 ・全国都市監査委員会負担金等、団体への負担金を支払う。
 ※3名の監査委員の内2名が新たに選任され、その2名の監査委員の自治体監査に対する見識を深めるための研修会参加費用の発生。

【詳細事業内訳】
 監査委員事務費 28,589千円

【一般財源増加理由】 3名の監査委員の内、2名が新たに選任され、その2名の監査委員の自治体監査に対する見識を深めるための研修会参加費用の発生。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,956	監査委員報酬	19	負担金補助及び交付金	104	全国都市監査委員会負担金・東海地区都市監査委員会負担金・監査委員研修会負担金等
02	給料	13,362	職員給料				
03	職員手当等	7,196	職員手当等				
04	共済費	4,260	職員共済費等				
09	旅費	610	全国都市監査委員会総会・東海地区都市監査委員会総会・三地区共催都市監査事務研修会旅費・監査委員研修等				
11	需用費	64	図書(地方財務他)、エイナーファイル・インデックス他				
18	備品購入費	37	質問監査会議録作成用ICレコーダー				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

選挙管理委員会事務局

重点的に推進する取組み	(5)	コード	011600000
		課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	01	選挙管理委員会費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102500	選挙管理委員会事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,695	0	1	0	0	22,694
前年度	22,154	0	1	0	0	22,153
増減額	541	0	0	0	0	541

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	在外選挙人名簿登録事務委託費	1							

【目的・効果】
【目的】
 公正、公平、中立な選挙執行を確保するため、選挙管理委員会事務、各種選挙人名簿の調製等を行う。
【効果】
 各種選挙の執行にあたり、正確な事務執行を行うことができる。また、委員及び職員が研修会へ参加することにより、選挙制度の情勢などについて新たな見識を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 1 選挙管理委員会事務
 選挙管理委員会定例会(月1回)及び臨時会(必要に応じ)の開催
 2 選挙人名簿の調製
 選挙人名簿(定時登録年4回・選挙時登録)及び在外選挙人名簿の調製
 3 総会、研修会への参加
 全国選挙管理委員会連合会北信越支部・長野県選挙管理委員会連合会・長野県19市選挙管理委員会連合会・中信四市選挙管理委員会が開催する総会、研修会への参加

【詳細事業内訳】
 選挙管理委員会事務費 22,695千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
01	報酬	2,016			
02	給料	11,474			
03	職員手当等	5,401			
04	共済費	3,492			
09	旅費	4	職員旅費・委員費用弁償		
11	需用費	61	参考図書・事務消耗品		
19	負担金補助及び交付金	247	選挙管理委員会連合会外負担金		

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	011600000
課・係等	選挙管理委員会事務局

予算書ページ	105
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	02	明るい選挙推進費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102510	明るい選挙推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	675	0	0	0	0	675
前年度	675	0	0	0	0	675
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

有権者が主権者としての自覚を持ち、自ら進んで投票に参加するよう主権者教育・常時啓発を行う。

【効果】

主権者教育・啓発活動を通じ、政治や選挙、候補者に関心を持ってもらうことにより政治意識の向上、投票率の向上を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 啓発活動を推進するため、市明るい選挙推進協議会の開催、県主催の明るい選挙推進県大会等へ参加する。
- 選挙に関心を持ってもらう主権者教育の一環として、明るい選挙啓発ポスターを小・中学校、高等学校、一般より募集し、市選考を経て県審査、中央(全国)審査へ出品する。併せて優秀作品の展示、ホームページへの掲出を行う。
- 任期満了による長野県知事選挙に伴う一般有権者向けの選挙啓発を行うと共に、中信四市合同で新有権者に向けた啓発活動を行う。

【詳細事業内訳】

明るい選挙推進事業 675千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	606	中信四市(松本・塩尻・大町・安曇野市)合同啓発事業記念品・啓発ポスター参加賞・啓発活動出席謝礼				
11	需用費	69	新有権者・成人式用啓発パンフ				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(5)	コード	011600000
		課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	03	土地改良区総代選挙費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102522	穂高土地改良区総代選挙			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	69	0	0	0	69	0
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	69	0	0	0	69	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	穂高土地改良区総代選挙	69							

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う安曇野市穂高穂高土地改良区総代選挙の執行管理
【効果】
 正確な事務執行を行うことで、土地改良法及び土地改良区定款に定められ総代を決定することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期満了(4年)による安曇野市穂高穂高土地改良区総代選挙の執行管理
 選挙の告示により、立候補届出の受理、被選挙権資格の確認など選挙長事務を行う。
 立候補届出者が定数を超えた場合は投票を行い、開票、選挙会において当選人を決定し、当選証書を付与する。

1 任期 4年
 2 任期満了日 平成30年9月25日
 3 執行予定日 任期満了日前30日以内から満了日までの間
 4 選挙区 1選挙区
 5 総代数 30人

【詳細事業内訳】
 穂高土地改良区総代選挙 69千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	39	選挙長・選挙立会人報酬						
11	需用費	22	事務消耗品・当選証書印刷						
12	役務費	8	郵送料						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	011600000
課・係等	選挙管理委員会事務局

予算書ページ	105
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	03	土地改良区総代選挙費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102523	有明土地改良区総代選挙			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	208	0	0	0	208	0
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	208	0	0	0	208	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	有明土地改良区総代選挙	208							

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う安曇野有明土地改良区総代選挙の執行管理
【効果】
 正確な事務執行を行うことで、土地改良法及び土地改良区定款に定められ総代を決定することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期満了(4年)による安曇野有明土地改良区総代選挙の執行管理
 選挙の告示により、立候補届出の受理、被選挙権資格の確認など選挙長事務を行う。
 立候補届出者が定数を超えた場合は投票を行い、開票、選挙会において当選人を決定し、当選証書を付与する。

1 任期 4年
 2 任期満了日 平成31年3月15日
 3 執行予定日 任期満了日前30日以内から満了日までの間
 4 選挙区 5選挙区(第1～第4選挙区:安曇野市・第5選挙区:松川村)
 5 総代数 50人(第1選挙区:9人・第2選挙区:12人・第3選挙区:10人・第4選挙区:16人・第5選挙区:3人)

【詳細事業内訳】
 有明土地改良区総代選挙 208千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	156	選挙長・選挙立会人報酬								
11	需用費	36	事務消耗品・当選証書印刷								
12	役務費	16	郵送料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)	コード	011600000
		課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	03	土地改良区総代選挙費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102524	新田堰土地改良区総代選挙			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	69	0	0	0	69	0
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	69	0	0	0	69	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	新田堰土地改良区総代選挙	69							

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う新田堰土地改良区総代選挙の執行管理
【効果】
 正確な事務執行を行うことで、土地改良法及び土地改良区定款に定められ総代を決定することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期満了(4年)による新田堰土地改良区総代選挙の執行管理
 選挙の告示により、立候補届出の受理、被選挙権資格の確認など選挙長事務を行う。
 立候補届出者が定数を超えた場合は投票を行い、開票、選挙会において当選人を決定し、当選証書を付与する。

1 任期 4年
 2 任期満了日 平成31年3月31日
 3 執行予定日 任期満了日前30日以内から満了日までの間
 4 選挙区 1選挙区
 5 総代数 30人

【詳細事業内訳】
 新田堰土地改良区総代選挙 69千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	39	選挙長・選挙立会人報酬								
11	需用費	22	事務消耗品・当選証書印刷								
12	役務費	8	郵送料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	011600000
課・係等	選挙管理委員会事務局

予算書ページ	107
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	04	県知事選挙費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102559	県知事選挙費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	49,016	0	49,016	0	0	0
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	49,016	0	49,016	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	県知事選挙委託金	49,016							

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う長野県知事選挙の執行管理
【効果】
 正確な事務執行を行うことで、投開票結果を報告することができる。また、選挙啓発により明るい選挙を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期満了(4年)による長野県知事選挙の執行管理
 立候補届出者が定数を超えた場合は投票、開票を行い、県選挙管理委員会へ投開票結果を報告する。
 1 任期 4年
 2 任期満了日 平成30年8月31日
 3 執行予定日 任期満了日前30日以内から満了日までの間

【詳細事業内訳】
 県知事選挙費 49,016千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	7,340	投票管理者・投票管理者職務代理・投票立会人・開票管理者・開票立会人報酬				14	使用料及び賃借料	1,597	投票所借上料・開票所物品リース・投票箱送致用タクシー使用料外	
03	職員手当等	21,522					18	備品購入費	1,451	投票速報システムソフト・投票記載台外	
07	賃金	3,633	期日前投票事務・不在者投票事務臨時職員								
08	報償費	100	ポスター掲示場設置謝礼								
11	需用費	2,004	事務消耗品・選挙啓発物品・事務従事者食糧費・選挙事務機器修繕								
12	役務費	3,200	入場券等郵送料・選挙事務機器点検手数料外								
13	委託料	8,169	入場券作成電算処理業務・ポスター掲示板作成設置保守撤去業務・選挙公報配布業務・投開票システム設定業務委託外								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	011600000
課・係等	選挙管理委員会事務局

予算書ページ	107
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	基本計画の推進に向けた経営方針
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画の推進に向けた経営方針
	目	05	県議会議員選挙費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102560	県議会議員選挙費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,616	0	11,616	0	0	0
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	11,616	0	11,616	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	県議会議員一般選挙委託金	11,616							

【目的・効果】
【目的】
 任期満了に伴う長野県議会議員一般選挙の執行管理
【効果】
 正確な事務執行を行うことで、投開票結果を報告することができる。また、選挙啓発により明るい選挙を推進することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 任期満了(4年)による長野県議会議員一般選挙の執行管理
 選挙の告示により、立候補届出の受理、被選挙権資格の確認などの選挙長事務を行う。
 立候補届出者が定数を超えた場合は投開票を行い、県選挙管理委員会へ投開票結果を報告する。

1 任期 4年
 2 任期満了日 平成31年4月29日
 3 執行予定日 任期満了日前30日以内から満了日までの間
 4 定数 安曇野市選挙区2人

【詳細事業内訳】
 県議会議員選挙費 11,616千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
03	職員手当等	1,347							
07	賃金	423	選挙事務臨時賃金						
11	需用費	702	事務消耗品・選挙啓発物品・選挙事務機器修繕						
12	役務費	2,831	入場券等郵送料・選挙事務機器点検手数料						
13	委託料	5,065	入場券作成電算処理業務・ポスター掲示板作成設置業務委託						
18	備品購入費	1,248	開票速報システムソフト・投票用紙交付機外						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

農業委員会事務局

重点的に推進する取組み	(3)
-------------	-----

コード	011700000
課・係等	農業委員会事務局

予算書ページ	197
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	農業委員会費		基本施策	農業の振興
	事業	0106010	農業委員会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	77,306	21	8,719	0	1,666	66,900
前年度	78,998	9	8,271	0	1,671	69,047
増減額	△ 1,692	12	448	0	△ 5	△ 2,147

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	国有農地管理事務委託金	21	20	農地転用許可表示板	2				
15	農業費負担金	8,518	20	農業投資価格評定謝金	8					
15	機構集積支援事業費補助金	201	20	農業新聞購読料等	1,594					
20	県農業開発公社業務委託金	62								

【目的・効果】

【目的】

優良農地の確保や効率的利用の実現に向け、農地の保全と有効利用の促進を図る。
農地法その他の法令により、農地の利用関係の調整を通じて、農地の円滑化、適正化を図る。

【効果】

農用地の流動化により、農業者への集積や遊休農地の解消など、農地を保全するとともに限りある資源を有効に活用することが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

農地法に基づく業務の遂行、農地法第3条・第4条・第5条等の書類の審査受付、農業委員会定例総会(毎月1回)による審議、県への進達及び許可事務

- ・農地台帳整備、標準作業料金決定、賃借料情報の提供
- ・農地流動化促進のため、農地の有効利用と中核担い手農家への農地集積を支援
- ・荒廃農地対策、農地パトロールによる遊休・荒廃農地解消指導
- ・人・農地プランと農地中間管理事業を活用し農地の集積・集約化に努める
- ・平成30年7月には、第6期農業委員に移行及び農地利用最適化推進委員を新設する。

【詳細事業内訳】

農業委員会事業 77,306千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	28,912	農業委員・農地利用最適化推進委員報酬	12	役務費	304	郵便料金
02	給料	21,056		13	委託料	3,451	農地台帳更新データ作業業務委託外
03	職員手当等	9,259		14	使用料及び賃借料	80	窓口パソコンリース外
04	共済費	6,362		19	負担金補助及び交付金	2,943	県農業会議、松塩筑安曇農業員会協議会負担金外
08	報償費	427	農作業労賃・機械作業料金改定委員会出席謝礼外	27	公課費	9	自動車重量税
09	旅費	1,045	新任農業委員・農地利用最適化推進委員視察研修会外				
11	需用費	3,458	事務用品、農業委員会だより印刷外				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農業委員会事業	農地台帳を活用し、荒廃農地パトロール実施結果、経営意向調査結果を基に農地情報の更新を行い、農地の流動化を促進させる。	13	委託料	2,901
					計	2,901
2					計	0

重点的に推進する取組み	(3)	コード	011700000
		課・係等	農業委員会事務局

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	農業委員会費		基本施策	農業の振興
	事業	0106020	農業者年金事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	367	0	0	0	251	116
前年度	378	0	0	0	291	87
増減額	△ 11	0	0	0	△ 40	29

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	農業者年金事務費	229							
20	農業者年金新規加入奨励金	22								

【目的・効果】
【目的】
 農業者の生涯所得の充実を図り、農業を職業として選択し得る魅力あるものとしていく。
【効果】
 農業者が「老後生活の安心と安定」を展望しながら、農業生産活動に従事でき、長期間営農を継続する上で効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 農業者年金への加入推進
 年金得喪事務

【詳細事業内訳】
 農業者年金事業 367千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	35	農業者年金会議出席謝礼						
11	需用費	184	加入推進リーフレット作成外						
12	役務費	148	郵便料金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農業者年金事業	農業者年金加入推進リーフレットを作成し、農業者年金加入資格者への加入推進を積極的に行い、加入者の増加を図る。	11	需用費	60
					計	60
2					計	0

公平委員会事務局

重点的に推進する取組み	(5)
-------------	-----

コード	011800000
課・係等	

予算書ページ	113
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	
	項	07	公平委員会費		基本方針	
	目	01	公平委員会費		基本施策	
	事業	0102650	公平委員会事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	472	0	0	0	0	472
前年度	490	0	0	0	0	490
増減額	△ 18	0	0	0	0	△ 18

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

- 【目的・効果】**
【目的】
 ・地方公務員法第7条第4項の規定に基づき設置された公平委員会を運営するため
【効果】
 ・不利益処分に関する審査請求制度の実効性の確保
 ・措置要求制度の実効性の確保

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・年2回の委員会開催
 ・各種研修会、総会へ参加し、他自治体における審査請求、措置要求に関する取り扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う

【詳細事業内訳】
 公平委員会事務費 472千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	200	公平委員会委員報酬 200千円						
09	旅費	182	委員研修の費用弁償 141千円						
11	需用費	5	消耗品費 5千円						
19	負担金補助及び交付金	85	全国公平委員会連合会等負担金 85千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公平委員会事務費	他自治体における審査請求、措置要求に関する取り扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う	01	報酬	200
				09	旅費	182
				19	負担金補助及び交付金	85
					計	467
2						
					計	0

特別会計

国民健康保険特別会計

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	21
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般管理費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	24,579	0	0	24,579	0
前年度	23,615	7,124	0	16,491	0
増減額	964	△ 7,124	0	8,088	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	05	事務費分	24,579							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の安定的な運営のための事務経費。
【効果】
 ・事務経費が確保されていることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 24,579千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	8,938	一般事務非常勤職員賃金(5名分)8,938千円						
09	旅費	76	全国市町村国保主管課長研究協議会(東京1泊)25千円、国保制度説明会(東京日帰り2名分)51千円						
11	需用費	727	事務執行に伴う消耗品類購入527千円 保険証等の発送に伴う封筒印刷200千円						
12	役務費	8,255	電算共同処理手数料(国保連合会)4,690千円、国保情報集約システム運用手数料(国保連合会)3,565千円						
13	委託料	6,559	保険証等封入封緘業務委託2,774千円 制度改正に伴うシステム改修業務委託3,785千円						
14	使用料及び賃借料	24	有料道路使用料24千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	連合会負担金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100020	連合会負担金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,155	0	0	4,155	0
前年度	4,155	0	0	4,155	0
増減額	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の安定的な運営。
【効果】
 ・負担金支払により、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上求められる負担金額を予算執行する。

【詳細事業内訳】
 連合会負担金 4,155千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	4,155	国保連合会負担金4,155千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	21
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	賦課徴収費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	賦課徴収費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100040	賦課徴収費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,034	0	494	0	9,540	0
前年度	7,036	0	0	0	7,036	0
増減額	2,998	0	494	0	2,504	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	1,200							
03	特別調整交付金分	494								
05	事務費分	8,340								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の賦課業務を安定的に運営するための事務経費。
【効果】
 ・運営経費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 賦課徴収費 10,034千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	55	徴収事務等研修会55千円				
11	需用費	1,225	賦課徴収事務用品205千円、公用車燃料費108千円、納税通知書等発送用封筒印刷804千円、公用車修繕108千円				
12	役務費	1,389	納税通知書郵送料1,302千円、公用車定期点検56千円、預金照会手数料5千円、公用車自賠責保険料26千円				
13	委託料	7,090	電算システム業務委託7,090千円				
14	使用料及び賃借料	203	有料道路使用料8千円、コンビニ収納システム使用料195千円				
19	負担金補助及び交付金	63	徴収事務等研修会参加負担金63千円				
27	公課費	9	公用車自動車重量税9千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	運営協議会費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	運営協議会費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100050	運営協議会費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	435	0	0	0	435
前年度	435	0	0	0	435
増減額	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険法及び市国保条例により義務付けられている国保運営協議会を運営するための事務経費
【効果】
 ・国保事業を審議する会であり、国保事業の推進ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上求められる諸費用を予算執行する。

【詳細事業内訳】
 運営協議会費 435千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	347	運営協議会、委員研修会出席報酬347千円								
11	需用費	82	国保新聞購読料82千円								
14	使用料及び賃借料	6	有料道路使用料6千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	趣旨普及費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	趣旨普及費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100060	趣旨普及費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,014	0	0	0	1,014
前年度	1,038	0	0	0	1,038
増減額	△ 24	0	0	0	△ 24

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	05	事務費分		1,014						

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の啓発用事務経費。
【効果】
 ・制度説明用パンフレットがあることにより、国保制度の説明や案内が市民に対して簡潔にできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・保険証や高齢受給者証の一斉更新時及び窓口での説明に必要なパンフレット等の整備。

【詳細事業内訳】
 趣旨普及費 1,014千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費			1,014	啓発用パンフレット購入1,014千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	25
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	01	一般被保険者療養給付費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100071	一般被保険者療養給付費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,187,500	0	6,187,500	0	0	0
前年度	6,150,000	1,232,609	305,660	0	3,776,681	835,050
増減額	37,500	△ 1,232,609	5,881,840	0	△ 3,776,681	△ 835,050

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払を滞ることなくできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者療養給付費 6,187,500千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	6,187,500	一般被保険者療養給付費6,187,500千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	02	退職被保険者等療養給付費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100081	退職被保険者等療養給付費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	37,101	0	37,101	0	0	0
前年度	147,000	0	0	0	133,258	13,742
増減額	△ 109,899	0	37,101	0	△ 133,258	△ 13,742

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者等が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等療養給付費 37,101千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	37,101	退職被保険者等療養給付費37,101千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	25
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	03	一般被保険者療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100091	一般被保険者療養費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	71,000	0	71,000	0	0
前年度	71,000	13,616	2,095	0	37,504
増減額	0	△ 13,616	68,905	0	△ 37,504

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	71,000							

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞りなくできる。

・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、診査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】

一般被保険者療養費 71,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	71,000	一般被保険者療養費71,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	04	退職被保険者等療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100101	退職被保険者等療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	454	0	454	0	0	0
前年度	1,500	0	0	0	1,500	0
増減額	△ 1,046	0	454	0	△ 1,500	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞りなくできる。
 ・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、診査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等療養費 454千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	454	退職被保険者等療養費454千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	25
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	05	審査支払手数料		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100111	審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,474	0	18,884	0	0	590
前年度	20,610	0	0	0	0	20,610
増減額	△ 1,136	0	18,884	0	0	△ 20,020

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	18,884							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・国保連合会で審査を行うことにより、医療費請求審査が円滑にできる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 審査支払手数料 19,474千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	役務費	19,474	審査支払手数料19,474千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般被保険者高額療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100121	一般被保険者高額療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,023,400	0	1,023,400	0	0	0
前年度	940,000	178,366	27,441	0	729,144	5,049
増減額	83,400	△ 178,366	995,959	0	△ 729,144	△ 5,049

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。
 ・被保険者からの申請により、高額療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者高額療養費 1,023,400千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	1,023,400			一般被保険者高額療養費1,023,400千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	27
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者等高額療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100131	退職被保険者等高額療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,257	0	5,257	0	0	0
前年度	25,870	0	0	0	25,870	0
増減額	△ 20,613	0	5,257	0	△ 25,870	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的運営。
【効果】
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。
 ・被保険者からの申請により、高額療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等高額療養費 5,257千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	5,257	退職被保険者等高額療養費5,257千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	27
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	03	一般被保険者高額介護合算療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100135	一般被保険者高額介護合算療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,154	0	1,154	0	0	0
前年度	500	0	0	0	0	500
増減額	654	0	1,154	0	0	△ 500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	1,154							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者高額介護合算療養費 1,154千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	1,154	一般被保険者高額介護合算療養費1,154千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	27
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	04	退職被保険者等高額介護合算療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100136	退職被保険者等高額介護合算療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	200	0	200	0	0	0
前年度	200	0	0	0	0	200
増減額	0	0	200	0	0	△ 200

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	200							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等高額介護合算療養費 200千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	200	退職被保険者等高額介護合算療養費200千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	移送費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般被保険者移送費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100141	一般被保険者移送費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250	0	250	0	0	0
前年度	250	0	0	0	0	250
増減額	0	0	250	0	0	△ 250

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	250							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者からの支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者移送費 250千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	250	一般被保険者移送費250千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	移送費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者移送費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100151	退職被保険者移送費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250	0	250	0	0	0
前年度	250	0	0	0	0	250
増減額	0	0	250	0	0	△ 250

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	250							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者からの支給申請について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者移送費 250千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	250	退職被保険者等移送費250千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	出産育児諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	出産育児一時金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100161	出産育児一時金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	33,600	0	0	0	22,400	11,200
前年度	33,600	0	0	0	22,400	11,200
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	05	出産育児一時金等	金額	22,400	合計金額	
							22,400

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の出産給付における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・国保被保険者の出産費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求や被保険者からの請求により随時支給を行う。

【詳細事業内訳】
 出産育児一時金 33,600千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	33,600	出産育児一時金33,600千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み (2)

コード 010703100
課・係等 国保年金課 国保年金担当

予算書ページ 29

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	出産育児諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	審査支払手数料		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100162	審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17	0	0	0	17
前年度	0	0	0	0	0
増減額	17	0	0	0	17

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・国保連合会経由で処理を行うことにより、円滑な支払いができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 審査支払手数料 17千円

【一般財源増加理由】 審査支払手数料(1100111事業)から出産育児一時金取扱手数料を分別管理することとなったため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	17	審査支払手数料17千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	05	葬祭諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	葬祭費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100171	葬祭費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,400	0	0	0	0	5,400
前年度	5,400	0	0	0	0	5,400
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業の葬祭給付における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・葬祭費用の一部として給付するため、葬祭執行者が負担する葬祭費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・葬祭執行者からの請求により随時支給を行う。

【詳細事業内訳】
 葬祭費 5,400千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	5,400	葬祭費5,400千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	06	精神諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	精神給付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100181	精神給付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,000	0	0	0	20,000	0
前年度	20,000	0	0	0	20,000	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	05	精神給付金	20,000							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・精神通院医療に該当する国保被保険者の通院費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・国保連合会からの請求により随時支給を行う。

【詳細事業内訳】
 精神給付金 20,000千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	20,000	精神給付金20,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	31
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	医療給付費分		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	一般被保険者医療給付費分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100371	一般被保険者医療給付費分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,863,454	0	56,792	0	570,997	1,235,665
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	1,863,454	0	56,792	0	570,997	1,235,665

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	保険者努力支援分	42,030	05	保険基盤安定事業(保険税軽減分)	202,010	05	基金繰入金	200,000	
03	特別調整交付金分	9,802	05	保険基盤安定事業(保険者支援分)	111,519	07	療養給付費等負担金(過年度分)	1		
03	県繰入金(2号分)	4,959	05	財政安定化支援事業	55,966	07	軽減特例措置	420		
03	財政安定化基金交付金	1	05	地単事業減額調整分補填金	1,081					

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】

一般被保険者医療給付費分 1,863,454千円

【一般財源増加理由】 本年度からの新規事業。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	1,863,454	一般被保険者医療給付費分1,863,454千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	31
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	医療給付費分		基本方針	健康を大切にすま
	目	02	退職被保険者等医療給付費分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100381	退職被保険者等医療給付費分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,821	0	0	0	1	7,820
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	7,821	0	0	0	1	7,820

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等医療給付費分 7,821千円

【一般財源増加理由】 本年度からの新規事業。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	7,821	退職被保険者等医療給付費分7,821千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	31
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	後期高齢者支援金等分		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	一般被保険者後期高齢者支援金等分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100391	一般被保険者後期高齢者支援金等分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	580,927	0	0	0	144,744	436,183
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	580,927	0	0	0	144,744	436,183

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	保険基盤安定事業(保険者支援分)	49,681								144,744

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者後期高齢者支援金等分 580,927千円

【一般財源増加理由】 本年度からの新規事業。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	580,927	一般被保険者後期高齢者支援金等分580,927千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	31
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	後期高齢者支援金等分		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者等後期高齢者支援金等分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100401	退職被保険者等後期高齢者支援金等分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,434	0	0	0	0	2,434
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	2,434	0	0	0	0	2,434

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】

退職被保険者等後期高齢者支援金等分 2,434千円

【一般財源増加理由】 本年度からの新規事業。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	2,434	退職被保険者等後期高齢者支援金等分2,434千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	33
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	介護納付金分		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	介護納付金分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100411	介護納付金分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	191,204	0	0	0	35,434	155,770
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	191,204	0	0	0	35,434	155,770

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	保険基盤安定事業(保険者支援分)	13,094								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】
 介護納付金分 191,204千円

【一般財源増加理由】 本年度からの新規事業。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	191,204	介護納付金分191,204千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	33
--------	----

予算	款	04	保健事業費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健事業費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	01	保健事業費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100250	保健事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,670	0	3,730	0	6,955	2,985
前年度	18,599	0	2,053	0	12,882	3,664
増減額	△ 4,929	0	1,677	0	△ 5,927	△ 679

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	事務費分	4,955								10,685
07	高額療養費貸付金収入(現年度分)	1,990								
07	高額療養費貸付金収入(過年度分)	10								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険被保険者の健康づくり推進や医療費適正化に関する啓発を実施する。
【効果】
 ・健康意識の高まりにより、疾病予防効果や国保財政運営の健全化が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・有資格者によるレセプト点検、高額療養費資金の貸付、医療費通知、ジェネリック医薬品の差額通知の発送を行う。
 ・医療機関等への重複・頻回受診者に対し、保健師が訪問し、療養方法等必要な保健指導を行う。
 ・新規事業として健康ポイントを導入し被保険者の健康意識の向上を目指す。

【詳細事業内訳】
 健康ポイント事業 2,009千円 保健事業費 11,661千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	4,955	レセプト点検職員、多受診訪問保健師賃金4,955千円						
08	報償費	60	保健事業研修会講師謝礼60千円						
09	旅費	59	保健指導者研修会講師旅費59千円						
11	需用費	2,866	健康づくり事業用事務用品、活動量計、糖尿病連携手帳、542千円、野菜ノート啓発冊子315千円、健康ポイントパンフレット、ポイント券2,009千円						
12	役務費	2,712	医療費通知、ジェネリック医薬品差額通知郵送料2,712千円						
13	委託料	1,018	医療費通知、ジェネリック医薬品差額通知作成業務委託料1,018千円						
21	貸付金	2,000	高額療養費貸付金2,000千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	ジェネリック医薬品切替差額通知事業	医療費の軽減額が大きい被保険者に対し送付していた、ジェネリック医薬品の差額通知を従前の年間2回から4回へ拡大する。このことにより、医薬品の切替をさらに推進し、医療費の削減を図る。	12	役務費	2,712	
				13	委託料	1,018	
					計	3,730	
2	ソフト	○ 健康ポイント事業	市が実施する各種検診等を受診した国保加入者に対しポイントを付与し、貯まったポイントを特典(無料健診受診券等)に交換する。健康への意識向上や、関心が低い人への行動変容から疾患の早期発見・早期治療に繋がる。	11	需用費	2,009	
					計	2,009	

予算書ページ	33
--------	----

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	04	保健事業費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	特定健康診査等事業費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	特定健康診査等事業費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100249	特定健康診査等事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	186,354	0	35,420	0	46,745	104,189
前年度	187,759	20,866	14,880	0	47,153	104,860
増減額	△ 1,405	△ 20,866	20,540	0	△ 408	△ 671

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
03	特別調整交付金分	5,940	07	特定健康診査等受託料	14,680					
05	事務費分	18,157	07	特定健診等個人負担金	5,770					
05	後期高齢者健診繰入金	8,137								

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険特定健康診査等実施計画により、40歳から74歳までの国保被保険者を対象に、生活習慣病予防に着眼した特定健康診査及び特定保健指導を行う。
【効果】
 ・特定健康診査及び特定保健指導を実施することにより、高血圧・高脂血・糖尿病等の生活習慣病の早期発見・早期治療、健康保持され、その結果国保医療費の負担軽減に繋がる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・特定健康診査を医療機関等と連携を図り実施する。(集団健診・個別健診・人間ドック・通院治療者受診結果受領票)
 ・保健師・管理栄養士による個別での特定保健指導を行う。
 ・特定健診受診結果によるハイリスク対象者を把握し、二次健診(動脈硬化検査、微量アルブミン検査)を実施する。

【詳細事業内訳】
 特定健康診査等事業費 186,354千円

【一般財源増加理由】		節 節名称		金額	主な内容		節 節名称		金額	主な内容	
07	賃金	1,711	集団健診臨時職員賃金461千円、特定保健指導保健師賃金1,250千円								
11	需用費	2,647	受診啓発用パンフレット等、二次健診検査用品購入1,363千円、健診通知印刷及び送付用封筒作成1,284千円								
12	役務費	1,307	新聞・ラジオによる受診啓発広告1,307千円								
13	委託料	176,423	集団・個別等健診事務委託(12,276千円)、集団・個別等健診業務委託(92,907千円)、未受診者対策業務委託(5,940千円)、人間ドック受診委託(65,300千円)								
18	備品購入費	216	マルチマーカ一本バージョンアップ216千円								
19	負担金補助及び交付金	4,050	人間ドック等受診費用補助(4,050千円)								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	未受診者対策事業	特定健診未受診者に受診勧奨ハガキの送付や電話による受診状況の聞き取りや受診勧奨を実施し、受診への意識づけと重症化予防に取り組み医療費の抑制を図る。	11	需用費	2,647
				12	役務費	1,307
				13	委託料	111,123
				18	備品購入費	216
					計	115,293
2	ソフト	精密健康診断受診費助成事業	医療機関で実施する人間ドック受診に対し、受診費用の一部を助成し、受診しやすい環境づくりを行うことで、健康保持増進や特定健診受診率向上を図る。	13	委託料	65,300
				19	負担金補助及び交付金	4,050
					計	69,350

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	05	積立金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	積立金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	基金積立金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100261	基金積立金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100,000	0	0	0	0	100,000
前年度	100,000	0	0	0	0	100,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に、取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事業運営上必要な額を積立てる。

【詳細事業内訳】

基金積立金 100,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
25	積立金	100,000	基金積立金100,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	05	積立金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	積立金		基本方針	健康を大切にすまち
	目	02	基金積立金利子		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100266	基金積立金利子			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,576	0	0	1,575	1
前年度	1,149	0	0	1,148	1
増減額	427	0	0	427	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	基金積立金利子	1,575							

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・会計課から示された額を積立てる。

【詳細事業内訳】
 基金積立金利子 1,576千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
25	積立金	1,576	基金積立金利子	1,576千円					

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み (2)

コード 010703100
課・係等 国保年金課 国保年金担当

予算書ページ 37

予算	款	06	公債費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	公債費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一時借入金利子		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100275	一時借入金利子			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・一時借入があった場合、円滑に支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・支払が必要となった場合、随時支払をする。

【詳細事業内訳】
 一時借入金利子 1千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	1	一時借入金利子1千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	37
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	01	一般被保険者保険税還付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100281	一般被保険者保険税還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,000	0	0	0	0	8,000
前年度	7,000	0	0	0	0	7,000
増減額	1,000	0	0	0	0	1,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者保険税還付金 8,000千円

【一般財源増加理由】 還付額の増加が見込まれるため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利子及び割引料	8,000	還付金8,000千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	37
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者等保険税還付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100291	退職被保険者等保険税還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	150	0	0	0	0	150
前年度	400	0	0	0	0	400
増減額	△ 250	0	0	0	0	△ 250

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等保険税還付金 150千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	150	還付金150千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	37
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	03	一般被保険者還付加算金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100301	一般被保険者還付加算金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	150	0	0	0	0	150
前年度	200	0	0	0	0	200
増減額	△ 50	0	0	0	0	△ 50

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・還付加算金シートにより計算を行い、国保税の還付口座へ国保税還付金とともに支払う。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者還付加算金 150千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	150	還付加算金150千円						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	37
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	04	退職被保険者等還付加算金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100311	退職被保険者等還付加算金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10	0	0	0	0	10
前年度	20	0	0	0	0	20
増減額	△ 10	0	0	0	0	△ 10

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・還付加算金シートにより計算を行い、国保税の還付口座へ国保税還付金とともに支払う。

【詳細事業内訳】
 退職被保険者等還付加算金 10千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	10	還付加算金10千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	37
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすま
	目	05	療養給付費等交付金償還金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100321	療養給付費等交付金償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・前年度交付金実績数値より超過していた場合に、速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度交付金額が超過していた場合、支払基金からの返還請求により随時執行する。

【詳細事業内訳】
 療養給付費等交付金償還金 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	1	療養給付費等交付金償還金1千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	37
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	06	療養給付費償還金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100331	療養給付費償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・前年度負担金が超過していた場合に、速やかに返還対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度負担金額が超過していた場合、国からの返還請求により随時執行できる。

【詳細事業内訳】
 療養給付費償還金 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	1	療養給付費償還金1千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	39
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	07	特定健康診査等負担金償還金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100341	特定健康診査等負担金償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ適正な運営を行う。
【効果】
 ・前年度負担金が超過していた場合に、速やかに返還対応が可能になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・前年度の実績報告による精算により、前年度負担金が超過した場合、国からの返還請求により随時執行する。

【詳細事業内訳】
 特定健康診査等負担金償還金 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	1	特定健康診査等負担金償還金1千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	39
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすまち
	目	08	一般被保険者返納金還付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100361	一般被保険者返納金還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35	0	0	0	0	35
前年度	35	0	0	0	0	35
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・被保険者から返還請求があった場合に随時執行する。

【詳細事業内訳】
 一般被保険者返納金還付金 35千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	35	被保険者返納金還付金35千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	08	予備費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	予備費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	予備費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100340	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	69,363	0	0	0	0	69,363
前年度	150,000	0	0	0	0	150,000
増減額	△ 80,637	0	0	0	0	△ 80,637

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。
【効果】
 ・急な支払増に対応できるため支払業務が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事業運営上必要が生じた場合は随時執行する。

【詳細事業内訳】
 予備費 69,363千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	69,363	予備費69,363千円								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

後期高齢者医療特別会計

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	15
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般管理費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	48	0	0	0	48	0
前年度	49	0	0	0	49	0
増減額	△ 1	0	0	0	△ 1	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	事務費繰入金	48							

【目的・効果】
【目的】
 ・後期高齢者医療保険事務事業の経費として必要である。
【効果】
 ・事務費を確保することにより、事務事業が円滑に執行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・事務事業を執行する上で、必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 48千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	48	事務執行に伴う消耗品の購入及び予算書・決算書の印刷								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	15
--------	----

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	徴収費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	徴収費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600030	徴収費			

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,510	629	0	0	4,881	0
前年度	4,886	0	0	0	4,886	0
増減額	624	629	0	0	△5	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	96							
03	高齢者医療制度円滑運営事業費補助金	629								
04	事務費繰入金	4,785								

【目的・効果】

【目的】

・後期高齢者医療保険料収納事務として必要な経費を計上するため。

【効果】

・収納事務の円滑な執行が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事務運営上必要な経費を随時執行する。

【詳細事業内訳】

徴収費 5,510千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	125	事務執行に伴う消耗品及び通知書用封筒印刷				
12	役務費	65	コンビニ収納システム使用料				
13	委託料	5,042	納付書等封入等事務委託(4,412千円)、軽減特定見直し対応業務委託(630千円)				
14	使用料及び賃借料	278	窓口端末等リース料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	15
--------	----

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	後期高齢者医療広域連合納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	後期高齢者医療広域連合納付金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	後期高齢者医療広域連合納付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600070	広域連合納付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,127,702	0	0	0	281,466	846,236
前年度	1,034,015	0	0	0	266,980	767,035
増減額	93,687	0	0	0	14,486	79,201

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	事務費繰入金	38,617							
04	保険基盤安定繰入金	242,849								

【目的・効果】

【目的】

・保険者である長野県後期高齢者医療広域連合へ、法令に基づく負担金を支払うため。

【効果】

・後期高齢者医療保険の健全な運営が保たれ、制度も持続可能な保険制度として維持されていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

財源を確保し、請求に基づき市町村負担金を広域連合納付金として、保険者へ支払う。

- ・保険料納付金: 毎月の保険料徴収額を長野県後期高齢者医療広域連合へ支払う。
 - ・保険基盤安定納付金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支払う。(年6回:5月・7月・9月・11月・1月・3月)
 - ・事務費負担金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支払う。(年4回:5月・8月・12月・3月)
- 被保険者増加による保険料収入の増及びシステム改修に伴う事務費負担金の増に伴う広域連合納付金が増加。

【詳細事業内訳】

広域連合納付金 1,127,702千円

【一般財源増加理由】 広域連合納付金の増加

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	1,127,702	高齢者の医療の確保に関する法律等に基づく負担金を長野県後期高齢者広域連合へ納付する				
			(広域連合納付金内訳)				
			保険料納付金(延滞金含む): 846,236千円				
			保険料基盤安定負担金 : 242,849千円				
			事務費負担金 : 38,617千円				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	17
--------	----

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	03	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすまち
	目	01	保険料還付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600080	保険料還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	950	0	0	0	0	950
前年度	500	0	0	0	0	500
増減額	450	0	0	0	0	450

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・過年度に遡及されて過誤納となった保険料の還付事務に対応するため。

【効果】

・過年度に遡及されて過誤納となった保険料の還付事務が速やかに遂行できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・納入された後期高齢者医療保険料について、過誤納となった場合に速やかに還付していく。
- ・死亡による減額更正で過誤納金が発生した場合は、長野県後期高齢者医療広域連合の定められた様式を遺族へ窓口で渡し、相続人及び還付する口座を指定してもらう。

【詳細事業内訳】

保険料還付金 950千円

【一般財源増加理由】 軽減特例のシステム誤りによる還付

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利息及び割引料	950	過年度保険料還付の支払い				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	17
--------	----

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	03	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	還付加算金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600085	還付加算金			

単位：千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50	0	0	0	50
前年度	50	0	0	0	50
増減額	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・過誤納となった保険料について、還付加算金が発生した場合に支出をする。

【効果】

・過誤納となった保険料の還付金と併せて還付加算金の支払いも可能となり、迅速な対応ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・還付加算金計算シートにより計算を行い、保険料の還付口座へ保険料とともに支払う。

【詳細事業内訳】

還付加算金 50千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利子及び割引料	50	保険料還付加算金の支払い				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	17
--------	----

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	04	予備費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	予備費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	予備費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600150	予備費			

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	0	100
前年度	100	0	0	0	0	100
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
											0

【目的・効果】
【目的】
 ・後期高齢者医療における安定的な運営のため。
【効果】
 ・緊急に対応しなければならない事項について、迅速な対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・予算額を上回る支払いを緊急的に行う必要が生じたときに、対応が可能となる。

【詳細事業内訳】
 予備費 100千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
29	予備費	100	緊急的な事項への対応				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

介護保険特別会計

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010702100		予算書ページ	18
		課・係等	介護保険課 介護保険担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	一般管理費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,417	1	0	0	13,416	0
前年度	22,710	330	0	0	22,380	0
増減額	△ 9,293	△ 329	0	0	△ 8,964	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	介護保険審査支払等システム改修経費補助金	1							
08	事務費繰入金	13,416								

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険運営のための総務一般管理費。(介護保険等運営協議会委員報酬等、賦課徴収以外の経費)
【効果】
 ・介護保険事業の円滑な運営をはかる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・安曇野市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画の推進。(地域包括ケアシステムの深化と推進)
 ・介護保険制度改正に伴う事務対応。
 ・平成30年度居宅介護支援事業所の市への移行に伴う対応。
 ・平成30年度制度改正によるシステム改修。

【詳細事業内訳】
 介護保険事業計画策定業務 98千円 介護保険課総務費(特別会計によるもの) 13,319千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	231	介護保険等運営協議会委員報酬(介護保険事業所選考会報酬含む)				
09	旅費	129	介護給付費適正化研修、施設指導研修会参加旅費、等				
11	需用費	641	事務用品購入・参考図書・制度改正対応パンフレット・予算書印刷代・給付通知発送用封筒作成等				
12	役務費	8,476	介護保険証、高額介護・福祉用具等給付通知郵送料、電話代等				
13	委託料	3,457	システム改修費等				
14	使用料及び賃借料	389	制度改正対応介護保険さがせるネット利用料・介護事業所管理システム利用料				
19	負担金補助及び交付金	94	施設指導監査研修会等参加負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	介護保険事業計画策定業務	29年度に作成した安曇野市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画について、安曇野市の地域包括ケアシステムの進展等、委員からの意見を聴取し推進する。	01	報酬	98
					計	98
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	18
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	徴収費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	賦課徴収費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100020	賦課徴収事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,132	0	0	0	6,132	0
前年度	6,470	0	0	0	6,470	0
増減額	△ 338	0	0	0	△ 338	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	320							
08	事務費繰入金	5,810								
09	事務費繰越金	1								
10	延滞金	1								

【目的・効果】

・介護保険事業の運営財源として、介護保険第1号被保険者(65歳以上)から介護保険料を徴収する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険第1号被保険者へ納入通知書(納付書)等を発送する。
- ・適正な事務処理を学ぶため、徴収、相続(納付義務承継)等の研修へ参加する。

【詳細事業内訳】

賦課徴収事務 6,132千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	29	研修参加旅費				
11	需用費	321	事務用品、封筒等印刷費				
13	委託料	5,471	介護保険料業務委託				
14	使用料及び賃借料	65	コンビニ収納システム使用料				
19	負担金補助及び交付金	246	特別徴収情報經由事務負担金、研修参加負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702200
課・係等	介護保険課 認定調査係

予算書ページ	20
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	介護認定審査会費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	認定調査費等		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100030	認定調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	77,498	0	0	0	77,498	0
前年度	84,029	0	0	0	84,029	0
増減額	△ 6,531	0	0	0	△ 6,531	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	08	事務費繰入金	77,497							
10	雑入	1								

【目的・効果】
要支援・要介護状態の者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、必要な時に必要なサービスを受けることができるようにする。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
介護保険法及び厚生労働省令で定められた事項について調査を行う。

【詳細事業内訳】
介護認定調査事務 77,498千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	33,308	認定調査員(12名)一般事務(2名)の賃金						
11	需用費	1,427	消耗品、公用車燃料代、封筒作成、リーフレット作成						
12	役務費	22,570	主治医意見書作成料						
13	委託料	130	県外での認定調査委託						
14	使用料及び賃借料	1,721	公用車リース料、高速道路使用料						
19	負担金補助及び交付金	18,342	松本広域連合介護認定費負担金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	介護認定調査事務	適切な介護サービスが受けられるよう要介護・要支援認定調査を行う。	07	賃金	33,308
				12	役務費	22,570
				19	負担金補助及び交付金	18,342
				14	使用料及び賃借料	1,721
					計	75,941
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	20
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	介護サービス等諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護サービス等諸費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100070	介護サービス等諸費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,176,170	1,997,639	1,253,071	0	3,526,320	1,399,140
前年度	8,088,493	1,980,376	1,253,293	0	3,582,612	1,272,212
増減額	87,677	17,263	△ 222	0	△ 56,292	126,928

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
		03	04			04	08			08	10		
	03	介護給付費負担金現年度分		1,571,743	04	介護給付費交付金過年度分		1	08	低所得者保険料軽減繰入金		11,198	6,777,030
	03	介護給付費負担金過年度分		1	05	介護給付費負担金現年度分		1,253,070	08	介護保険支払準備基金繰入金		81,884	
	03	現年度分調整交付金		425,895	05	介護給付費負担金 過年度分		1	10	第3者納付金		1	
	04	介護給付費交付金現年度分		2,346,768	08	介護給付費繰入金		1,086,467	10	返納金		1	

【目的・効果】
 【目的】
 ・介護サービス給付費の支払い。
 【効果】
 ・介護保険サービスの実施。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・介護予防通所介護と介護予防訪問介護は総合事業への完全移行。概ね3年に一度の介護報酬改定が実施され、プラス改定となった。介護保険施設としては、平成29年度～平成30年度にかけて、グループホーム、小規模多機能型居宅介護等が整備され給付費の増加が見込まれる。

【詳細事業内訳】
 介護サービス等諸費 8,176,170千円

【一般財源増加理由】	介護報酬改定のプラス改定実施された。グループホーム、小規模多機能等の介護保険施設が平成29年度～平成30年度にかけて整備され給付費の増加が見込まれる。												
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容			
19	負担金補助及び交付金	8,176,170	居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス他										

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	その他諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	審査支払手数料		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100080	審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,024	0	0	0	0	9,024
前年度	8,811	0	0	0	0	8,811
増減額	213	0	0	0	0	213

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険給付費等の適正な審査支払いを実施するために国保連合会を介した給付費の支払いを行う。
【効果】
 ・給付費支払の事務が煩雑になることを防止し、適正な給付事務が行える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・高齢化の進行に基づき利用者が増加している。

【詳細事業内訳】
 審査支払手数料 9,024千円

【一般財源増加理由】 利用者増加による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	9,024	審査支払手数料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み (2)

コード 010702300
課・係等 介護保険課 介護予防担当

予算書ページ 30

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	その他諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	審査支払手数料等		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100082	高額介護予防サービス費相当事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	600	150	75	0	237	138
前年度	500	125	62	0	202	111
増減額	100	25	13	0	35	27

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	162								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	75								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	75								

【目的・効果】
【目的】
 高額介護予防サービス費相当事業として、月額上限額超過分を利用者申請に基づき返還する。
【効果】
 利用者の経済的負担の軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 高額介護予防サービス費相当事業として、月額上限額超過分を利用者申請に基づき返還する。

【詳細事業内訳】
 高額介護予防サービス費相当事業 600千円

【一般財源増加理由】 平成30年4月の総合事業完全移行に伴い、高額介護予防サービス費相当事業も増加するため増額となった。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	600	高額介護予防サービス費相当事業として、月額上限額超過分の返還金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	22
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	高額介護サービス等費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	高額介護・予防サービス費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100090	高額介護・予防サービス費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	170,314	0	0	0	0	170,314
前年度	170,502	0	0	0	0	170,502
増減額	△ 188	0	0	0	0	△ 188

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険サービス利用者の所得に応じて、1割(2割、3割※平成30年8月～)の自己負担額が1カ月で一定額(15,000円、24,600円、44,400円)を超えた場合に、超過分を払い戻す。
【効果】
 ・介護費用が高額になることでサービス利用が困難になることを防止する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・高額介護の制度改正により、第4段階の方については、年度の高額介護の給付額の合計が446,400円を超えた分について、超過分を給付する。

【詳細事業内訳】
 高額介護・予防サービス費 170,314千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	170,314	高額介護、予防給付費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	特定入所者介護サービス等費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	特定入所者介護・予防サービス費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100095	特定入所者介護・予防サービス費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	306,838	0	0	0	0	306,838
前年度	356,838	0	0	0	0	356,838
増減額	△ 50,000	0	0	0	0	△ 50,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険施設入所者のうち低所得者について食費、居住費の自己負担額が負担限度額を超えた場合、超過分を保険者が施設に払う。
【効果】
 ・低所得者への介護サービス利用の負担軽減。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 平成27年度以降の制度改正により利用者の資産要件として預貯金1000万円以下が利用条件に追加。また配偶者の所得要件は世帯分離しても適用。非課税年金の収入額も、段階判定の指標とされている。

【詳細事業内訳】
 特定入所者介護・予防サービス費 306.838千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	306,838	負担限度額超過給付						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	05	高額医療合算介護サービス等費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	高額医療合算介護・予防サービス費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100096	高額医療合算介護・予防サービス費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,391	0	0	0	0	29,391
前年度	21,535	0	0	0	0	21,535
増減額	7,856	0	0	0	0	7,856

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・世帯内で1年間(毎年8月1日～翌7月31日)の医療及び介護両制度における自己負担が著しく高額となった場合に、一定の上限額を超える部分について給付を行う。
【効果】
 ・高額利用者への軽減措置。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・12月に該当になるとと思われる者に勧奨通知を発送し、申請に従って給付を行う。年度末に、給付が集中する。

【詳細事業内訳】
 高額医療合算介護・予防サービス費 29,391千円

【一般財源増加理由】 制度改正、介護報酬改定等により利用者増加が見込まれる。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	29,391	合算負担限度額超過給付				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	介護予防事業		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	一般介護予防事業費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100102	一般介護予防事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,605	4,401	2,200	0	6,953	4,051
前年度	17,925	4,481	2,241	0	7,260	3,943
増減額	△ 320	△ 80	△ 41	0	△ 307	108

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	4,753								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	2,200								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	2,200								

【目的・効果】
【目的】65歳以上の市民及びその支援者を対象に介護予防事業を行うことにより、生活機能の維持・向上を図り、できるだけ自ら介護予防の取り組みができるよう支援し、地域における介護予防の推進を図る。
【効果】
 ・65歳以上の方が介護予防に関する正しい知識をもつことで、自らの生活の中で介護予防に取り組むことができる。
 ・65歳以上の方が介護予防事業に参加することで、生活機能の維持・向上を図ることができる。
 ・65歳以上の方が介護予防事業を活用し、地域における介護予防の推進を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・目的別・地域別の体操教室など、できるだけ多くの方が参加できる介護予防教室を開催するとともに、認知機能・口腔機能向上教室を行う。
 ・介護予防や認知症予防などに対する正しい知識を持っていただくための講演会や講座を開催し、普及啓発を行う。
 ・地域の自主的なグループ活動を対象とした認知機能検査による認知症予防活動の推進を図る。
 ・65歳以上の方の口腔機能の向上を図るための歯科健康診査・相談・啓発活動を行う。
 ・地域や団体等の自主的な介護予防活動の支援を行う。
 ・地域の介護予防拠点における介護予防教室を実施する。

【詳細事業内訳】
 一般介護予防事業 17,605千円

【一般財源増加理由】		節 節名称		金額	主な内容		節 節名称	金額	主な内容	
7	賃金	3,968	歯科衛生士・介護予防教室の保健師等の専門職の臨時職員賃金							
8	報償費	3,101	各種介護予防教室・歯科健康診査・介護予防講演会等の講師謝礼と労務謝礼							
9	旅費	14	歯科口腔機能向上事業研修のための旅費							
11	需用費	383	各種介護予防教室・介護予防講演会・広報活動・口腔機能向上事業のための消耗品							
13	委託料	10,139	各種体操教室と認知機能検査実施のための委託料							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	拠点介護予防教室	介護予防拠点において、介護予防教室を実施し、自主的な活動への支援も強化する事業。この事業により拠点を中心とした自主的な介護予防活動の拡大に繋げることができる。	13	委託料	3,360
					計	3,360
2	ソフト	認知機能向上教室	認知症予防に特化した教室を実施する。この事業により、自主的な認知症予防の取り組みの拡大を図る。	13	委託料	2,720
					計	2,720

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010702300			
		課・係等	介護保険課 介護予防担当			
予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100104	介護予防ケアマネジメント事業			

予算書ページ	30
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,896	7,473	3,736	0	11,808	6,879
前年度	20,197	5,049	2,525	0	8,180	4,443
増減額	9,699	2,424	1,211	0	3,628	2,436

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	8,072								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	3,736								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	3,736								

【目的・効果】
【目的】
 ・地域包括支援センターは、総合事業対象者に対する適切な介護予防ケアマネジメントにより、自立に向けたプラン作成を行い、介護予防支援を行う。
【効果】
 ・総合事業対象者の状況・環境を考慮し、自立に向けたプランを作成することで、安心して地域で暮らすことができる。ケアプラン作成業務の一部を、適切な指定居宅介護支援事業所へ委託することによって適切なサービスを利用することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・地域包括支援センターは、総合事業対象者の介護予防ケアマネジメントを行い、適切なサービスが確保できるよう、関係機関との連携を図る。
 ・ケアプラン作成業務の一部を、適切な指定介護支援事業所へ委託する。
 ・北部地域包括支援センター、南部地域包括支援センターが、それぞれ総合事業対象者の介護予防ケアマネジメントを行った際、ケアプラン作成費として支払を行う。

【詳細事業内訳】
 介護予防ケアマネジメント事業 29,896千円

【一般財源増加倍理由】	平成30年4月の総合事業完全移行に伴う委託料及び負担金の増額						
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
7	賃金	2,844	介護支援専門員等賃金				
13	委託料	10,674	介護予防ケアマネジメント業務直営包括ケアプラン作成費委託分				
19	負担金補助及び交付金	16,378	介護予防ケアマネジメント業務委託包括ケアプラン作成費				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	介護予防ケアマネジメント事業	平成30年4月に総合事業は完全移行となる。地域包括支援センターは対象者の状況に応じた適切な介護予防ケアマネジメントによる自立に向けた支援を行う。	7	賃金	2,844	
				13	委託料	10,674	
				19	負担金補助及び交付金	16,378	
					計	29,896	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	30
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100105	介護予防生活支援サービス事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	275,939	68,984	34,492	0	108,995	63,468
前年度	152,660	38,165	19,082	0	61,827	33,586
増減額	123,279	30,819	15,410	0	47,168	29,882

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	74,503								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	34,492								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	34,492								

【目的・効果】
【目的】
 介護保険法改正により全国一律の基準で提供していた介護予防訪問介護及び介護予防通所介護を、市の事業である介護予防・日常生活支援総合事業へ完全移行し、それぞれ「第1号訪問事業」、「第1号通所事業」として実施する。
【効果】
 要支援1、2と事業対象者が、介護予防と日常生活を支援するための適正なサービスを受けることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・指定事業者による「訪問介護相当サービス」、「訪問型サービスA」、「通所介護相当サービス」、「通所型サービスA」の実施。
 ・事業所へ業務委託しての「通所型サービスC」の実施。
 ・理学療法士等を自宅へ派遣する「訪問型サービスC」の実施。

【詳細事業内訳】
 第1号訪問事業 63,514千円 第1号通所事業 212,425千円

【一般財源増加理由】平成30年4月の総合事業完全移行に伴い、増額となった。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
8	報償費	363	訪問型サービスC 理学療法士等訪問謝礼				
13	委託料	4,178	通所型サービスC委託、総合事業従事者研修事業委託				
19	負担金補助及び交付金	271,398	相当サービスとサービスAの国民健康保険団体連合会への支払い				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	第1号訪問事業	訪問介護相当サービス、訪問型サービスA、訪問型サービスCを実施し、介護予防と日常生活の支援を行うことができる。	8	報償費	363	
				13	委託料	1	
				19	負担金補助及び交付金	63,150	
					計	63,514	
2	ソフト	第1号通所事業	通所介護相当サービス、通所型サービスA、通所型サービスCを実施し、介護予防と日常生活の支援を行うことができる。	13	委託料	3,840	
				19	負担金補助及び交付金	208,248	
					計	212,088	

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	26
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	69,758	26,857	13,429	0	13,429	16,043
前年度	62,312	24,301	12,150	0	12,150	13,711
増減額	7,446	2,556	1,279	0	1,279	2,332

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	13,429								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	13,429								

【目的・効果】
【目的】
 ・市内3か所の地域包括支援センターが包括的支援事業を実施することで、高齢者の方ができるだけ地域において自立した生活を営めるよう支援する。さらに、地域包括ケア推進に向けた事業の推進を図る。
【効果】
 ・地域包括支援センターにおいて、「総合相談支援業務」、「権利擁護業務」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」、「介護予防ケアマネジメント」を行うことで、高齢者の方が要支援・要介護状態になることを防ぎ、住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を営むことができるようになる。
 ・在宅医療・介護連携や認知症施策の推進、地域ケア会議の充実等に関する取り組みにより、地域包括ケアの推進を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・市内3か所の地域包括支援センターの内、豊科・明科を担当する中央地域包括支援センターは本庁舎内で直営にて運営し、穂高を担当する北部地域包括支援センターは穂高支所内にて委託で運営し、三郷・堀金を担当する南部地域包括支援センターは三郷支所内にて委託でそれぞれ運営を行う。
 ・地域包括支援センターにおいては、「総合相談支援業務」、「権利擁護業務」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」、「介護予防ケアマネジメント」を実施する。
 ・3か所の地域包括支援センターが連携を図り、包括的支援事業を地域で一体的に実施する中核的機関を目指す。
 ・地域包括支援センターの適切・公正・中立な運営を確保するために、地域包括支援センター運営協議会を開催する。
 ・地域包括ケア推進のため、地域ケア個別会議を開催する。また、在宅医療・介護連携や認知症施策推進にも一定の役割を果たす。

【詳細事業内訳】
 地域包括支援センター運営事業 69,758千円

【一般財源増加理由】		認知症初期集中支援チーム及び在宅医療・介護連携窓口の本格稼働に伴う職員の増員。平成29年度までの北部地域包括支援センター認知症対策業務予算の委託料への組み替え								
節	節名称	金額	主要内容		節	節名称	金額	主要内容		
2	給料	9,841	中央地域包括支援センター職員の給料		12	役務費	22	損害賠償保険料等		
3	職員手当等	4,778	中央地域包括支援センター職員の職員手当等		13	委託料	40,450	南部・北部地域包括支援センター委託料		
4	共済費	2,894	中央地域包括支援センター職員の共済費		14	使用量及び賃借料	1,051	南部・北部地域包括支援センターパソコン等借上料、中央地域包括支援センター自動車借上料		
7	賃金	8,601	中央地域包括支援センター非常勤職員の賃金		19	負担金補助及び交付金	1,359	介護支援専門員研修負担金、退職手当負担金		
8	報償費	376	介護支援専門員研修・市地域包括支援センター運営協議会出席謝礼等							
9	旅費	86	地域包括ケアシステム研修旅費							
11	需用費	300	中央地域包括支援センターで使用する事務用品、自動車燃料等							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地域包括ケア推進事業	認知症初期集中支援チーム及び在宅医療・介護連携窓口の本格稼働により、地域包括ケアの推進を図る。	2	給料	9,841
				3	職員手当等	4,778
				4	共催費	2,884
				7	賃金	8,601
					計	26,104
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	26
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	任意事業費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100107	任意事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
9,504	10,167	△ 663	3,659	1,829	0	1,829

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	1,829								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	1,829								

【目的・効果】
【目的】
 高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活を継続していくことができるようにするため、また介護保険事業の運営の安定化を図るとともに、被保険者及び要介護認定者を介護する者に対して、必要な支援を行う。
【効果】
 高齢者が住み慣れた地域で可能な限り在宅生活が継続できる。
 成年後見制度を活用することにより、認知症等により判断力の低下した高齢者の権利が擁護できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・家族介護者を支援するため介護用品購入助成券を非課税世帯の対象者に交付する。
 ・認知症に関する理解を深め、認知症者と家族を支えていくために認知症サポーター養成講座を実施する。
 ・在宅高齢者の住宅改修について、作業療法士等の専門家を派遣し必要な助言等を行う。
 ・受給者が真に必要とする過不足のないサービスを、事業者が適切に提供されているかを確認するためケアプラン点検を行う。

【詳細事業内訳】
 介護給付等費用適正化事業 193千円 家族介護支援事業 8,750千円 成年後見制度利用支援事業 295千円 福祉用具・住宅改修支援事業 64千円 認知症サポーター等養成事業 202千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	267	ケアプラン点検講師謝礼・認知症サポーター養成講座講師謝礼								
11	需用費	117	認知症サポーター養成講座テキスト・ステッカー等								
12	役務費	66	成年後見市長申立に要する費用、ケアプラン点検連絡通知郵送料								
13	委託料	44	住宅改修相談作業療法士等への委託費								
20	扶助費	9,010	介護用品購入助成扶助・成年後見市長申立分に係る後見人報酬費扶助								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	介護用品購入助成事業	市民税非課税世帯で要介護4～5の高齢者を在宅介護している人に1か月あたり5,000円の介護用品購入助成券を交付。介護する家族の経済的負担の緩和が図られる。	20	扶助費	8,550	
					計	8,550	
2					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	32
--------	----

予算	款	04	介護サービス事業費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	介護予防支援事業		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護予防支援事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100108	介護サービス事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,941	0	0	0	10,941	0
前年度	14,275	0	0	0	14,275	0
増減額	△ 3,334	0	0	0	△ 3,334	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・直営の中央地域包括支援センターは、要支援者が介護予防サービスの適切な利用ができるよう、介護予防サービス計画を作成し、関係機関との連携を図るよう指定介護予防支援業務を実施する。
【効果】
 ・要支援者の状況・環境を勘案し、介護予防サービス計画を作成することで、要支援者が適切な介護予防サービスを利用することができる。
 ・指定介護予防支援業務の一部を、適切な指定介護予防支援事業者に委託し、要支援者が適切な介護予防サービスを利用することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・直営の中央地域包括支援センターは、要支援者の介護予防サービス計画を作成し、適切な介護予防サービスが確保できるよう、関係機関との連絡調整を図る。
 ・指定介護予防支援業務の一部を、適切な指定居宅介護支援事業者へ委託する。

【詳細事業内訳】
 介護サービス事業費 10,941千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
13	委託料	10,941	介護予防支援業務(予防給付分)の委託料								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	05	基金積立金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	基金積立金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護保険支払準備基金積立金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100110	介護保険支払準備基金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	977	0	0	975	2
前年度	940	0	0	938	2
増減額	37	0	0	37	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	07	支払準備基金利子	975							

【目的・効果】
【目的】
 ・保険給付に当てるため、介護保険支払準備基金への積立。
【効果】
 ・安定した介護保険会計の運用を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・予算においては、利子分について見込んだ。

【詳細事業内訳】
 介護保険支払準備基金積立金 977千円

【一般財源増加理由】 積立金増加による利子の増加。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
25	積立金	977	介護保険支払準備基金利子積立				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010702300		
		課・係等	介護保険課 介護予防担当		
予算	款	03	地域支援事業	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費	基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業	基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100112	在宅医療・介護連携推進事業費		

予算書ページ	28
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	400	154	77	0	77	92
前年度	2,720	1,061	531	0	531	597
増減額	△ 2,320	△ 907	△ 454	0	△ 454	△ 505

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	03	地域支援交付金(新総合事業以外)	154								308
	05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	77								
	08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	77								

【目的・効果】
【目的】
 在宅療養者に切れ目のない医療・介護のサービス提供を図るため、医療・介護関係者の「顔の見える関係作り」により連携推進事業を実施することで地域包括ケアシステムの構築を目指す。
【効果】
 医療・介護関係者と協力し、課題の分析と対応策の検討、研修、啓発活動等により、在宅医療・介護連携を推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・在宅医療・介護連携推進業務を市医師会へ委託し、多職種連携の研修会、市民に向けた啓発のための講演会等を実施するとともに、地域の医療・介護関係者との協力により事業を推進する。

【詳細事業内訳】
 在宅医療・介護連携推進事業費 400千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	400	在宅医療・介護連携推進事業業務委託				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	在宅医療・介護連携推進事業	業務を市医師会へ委託し、地域の医療・介護関係者との協力により多職種連携の研修会、市民に向けた啓発のための講演会等を実施する。事業を推進することにより、地域包括ケアシステムの構築につながる。	13	委託料	400
					計	400
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100113	生活支援体制整備事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,771	2,991	1,496	0	1,496	1,788
前年度	7,263	2,833	1,416	0	1,416	1,598
増減額	508	158	80	0	80	190

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	地域支援交付金(新総合事業以外)	2,991							
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	1,496								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	1,496								

【目的・効果】

【目的】

市内5地域それぞれに、助け合い体制や、介護予防体制、新たな資源を開発するなど、高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自分らしく生活ができる体制を構築する。

【効果】

介護職員不足の問題を解決する。
介護給付費の抑制につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・作成した生活支援ガイドブックを活用し、地域の高齢者が、介護予防の活動等に参加するように勧奨する。
- ・地域学習会を実施し、支えあえる地域づくりを推進する。
- ・地域見守り活動を推進する。
- ・地域支えあい推進フォーラムを実施する。

【詳細事業内訳】

生活支援体制整備事業費 7,771千円

【一般財源増加理由】生活支援サービスガイドブックの製本費他。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	200	地域支え合い推進フォーラム講師謝礼他				
11	需用費	521	生活支援ガイドブック製本費他				
13	委託料	7,050	生活支援コーディネーター委託料他				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	生活支援体制整備事業費	・5地域に生活支援コーディネーターの配置と協議体を設置し、地域における生活支援や、介護予防の体制づくりを進める。 ・高齢者が生きがいや役割を持ち生活することで、介護予防や重症化防止が期待できる。	13	委託料	7,050
				11	需用費	521
				08	報償費	200
					計	7,771
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010702300
		課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100114	認知症総合支援事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	891	343	171	0	171	206
前年度	3,786	1,476	738	0	738	834
増減額	△ 2,895	△ 1,133	△ 567	0	△ 567	△ 628

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	171								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	171								

【目的・効果】

【目的】

高齢者が認知症になっても地域で安心してできるだけ長く暮らせるよう、認知症の人やその家族に効果的な支援を行う。

【効果】

高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が継続できるようになる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・3か所の地域包括支援センターに配置された認知症地域支援推進員を中心に、認知症者や家族の相談支援・関係者の連携支援を行う。
- ・認知症専門医、保健師、社会福祉士等のチーム員で構成される「認知症初期集中支援チーム」により、認知症が疑われる人、治療につながっていない人等に対し、自宅訪問等を行い、早期診断、早期対応に向けた支援を行う。
- ・認知症の人やその家族等の集いの場でもある「認知症カフェ」運営に対して、補助金を交付する。

【詳細事業内訳】

認知症総合支援事業 891千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	200	認知症初期集中支援事業専門医訪問、会議出席報酬				
9	旅費	93	認知症初期集中支援推進事業、認知症地域支援推進員研修				
19	負担金補助及び交付金	598	認知症カフェ運営費補助、認知症支援事業研修負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	認知症初期集中支援推進事業	「認知症初期集中支援チーム」の支援により、認知症が疑われる人、治療につながっていない人等に対し、医療機関での治療、介護サービスにつなげることにより、地域での安心した生活が継続できる。	1	報酬	200
				9	旅費	55
				19	負担金補助及び交付金	80
					計	335
2	ソフト	認知症カフェ運営支援事業	認知症カフェの運営に対し補助金を交付し、認知症カフェ事業の推進を図る。認知症の人やその家族の集いの場での交流が図られ、家族等の介護負担軽減につながる。	19	負担金補助及び交付金	480
					計	480

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100116	地域ケア会議推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	168	65	32	0	32	39
前年度	175	68	34	0	34	39
増減額	△ 7	△ 3	△ 2	0	△ 2	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	地域支援交付金(新総合事業以外)	65							
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	32								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	32								

【目的・効果】

【目的】

保健、医療、福祉サービス及び地域の社会資源の総合調整を行い、これらのサービスを必要とする市民に総合的にサービス提供を行う安曇野市地域包括ケアシステムの構築及び推進を図る。

【効果】

集約された課題等の解決を図ることで、地域包括ケアシステムの構築につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
地域包括ケア体制構築推進のための会議を開催する。

【詳細事業内訳】

地域ケア会議推進事業 168千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	168	地域包括ケア推進会議出席謝礼				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	地域ケア会議推進事業	保健、医療、福祉サービス及び地域の社会資源の総合調整を行い、これらのサービスを必要とする市民に総合的にサービス提供を行う安曇野市地域包括ケアシステムの構築及び推進を図り集約された課題等の解決を図ることで、地域包括ケアシステムの構築につながる。	08	報償費	168
					計	168
2					計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010702300
		課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	その他諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	審査支払手数料等		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100117	地域支援事業審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,031	258	129	0	407	237
前年度	488	122	61	0	197	108
増減額	543	136	68	0	210	129

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	278								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	129								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	129								

【目的・効果】
【目的】
 介護予防・日常生活支援総合事業に関する、事業者の報酬の請求に伴う審査、支払い業務等を国民健康保険団体連合会へ委託する。
【効果】
 審査支払に関する事務の適正化と軽減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 審査、支払い業務等を国民健康保険団体連合会へ委託し、手数料として支払う。

【詳細事業内訳】
 審査支払手数料 1,031千円

【一般財源増加理由】 平成30年4月の総合事業完全移行に伴い、審査件数も増加するため増額となった。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	1,031	介護予防・日常生活支援総合事業審査支払手数料				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	32
--------	----

予算	款	06	公債費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	公債費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	利子		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100120	一時借入金利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	100	0
前年度	100	0	0	0	100	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	08	事務費繰入金		99						
10	介護保険会計歳計現金利子		1							

【目的・効果】
【目的】
 ・介護保険給付費支払いに際し国・県等の負担金の歳入の遅れから一時的に金融機関からの借入を受けた場合の利息。
【効果】
 ・安定した介護保険会計の運用を行う。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する必要に応じて実施。

【詳細事業内訳】
 一時借入金利子 100千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	100	一時借入金利子								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100140	第1号被保険者保険料還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,000	0	0	0	0	1,000
前年度	880	0	0	0	0	880
増減額	120	0	0	0	0	120

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・所得段階の変更や被保険者資格の喪失(死亡・転出等)に伴う介護保険料(過年度分)を還付する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・所得段階の変更や被保険者資格の喪失(死亡・転出等)に伴う介護保険料(過年度分)を還付する。

【詳細事業内訳】

第1号被保険者保険料還付金 1,000千円

【一般財源増加理由】 返還実績による増加。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利子及び割引料	1,000	保険料還付金、還付加算金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100141	償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
											0

【目的・効果】
【目的】
 ・県・国及び支払基金交付金等の交付超過分について、返還が翌年度に繰越す為の科目設置。
【効果】
 ・年度内に、返還額が確定しない事から該当年度以降に交付超過額について適切な処理ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・平成29年度の給付額確定後、負担金額を算出。決裁後に繰越し、30年度に返還する。

【詳細事業内訳】
 償還金 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	1	国庫負担金等返還金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点的に推進する取組み	(2)
-------------	-----

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100142	地域支援事業返還金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	1	0
前年度	1	0	0	1	0
増減額	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	09	地域支援事業繰越金	1							

【目的・効果】
【目的】
 国、県、診療報酬支払基金から市に交付される補助金を過大に受けた場合に翌年度に返還し精算を行う。
【効果】
 国、県等の補助金の適正精算。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 国、県、診療報酬支払基金から市に交付される補助金を過大に受けた場合に翌年度に返還し精算を行う。

【詳細事業内訳】
 地域支援事業返還金 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	1	地域支援事業補助金返還金								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(2)	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	08	予備費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	予備費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	予備費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100150	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50	0	0	0	50	0
前年度	50	0	0	0	50	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	08	事務費繰入金	50								50

【目的・効果】
【目的】
 ・事務費において突発的な内容等、補正に間に合わない場合の予備費。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する必要に応じて実施。

【詳細事業内訳】
 予備費 50千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	50	予備費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

上川手山林財産区特別会計

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5100020	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,028	0	0	0	24	1,004
前年度	813	0	0	0	323	490
増減額	215	0	0	0	△ 299	514

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	基金利子		24						

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積170haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。
 ・1000人サクラプロジェクトに参加する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 1,028千円

【一般財源増加理由】 視察研修に伴う旅費、マイクロバス運転委託料等の増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	154	管理委員(7人)	22	補償補填及び賠償金	200	墓地権利解消補償金
08	報償費	245	会議出席謝礼	25	積立金	25	基金利子積立
09	旅費	139	視察研修(職員旅費・費用弁償)				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	123	事務用品・現地踏査用具・参考図書・予算書等印刷製本費外				
12	役務費	71	郵送料・間伐材加工料・障害保険外				
13	委託料	61	マイクロバス運転				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	02	事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	造林費		基本施策	林業の振興
	事業	5100040	造林費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	907	0	0	1	906
前年度	1,031	0	0	0	1,031
増減額	△ 124	0	0	1	△ 125

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	木材販売代金収入	1							

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積170haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・約1.0haの森林整備。

【詳細事業内訳】
 造林費 907千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	907	森林整備負担金						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	14
--------	----

予算	款	03	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5100050	予備費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	208	0	0	0	208
前年度	670	0	0	0	670
増減額	△ 462	0	0	0	△ 462

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積170haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・上川手山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】
 予備費 208千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	208	予備費						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

北の沢山林財産区特別会計

予算書ページ	12
--------	----

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5200010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	790	0	0	0	475	315
前年度	559	0	0	0	486	73
増減額	231	0	0	0	△ 11	242

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	基金利子	25							
02	北の沢山林財産区基金繰入金	450								

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積335haの財産管理を行う。
 ・水源林分収造林に伴う植林、保育、間伐等の施業について、管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。
 ・水源林造林協議会等に係る事業に参加する。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 790千円

【一般財源増加理由】 視察研修に伴う旅費、マイクロバス運転委託料等の増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	77	管理委員(7人)	16	原材料費	65	管理小屋修理工用丸太外
08	報償費	96	現地踏査・作業小屋修繕	19	負担金補助及び交付金	48	中信地区水源林造林協議会・長野県特用林産振興会等負担金
09	旅費	139	視察研修(職員旅費・費用弁償)	25	積立金	26	基金利子積立金
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	165	事務用品・現地踏査用具・予算書印刷外				
12	役務費	103	郵送料・管理道整備・傷害保険外				
13	委託料	61	マイクロバス運転				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】

事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	03	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5200040	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	134	0	0	0	0	134
前年度	260	0	0	0	0	260
増減額	△ 126	0	0	0	0	△ 126

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積335haの財産管理を行う。
 ・水源林分収造林に伴う植林、保育、間伐等の施業について、管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・北の沢山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】
 予備費 134千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	134	予備費							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

有明山林財産区特別会計

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5300010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	782	0	0	254	528
前年度	793	0	0	549	244
増減額	△ 11	0	0	△ 295	284

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	基金利子	54							
03	有明山林財産区基金繰入金	200								

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積316haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 782千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	63	管理委員(7人)		25	積立金	55	基金利子積立		
08	報償費	74	現地踏査							
09	旅費	139	視察研修(職員旅費・費用弁償)							
10	交際費	10	慶弔費							
11	需用費	294	事務用品・現地踏査用具・予算書印刷外							
12	役務費	86	郵送料・障害保険・下刈り外							
13	委託料	61	マイクロバス運転							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	02	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5300030	予備費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	171	0	0	0	171
前年度	350	0	0	0	350
増減額	△ 179	0	0	0	△ 179

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積316haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・有明山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】
 予備費 171千円

【一般財源増加理由】	予備費の増										
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	171	予備費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

富士尾沢山林財産区特別会計

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5400010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	613	0	0	0	7	606
前年度	724	0	0	0	407	317
増減額	△ 111	0	0	0	△ 400	289

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	基金利子		7						

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積119haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 613千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	63	管理委員(7人)		25	積立金	8	基金利子積立金		
08	報償費	49	現地踏査							
09	旅費	139	研修視察(職員旅費・費用弁償)							
10	交際費	10	慶弔費							
11	需用費	197	事務用品・現地踏査用具(チップソー)・燃料費・予算書印刷外							
12	役務費	86	郵送料・下草刈り・障害保険							
13	委託料	61	マイクロバス運転							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	02	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5400030	予備費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	158	0	0	0	158
前年度	240	0	0	0	240
増減額	△ 82	0	0	0	△ 82

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積119haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【詳細事業内訳】
 予備費 158千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	158	予備費						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

穂高山林財産区特別会計

重点的に推進する取組み	(4)
-------------	-----

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興
	事業	5500010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	832	0	0	0	155	677
前年度	1,142	0	0	0	835	307
増減額	△ 310	0	0	0	△ 680	370

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
03	穂高山林財産区基金繰入金	150								

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積2haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

【詳細事業内訳】
 一般管理費 832千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	63	管理委員(7人)		25	積立金	6	基金利子積立金		
08	報償費	74	現地踏査							
09	旅費	139	研修視察(職員旅費・費用弁償)							
10	交際費	10	慶弔費							
11	需用費	197	事務用品・現地踏査用具(チップソー)・燃料費・予算書等印刷外							
12	役務費	282	郵送料・森林整備(徐間伐、下刈り)・障害保険							
13	委託料	61	マイクロバス運転							

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点的に推進する取組み	(4)	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	02	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5500030	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	103	0	0	0	0	103
前年度	340	0	0	0	0	340
増減額	△ 237	0	0	0	0	△ 237

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】
【目的】
 ・森林面積2haの財産管理を行う。
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。
【効果】
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・穂高山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】
 予備費 103千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	103	予備費								

【上記予算の内の『重点事業』の概要】								
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

産業団地造成事業特別会計

重点的に推進する取組み	(1)	コード	010901200
		課・係等	商工労政課 工業振興係

予算	款	01	産業団地事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	産業団地事業費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	産業団地事業費		基本施策	工業の振興
	事業	6100010	産業団地建設事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,153	0	0	0	1,153	0
前年度	80,301	0	0	0	80,301	0
増減額	△ 79,148	0	0	0	△ 79,148	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	一般会計繰入金	1,152							
03	前年度繰越金	1								

【目的・効果】
【目的】
 市内産業団地分譲地の完売により、新たな産業団地造成に向けた開発を検討する。
【効果】
 企業誘致によって地元雇用が生まれ、若者などの移住・定住による人口減対策や地域の活性化が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ○庁内関係部署との調整会議の開催
 ○松本地域基本計画における安曇野市としての重点促進区域を検討するとともに、必要に応じて土地利用調整計画を策定する。

【詳細事業内訳】
 産業団地建設事業605千円 産業団地建設総務費 548千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	50	職員旅費、産業支援コーディネーター費用弁償				
11	需用費	173	産業団地看板修繕費他				
13	委託料	895	産業団地排水路清掃費、緑地管理費、土地鑑定料				
19	負担金補助及び交付金	35	屋外広告物設置負担金				

【上記予算の内の『重点事業』の概要】							
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	産業団地建設事業	市内産業団地分譲地が完売したことにより、新たな産業団地造成に向けた開発を検討する。	09	旅費	50	
				13	委託料	555	
					計	605	
2							
					計		

観光宿泊施設特別会計

重点的に推進する取組み	(1)
-------------	-----

コード	010902300
課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算書ページ	13
--------	----

予算	款	01	観光宿泊施設事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造する
	項	01	観光宿泊施設事業費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	観光宿泊施設事業費		基本施策	観光の振興
	事業	7100001	観光宿泊施設管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,786	0	0	0	20,785	1
前年度	16,204	0	0	0	16,204	0
増減額	4,582	0	0	0	4,581	1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	一般会計繰入金	17,165							
02	有明荘外施設使用料	3,620								

【目的・効果】
【目的】・市内を訪れる観光客の受入れ環境を整備することにより快適な宿泊施設を提供し、交流人口の拡大を図ると共に、市民の憩いの場を提供し、福祉の向上を図る。
【効果】・観光宿泊施設の整備により、来訪者の市内での滞在時間の延長を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する
 ・長峰荘、有明荘の指定管理者と連携して、施設の維持管理を行なう。

【詳細事業内訳】
 有明荘・長峰荘運営管理事業 20,786千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
9	旅費	90	指定管理事務打合せ		18	備品購入費	1,151	有明荘エアコン	
11	需用費	3,010	施設小破修繕、公用車燃料等		27	公課費	14	車検用重量税	
12	役務費	391	電話料、レジオネラ菌検査(2施設)、車検費用		29	予備費	500	予備費	
13	委託料	8,300	長峰荘指定管理料						
14	使用料及び賃借料	2,520	土地借地料(有明荘)等						
15	工事請負費	4,785	有明荘結露防止工事、有明荘非常照明器具LED化工事、施設維持修繕工事						
16	原材料費	25	施設駐車場整備用砕石						

【上記予算の内の『重点事業』の概要】						
事業区分	新規	重点事業名称	重点事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	有明荘結露防止工事	有明荘の客室の一部において結露によりカビ臭が発生し使用できない状態にあるので、結露防止工事を行ない、施設の稼働率向上を図る。	15	工事請負費	1,566
					計	1,566
2					計	0